

第七十三回帝國議會
衆議院

國家總動員法案委員會會議錄(速記)第十回

付託議案
國家總動員法案(政府提出)

會議

昭和十三年三月九日(水曜日)午前十時二十
四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小川郷太郎君

理事中村不二男君 理事豊田 豊吉君

理事中山 福藏君 理事西岡竹次郎君

理事官脇 長吉君 理事篠原 義政君

理事井阪 豊光君 理事西尾 末廣君

作田高太郎君 齋藤 隆夫君

櫻井兵五郎君 古屋 慶隆君

増田 義一君 山本 厚三君

眞鍋 儀十君 眞鍋 勝君

池田 秀雄君 小山 谷藏君

高橋壽太郎君 川崎末五郎君

長井 源君 河野 一郎君

小高長三郎君 泉 國三郎君

羽田武嗣郎君 濱田 國松君

河上 哲太君 熊谷 直太君

植原悦二郎君 猪野毛利榮君

牧野 良三君 若宮 貞夫君

藤本 捨助君 山崎 常吉君

清瀬 一郎君 守屋 榮夫君

三輪 壽壯君 淺沼稻次郎君

今井 新造君 三田村武夫君
出席國務大臣左ノ如シ

内閣總理大臣 公爵近衛 文麿君

外務大臣 廣田 弘毅君

司法大臣 鹽野 季彦君

陸軍大臣 杉山 元君

文部大臣兼 陸軍大臣 杉山 元君

厚生大臣 侯爵木戸 幸一君

内務大臣 末次 信正君
出席政府委員左ノ如シ

企畫院總裁 瀧 正雄君

企畫院次長 青木 一男君

企畫院部長 植村甲午郎君

企畫院部長 横山 勇君

企畫院書記官 内田源兵衛君

外務政務次官 松本 忠雄君

外務參與官 春名 成章君

外務省東亞局長 石射猪太郎君

外務省調查部長 米澤 菊二君

外務書記官 土田 豐君

内務政務次官 勝田 永吉君

内務省警保局長 富田 健治君

陸軍政務次官 加藤久米四郎君

陸軍參與官 比佐 昌平君

陸軍中將 山脇 正隆君

陸軍少將 町尻 量基君

海軍政務次官 一宮房治郎君

海軍參與官 岸田 正記君

海軍少將 井上 成美君

海軍主計大佐 山本丑之助君

司法省刑事局長 松阪 廣政君

司法省行刑局長 瀧川 秀雄君

司法省調查部長 井上 登君

文部政務次官 内ヶ崎作三郎君

文部參與官 池崎 忠孝君

文部省專門 學務局長 男爵山川 建君

文部省實業學務局長 小笠原豐光君

拓務參與官 伊禮 肇君

拓務省管理局長 棟居 俊一君

拓務書記官 副島 勝君

朝鮮總督府鐵道局長 吉田 浩君

厚生次官 廣瀨 久忠君

厚生省體力局長 兒玉 政介君

厚生省社會局長 山崎 巖君

厚生省労働局長 成田 一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國家總動員法案(政府提出)

○小川委員長 是ヨリ開會致シマス——羽
田君

○羽田委員 モウ既に先輩各位ヨリ大體一

渡リ御質問ガ済ンデ居ルノデアリマスルカ

ラ、私ハ餘リ重複シナイヤウニ質問ヲ致シ

タイト思ッテ居リマス、總理ニ御尋シタイト

思ヒマシタ所、總理ハオ出デニナリマセス

ガ、是非トモ總理ニ聽キタイトコトガアリマ

スルカラ、後程デ結構デスガ、御出席下サ

ルヤウニ委員長ノ御計ヒヲ先ツ御願シテ置

キマス

司法大臣ニ御尋致シマスガ、本法ノ適

用ノ時期ト期限ノ問題ニ付テ御尋致シタ

イ、本法案ハ二十一條カラ二十六條ノ平時

規定ヲ除ク以外ハ、戰時又ハ之ニ準ズベキ

事變ニ適用スルト云フコトニナッテ居リマ

ス、隨テ平時ニ於テハ之ヲ適用シタイト云

フコトニナッテ居ルノデアリマスルガ、此點

ニ付テ大臣ノ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○鹽野國務大臣 御説ノヤウニ戰時ニ際シ

テ實行スベキ箇條ガ、第四條カラ第二十條

マデゴザイマスルガ、是ハ宣戰ノ布告ナリ、

若クハ之ニ準ズベキ事變ニ付キマシテハ、

御裁可ヲ經マシテ、之ヲ公布スルト云フ時

期カラ活動ヲ始メマシテ、ソレ以前ニ於キ
マシテハ睡眠狀態トデモ申シマスカ、活動

ヲ止メテ居ル状態ニナツテ居ルノデアリマス

○羽田委員 大體私ノ考ヘテ居ル所ト同ジデアリマスルガ、併ナガラ今後ノ戰爭ト云フモノハ、國力戰デアリマスルカラ、獨リ兵力的ナ立場ノミナラズ、政治經濟或ハ外交、更ニ引續イテ戰後ノ經營ト云フヤウナ工合ニ、其要スル時間ト云フモノハ、五年ヤ十年デハ中々片ガ付カナイト思フノデアリマス、サウシマス結局戰爭ニナリマシテ睡眠狀態カラ覺メテ適用サレタ法律ハ、五年、十年ノ間引續イテ適用ヲ受ケルコトニナルト思フノデアリマスルガ、此點ニ付テハ如何デアリマスガ

○鹽野國務大臣 御説ノ通りデアリマス、戰時ノ繼續シテ居ル間ハ活動シテ居リマス

○羽田委員 左様ニナリマス、私ハ此法案ト云フモノハ、戰時又ハ事變ニ適用サル法案ト云フヨリモ、寧ロ平時ニ適用サル法案デアルト解釋サレルト思ヒマスガ、如何デゴザイマスガ

○鹽野國務大臣 御尋ノ趣意ハ、近代戰ニ於キマシテハ兎角持久戰ニナル傾向ガアル、隨テ繼續シテ本法ガ實施サレル場合モ豫想サレル、恰モソレハ戰時ト同様デハナイカト云フ御趣意ニナリマスガ、其通りデアリ

マス

○羽田委員 只今ノ大臣ノ御答辯ニ依リマス、結局平時モ本法ガ適用サレルト云フコトニナル譯ニナリマスガ、左様ニナリマスルト、此法案其モノハ、大體平時ト戰時ニ分レテ居ルノデアリマスガ、結局是ハ全部平常ニ適用サレルト云フ結論ニナツテ來ルノデアリマス、左様ニ平常モ適用サレルト云フコトニナリマス、結局憲法デ保障サレ保護サレテ居ル臣民ノ權利義務、自由ト云フモノハ、此法案ニ依ツテ、委任勅令ガ非常ニ多イノデアリマスカラ、總テ官僚ノ手ニ委サレルト云フ結論ニナルト思フノデアリマスガ、此點如何デスカ

○鹽野國務大臣 少シ言葉ガ足りマセヌデシタガ、平時ニ使ハレルト云フ意味デハアリマセヌデ、戰時ガ長ク繼續スル場合ニハ、長ク本法モ活動スルト云フ趣意ノ御答ヲシタ積リデアリマス、其以外ニ於キマシテ本法ハ決シテ平時ニ使ハレルノデハナク、戰時ニ使ハレルノデアアル、勿論準備ニ付テハ二十一條以下デスカ、是ハ平時ニ於テモ、準備規定デアリマスカラ活用スルノデアリマスケレドモ、其點ガ羽田君ノ御考ト少々違ッテ居ルヤウデアリマス

○羽田委員 只今司法大臣ノ御話ニ依リマ

スト、結局是ハ戰時ニ使フモノデアッデ、平時ニ使フモノデナイト云フ御話ニナツテ參リマスガ、私ハ是以上唯鹽野シニ論理的ナ遊戲ヲスルニ忍ビナイノデアリマスガ、結論トシテ申上ゲタイノデアリマス、一番先ニ私が申上ゲマシタヤウニ、今後ノ戰爭ハ國力戰デアアル、隨テ一年ヤ二年デハ片付カナイ、五年モ十年モ或ハ二十年モ掛ルカモ知レナイ、私ハ國力戰ト云フモノハ斯ウ續クベキモノデアルト云フヤウニ解釋ヲ致スノデアリマスガ、サウデアリマスレバ、平時ト云ハレルガ結局國力戰ノ引續キト致シマシテ、其儘所謂此法案ガ生キテ行クト云フコトニナリ、臣民ノ自由權利、或ハ義務ト云フモノガ完全ニ官僚ノ手ニ委サレシマフト云フヤウニ斷定セザルヲ得ナイノデアリマス、ソコデ先日來ノ此委員會ニ於ケル論議ノ中心ト云フモノハ、委任勅令ガ非常ニ多イ、憲法第二章ニ規定サレテ居ル即チ當然法律ニ依ツテ規定シナケレバナラス事項ノ内容ガ、餘リニ委任勅令ニ委ネラレ過ギテ居ルト云フ點ニアツタノデアリマスガ、此點ニ付キマシテ、ドウシテモ委任立法ヲ出來ルダケ法律化シテ行クト云フコトガ、此法案ノ審議ノ上ノ重大ナル要點デハナイカト思フノデアリマス、先ダツテ總理ハ不

可能ト云フヤウナ御言葉ヲ言ハレタノデアリマスガ、司法大臣ハ如何デアリマスガ

○鹽野國務大臣 度々説明シタ所デゴザイマスガ、臣民ノ權利義務ヲ束縛スル程度ハ、各本條ニ於テ決マツテ居ルノデアリマシテ、ソレヲ必要限度ニ制限シテ實行スル意味合ニ於テ勅令ニ之ヲ讓ル、勅令ノ内容ハ決シテ直接ニ臣民ノ權利義務ヲ束縛スルモノデハナイノデアリマスカラ、行政官廳ニ於テ勝手ニ立法事項ヲ擴張シテ、臣民ニ義務ヲ負ハセルト云フノデハナイノデアリマス、義務ヲ負ハセテアル範圍内ニ於テ、適宜ニ之ヲ實行シテ行クト云フ立前ニナツテ居ルノデアリマスカラ、此點ニ於テ少々御考ガ、私共トハ違ッテ居ルヤウニ察セラレルノデアリマス

○羽田委員 司法大臣ノ御話ダト、結局法案ニ規定サレテ居ル内容ヲ、委任勅令デ規定スルノデアアルカラ、所謂權利義務ヲチャント法律ニ兎ニ角合法的ニ規定シテ居ルノダカラ、憲法違反ノ虞ガナイト云フヤウナ御趣旨ノ御答辯ノヤウデアリマス、私ハ是以上兎角言ウテモ、既ニ司法大臣ガサウ云フ頭ニナラレテ居ルノデアアルカラ、是以上言ッテモ無駄ダト思ヒマス、結局私ハ委任サレテ居ル内容其モノガ、憲法ノ保障スル臣

民ノ權利義務ノ實體ニ觸レテ居ルト云フコトダケヲ申上ゲテ、モウ既ニ屢、皆サンカラ御話ニナツテ居ルコトデアリマスカラ、是以上蛇足ヲ加ヘルコトヲ止メマス、總理ガ來テカラ後ニ、此點不可能カドウカニ付テ、總理ノ御信念ヲ承リタイト思フノデアリマス

次ニ私ハ本法案ノ體裁ノ問題ニ付テ申上ゲタイト思フノデアリマス、本法案ヲ通讀シマス、五十條カラ成ツテ居リマスガ、第一條乃至第三條ハ總則ノ規定ニナツテ居リマス、第四條カラ第二十條ハ戰時ニ際スル規定ニナツテ居リマス、更ニ第二十一條カラ第二十六條迄ハ平時ニ於ケル規定ニナツテ居リ、又第二十七條カラ第二十九條ハ損失補償又ハ補助金ニ關スル規定ニナツテ居リ、第三十條ト第三十一條ハ監督ニ關スル規定、更ニ第三十二條乃至第四十九條ハ罰則ニ關スル規定ニナツテ居リ、第五十條ニ審議會ガ規定シテアルノデアリマス、斯ウ云ツク工合ニ此法案ヲ分析シテ見マス、數個ノ部分カラ成立ツテ居ルト云フヤウニ私ハ思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ我國デハ全ク未曾有ナ、臣民ノ權利義務ト、國民生活ノ全般ヲ制限スルヤウナ大法律デアリマシテ、而モ此法案ヲ實施スル限ニ於キマシテハ、

國民ノ協力ノ下ニヤツテ行カナケレバ、此法案ノ目的デアアル所ノ第一條ノ實現ハ出來ナイ譯デアリマス、隨ヒマシテ私ハ國民ガ此法案ヲ出來ルダケ能ク知ルヤウニ、詰リ此法案其モノニ教育的ノ意味ヲ大イニ含マセルコトガ必要デハナイカト思フノデアリマス、其教育的ノ見地カラ申シマス、ドウシテモ單ニ五十條ヲズラ／＼書並ベタダケデハナクテ、之ヲ章節ニ分カツテ、第一章總則、第二章戰時編、第三章平時編、第四章罰則編ト云フヤウナ工合ニ、章節ニ分ツト云フコトガ、教育的ノ效果ヲ擧ゲル意味ニ於テ必要ナコトト思フノデアリマスガ、政府ハ之ニ對シテドウ云フ御所見ヲ持ツテ居レルカ、更ニ又章節ニ分タル、所ノ御意思ガアルカドウカ、之ヲ承リタイノデアリマス

○鹽野國務大臣 本法ハ其名前ノ示スガ如クニ、國家總動員ノ計畫ヲ、法律ヲ以テ實行シテ參ルノデアリマスカラ、國防ノ目的達成ノ爲ニ、國家ノ全力ヲ有效ニ發揮セシムルト云フ爲ニ、其必要ナル事項ヲ網羅シテ居ルノデアリマス、併ナガラ國民ノ全生活ヲ全部網羅シテ居ルモノデハナイノデアリマス、其中ノ主要ナル人的並ニ物的ノ資源ヲ統制運用スルニアルノデアリマス、而

シテ其簡條ハ御示シノヤウニ、戰時ニ於テハ第四條カラ第二十條迄、又平時ニ於ケル準備ハ其以後第二十九條、第三十條迄、第三十二條以下ハ罰則ト云フコトニナツテ居リマスノデ、之ヲ章節ト云フ風ニ區分スルニハ餘リニ條文ノ數ガ少イノデアリマス、之ヲ以テ一覽的ニモ國民ガ見ルコトガ出來ヨウト考ヘマスカラ、此體裁ヲ以テ適當ナモノト考ヘテ居ルノデアリマス

○羽田委員 此條文ガ少イカラ、一覽的ニ五十條ヲズラツト並ベタト云フ御話デアリマスガ、條文ノ少イトカ多イトカト云フ問題デナクテ、國民ガ一目瞭然ニ、此法案ノ内容ヲ知り得ルカドウカト云フコトガ、此法案ノ目的ヲ達成スル上カラ、最重要ナコトデハナイカト思フノデアリマス、其條文ノ少イトカ多イトカト云フコトハ、私ハ問題ニハナラスト思フノデアリマス、此點ニ付テ更ニ司法大臣ノ御答辯ヲ承リタイノデアリマス

○鹽野國務大臣 御意見ハ御尤ニ存ジマスルガ、此點ハ政府ト見解ヲ異ニスルノデアリマシテ、御説ノ通りニハ出來ナイノデアリマス

○羽田委員 見解ヲ異ニスルカラ是以上ハ言ヘナイト云フ御話デアリマスガ、然ラバ

委員會ニ於テ章ヲ分ツコトヲ致シタ場合ニ、ソレニ對シテ政府ハ今ノ御答辯デアツテハ同意出來ナイト言ハレルカモ知レナイガ、モウ一回豫メ駄目ヲ押シテ置キタイノデアリマス、同意致シマスカドウカ、司法大臣御一人デハドウカト思フノデアリマスガ、此點ヲ御聽致シマス

○鹽野國務大臣 體裁ヲサウ變ヘルコトハ適當トハ思ヒマセ

○羽田委員 此問題ハ後程ノ問題トシテ、宿題トシテ取ツテ置キマシテ、次ニ私ハ法案ノ一部分ニ付テ御同致シタイノデアリマス、第十一條ニハ利益金處分ニ對スル問題ガアリマスガ、是ハ會社ノ利益金ノ處分ダケニナツテ居リマス、即チ是ハ會社ダケデアツテ、個人ガ戰爭ニ依ツテ利得シタ、詰リ國民ガ血ヲ流シテ第一線ニ働イテ、其戰爭ノ御蔭デ以テ個人ガ儲ツテ居ル、所ガ會社ガ儲ツタト云フコトニ對シテ、其利益金ノ處分ニ付テ政府ガ干涉サレヤウトシテ居ルガ、此個人ノ儲ツタモノニ付テハ、此内ニ規定サレテ居リマセヌガ、個人ナラバ良クテ、會社ナラバ惡イト云フ何カ特別ナ御理由デモアルノデアリマス

○鹽野國務大臣 近代ノ企業ハ大資本ヲ要スル爲ニ、會社組織ニスルノガ普通トナツ

テ居リマス、隨テ會社ヲ目標トシテ規定ヲ致シテ居ルノデアリマス、個人ハ先ヅ大體資本ハ大キイモノデハナイト考ヘテ居リマス

○羽田委員 戰時ニ於ケル國民ノ思想ト云フモノハ、此會社ガ大キクナツタ所デ、會社ノ立前ヲ見レバ別デスケレドモ、大體會社ノ活動ト云フモノハ、所謂法人デアッテ抽象的ナ現象デアリマス、所ガ個人ガ戰爭デ大イニ成金ニナツタカ、金持ニナツタカ云フコトハ非常ニ目立ツノデアリマスガ、此個人ノ成金ニ對シテモ、此法案ガ會社ノ利益金ノ處分ニ對シテ干涉スナラバ、個人ニモ或ル程度シナイ限リニ於キマシテハ、國民ニ對スル精神的ナ影響ハ非常ニ大キイモノダト思ヒマス、其點ニ付テ大臣ノ御考ヲ御尋シマス

○鹽野國務大臣 國家全體カラ見マシテ、資金ノ調整ヲ致シマスルノハ、ヤハリ現在ノ企業ノ形式ガ主トシテ會社組織ニナツテ居リマスカラ、其大キイ所ヲ取締ッテ參レバ、國家全體ノ資金ヲ調整スルコトニナルト考ヘルノデアリマシテ、個人ガ小ナル資本ヲ以テ、其企業ノ利益ヲ得マスルコトハ、或ハ思想的ニ一般國民ニ影響スル所モアルデアリマセウケレドモ、ソレ等ノ者ニ對シ

テハ、普通ノ課稅ヲ以テ適當ト考ヘテ居ルノデアリマス

○羽田委員 本法案ノ目的ヲ達成スル爲ニハ、精神的ナ要素ガ一番必要ダト思フ、此精神的要素、詰リ精神總動員ノ實體ガナクシテハ、此法案ノ圓滑ナル運用ハ出來ナイノデアリマス、又隨テ第一條ノ目的ハ達シ得ナイト思ヒマス、其意味ニ於キマシテ、

此國民ノ目ニ立ツモノニ對シテハ、此法案ガチャント會社ノ利益金ノ處分ニ付テハ干涉シテ居ルノデアリマスカラ、會社モ個人モヤハリ等シク、ドウセ利益金ノ處分ニ付テ此法案ガ監督統制ヲスルナラバ、ヤハリ個人ニ迄之ヲ及ボシテ、サウシテ血ヲ流シテ第一線ニ働イテ居ル所ノ、是等ノ血稅ノ御蔭ニ依ッテ成金ニナツタソレ等ノ人々ニ對シテモ、或ル程度ノ利益金ノ處分ニ付テ、唯稅金ト云フダケデナク、此法案ノ發動ニ依ッテヤルコトガ、此精神的ノ要素ヲ完備スル上ニ於テ、最モ重大ナルコトダト考ヘテ居リマスガ、此點ニ付テハ如何ニ御考ニナリマスカ

○鹽野國務大臣 總動員ノ實施ニ當リマシテハ、國民ノ精神的協力ヲ必要トスルコトハ、洵ニ御説ノ通りデアリマス、本案ニ於キマシテハ、資金ヲ最モ有用ナル方面ニ運

用シテ行クト云フコトヲ強調スル爲ニ、規定ヲ致シテ居ルノデアリマス、各營業ガ會社デアラウガ、個人デアラウガ、其收益ニ對シマシテハ課稅ヲ以テ足レリト考ヘテ居ルノデアリマス

○羽田委員 押問答ヲシテ居ッテモ結局致方アリマセヌ、時間ノ都合デ私ハ先ヘ進ミマス、此法律案ヲズット見マス、五十條ノ中ニ一番大キイ部分ト云フカ、氣付キマスルノハ、何ト云ッテモ刑罰規定ガ多イト云フコトデアリマス、而モ此刑罰規定ハ非常ニ重イモノデアアルコトハ、既ニ外ノ委員カラモ屢、追究サレタ所デアリマスガ、ドウモ最近ノ立法ヲ見マスルト、何レモ刑罰ガ付イテ居ルノデアリマス、行政法規ニ對シテモ、刑罰ガ殆ド付イテ居ルト云フ工合デアリマシテ、結局私ハ此刑罰ニ依ッテ人民ヲ脅カシナガラ、官吏ノ無能ヲソレニ依ッテ補填シヨウトスル爲ニ、斯ノ如ク刑罰法規ガ多イノデハナイカト云フコトヲ、國家ノ爲ニ恐レルノデアリマス、此點ニ付テハ勿論サウ云フ意圖ハナイト言ハレルダラウガ、私ハアルト申サザルヲ得ナイノデアリマスガ、司法大臣ハドウ御考デアリマスカ

○鹽野國務大臣 御説ノヤウニ刑罰ヲ以テ國民ニ臨ムコトハ好マシクナイコトデアリ

マス、併ナガラ事實ニ於キマシテ、國民ノ中ニハ往々心得違ヒノ者ガアリマシテ、財産

的ノ不法ノ利益ヲ得タル者ガアルノデアリマス、隨テ國家總動員ノヤウナ、國ヲ擧ガテノ争ノ場合ニ於キマシテモ、其者ニ對シマシテハ相當ノ處置ヲスル必要ガアルノデアリマス、是ハ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、而シテ本法案ニ規定シテアリマスル刑罰ハ、非常ニ重イヤウニ仰シヤルケレドモ、是ハ現行ノ軍需工業動員法、或ハ昨午出マシタ臨時立法ノ刑罰ヲ、其儘持ッテ參ッタモノデアリマシテ、決シテ重イモノデハアリマセヌ、併シ又徵發令等ノ古イ法律ニ比較致シマスレバ、刑罰ハ稍、重クナツテ居リマス、是ハ罰金刑等ノ如キ財産刑ニ付キマシテハ、金錢ノ價值ガ、其時代ニ於テ違ヒマスルカラ、罰金刑ノ重クナルコトハ、又自然ノ趨勢デアリマス、本法ヲ運用スル場合ニ於キマシテモ、決シテ之ヲ以テ國民ノ覺悟ヲ促スト云フ手段ニ致スモノデハアリマセヌノデ、是ハ最モ動員ニ對シテ支障ヲ來スヤウナ惡意ノ者ニ對シテ、相當重刑ヲ用ヒルト云フ程度ニナツテ居ルノデアリマス

○羽田委員 最近ノ官僚ハドウモ人ヲ見タラ、ドウシテ縛ラウカ、ドウシテ罰ソウカ

ト云フコトニ汲々トシテ、自己ノ無能ヲソレニ依ッテ蔽ハントスル傾ノアルコトハ、洵ニ遺憾ニ思フノデアリマス、只今司法大臣ノ御答辯デハ、若干ノ不心得者ガアルカラト云フヤウナ御話デアリマスガ、一人ノ不心得ノ者ヲ縛ル爲ニ九百九十九人ニ對シテ、非常ナ精神的ノ壓迫ヲ與ヘルト云フコトハ、決シテ立法ノ最善デハナイト云フヤウニ私ハ考ヘマスガ、如何デアリマスカ

○鹽野國務大臣 技術上已ムヲ得ザルモノト考ヘテ居リマス

○羽田委員 已ムヲ得ザルト言ウテモ、結局斯ウ云フ重大ナル法案ヲ出ス限リニ於テ、唯已ムヲ得ザルト云フヤウナ、何ト云フカ、拾遺詞ノヤウナ御言葉ヲ伺フコトハ、眞ニ官民ガ融和致シテ、舉國一致體制ヲ強化シテ行カケレバナラス時節ニ於テ、洵ニ遺憾ナル御言葉デアリマス、此已ムヲ得ナイト云フヨリモ、更ニ國民ニ對シテ納得ノ行ク御親切ナル御言葉ヲ、モウ一回承リタイノデアリマス、殊ニ司法大臣デアリマシテ、檢察ノ中心ニ御居デノ方デゴザイマスカラ、特ニ此點ヲ、唯已ムヲ得ズト云フノデ私ハ聞流シニスルコトハ、全國民ノ爲ニ取ラナイ所デアリマス

○鹽野國務大臣 遺憾ナガラ犯罪ガ現實ノ

社會ニ絶エナイノデアリマス、其爲ニ刑罰ヲ設ケルコトハ、已ムヲ得ザルノ必要デアリマスルカラ、此點ハ國民モ諒承シテ貰ヒタイノデアリマス

○羽田委員 已ムヲ得ザル必要ダト仰セニナリマスガ、私ハ刑罰ガ斯ウ云フ法案ニ附隨スルコトニ付テ文句ヲ言フノデアリマセス、唯最近ノ官吏ノ間ニ、刑罰ニ依ッテ人ヲ威喝シヨウト云フ思想ガ滔々トシテ流レテ居ル、之ニ對シ私ハ指摘シタノデアリマス、隨テ私ハ此官界ノ一ツノ風潮、立法ノ一ツノ風潮ニ對シテモウ一回司法大臣ニ國民ノ納得ノ行ク御答辯ヲ承リタイト思ヒマス

○鹽野國務大臣 官吏ガヤトラニ刑罰ヲ以テ國民ニ臨ムト云フヤウナ御考デアリマスガ、私ハ決シテ左様トハ考ヘテ居リマセス、實際上ノ實社會ニ於ケル現象ト致シマシテ、犯罪ナルモノガアルト云フコトハ、是ハドウモ否ムベカラザル現實ノ事實デアリマス、隨テ之ニ對スル對策トシテ、刑罰規定ヲ設ケテ置クト云フコトハ、又已ムヲ得ザル必要ト申スノデアリマス

○羽田委員 ドウモ私ノ満足ノ行ク御答ヲ得ナイコトヲ遺憾ト致シマス、私ハ此刑罰ノ規定ト言ヒ、ソレカラ全體ニ流レテ居ル

所ノ此法案ノ立法精神ト申シマセウカ、我が國民性、即チ君ニ忠ヲ盡スト云フ盡忠ノ精神ト云フモノヲ、此中ニ如何ニモ疑ッテ掛ッテ居ル、先ヅ是ガ私ノ知得シタ感ジデアリマスガ、サウ云フ立場ガ此立法ヲ致ス一ツノ基礎的ナ考ヘ方デアル、更ニ又俺達ガ自由ニヤルカラ國民ハ黙々附イテ來レバ宜インダト云フヤウナ思想ガ、此中ニ流レテ居ル、ドウモ私ハ此法案全體ガ、我が國民精神ト非常ニ離レタモノデハナイカ、國民精神トハ反スルモノデハナイカト云フ印象ヲ深く持ツモノデアリマス、何トナク翻譯のナ氣分ガ致シテナライノデアリマス、ドウモ最近ノ官僚ハ、兎角先程申シマスヤウニ、人ヲ見タラ罰シヨウ、物ヲ見タラ如何ニ統制シヨウカト云フヤウナ、又獨逸デハトカ、伊太利デハトカ、或ハ「ソビエト」デハトカ云フヤウナ、此考ヘ方ヲ直グニ日本ニ移シテ來ルヤウニ思フノデアリマス、茲ニ私ハ一ツ面白イ御話ト致シマシテ、今東京ニ「オット」ト云フ獨逸ノ駐在武官ガ居リマスガ、此「オット」少將ガ日本ニ赴任致シマス時ニ「ヒットラー」ガ送別ノ言葉ト致シテ、何ト述ベタカト云フコトヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、「ヒットラー」ハ、君ハ今遠イ日本ニ赴任サレヤウトシテ居ル、日

本ト云フ國ニハ、大和魂ト云フ不思議ナル尊敬スベキ愛國ノ魂ガアル、此愛國ノ魂ヲ君ハ東京ヘ行ツタナラバ、能ク體得シテ歸ッテ來テ呉レ此大和魂サヘ獨逸ニ植エタナラバ、獨逸ニハ法律モ、統制モ、規則モ要ライノダト云フ送別ノ言葉ヲ送ツタノデアリマス、私ハ統制好キナ、殊ニ獨逸、伊太利ト云フヤウナコトヲ直グニ言ハレル現在ノ軍部ナリ、或ハ官僚ニ對シマシテ、此「ヒットラー」ノ送別ノ言葉ト云フモノハ、正ニ頂門ノ一針デハナイカト云フコトヲ、深ク感ズル者デアリマス、官僚ガ何ト云フカ、御師匠サントシテ居ル所ノ「ヒットラー」スラ、此日本ノ國情、國民性ト云フモノノ特質、此大和魂ノ尊嚴性ニ付テ非常ニ高く評價致シテ居ル譯デアリマスカラ、ドウカ官僚ノ諸君ハ此大和魂、日本ノ本然ノ大和魂ト云フモノニ對シテ、再認識ヲシテ貰ヒタイト云フコトヲ、此立法ヲ見マシテツクヅク思フ次第デアリマス

尙ホ此法案ニ付テ、モウ一ツ御伺致シタイノデアリマスルガ、第四十四條竝ニ四十五條ノ規定ヲ御覽願ヒタイノデアリマス、四十四條竝ニ四十五條ハ總動員業務ニ從事シタル者、或ハ公務員又ハ其ノ職ニ在リタル者、サウ云フ立場ノ人ガ此官廳ノ機密ヲ漏泄致シタリ、或

ハ法人又ハ人ノ業務上ノ祕密ヲ漏泄シ、又ハ竊用シタ場合ニ、之ニ對スル罰則ガ規定サレテ居ルノデアリマス、所ガ斯ウ云ツタ直接ノ關係者以外ニ、外部カラ行ッテ我國ノ機密ヲ盜ミ取ラウト云フ所謂「スパイ」ニ對スル防止ノ規定ガナイコトハ、非常ニ包括的ニ、能ク人ヲ捕ヘルコトヲ規定シテ居ル法律ニモ拘ラズ、此間諜防止ノ規定ノナイコトハ、洵ニ大キイ手拔リデアラウト思ヒマシガ、其點如何デスカ

○鹽野國務大臣 外部カラ働キ掛ケル場合ニ於キマシテハ、多クハ是等ノ四十四條、四十五條ニ規定致シテ居リマスル犯人ノ共犯ノ關係ニナルコトガ多イデアリマセウシ、或ハ刑法ニ在リマスル竊盜、強盜ト云フヤウナ犯罪ニ觸レル場合モアリマセウシ、又昨年改正セラレマシタ軍機保護法ニ依ル取締モ受ケルノデアリマシテ、必シモ法ノ不備トハ考ヘテ居リマセス

○羽田委員 昨年制定サレマシタ軍機保護法ハ、所謂高度ノ軍機ノ機密ヲ保護スル法律デアリマス、隨ヒマシテソレハ統帥權ニ關スル所ノ——側カラハチヨイト行ッテ取ツテ來ルト云フヤウナコトノ出來ナイ金庫ノ奥ニ納メ、統帥權ニ關スル重要ナル立場ニ居ル方ガ、非常ニ機密ニシテ居ラレル所ノ、

例ヘバ陸海軍ノ中ニ於テモ數人シカ知ラナイヤウナ、サウ云フヤウナモノヲ取ルコトガ、軍機ノ機密ニ依ッテ取締ラレテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ例ヘバ此總動員法案ニ規定スルヤウナ、各會社ノ事業トカ云フヤウナコトニ對スル機密、所謂經濟上ノ機密ト云フヤウナコトニ付テハ、此軍機保護法デハ取締レナイ立場ニナッテ居リマシガ、此點如何デゴザイマセウ

○鹽野國務大臣 御説ノヤウニ軍機保護法ハ、軍機ノ保護ノ目的ト致シマスルガ、本總動員法ノ官廳ノ機密ノ中ニハ、ヤハリソレニ關係スルモノモ或ル部分ハ、軍機保護法ニ依ッテ取締リヲ受ケルデアラウト云フコトヲ申シタニ過ギナイノデアリマス

○羽田委員 サウシテ此取締ニ對シテ、精細ナル規定ヲ設ケテ居ル限リニ於キマシテハ、國民ガ眞劍ニナッテ協力シテ、此法案ノ内容ヲ達成シナケレバナラス、其時ニ於キマシテ國民ノ中ニ於テ是等ノ祕密ヲ盜ミ取ラウ、斯ウ云フ者ハ憎ンデモ餘リアルベキモノデアルト思ヒマス、此者ニ對シテ取締規定ヲ拔カシタト云フコトハ、大キイ失態ダト思フノデアリマス、如何デゴザイマセウカ

○青木政府委員 御尋ノ點ハ現行法及ビ今

回ノ法律ヲ以テ、必シモ完全トハ考ヘテ居リマセスノデ、只今研究致シテ居リマス

○羽田委員 研究中デアリマスカラ、是レ以上言フノモドウカト思ヒマスルガ、併ナガラ既ニ此法案ハ十七年モ研究サレタ法案デアリマス、十數年モ研究サレタ法案デアリマスカラ、今此場合ニ當ッテ研究中デア

ル、而モ此重要ナル「スパイ」行爲ヲ取締ル取締規定其モノヲ研究中デアルト云フコトハ、洵ニ何ト言フカ十數年ノ間何ヲサレテ居ツカト云フコトヲ、私ハ洵ニ遺憾ニ思フ

ノデアリマス、併ナガラ研究中デアリマシタルカト、正直ニ言ハレルノデアリマシタルカ、敢テ是レ以上責メマセス、ドウカ間諜防止ノ規定ハ、此法案ノ上ニ於テ國民ガ總テ總動員ヲショウト云フ時ニ當ッテ、此國民ノ總意ニ反スルヤウナ、又日本ノ國ヲ賣ルト云フヤウナ、斯ウ云フ者デアリマシ

カラ、斯ウ云フ者ハソレこそ私ハウント嚴重ニ取締ツテ載キタイト思フノデアリマス、ドウカ其意味ニ於キマシテ此法案其モノガ理想案デハナイト云フコトヲ、私ハ青木政府委員ニ依ッテ明瞭ニ證明サレタト思フノデアリマスガ、政府ハ是レ以上尙ホ若干ツツ法案ニ手ヲ入レル御意思ガアリマスカドウカ

○鹽野國務大臣 只今ノ所ニ於テハ、此案ヲ以テ十分ト考ヘテ居ルノデアリマシガ、尙ホ今後ニ於キマシテ研究ヲシ、篤ト考ヘルモノガアリマシレバ、之ヲ改正スルニハ各カデハナイノデアリマス

○羽田委員 只今ノ御答辯ヲ承リマシテ、私ハ必シモ政府ガ此法案其モノヲ固執サレナイ、謂ハム未定稿デアル、其意味ニ於テ議會ニ、十分ニ手ヲ入レルコトヲ御許シニナルト云フヤウニ解釋致シマスガ、如何デゴザイマスカ

○鹽野國務大臣 只今ノ所ハ完全ノ案トシテ提出シテ居ル次第デアリマシカ、左様御承知ヲ願ヒマス

○羽田委員 今青木政府委員ハ完全デナト言ハレマシタガ、司法大臣ハ完全ト申サレマシタ、何レガ本當デアリマスカ、一寸御尋致シマス

○青木政府委員 先程ノ御尋ノ點ハ、此國家總動員法ノ修正トシテ、必ズシモ立案スベキモノト考ヘテ居ル次第デアリマセヌ、其立法ノ形式内容共ニ研究シテ居ルノデアリマス

○羽田委員 斯ウシテ罰則ガ殆ド漏ラサズニ規定サレテ居ル所ニ、タツタ一ツノ罰則ガ而モ國ヲ賣ルト云フヤウナ重要ナル「ス

バイ」ヲ取締ル規定ガ、拔ケテ居ルト云フコトハ、而モ此罰則ヲ澤山ズラ／＼ト竝ベナガラヤッタト云フコトハ、秀才ノ官僚諸君ガ如何ニモ手ヌカリデアルト云フコトヲ申上ゲテ、此以上ニ申上ゲマセヌ

幸ヒニ總理ガ參ラレタノデ、私ハ總理ニ對シマシテ御質問申上ゲタイト考ヘテ居リマス、今ヤ我國ハ全ク未曾有ノ歴史のナ、重大ナル時局ヲ收拾スベキ大事業ニ直面シテ居ルノデアリマス、之ニ對處スル爲ニ、本總動員法案モ提案サレタト私ハ考ヘテ居リマス、然ルニ此重大ナル戰時議會ニ於キマシテ、如何ニモ政府ト議會トノ關係ガ、水臭過ギハシナイカト云フコトヲ痛憤ニ堪ヘナイ者デアリマス、而シテ此原因ヲ探究シテ見マスト、先ヅ第一ニハ、近衛内閣ニ對シテハ、議會ハ精神のニ支持ヲ致シ、舉國內閣ト申シテハ居リマスケレドモ、併ナガラ直接政黨ニ基礎ヲ置カス、足場ヲ持タヌ超然内閣ガ、此ヤウナ結果ニ至ツタモノデアルト思フノデアリマス、更ニ第二ノ點ハ、國民代表ノ府タル議會ノ權限ガ、今日ハ失墜致シマシテ、行政部ニ對スル監視のナル機能ヲ失ツテシマツテ、徒ニ官僚ガ時ヲ得顔ニ横行跋扈ヲ恣ニシテ居ルコトデアリマス、殊ニ窓口タル地方官廳ニ於テ、是ガ最モ甚シイ

ノデアリマス、此國民ノ憤懣ガ總テ此議會ニ反映致シマシテ、官僚ノ專横糾彈ト其責任ノ追究ガ、政府ト議會トノ間ニ水臭サヲ醸成スル原因デアルト思ヒマス、茲ニ於キマシテ私ハ此議會ノ運用ノ爲ニモ、又官僚ノ專横ヲ抑制シテ、眞ニ官民融和一致ノ下ニ、此重大ナル時局ヲ突破スル爲ニモ、少クモ絕對過半数ヲ超エタル所ノ正シキ、且ツ強キ政黨ヲ作ツテ、之ヲ基礎トスル内閣ヲナケレバ、此眞ニ重大ナル難局ヲ打開スル所ノ力ガナイ、時局ヲ擔當スル所ノ力ガナイ、斯ウ云フヤウニ考ヘル者デアリマス、此法案ニ依リマシテ、總動員體系ヲ整ヘラレヨウトシテ居ル近衛内閣ニ於キマシテハ、此絕對過半数ノ政黨ノ足場ヲ持ツト云フコトガ、先決ノ問題デハナイカト思フノデアリマス、所謂舉國一致ノ超然内閣ノ無力ナルコトニ付キマシテハ、齋藤内閣、岡田内閣、廣田内閣、林内閣、更ニ現内閣マデノ經緯ニ鑑ミマシテ、是ハ既ニ試驗済デアリマス、明瞭ニ證明サレテ居ル所デアリマス、近衛總理ハ清新ニシテ強力ナル新黨樹立ニ對シテ、如何ニ御考ニナツテ居リマスカ、兩三日來新聞ハ國民ノ信望ヲ集メラレテ居ル所ノ近衛總理ガ乗出シテ、黨首トナツテ新黨ヲ作ルト云フヤウナ噂ガ專ラサレテ居ルノデア

リマス、私ハ賢明且ツ國民ノ信望ヲ一身ニ集メラレテ居ル所ノ總理ガ、一身ヲ顧ミズ致シマシテ、己ヲ空シクシテ此黨首トナラレテ、新日本建設ノ第一線ニ立タレマシテ、國民ト共ニ其國民ノ先頭ニ立ッテ堂々此行進ヲシテ行クコトハ、國民ノ雙手ヲ舉ゲテ歡迎スル所デアリ、且ツ又此重大ナル難局ヲ打開スル——全ク未曾有ノ此重大ナル難局ヲ打開スル所ノ、一番ノ途デハナイカト思ヒマス、總理ノ此新黨ニ對スル考ヘ方、竝ニ只今新聞デ噂ヲサレテ居ルヤウナコトニ付キマシテノ、總理ノ御率直ナル御心境ヲ承リタイト考ヘテ居リマス

○近衛國務大臣 私ハ立憲政治ガ行ハレテ居ル國ニ於テ、國政ノ圓滑ナル運用ヲ致シテ參リマスル爲ニハ、政黨ノ存在ト云フモノハ缺クベカラザル必要ノアルコトヲ痛感スルノデアリマス、此政黨ト政府トノ協力ニ依リマシテ、圓滿ナル國政ノ運用ノ出來ルコトヲ衷心ヨリ希望スル者デアリマス

○羽田委員 是以上熟慮靜思中ノ近衛公ノ心境ヲ擾亂スコトハ、私ハ考ヘテ居リマセヌ、願クバ國家ノ爲ニ斷然ト斷起サレマシテ、八紘一字ノ新日本建設ノ大使命ニ向ッテ邁進セラレンコトヲ、我國ガ正ニ重大ナル——歴史的ニ重大ナル局面ニ直面シテ居レ

バコソ、私ハ願ッテ已マナイ者デアリマス、是以上ハ申上ゲマセヌ

次ニ私ハ此法案ニ戻リマシテ申上ゲタイノデアリマスルガ、先達テ本委員會ニ於キマシテ總理ハ、小山、豐田兩委員ノ質問ニ對シマシテ、即チ先達テ政府カラ國家總動員法案施行要綱ト云フモノヲ、私共ノ手許ニ配布サレタノデアリマスルガ、此勅令要綱ヲ國家總動員法案ノ中ニ出來ルダケ多ク收容シヨウト云フ質問ニ對シマシテ、總理ハソレハ不可能ダ、更ニ敷衍サレマシテ、豫測シ得ナイコトヲ規定スルコトハ不可能デアルト云フヤウナ御話ガアツタノデアリマス、私ハ本法案ノ生死ノ鍵ハ、不可能カ可能カノ何レヲ選バカト云フコトニ懸ツテ居ルト思フノデアリマス、先達來ノ此委員會ニ於ケル空氣ヲ見マシテモ、本法案ノ一番ノ難點ハ、何ト申シマシテモ當然此法案ノ條文ノ中ニ規定スベキ所ノ憲法第二章ノ臣民ノ權利、自由ノ實體ヲ、勅令ニ餘リニ多ク任シ過ギテ居ル、之ヲ此法案ニ盛込ムコトガ、詰リ憲法違反ノ點ヲ緩和スルコトデアル、斯ウ云フコトガ此委員會ノ全體の空氣デアリマシタ、私ハ何モ總動員計畫ノ秘密ヲ相手國ニ知ラレタリ、我國ノ不利ヲ招クヤウナ、サウ云フ秘密事項ヲ此法

案ノ中ニ盛込メト云フノデハアリマセス、又豫測シ得ナイコトヲ此中ニ書込メト、斯ウ云フノデハナイノデアリマス、出來ルダケノコトヲ此法案ノ中ニ書込シデ、少トモ憲法第二章ニ於テ命ズル所ノ臣民ノ權利、自由ハ、法律ニ依ッテ規定スベシト云フ、欽定憲法ノ此御精神ヲ、又憲法ノ規定ヲ活カスト云フコトガ必要デアルト思フノデアリマス、願クバ率直ニ不可能ナル言葉ニ付テ、之ヲオ引込メ下サルヤウニ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○近衛國務大臣 委任勅令ノ内容ヲ法律ニ書クコトガ、何故ニ不可能カト云フ話デアリマスガ、此點ニ付キマシテハ先般モ申上ゲマシタヤウニ、今日ニ於テ戰時ノ場合ニ豫想シ得ラレル最大限度ノ事柄ハ、此法案ニ規定セラレテ居ルノデアリマスカラ、其範圍内ニ於テドノ程度ニ發動致シマスカト云フ問題ニナリマス、是ハ個々ノ場合ノ、或ハ戰爭ノ規模ノ大小、或ハ相手國ノ如何等ニ依リマシテ、ソレノ事情ガ變リマシテ、之ニ對シテ敏速ナル又適切ナル措置ヲ講ズルガ爲ニハ、玆ニ法律トシテ明記スルコトハ難シイノデアリマス、隨テ此委任ノ勅令ヲ法律トシテ書クト云フコトハ、不可能デアルト云フ風ニ申上ゲタノデアリマス

○羽田委員 總理ノ御答辯ニハ満足ガ行キマセス、戴キマシタ印刷物ガ随分アリマス、第四條カラ第二十九條關係マデ澤山ノ勅令ノ要綱ガアリマス、此勅令ノ要綱其儘此法文ノ中ニ織込メバ、最モ理想デアリマセウガ、ソレヲ私ハ求メテ居ルノデハアリマセス、豫測シ得ザルコトガ、所謂此間カラ政府ガ非常ニ魔術的ニ使ハレル所ノ千變萬化ナル此事態ヲ拘束スルヤウナ工合ニマデ、私ハ此勅令ノ案ヲ其儘此法案ノ中ニ織込メト、斯ウ云フヤウナ無理ヲ申ス譯デアリマセス、又同時ニ總動員計畫ノ祕密ニナル事項ヲ、此法案ノ中ニ入レテ、折角ノ我國ノ總動員計畫ト云フモノヲ、相手方或ハ第三國ニ知ラレルト云フヤウナ、國ノ不爲メニナルコトマデモ、此法案ノ中ニ織込メト、斯ウ申スノデハナクテ、一ニ此法案自體ガ、餘リニ委任勅令ニ委セ過ギテ居ル、先達テ來屢、各位カラ申サル、ヤウニ、全ク白紙委任狀ヲ議會ニ要求スルモノデアル、此白紙委任狀ヲ要求スルト云フ非難ヲ緩和致シマシテ、出來ルダケ臣民ノ權利、自由ノ憲法第二章ノ御精神ヲ、又規定ヲ本當ニ活カシテ行ク、ソレガ立憲的デアルト、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、私ハ此法案ノ中ニ出來ルダケノモノヲ織込メト云フコトヲ申上ゲル

ノデアリマス、其場合ニ於テ、ソレスラモ不可能デアル、包括的ニ不可能デアルト云フコトニナリマス、遺憾ナガラ私ハ此重大ナル時局ニ於テ此法案ヲ其儘返上シナケレバ、私個人トシテハナラナイヤウニ思フノデアリマスガ、此點ニ付キマシテ總理ノモウ一回率直ナル御答辯ヲ得タイト考ヘテ居リマス

○近衛國務大臣 御精神ノ程ハ能ク分リマシタケレドモ、此法案ニ只今御話ノヤウナ具體的ノコトヲ明記スルト云フコトハ困難デアルト云フコトヲ、先程申シマシタコトニ依ッテ、御諒承願ヒマス

○羽田委員 ドウモ洵ニ遺憾デゴザイマス、此間カラモ屢、豐田委員其他カラ明快ナル質問ガ行ハレマシテ、例ヘバ帝國臣民ノ徵用ニ關スルコトデ、日本臣民ハ老弱男女ヲ問ハズ徵用スルト云フ漠タル規定ニ對シテハ、之ヲ年齡ニ於テ、性別ニ於テ制限スルコトガ出來ハセヌカ、是ハ外國ノ立法令ヲ敢テ眞似ル譯デハナイガ、例ヘバ「チェコスロバキヤ」ノ法律中ニモ、チャント規定シテアル、何モ臣民ヲ徵用スルト言ッテモ、全クノ赤ン坊ヲ徵用シタリ、オ婆サンヤ、オ爺サンヲ徵用スルコトガ出來ルヤウナ事態ハ、恐ラク日本ニ於テハ生ジナイト思フノデス、

ドンナニ千變萬化ニナラウトモ、相手方ガドンナニ出ヤウトモ、オ爺サンヤ、赤ン坊ヲ徵用致スト云フコトハ恐ラクナイト思フ、若シオ爺サンヤ、オ婆サンガ「スパイ」ノ役ニ立ツト云フコトガアツタラバ、サウシテ希望者ヲ募ッタラバ、徵用サレナイデモ幾ラデモ喜ンデ出テ來ルノデアル、サウ云フヤウナコトヲサレナイデモ、私ハ此徵用ノ規定ノ中ニハ、少クトモ或ル一定ノ年齡位ハ明瞭ニスルト云フコトガ、國民ノ一番大切ナ身體自由ノ問題デアリマスカラ、是非共必要ニ思フノデアリマスガ、斯ウ云フコト迄モ規定出來ナイト云フ話ハナイト思フノデアリマス、モウ一回其點ニ付キマシテ、總理ノ御答辯ヲ煩シタイト思フノデアリマス

○近衛國務大臣 只今ノ所デハ政府ト致シマシテハ、此案ガ最モ適當ナリト考ヘテ居リマス

○羽田委員 總理ノ御答辯デハ、只今ノ所デハ理想案ダト云フ御話デアリマスカラ、只今デナク段々後ニナリマスレバ、段々ソレガ崩レテ行クト云フ風ニモ私ハ解釋ガ出來マスカラ、私ハ是以上其問題ニ付キマシテ、總理ニ駄目ヲ押スコトハ致シマセヌデ、結局今後ノ委員會ガ段々ト實體的ニ入ッテ條

文ノ各箇條ニ入ッテ參リマスレバ、自ラ可能
デアル所ノ點ガ明瞭ニナッテ來ルト思フノデ
アリマス、サウ云フモノニ付キマシテハ、
只今ガ過ギテ後ニナリマシタナラバ、是非
共虚心坦懷ニ御採用願ッテ、此法文ニ對シテ
修正ニ同意サレテ、此第二章ノ臣民ノ權利
義務ノ點ニ對シテ、十分御尊重願ヒタイト
思フ、私ノ總理ニ對スル質問ハ是デ終リマ
スガ、御忙シイ總理デアリマスガ、折角御
出デノ時デアリマスカラ、他ノ方々ノ質問
ニ御入り下サッテ結構デゴザイマス

○小川委員長 西尾君

○西尾委員 私ハ本案ガ上程サレル前ナラ
バ兎モ角、一旦上程サレマシテ、而モ政府
ガ確信ヲ以テ通過サセヨウト考ヘテ居ラレ
ルコトニ鑑ミマシテ、若シ是ガ否決等ノコ
トニナリマスナラバ、ソレガ國內ニ於ケル
士氣及ビ國際のニ及ボス影響等ノ重大サヲ
考ヘマシテ、幾分不滿ノ點ガアリマセウト
モ、出來得ル限り政府ニ御考慮ヲ煩シテ、
吾々議員ノ意ノアル所ヲ御酌取りヲ願ッテ、
出來ルダケ良イモノニシテ、是非トモ本案
ヲ通過サセタイト云フ立前カラ、私ハ幾多
ノ質疑ヲ試ミタイト思フデアリマス
政府ノ本案提案説明ノ中ニ「國家總動員
ノ趣旨ハ、國防ノ爲メ物心兩方面ニ互リ國

家ノ全能力ヲ發揮スルノニアリマス」ト云フ
コトガアリマスガ、私ハ先ヅ其心ノ方面、
即チ精神の國家總動員ニ付テ、政府ノ所信
ヲ質シタイノデアリマス、精神の國家總動
員ト云フコトハ、之ヲ一言ニシテ申シマス
ナラバ、日本ノ全國民ガ日本精神ニ透徹ス
ルコトデアリマス、即チ日本精神ノ徹底ガ
精神の國家總動員ノ基本デアルト思フノデ
アリマス、此點ハ嘗テノ國民精神總動員運
動ノ場合ニ於キマシテモ、亦政府ガ勞働週
報六十九號ニ、文部省ノ署名デ日本精神ヲ
昂揚スベシト云フコトヲ、段々ト述ベラレ
テ居ルノデアリマスガ、彼ノ國民精神總動
員運動ガ、其言フ所餘リニ抽象的ニシテ、
大衆ノ理解シ難イモノデアット云フコトト
同様ニ、週報ニ書カレテ居リマスコトモ、其
言辭ハ哲學的デアリ、形而上學的デアリマ
シテ、大衆ノ理解シ得ナイ、相當學問ノア
ル者デモ理解シ得ナイ程度ノ抽象的ナモノ
デアリ、把握スルニ困難デアルト思ヒマス、
政府ノ意トスル所ハ、何トナク感ズルノデ
アリマスケレドモ、是ダト云フコトヲ擲ム
コトハ出來ナイノデアリマス、ソコデ私ハ
茲ニ日本精神トハ如何ナルモノデアるかト
云フコトヲ聞キタイノデアリマスガ、之ニ
對スル政府ノ御答辯モ亦恐ラク抽象的デアッ

テ、擲ムコトハ出來ナイデアラウト思フノ
デアリマス、ソコデ私ハ問題ノ性質上餘リ
ニ具體的ニハ致シ兼ねルノデアリマスガ、
モウ少シ掘下ゲテ之ヲ國民ニ擲マシメル爲
ニ、二三ノ質問ヲ試ミテ見タイト思フノデ
アリマス

第一ニ、日本精神ト資本主義トノ關係、
或ハ總動員ト資本主義ノ關係ニ付テ御尋致
シタイノデアリマス、近衛首相ハ嘗テ、社
會正義ヲ指導精神ニスルト仰シヤットコトガ
アルシ、又或ル時ニハ、利益ノ追求ヲ本意
トスル所ノ機構ニ缺陷ノアルコトハ吾々ノ
認ムル所デアリマシテ、此缺陷ヲ出來ルダ
ケ是正シテ、公益ヲ主眼トスル所ノ經濟ノ
發達ニ依リマシテ、生産力ノ擴充其他ヲ圖
ルト云フコトニ、今後益々官民共ニ協力シ
ナケレバナラスト思ッテ居リマス、トモ言ハ
レタコトガアル、其他屢々時ニ觸レテ首相
ノ御話ニナリマシタコトヲ蒐集編輯シテ見
タナラバ、大體ニ於テ資本主義ヲ少クトモ
是正シナケレバナラスト、之ヲ少シ強ク言ヒ
マスナラバ、資本主義ヲ改革シナケレバナ
ラスト云フコトヲ、從來言ハレテ居ルコ
トガ理解出來ルノデアリマス、併ナガラ是
亦然ラバ資本主義ノ何處ヲ、如何ニシテ改
正スベキカト云フコトニ付テハ、抽象的ニ

シテ餘リ具體的ニナッテ居ナイノデアリマ
ス、併シ私ハ之ニモ一應御尤ダト理解申上
ゲルノデアリマス、何故ナラバ近衛總理ガ
組閣サレマシタ以前ニハ、御承知ノ如ク、
洵ニ我國ニハ外ノ侮ヲ受ケル程、國內ニ對
立相剋ガ激化シテ居ッタノデアリマス、日本
ノ國ノ發展ノ爲ニ、又外ノ侮ヲ防グ爲ニハ、
先ヅ何ヨリモ對立相剋ヲ緩和スルト云フコ
トガ、第一ニ要求サレタノデアリマシテ、
サウ云フ見地カラ、或ハ抽象的ナ言葉デ近
衛總理ノ理想ヲ表現サレテ居ッタト思フノ
デアリマスルガ、併シ最早今日デハ大體ニ
於テ對立相剋ガ緩和サレ、寧ロ近衛總理ヲ
中心ニ致シマシテ、何トハナク國民ノ對立
相剋ハ緩和サレテ參ッテ居ルノデアリマス、
一方今日國家總動員法ヲ必要トスル程、國
內ニ於テハ強力ナ統一ガ必要ニナッテ來テ居
ルノデアリマスルカラ、最早今日ニ於テハ、
モウ少シ總理ハ積極的ニ、此資本主義ニ對
スル缺陷ガ何處ニアルカ、之ヲ是正スル爲
ニハ如何ナル方法ヲ執ルベキデアるかト云
フコトヲ主張スベキ時デハナイカ、更ニ強
ク言ヒマスナラバ、最早今日ノ國情ニ於キ
マシテハ、過去ノ思想、過去ノ制度、サウ
云フモノニ對シテ何トハナク不安ヲ皆ガ持ッ
テ居ル、新シイモノハ生レヨウトシテ居ル

ケレドモ、マダ確信ヲ持ッテ居ナイ、斯ウ云フ時デアリマスルカラ、或ハ「ストーリー」ノ如ク、或ハ「ムツリ」ノ如ク、或ハ「ヒットラー」ノ如ク大膽率直ニ、日本精神ハ是ダ、日本ノ進ムベキ道ハ是ダト云フコトヲ、全國民ニ指シ示ス時機ニ到達シテ居ルノデハナイカト思フデアリマス、斯ウ云フ趣旨カラ、私ハ總理ガ總動員法ヲ續ッテ、日本精神ト資本主義トノ關係ニ付キマシテ、出來ルダケ具體的ニ、此機會ニ於テ表明サレンコトヲ切望スル者デアリマス

○近衛國務大臣 國民總動員ノ目的ヲ達スルガ爲ニハ、日本精神ノ徹底ヲ期スルコトガ、先ヅ第一ニ眼目デナケレバナラスト云フ御話ハ、洵ニ御同感デアリマシテ、日本精神ノ徹底ヲ期スルコト云フコトニナリマスレバ、自ラ資本主義ノ弊害ハ是正セラレルモノト考ヘルノデアリマス、資本主義ニ對シマシテハ、嘗テ屢々申述べマシタウニ、資本主義ノ弊害ノ點ハ之ヲ是正シテ行カナケレバナラスト云フ信念ニ於キマシテハ、今日モ變リハゴザイマセス

○西尾委員 日本精神ガハッキリ政府ニ依ッテ説明サレマスナラバ、總理ノ只今ノ御答辯デ、吾々國民ハ諒解出來ルノデアリマ스가、日本精神其モノガハッキリ表明サレテ

居ナイ、具體化サレテ居ナイト云フ意味ニ於テ、私ガ資本主義ヲ捉へ來ッテ、之ヲ明ニシヨウトシタノデアリマスガ、御答辯抽象的デ甚ダ要領ヲ得マセス、然ラバ別ナ方ヲモット御尋致シマスルガ、「國民精神總動員ノ本義」ト云フ埼玉縣カラ出シテ居ル斯ウ云フ「パンフレット」ガアルノデアリマス、是ハ國民精神總動員ノ期間ニ、其目的ノ爲ニ出シテ居ルノデアリマスガ、是ハ埼玉縣廳カラ出版シテ居ルノデアリマスルカラ、政府ニ於テモ責任ヲ持ツベキ性質ノモノダト思フノデアリマスガ、其要點ヲ讀上ゲテ見マスルト、「資本主義ハ個人主義及自由主義ノ原理ニ立ッテ經濟ヲ運用セントスル主義デアルガ、ソノ特長ハ次ノ三點ニアルト云ヘヨウ、一、個人ノ私有財産ヲ絕對的ニ神聖視スルコト、一、凡テノ經濟ハ私人ノ營利トイフコトヲ第一目的トシテ運營スベキデアルトスルコト、一、經濟上ニ於ケル各人ノ競争ヲ自由ニ放任スルコトガ社會經濟生活ノ發達上、最善ノ途デアルトスルコト」斯ウ云フ風ニ資本主義ノ特長ヲ規定致シテ居ルノデアリマス、更ニ其次ニ、中略致シマシテ「然シ、熟スレバ朽チル」ノ譬ニ洩レズ、個人主義、自由主義モ熟シテハ漸ク弊害ヲ生ズルニ至ツタ、即チ國家ヨリモ個人

ヲ重シトシ、統制ヨリモ自由ヲ重シトスル個人主義、自由主義ハ、漸ク利己主義、即チ勝手氣儘主義トナリ、強者ハ全體ノ福祉ヲ忘レ、益々盛シニ自己ノ利益ト優越ト主張セントスルニ至リ、弱者ハ永久ニ不遇ニ沈湮シナケレバナラストトナツタ」斯様ニ言ウテ居ルノデアリマス、此趣旨ヲ御認メニナリマスカ

主義ト「ファシズム」トガ、其オ互ノ抗争ノ爲ニ、他ノ諸要素ヲソレレノ陣營ニ吸收スル、ソレレノ陣營ニ共同戰線ヲ張ッテ、所謂國民ヲ二ツノ階級ニ截然ト分ツト云フヤウナ關係ニ、今日ナツテ來テ居ルノデアリマス、之ヲ思ウテ我國ノ事情ニ振返ッテ見マスナラバ、日本ニ於テハ、共產黨ト云フモノガ合法的ナ存在ヲ許サナイノデアリマス、隨テ有力ナル共產黨ト云フモノハ存在シナイノデアリマス、サウ云フ所ニ於テハ、共產黨ガ中心ニナツテ他ノ黨派ノ者、或ハ他ノ團體ノ者ト組ンデ「ファシズム」ニ對抗スルト云フ其事ガ不可能ナノデアリマス、又我國ニ於テハ「ファシズム」的ナ傾向ハ強イノデハアリマスケレドモ、マダ劃然タル「ファシズム」團體ト云フモノハ出來テ居ナイノデアリマス、「ファシズム」團體ト共產主義團體ト存在スル所ニ、眞實ノ意味ニ於ケル人民戰線ト云フ運動ガ擡頭スルノデアリマスケレドモ、斯ウ云フ要素ヲ缺イテ居ル我國ニ於テハ、眞實ノ意味ニ於ケル人民戰線運動ト云フモノハアリ得ナイノデアリマス、日本ニアリマスル所ノ人民戰線運動ト云フモノハ、眞實ノ人民戰線運動デハナクシテ、ソレハ共產主義運動デアリマス、即チ共產主義者ガ人民戰線ノ「カムフラージュ」ヲ以

○西尾委員 御認メヲ戴キマシテ、稍、資本主義ニ對スル政府ノ考ト云フモノガ明ニナツタト思ッテ、満足致スノデアリマス

次ニハ總動員ニ關シテ日本精神ト共產主義、人民戰線ノ問題ニ付テ、一言述べテ見タイト思フノデアリマス、言フ迄モナク共產主義ハ、我が國體ト絕對ニ相容レナイモノデアルコトハ、最早多言ヲ要シナイノデアリマス、併シ人民戰線トナリマス、稍、是ハ問題ガ殘ルノデアリマシテ、一言致シテ置ク必要ガアルカト思フノデアリマス、人民戰線ノ運動ト云フモノハ、中歐ニ於テ先ヅ共產主義的ナ運動ガ非常ニ熾烈ニナツテ來タ、其共產主義的ナ運動ノ缺陷ガ、又一面ニソレニ對抗スル所ノ「ファシズム」ノ擡頭ヲ促シタノデアリマス、サウシテ共產

テ、幾ラカ歐米ノ共產主義ト違ッタ、人民戦線ノ形ヲ變ヘテ共產主義ノ運動ヲシテ居ル

ノデアリマシテ、日本ニ於テハ人民戦線運動ト云フモノハ、共產主義運動ト同斷ト考ヘテ宜イト思フノデアリマス、隨テ此點ニ於テモ議論ノ餘地ノナイ點デアリマシテ、總動員ノ計畫ノ上ニ於テハ、殊ニスウ云フ問題ニ付テハ、十分ナ注意ヲシナケレバナラスノデアリマス、併ナガラ一面考ヘマスナラバ、日本ニ於テソレハ嚴重ニ取締ラナケレバナラスノデアリマスケレドモ、餘リニ必要以上ニ之ニ對シテ神經質ニナルコトハ要ラスデハナイカト思フノデアリマス、日本ノ國民性、或ハ日本ノ古來ヨリノ傳統、サウ云フモノヲ考ヘテ見マスルナラバ、共產主義ニ、若シ一部ノカブレタ者ガアリマシテモ、是ガ擴ガル可能性ハナイト私ハ信ズルノデアリマス、共產主義或ハ人民戦線ト云フ言葉ヲ、寧ロ「ファシズム」的ナ傾向ヲ持ッタ者ガ高ク叫ブコトニ依ッテ、何デモカデモ自分以外ノ者ハ共產主義デアル、人民戦線デアルト云フコトニ依ッテ、自己ノ「ファシズム」運動ノ爲ニ之ヲ利用シテ居ル嫌ガアルト思フノデアリマス、此點ニ付テハ今後國民ノ精神ヲ總動員シナケレバナラス、國民精神ノ統一ヲシナケレバナラスト云フ時期ニ於キマシテハ、

之ニ付テハ十分ナル御考慮ヲ拂ッテ貰ヒタイト思フノデアリマス

次ハ總動員ト「ファシズム」ノコトニ付テ御伺致シタイノデアリマス、是ハ大イニ警戒シナケレバナラスト思フノデアリマス、此議場ニ於キマシテ同僚ノ委員カラ、屢、此點ニ付テ述ベラレタノデアリマスガ、私ハ少シク方面ヲ變ヘテ、此點ヲ論ジテ見タイト思フノデアリマス、「ファシズム」ト日本精神ト云フカ、或ハ愛國主義ト云フカ、サウ云フモノ等ニ於テハ、國モスレバ混同サレ易イ點ガアルカラ危險ナノデアリマス、「ファシズム」ノ思想ハ、其特徵トスル所ハ排他的デアリマス、日本精神ノ特徵トスル所ハ包容的デアリ、融合的デアリ、綜合的デアルト思フノデアリマス、此點ニ於テ「ファシズム」ト日本精神トノ區別ヲ明ニシナケレバナラスト思フノデアリマス、兎角此愛國團體デアルトカ、或ハ日本主義ノ團體デアルトカ云フヤウナコトヲ言フ人々ニ取リマシテハ、今日ノ我國ノ政治的ナ或ハ思想的ナ、社會的ナ弊害ハ、總テ歐米文化、科學、サウ云フモノヲ採入レタガ爲ニサウナッタノダ、ダカラ之ヲ排斥シナケレバナラスト云フ所ノ、所謂卑俗ナル國粹主義ニ墮シテ居ル者ガ多イノデア

リマスルケレドモ、吾々ノ信ズル所ニ依リマスナラバ、日本ノ歴史ニ考ヘテ見マシテモ、日本ハ多クノモノヲ攝取シ、ソレヲ消化シテ、サウシテ今日ノ日本ヲ築キ上ゲテ來タノデアアル、日本ハ決シテ他ノモノヲ恐レ、排斥スルモノデハナクシテ、勇敢ニ之ヲ攝取スル、善イモノハ採リ、惡イモノハ嚙ンデ吐出スト云フ所ニ、此日本精神ノ大膽サト包容性ト綜合性ガアルト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此點ニ付キマシテ貴族院ニ於テモ小坂順造氏ガ色々述ベラレテ居ルノデアリマス、陛下ノ赤子デアル所

ノ全國民ヲ、自己ノ偏見カラ其愛國心ヲ疑ヒ、或ハ之ヲ裁クト云フコトハ怪シカラヌト云フヤウナコトヲ言ハレテ居ルノデアリマスガ、全ク私モ同感デアリマス、吾々ハ斯ウ云フヤウナ考ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、政府ハ「ファシズム」或ハ日本精神、或ハ日本主義、或ハ愛國團體ノ人々ガ目標トスル團體ニ付テハ、色々言ッテ居リマスケレドモ、「ファシズム」其モノニ對スル政府ノ認識、或ハ之ニ對スル批評ハ餘リ見ラレナイノデアリマス、此點ニ對シテ吾々ハ甚ダ不滿ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、此機會ニ於キマシテ、政府ハ「ファシズム」ニ對シ、殊ニ此總動員法ヲ實行シナケレバナラ

スト云フ今日ノ事情ニ鑑ミマシテ、嚴重ニ取締ルベキモノデアルト思ヒマスガ、政府ノ所見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○近衛國務大臣 「ファシズム」ト云フモノノ詳シイコトハ、私モ研究ヲ致シテ居リマセヌ、併ナガラ只今御話ノ如ク、日本精神ト云フモノハ、決シテ排他的ノモノデアッテハナラス、又此日本精神ヲ實現シ、徹底スル上ニ於テ、暴力的ノ手段ヲ以テ、動モスレバ色々運動ガ行ハレルト云フコトハ、是ハ嚴重ニ取締ラナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○西尾委員 大體以上ニ依リマシテ、日本精神ト云フモノハ「ファシズム」或ハ資本主義トハ相容レナイモノデアルト云フコトガ諒解サレマシタノデ、其事ニ付テ尙ホ細カイ點ヲ聽キタイノデアリマスガ、是ハ後刻内務大臣ニ御伺スルコトニ致シマシテ、次ノ問題ニ移リタイト思フノデアリマス

是ハ他ノ同僚ノ委員カラモ段々御話ガアッタノデアリマスルガ、本案ニ對スル政府ノ説明ハ、是ハ軍需ニ應ズルバカリデナク、民需ニモ應ズル爲ニ此法案ガ必要デアル、即チ軍需工業動員法ノ缺クル所ヲ補ヒ、此法案ニ依ッテ國民生活ヲ確保スルコトガ出來ルノダト云フコトヲ言ハレテ居ルノデア

リマスルガ、併シ其事ハ一言半句モ此法文
ノ中ニハ現レテ居ナイノデアリマス、ソコ
デ私ハ此精神ヲ各條項ノ何處ニ持ッテ行ケ
ト云フコトヨリモ、第一條ニ此精神ヲ織込
ムベキデハナイカト思フノデアリマス、即
チ第一條ノ「國防目的達成ノ爲」ト云フ文字
ノ下ニ、「軍需ノ充足ト國民生活ノ確保ヲ圖
リ以テ」ト云フ言葉ヲ入レマスナラバ、政府
ノ精神ガ最モ明瞭ニ此法案ノ中ニ現レルノ
デハナイカト思フノデアリマスガ、此點ニ
對スル政府ノ所見ヲ承リタイト思ヒマス

○近衛國務大臣 國民生活ノ確保ト云フコ

トラ、第一條ノ字句ニ入レテハドウカト云フ
御話デアリマスガ、第一條ニ「國防目的達成
ノ爲國ノ全力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル様」
ト云フコトガ書イテアリマスガ、是ハ獨リ
兵力ノ充實ノミデハナイノデアリマシテ、
結局國民ノ生活ヲ向上セシメ、又其安定ヲ
確保シナケレバ、是ハ期待シ難イノデアリ
マスカラ、只今御話ノ點ハ、是ハ當然ノ内
容トシテ、此中ニ包含セラレルモノト考ヘ
テ居リマス

○西尾委員 私ハサウ理解致シマスケレド

モ、其政府ノ意思、或ハ此法案ノ精神ハ、
私ノ申上ゲマスヤウナ字句ヲ入レマスコト
ハ、何等不都合ナク、而モ一層明瞭ニナル

ト考ヘテ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、是
ハ又他ノ機會ニ於キマシテ政府委員ニ御伺
スルコトト致シマシテ、只今ノ答辯デ満足
致シテ置キマス

次ニハ運用機關ノ問題デアリマスガ、是
モ亦他ノ委員カラ段々聞カレテ居リマスカ
ラ、ソレト重複ヲ避ケテ申上ゲテ見タイト
思フノデアリマスガ、總動員法第五十條ノ
總動員審議會ノ構成ノ問題デアリマス、從
來ノ企畫審議會ノ構成員ノ額觸ヲ見マスル
ト、官吏ガ十七名、貴族院、衆議院ガ五名
宛、財界有識者ガ二十二名トナッテ居リマ
スルガ、此間總理モ御言明ナサイマシタヤ
ウニ、出來ルダケ貴衆兩院議員ヲ多ク入レ
ルト云フコトデアリマスルカラ、此點ハ餘
程緩和サレルト思フノデアリマスガ、併ナ
ガラ此企畫審議會ノ中ニアリマス所ノ財界
有識者ト云フ二十二名、此者等ノ額觸ヲ見
マスルト、多クハ所謂資本家階級デアリマ
ス、此國家總動員法ト云フモノノ運用ハ、
其中ニ勞働動員ガ非常ナ重要ナル地位ヲ占
メテ居ルノデアリマス、隨テ斯様ナ第五十
條ニ示サレタ審議會ニハ、當然勞働者ニ關
係ノ深い、例ヘバ勞働組合ト云フヤウナモ
ノノ人々ヲ相當ニ入レルベキデアル、サウ
シナケレバ此總動員計畫ノ實行其他ノ審議

ト云フコトガ十分ニ行カヌノデハナイカ、
斯様ニ考ヘルノデアリマス、是ハ重要ナ點
デアリマスルカラ、總理カラ御答ヲ願ヒタ
イト思ヒマス

○近衛國務大臣 洵ニ御尤デアリマシテ、

其點ニ付キマシテハ能ク考慮ヲ致シマス

○西尾委員 次ニハ官吏制度ノ問題ニ付テ

伺ヒタイノデアリマスガ、是ハ政府モ屢、言
明サレ、殊ニ總理大臣ガ本法案ノ實行ニ當
ルニ付キマシテハ、ソレト併行シテ、現在
ノ官吏制度ヲ改革シナケレバナラス、斯ウ
云フコトヲ言ウテ居ルノデアリマスガ、併
シ政府ガ今マデニ片鱗ヲ示サレタ官吏制度
ノ改革ト云フモノデハ、今日ニナッテハ甚ダ
不十分ダト思フノデアリマス、國家總動員
法ヲ必要トシナイ以前デアリマスルナラバ、
政府ガ御考ニナッテ居ルラシク、聽イテ居リ
マスル程度デモ、尙ホ辛抱ガ出來ルカト思
フノデアリマスガ、最早其程度デハイカス
ノデハナイカト思フノデアリマシテ、三四
ノ點ニ付テ總理ニ御尋シテ見タイト思フノ
デアリマス、第一ニハ官吏ノ思想的及ビ社
會的教育ガ必要デハナイカト思フノデアリ
マス、吾々屢、官吏ニ會ウノデアリマスガ、多
ク官吏ニハ命令事項ガ通達サレマスルケレ
ドモ、國際關係或ハ社會ノ動キニ付テハ、

十分ナ理解ヲサセルヤウナ教育ガ行ハレテ
居ナイノデアリマス、其コトガ圖モスレバ、
官吏ガ事務的ナコトニ墮スルト云フヤウナ
結果ニナルノデアリマス、從來デアリマス
ルナラバ、官吏ハ大體法律ノ番人デアル、
法律ヲ逸脱スル者ハ之ヲ縛ル、或ハ其法律
ヲ逸脱シナイヤウニ取締ルト云フ點デアッ
タノデアリマススケレドモ、是カラノ官吏ハ
單ニ結果ヲドウスル、斯ウスルト云フコト
デナクシテ、起リ得ベキ事實ヲ豫メ豫想シ
テ、國民ヲ指導スルト云フコトニ重要ナル
點ガアルノデハナイカ、其點ニ於キマシテ
ハ、官吏ノ再教育ヲスル必要ガアルト思フ
ノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ官吏ノ
自由任用ト云フコトガ問題ニナッテ居ルノ
デアリマスガ、勿論是ハ吾々ノ贊成スル所
デアリマスガ、併シ自由任用スル爲ニハ、
官吏ノ淘汰ガ自然ニ必要ニナルノデアリマ
ス、軍ニ於キマシテハ、大體計畫的ニソ
レソレノ階級々々ニ依ッテ淘汰ガ行ハル、ノ
デアリマスカラ、所謂「ピラミッド」形ニナッ
テ居ル、段々上ニ行ク程少クナッテ居ルノデ
アリマスガ、文官ニ於キマシテハ、圓筒形
ニナリマシテ、何處マデ行ッテモ後ガ間ヘテ
居ル、斯ウ云フ狀態ニナッテ居リマシテハ、
縱シ任用令ガ改正サレマシテモ、民間カラ

有用ナ官吏ヲ入レルト云フコトガ困難デハ
ナイカト思フ、モウ一ツハ民間ニ於キマシ
テハ二ツ三ツノコトニ失敗ヲ致シマシテモ、
後ノ事デウシト成績ヲ擧ゲマスナラバ、彼
奴ハ腕ノアル奴ダト云フコトデ出世スルノ
デアリマスガ、官吏ハ五ツノコトニ成功ス
ルヨリモ、一ツモ失敗ノナイト云フコトガ
官吏ノ出世ノ道デアリマス、サウ云フコト
ノ爲ニ、兎角責任回避ヲスル、或ハ唯無氣
力ニナル、斯ウ云フコトニナルノデアリマ
スカラ、之ニハ考課狀ヲ作ツテ、良イ者ハド
ンドン重ク用ヒテ、成績ノ惡イ者ハ淘汰ス
ル、サウ云フコトガ此官吏制度ノ改革ノ上
ニハ重要デハナイカト思フノデアリマス、

モウ一ツハ官吏ノ官等俸給ト「ポスト」ノ關係
デアリマス、從來ノ官吏ノ昇級ノ様子ヲ見
テ居リマス、寧ロ次カラ次ト官吏ヲ出世
サセル爲ニ其任地ヲ變ヘ、其「ポスト」ヲ變
ヘルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、是レ
亦後ガ間ヘテ居ルカラ、現在ノ制度デハ仕
方ガナイト思フノデアリマスガ、サウデハ
ナクシテ、例ヘバ警察部長デアリマシテモ、
一等縣ノ知事ヨリモ位モ給料モ高クヤツテ
モ宜イ、即チ官吏ノ爲ニ仕事ガアルノデナ
クシテ、仕事ノ爲ニ官吏ガアルノデアル、
適所ニ適任スル者ハ、ソコノ地位ニ五年デ

モ十年デモ置イテ、而モ之ニ増俸ノ途或ハ
官等ノ進ム途ヲ講ズルコトガ必要デハナイ
カト思フノデアリマス、更ニ最後ニハ、官
吏ノ人事行政ハ、各省全部ヲ統一シナケレ
バナラスト云フコトデアリマシテ、内閣ノ
直屬トシテ人事ヲ新設スル必要ガアルト
思フノデアリマスガ、以上ノ點ニ付キマシ
テ、官吏制度ノ改革ニ付キマシテ積極的ナ
御意思ヲ總理ガ持ツテ居ラル、コトハ、私ハ
能ク存ジテ居リマスガ、更ニ今マデノヨリ
ハ一層モット廣汎ナ深刻ナモノデナクテハ
ナラスト云フノガ、私ノ見解デアリマス、
之ニ對スル總理ノ御考ヲ伺ヒタイト思フノ
デアリマス

○近衛國務大臣 此總動員法ノ如キモノガ
實施セラル、ニ至リマスレバ、官吏ノ責任
ハ益々重キヲ加ヘルノデアリマスノデ、政府
ガ豫テ考ヘテ居リマシタ如キ官吏制度ノ改
革ハ一層其重要性ヲ加フルコトニナルノデ
アリマス、只今御話ニ御擧ゲニナリマシタ諸
點ニ付キマシテハ、御同感ノ點モ多クアルノ
デアリマス、大體大綱ノ法制局長官ガ昨日
デアリマシタカ申上ゲタサウデアリマス
ガ、尙ホ政府ト致シマシテモ、考究致シタ
イト思ヒマス

○西尾委員 ソレカラモウ一件總理ニ御伺

シテ置キタイト思ヒマスガ、世界ハ好ムト
好マザルトニ拘ラズ、從來ノ自由主義ニ對
シマシテ、所謂統制主義ト云フモノガ、段々
濃度ヲ増シテ來テ居ルノデアリマスガ、更
ニ其上ニ國家總動員法ガ實施サレルト云フ
コトニナリマスルナラバ、戰時ハ勿論ノコ
トデアリマスガ、平時ニ於キマシテモ、幾
多ノ統制事項ガ殖エテ來ルト思フノデア
リマス、其結果ト致シマシテハ、是ノ運用
ノ衝ニ當ツテ居リマスル官僚ノ權限ガ増大
スルコト、是レ亦勿論デアリマス、此點昨
日作田委員ガ申サレタ通りデアリマス、隨
テ又官僚ノ獨善ニ陥リ、或ハ官僚獨裁ノ傾
向ノ虞ナシトシナイノデアリマス、ダカラ

官僚ニ其運用ノ上ニ於テ支障ノアルヤウナ
邪魔ヲ入レサセテハイケナイノデアリマス、
今後ハ寧ロ益々官僚ノ地位ト云フモノハ高ク
ナツテ行クト思フガ、同時ニソレヲ過ナカラ
シムル爲ニハ、別ナ方法ヲ以テ考ヘナケレ
バナラスト思フノデアリマス、之ニ付テハ
批評ト監督ガ必要デアルト思ヒマス、即チ
此點ニ付キマシテハ從來ヨリモ一層言論ノ
自由ガ尊重サレナケレバナラスノデハナイ
カ、言論ヲ自由ニスル爲ニ起ル弊害モアリ
マスケレドモ、其弊害ナカラシムル爲ニ言
論ノ束縛ガ行キ過ギマス、所謂獨裁的、

獨善的ノ思潮ガ助長サレルトス思ヒマスカ
ラ、此點ハ今後一層考慮サルベキデアルト
思ヒマス、又同時ニ議會ノ權限ヲ増大シナ
ケレバナラスト思フノデアリマス、議會ガ
之ニ對シテ「セーブ」スル、或ハ監督スルト云
フコトニ付キマシテ、中央ノ議會ハ勿論デ
アリマスガ、地方ノ議會ニ於キマシテモ、
議會ノ權限ヲ増大スルト云フコトヲ考ヘナ
ケレバナラス、ソレニハ中央地方ヲ貫ク所
ノ、議會制度ニ對スル例ヘバ選舉法デア
トカ、或ハ其他ノ改革ガ幾多必要デアルト
思フノデアリマスガ、其方針ニ向ツテ政府ハ
御考ニナツテ居リマスガ、ドウカ、總理ニ御
尋致シタイト思ヒマス

○近衛國務大臣 議會制度ノ改革ニ付キマ
シテハ、既ニ調査會ヲ設ケマシテ、貴族院
ノ組織、衆議院ノ選舉法其他ニ付キマシテ
モ調査ニ著手シタノデアリマス、一寸事變
勃發ノ爲ニ中止ノ狀態デゴザイマスルケレ
ドモ、近ク此審議ヲ再ビ開始致シタイト考
ヘテ居リマス

○西尾委員 モウ一點ダケ總理ニ御伺致シ
タイト思ヒマスガ、本法ハ戰時規定ト、ソ
レノ準備規定トアルノデアリマスルガ、私
ノ見ル所ニ依リマスルナラバ、一旦戰爭若
クハ之ニ準ズベキ事變ガ起リマシタ時分ニ

ハ、政府ヨリ屢、御説明ガアリマス通りニ、
ドナタガ其衝ニ當リマシテモ、心カラナル
國民ノ協力ヲ得ルコトガ絶対ニ必要デアル
ノデアリマスカラ、事變ガ起リマシタ後ノ
コトニ付キマシテハ、私ハ餘リ多クノ心配
ヲシテ居ナイノデアリマス、私ハ寧ロ此法
案ハ準備規定ノ中ニ、重要性ガアルノデハ
ナイカト思フノデアリマス、即チ我國ノ戰
争ノ歴史ヲ緝イテ見マシタナラバ、我國ノ
軍ノ特徴ハ、先ヅ「スタート」ガ早イ、機先
ヲ制スルト云フコトガ特徴トサレ、ソレ
ガ又戦争ノ上ニ非常ニ重要ナ役割ヲ務メテ
來テ居ルノデアリマス、而モ軍當局ガ御述
ニナルヤウニ是カラノ戦争ハ最初ノ「ス
タート」ヲ良クスルコト、立上リヲ良クス
ルコト、出來ルナラバ一撃ヲ以テ敵ノ心臓
部ヲ破壊スルト云フヤウナコトガ、非常ニ
戰略上重要ニナッテ來テ居ルト思フノデア
リマス、ソレヲ考ヘマスト、平時カラ戰時
ニ「カーヴ」ヲ切ルト云フ時ハ、出來ルダケ
滑カニ、出來ルダケ敏速ニ「カーヴ」ヲ切ル
ト云フコトガ非常ニ重要ナノデアリマス、
其點ヲ思ヒマスルナラバ、其「カーヴ」ヲ滑カ
ニスル爲ニハ、平時ニ於テ相當思切ッタ改
革ヲヤラナケレバナラスノデハナイカト思
フ、例ヘバ戰時ニナリマスルナラバ、之ヲ

工場ニ例ヲ取ツテ見マスナラバ、最早ヤ或ル
工場デハ營利ヲ目的ニシナイデ、國家目的
ノ爲ニ工場ノ操業ガ營マレルコトニナル結
果トシテ、或ハ勞働者、資本家、或ハ官廳、
サウ云フモノノ代表者ガ集テ、工場委員會
ヲ設置スル、ソレガ工場ヲ管理シ、或ハ運
營シテ行クト云フコトニナラウカト思フノデ
アリマス、サウ云フコトヲ考ヘテ見マスル
ナラバ、前日マデ何モサウ云フコトニ付テ
施設ヲ行ハズニ置イテ、戰時ニナツタカラ泡
ヲ喰ッテサウスルト云フコトデハ、是亦言フ
マデモナク、以前カラソレニ對スル準備ヲ
ヤッテ居ッタ方ガ宜イコトハ明デアリマス、
唯準備ヲヤル爲ニ餘リニ多クノ經費ガ掛ル
ト云フコトハ、經濟上ノ事由ニ依ッテ制限
サレナケレバナラスコトハ勿論デアリマス、
經費ガ掛ラズニ、而モ平時ニ於テモ宜イ、
殊ニ戰時ニナレバ非常ニ宜イト云フコト
ハ、平時ヨリヤッテ置クベキデアルト思ヒマ
ス、政府ニ於テモ戰時經濟四箇年計畫ガア
ルヤウデアリマシテ、其中ニモ勞働ノ組織
ト云フコトガ、項目ノ中ニ舉ゲラレテ居ル
ヤウデアリマス、即チ戰時ニ於ケル勞働動
員ノ場合ニ於テハ、勞働ヲ組織スルコトガ
絶対ニ必要デアル、外國ノ幾多ノ實例ヲ見
マシテモ、戰時ニナッテ勞働ノ組織、勞働動

員ニ付テ、如何ニ當局ガ苦心シテ居ルカ
ト云フコトハ、餘リニ明瞭ナ事實デアリマ
ス、ソコニ思フ及シテハドウカ、近來勞
働ノ組織ノ問題ニ付キマシテ、各方面デ慎
重ナ研究ガ行ハレテ居ルノデアリマス、其
多クノ例ヲ舉ゲマセヌガ、一番重要ナモノ
トシテ私ノ知ッテ居リマス所デハ、勞資協調
會ガ主催スル、時局對策協議會ト云フノガ
アル、其中ノ一部ト致シマシテ、勞資問題
ノ委員會ガアリマス、併シ其「メンバー」ヲ
見マスルト、全產聯、所謂資本家關係ノ「エ
キスパート」ガ甚ダ多クシテ、吾々ノ方カ
ラハ一人シカ出ナイト云フ狀態デアルシ、
論議ノ内容等ニ於テモ甚ダ面白クナイ傾向
ガアルノデアリマス、斯ウ云フコトハ民間
ニ委シテ置クノデナクシテ、寧ロ政府ニ於
テ勞働國策審議會ト云フベキモノヲ拵ヘマ
シテ、サウシテ此國家總動員法ト睨ミ合シ
テ、勞働國策ヲ樹立スルト云フコトガ、非
常ニ重要デアリマス、ソコデ私ハ政府ガ單
ニ之ヲ民間ニ委シテ置カナイデ、政府自身
ノ責任ニ於テ勞働國策樹立審議會ト云フモ
ノヲ設クベキデアル、斯様ニ考ヘルノデア
リマスガ、政府ノ所信ヲ伺ヒタイト思フノ
デアリマス

場合、之ヲ圓滑ナラシムル爲ニ、平時ヨリ
相當ノ施設ノ必要ガアルノデナイカト云フ
御話デアリマス、政府ニ於キマシテモ、國
ノ産業形態ヲ、出來ルダケ一朝非常ノ場合
ニ間ニ合ヒマスルヤウニ導クト云フコトガ
主眼デアリマシテ、重要物資ノ自給自足ヲ
計ル目的ノ爲ニ、生産力ノ擴充ト云フガ如
キ根本ノ計畫ヲ立テマシテ、又其他諸般ノ
工作ヲ講ジツ、アル次第デアリマス、平時
ヨリ資源、勞務等ノ調査ニ付キマシテハ、
固ヨリ平和産業カラ戰時産業ヘ轉換致シマ
ス其場合ノ圓滑ヲ期スル方法ニ付キマシテ
ハ、總動員計畫ト致シマシテ、今日マデ考
究ヲ致シテ來タノデアリマスガ、今後モ尙
ホ一層此點ニ力ヲ注ギタイト考ヘテ居リマ
ス

○作田委員 一寸關聯質問ヲ御許シ願ヒマ
ス

○小川委員長 簡單ナラ御許シ致シマス

○作田委員 私昨日總理大臣ニ御尋シタイ
二三ノ點ガアツタノデアリマスガ、御見エニ
ナリマセヌノデ、大體ハ他ノ方ニ御尋シテ
濟マシタノデアリマス、唯議會制度ノ御考
ヘ方ニ付テ、一言ダケ御尋シタイト思ッテ留
保致シテ置イタノデアリマスガ、今西尾君
ノ御尋ガアツタ選舉法、議會制度ニ付テ御答

辯ガアリマシタノデ、關聯シテ伺ッテ置キタ
イノデアリマス、昨日私ノ質問ニ對シ内務
大臣ハ、選舉法改正ノ意思ナシト云フ御斷
言ヲセラレタヤウニ聽イタノデアリマスガ、
今總理ハ選舉法ヲ改正スル意思アリト云フ
御話デアリマシタ、恐ラクハ選舉法改正ノ
意思アリト云フコトノ方ガ、閣内ノ空氣デ
アラウト思フノデアリマス、昨日大體私ノ
要旨ヲ申上ゲタノデアリマスルガ、私ハ此
國家總動員法ヲ繞ッテ、色々ノ波瀾ガアル
ト思フノデアリマスガ、法律的ニ申シマス
レバ委任立法ガ殖エルト云フコトハ、議會
ノ權限ガ或ル程度縮小スルコトナノデアリ
マス、詰リ議會制度ノ上カラ見マスト委任
立法ガ殖エル、而モ是ハ日本ニ於テモ殖エ
ルシ、外國ニ於テモ殖エル、是ハ世界的ノ
傾向デアリ、時代ガ複雑ニナッテ來レバ來ル
程、是ハ殖エテ來ルノデアリマシテ、今後
トモ斯ウ云フ立法ノ仕方ハ殖エルト思ッテ
居ルノデアリマス、サウ云フ立前カラ議會
ヲ見マス、今日マデノヤウナ微ニ入り細
ヲ穿ツ所ノ立法ノ仕方ト云フモノハ、漸次
減ッテ來テ、法三章的ノ立法ニ依リマシテ行
政權ニ委任スル、斯ウ云フ風ニ順次ナッテ行
クヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、隨テ今
日マデ考ヘラレテ居ッタ立法府ノ權能、機

能ト云フモノハ變化シテ行ク、殊ニ此總動
員法ヲ契機トシテ、一大變化ヲ來スノデハ
ナイカト考ヘルノデアリマス、斯様ニ考ヘ
マスル時ニ、此劃期的ノ總動員法ヲ御提案
ノ機會ニ、議會制度ニ付テドウ云フ風ニ御
考ニナッテ居ルカ、先日豫算總會ニ於キマシ
テ總理大臣ニ伺ヒマシタ時ニハ、貴族院改
革ノ意思モアルト、斯ウ云フ御話デアリマ
シタ、只今又選舉法ノ改正ノ意思アリト云
フコトヲ承リマシテ、私ハ非常ニ結構ナコ
トダト思フノデアリマスガ、其選舉法ノ改
正ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、今日
マデ考ヘラレテ居ッタ枝葉末節ノ罰則ヲ中
心トスル改正ト云フガ如キコトデハ、唯ヨ
リ良キ法律ヲ求メルト云フ點ニ付テハ宜シ
イデセウケレドモ、今申シマスヤウナ大キ
ナ時代ノ流れニ副フ所ノ改正ト云フコトニ
ハ、餘程緣遠イモノデアルト私ハ考ヘルノ
デアリマス、或ハ政黨ノ問題、是モ喧シク
アリマスルガ是ハ御尋致シマセヌ、議會、
政黨乃至ハ政治問題トシテノ二大政黨ノ問
題、或ハ政黨内閣ノ問題、斯ウ云フ重要ナル
議會ヲ中心トシマスル所ノ動キト云フモノハ、
餘程變化シテ行クト考ヘテ居ルノデアリマ
ス、斯ウ云フ見地ニ於テ選舉法ノ改正ノ理
想ヲ何處ニ求メテ居ラレルカ、議會機能ノ

前途ニ付テドウ云フ風ニ御考ニナッテ居ル
カ、之ヲ一ツ伺ッテ置キタイト思フノデア
リマス

○近衛國務大臣 我ガ帝國議會ノ組織權限
ハ、憲法ニ明確ニ定ッテ居ルノデアリマス、
此憲法ノ範圍内ニ於キマシテ、時勢ノ變化
ニ應ジマシテ、適當ナル改正ヲ施スト云フ
コトハ必要デアルト考ヘマス

○池田委員 今ノ問題ニ關聯シテ一點伺ッ
テ見タイト思ヒマス、選舉法ノ改正ト云フ
コトニ付テ御意思ハアルヤウニ伺ヒマスガ、
唯マダ具體的ナ案ハ決ッテ居ルトモ思ヒマ
セヌケレドモ、一點ダケ伺ッテ置キタイノ
ハ、曾テ或ル部分ニ全國選舉區ト云フ考ヲ
持ッテ居ッタ者モアツタヤウデアリマス、私共
ハ此點ハ非常ニ重要ナ點ト思ヒマスガ、政
府ニ於テハ全國選舉區ト云フヤウナ御考ヲ
持ッテ居ラレマスルヤ否ヤ、此點ダケヲ伺ッ
テ置キタイノデアリマス

○近衛國務大臣 斯ノ如キ考ハ持ッテ居リ
マセヌ

○濱田委員 作田君ノ質問セラレマシタ議
會制度ノコトニ關聯シタコトデアリマスガ、
好イ機會デアルト存ジマスカラ簡單ニ御尋
致シマス、時代ノ推移ニ依リマシテ、色々政
治ノ機構ニモ改革ヲ加ヘナケレバナラスコ

トハ勿論デアリマス、而シテ我ガ國內ニ於
キマシテハ、近頃革新政策ヲ行フニ付テモ、
官吏制度ノ改正ヲ致サナケレバ、官界ノ内
容ヲ革新スルコトガ出來ナイカラト云フノ
デ、過般來各法律案ノ質問應答ニ付テモ、政
府側ハ取急イデ官吏制度ノ改革ヲスルト云
フコトヲ御答ヘニナッテ居ル、洵ニ結構ナコ
トデアル、併ナガラ私ノ考フル所ニ依レバ、
行政制度ノ改革ノミヲヤラレマシテモ、議
會制度ノ改革ト云フモノヲ御ヤリニナリマ
セヌケレバ、革新政策ヲ實行スルニ付テ、政
治機構ノ完備ヲ求ムルコトハ困難デアル、
此動員法ノ如キニ例ヲ取リマスルト云フト、
例ヘバ通常ナラバ議會ノ立法權限ニ屬スル
モノヲ多クノ勅令ニ讓ッテ、結果トシテハ議
會ノ審議權ガ幾ラカ減縮セラレル譯ニナル、
是ハマア戰時等ニ於テ機宜ノ處置トシテ一
應首肯スベキコトデアル、併ナガラ是ト竝行
シテ立法府ノ審議權ノ擴張ヲスルト云フコ
トノ必要ナルコトハ、例ヘバ動員法ノ第五
十條ニ於テ、等シク此動員法ノ運用方法ト
シテ多クノ勅令ヲ御制定ニナルニ付テモ、
官吏ノ技能ノミデハイケナイノデ、天下ノ衆
智ヲ聚メテ審議會ナルモノヲ作ル、斯ウ云フ
コトニナッテ居ル、サウシテ其審議會ト云フ
モノノ構成分子ハ、大體ニ於テ帝國議會ノ

意思ヲ尊重スルト云フ意味合カラ、貴衆兩院ノ議員ヲ成ベク多ク入レタイト云フヤウナ考デアルト云フコトモ御發表ニナッテ居ル、併ナガラ幾ラ貴衆兩院議員ヲ入レテ見タ所ガ、是ハ八十人トカ、二十人トカ、三十人トカニ過ギナイ、千人ニ近キ所ノ貴衆兩院議員ノ智囊ヲ絞ッテ國政ニ參與スルノトハ、大分其間ニ徑庭ガアラウト思フ、此場合ニ於テ行政府ガ有ユル勅令ノ制定ニ付テモ、其他ノ政治機構ニ付テモ、立法院ノ協力ヲ求メラレルト云フナラバ、議會制度ヲドウシテモ改革シテ來スト出來ナイト思フ、三箇月ノ間單ニ政府側ト質問應答ヲシテ、政府ノ提出シタ議案ヲ主ニ議スルト云フ機能ダケデハ、立法院ト云フモノガ國政ニ參與シ、行政府ト調和ヲ取ッテ働クト云フ機能ハドウシテモ敏活ニハ出來スト思フ、此意味カラ甚ダ僭越デアリマスガ、私共ハ廣田内閣ノ下ニ作ラレタル議院制度調査會ニ於テ、一ツノ提案ヲ致シタノデアアル、ソレハ單ニ私一個ノ意見ノミデハアリマセヌ、衆議院ノ議會振肅委員會ノ宿論ト成相ッテ居リマス所ノ議會ニ常置委員會ヲ置クト云フ制度デアリマス、此常置委員會ト云フモノガ違憲デアルナイト云フ一種ノ議論ガアリマスガ、是ハ憲法上ノ議論トシテ、玆ニ

其當否ハ檢討スル餘裕ヲ持チマセヌカラ詳シク申シマセヌガ、一言ニシテ言ヘバ、議院法ノ第二十五條ノ、未了ノ議案ニ對シテ次期ノ議會ニ至ルマデ繼續委員ヲ置クトコトヲ得ルト云フコトハ、憲法制定ノ當時カラ規定ヲシテアル、精神カラ言ヘバ三箇月ノ會期以外ニ於テ議會ガ働ク餘裕ヲ與ヘタ精神デアアルコトハ何ト云ッテモ明カデアアル、然ラバ特殊ノ議案ニ付テ、閉會中ニ議會ガ働ク機能ヲ認ムル以上ハ、特殊ノ議案ノミナラズ、一般ノ國務ニ付テ立法ノ資料ト相成ルベキコトヲ、常置委員ヲ置イテ調査檢討セシムルト云フコトモ、尙且ツ議員法第二十五條ノ繼續委員ノ精神ヲ延長シタノニ過ギナイモノデアアル、議會ニ代ッテ決議スルノデハナイノデアリマス、調査檢討ヲスル機關デアリマスカラ、決シテ三箇月ノ限定セラレタル議會開設ノ憲法精神ト云フモノヲ案ルモノデハナイノデアリマス、是ガ議會制度ノ上ニ於テ、常置委員制度ノ妥當性ヲ認ムル所以デアリマス、此常置委員ト云フモノヲ置カレルナラバ、先般政府ガ仰セニナリマシタ外交ノ機密ヲ秘密會ヲ開イテ話シテ見タイ、同ジ秘密會デモ議員全部ノ秘密會デハ、秘密會ニナラナイ、政黨ノ幹部ヲ集メテ外交懇談會ヲヤラウト言ハレテ

モ、是ハ政黨ノ事情ニ依ッテ實現シ難イ、假ニ常置委員ヲ置イテ、之ニ外交部委員會ト云フモノガアルナラバ、政府ハ法制上ノ議會ト外交委員會ヲ通ジテ、外交ノ機密ヲ議會ト固ク連絡ヲ御取リニナルコトガ出來ル、又今回ノ動員法デモサウデアアル、始終論難ヲ受ケテ居ル此審議會ト云フヤウナモノヲ故ラニ置カナイデモ、議會ニ有スル外交、軍備、經濟、財政ノ常置委員ト云フモノガ置イテアレバ、此議會ニ法制的ニ置カレタ常置委員會ト云フモノト行政府ガ連絡ヲ取ラレ、バ、恰モ勅令ノ制定ニ付テ議會全部ノ共鳴同意ヲ得タルガ如キ結果ニナルノデアリマシテ、圓滑ニ行ハレル、縱シ審議會ヲ置カレテ、衆議院ノ十名ヤ二十名ノ議員ヲ御入レニナッタ所ガ、入ラナイ議員ト云フモノハ、議會ニ於テ異論ヲ唱ヘルコトガ出來ル、抗議スルコトガ出來ル、之ニ反シテ議會ノ構成機構デアアル有ユル關係ノ委員ガ、此法令ノ勅令議案ニ參與スルコトニナリ、或ハソレニ同意ヲスルコトニナレバ、議會ノ全部ニ諮ルコトト同様ノ結果ニナッテ、異議ハナイコトニナル、單ニ官吏制度ノミヲ御改正ニナリマシテ、官吏サヘ改善スレバ、公明ナ政治ガ行ハレルト云フノハ、少シ窮屈ナ議論デアアル、立法院ヲモ改善シテ、行政ト立法ト

ガ互ニ手ヲ引イテ、サウシテ圓滿ナ國務ノ進行ヲ圖ルト云フコトガ、時代ノ必要ニ適應シタル所謂革新制度デハアルマイカト私ハ思フ、此處ニ幸ニ廣田サンモ御出席ニナッテ居リマスガ、廣田サンノ内閣デ、廣田サンノ會長ノ下ニ、此議論ガ發議セラレテ、是ハマダ否決ニモ何ニモナッテ居ラス、懸案ニナッテ居ル、併シ憲法上ノ疑議ガアルカラ、繼續委員ノ活用デ我慢シテ置イタラドウダラウカト云フ調和說モアリマシケレドモ、林内閣ノ解散等ニ依ッテ、其儘ニ宿題トナッテ居ル、近衛内閣ガ此多忙ノ際デアアルニモ拘ラズ、國政ノ運用ニ付テ、行政府改革ニ手ヲ染メラレタト云フコトハ、政治ノ根本ニ御著眼ニナッタ譯デ敬服ノ至リニ堪ヘナイ、併ナガラ行政府ノ役人バカリヲ改革シテモ、議會ガ此儘ノ機構デハイケナイ、議會制度調査會ハ現存ノ儘繼續シテ置ク、近衛内閣ニシテ當ニ動員法ト云ハズ、上下提携一致シテ、眞ニ時代ノ要求ニ應ズル革新政策ヲ行ハントスルナラバ、行政府ノ改革ノ方ト併行シテ、議會制度ト云フモノヲ此際併進ヲサレマシテ、私ノ希望デ言ヘバ常置委員制度ト云フモノヲ置カレルコトガ、非常ニ必要ナコトデアルト思フ、是ハ能ク御考ヲ願ヒタイ、私ハ是レ以上長ク

申上ゲルコトハ差控ヘマスガ、近衛首相ニ依リマシテ、此邊ニ關スル一應ノ御考ヲ拜承スルコトヲ得レバ仕合セト存ジマス

○近衛國務大臣 憲法ノ範圍内ニ於テ、如何ニシテ議會ノ機能ヲ最モ有效ニ發揮スルコトガ出來ルカト云フコトニ付キマシテハ、色々ノ工夫ガ必要デアラウト思ヒマス、私モ貴族院ニ議長トシテ職ヲ奉ジマシテ以來、及バズナガラサウ云フ方面ニ付キマシテハ、多少ノ研究モ致シテ居ルノデアリマス、只今ノ御話ノ如ク、總動員法ノ實施ニ當リマシテモ、決シテ政府ダケ、或ハ官吏制度ダケノ改革ヲ以テ、十分ニ其目的ヲ達シ得ルモノトハ考ヘテ居リマセス、議會制度ノ運用改善ニ付キマシテハ、既ニ審議會モ設ケラレテ居ルコトデアリマスカラ、之ヲ活用致シマシテ、只今御話ノヤウナ點ニ付キマシテハ、十分ニ今後考究ヲ重ネテ参リタイト存ジテ居リマス

○作田委員 一寸關聯シテモウ一言……今御答辯ヲ得タノデアリマスガ、私ガ承リタイノハ、貴族院ノ改革ニ付キマシテノ大體ノ御方針ガアラウト思フ、例ヘバ今日マデノ華族中心ノ制度ト云フモノヲ、或ハ職能代表ニスルトカト云フヤウナ點ニ付テ、大體ノ御考ガアレバ承リタイト思フ、又今演

田サシガ縷々御述べニナリマシタガ、議會制度ハ調査會モアリマスシ、御研究ニナツテ居ルノデアリマスガ、政府ダケデ議會ノ權能ヲモウ少シ御殖シニナルコトガ出來ルノデアリマシテ、例ヘテ申シマスレバ、文部省ノ學校制度ニ關スルコトハ、殆ド勅令デヤルノデアリマスガ、斯ウ云フ大キイ問題ヲ議會ノ方ニ廻スト同時ニ、議會トシテハ經濟情勢、國際情勢ニ即應シテ、善處出來ルヤウナ廣汎ナ權限ヲ行政府ニ委セル、斯ウ云フ風ニシテ、ソコニ權限ヲ殖スコトガ出來ルト私ハ考ヘテ居ル、ヤハリサウ云フ意味カラ選舉法ヲ見テ行キマス、選舉法改正ニ付テ、ドレガ宜カラウカト云フ臆ゲナガラ見込ガ付クノデアリマシテ、茲ニ議會制度ト云フモノガ、今少シ機能ヲ發揮スルト云フコトニナル、又是ハ私一個ノ見解デアリマスガ、議會制度ノ運用ニ對シテモ、私一個ト致シマシテハ、議員ハ須ク立法院ニ還レト云フノガ、私ノ持論デアリマス、斯ウ云ツタヤウナ意見ヲ私ハ持ツテ居ルノデアリマス、此立法院ニ議員ガ還リ、而シテ立法院ノ權能ヲ十分ニ發揮スルト云フコトニ致シタイ、即チ斯ウ云フ事態ニ依ツテ、行政權ガ段々殖エテ行クト云フコトニ即應シタル一ツノ行政ト、立法トノ融和ノ大キナ

方法トシテ考ヘテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ私ノ考ヘ方ニ對スル御所見ノ一端ヲ、御話下サレバ洵ニ幸甚デアリマス

○近衛國務大臣 私人トシテハ貴族院ノ制度其他ニ付キマシテモ、多少ノ意見ハ持ツテ居リマスケレドモ、是ハ現ニ審議會ガ設ケラレテアルコトデアリマスカラ、審議會ニ於キマシテ皆サンノ御意見ヲ承ツタ上デ、政府トシテノ態度ヲ決定致シタイト思ヒマス

○小川委員長 是ニテ休憩致シマス、午後一時半ヨリ開會ヲスルコトニ致シマス

午後零時三十二分休憩

午後一時四十三分開議

○小川委員長 休憩前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス——羽田君

○羽田委員 私人言論ノ問題ニ付キマシテ、內務大臣、陸軍大臣、又司法大臣ニ御尋申上ゲタイノデアリマスルガ、肝腎ノ內務大臣ガ今御居デニナリマセヌノデ、其中デ陸軍大臣ニ御尋申上ゲル點ダケニ付キマシテ、前段のニ質問ヲ致シタイト思ツテ居リマス 私人言論ニ對スル質問ヲ何故シナケレバナラスカト云フコトニ付キマシテ、私ハ先程モ此法案ノ立法ノ精神ガ我が日本精神、國民性ニ非常ニ離レテ居ルト云フコトヲ申

シマシタガ、私ハ言論ノ統制條項ヲ、本法案中ニ入レマシタコトハ、一番其甚シイモノダト考ヘテ居ル次第デアリマス、更ニ又此立法ガ非常ニ委任事項ガ多クテ、ソレガ廳デハ官僚ノ橫暴ト云フヤウナコトモ、或ハ惹キ起シハシナイカト云フコトガ、吾々ノ最モ恐ル、點デアリマスルガ、此非常ニ委任立法ガ多イ、橫暴シ兼ネナイト云フ此法案ノ運用ニ關シマシテ、之ヲ牽制スルモノハ健全ナル言論デナケレバナラス、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、健全ナ言論ガ此法案ノ運用上ニ必要デアル、而シテ又此法案ニ我國ノ言論ノ統制條項ヲ入レタコトガ、

我が國民性ニ最モ離レテ居ルト云フ二點ノ觀點カラ致シマシテ、言論統制ニ對スル質問ヲ試ミント思フノデアリマス、私ハ先ヅ官製ノ言論統制ト云フモノガ、所謂日本ノ爲ニナラナイト云フ一ツノ例ト致シマシテ、先ヅ陸軍大臣ニ御尋申上ゲタイノデアリマスルガ、私ハ例ノ滿洲國ノ言論統制問題ニ付キマシテ、他ノ委員會デ陸軍大臣ニ質問ヲ致サウト思ヒマシテ通告ヲ致シテ置キマシタ所、陸軍大臣ノ御多用ノ爲ニ其機ヲ得マセヌデシタカラ、私ハ此際其問題ヲ取上ゲテ、先ヅ陸軍大臣ニ御尋致シマス、滿洲國ハ昭和六年ノ建國以來、當局ニ依ル非常

ナ言論ノ統制ヲ強化シテ今日ニ至ッタノデアリマス、新シイ滿洲國ト致シマシテハ、ドウシテモ國民ニ滿洲國ノ政策ヲ徹底サセナケレバナラナイト云フコトハ、必要ナコトデアリマス、所ガ此言論ノ統制ノ爲ニ、十分ニ滿洲ニ於ケル新聞ガ、關東軍或ハ滿洲國政府ノ統制ガ餘ニ強イ爲ニ、何モ書ケナイト云フ狀況ニアッタノデアリマス、隨ヒマシテ滿洲ニ於ケル各新聞ノ紙面ニ現レマスル所ヲ見マス、如何ニモ無味乾燥ナル文字ノ羅列ニ過ギナイノデアリマス、隨ヒマシテ此滿洲國ノ人々、殊ニ日本カラ行ッテ居ル人々モ、餘リ此新聞ニ興味ガ持テナイト云フヤウナ話デアリマシテ、隨ヒマシテ滿洲ノ民衆ガ、滿洲國政府ノ折角宣傳シタイト云フ政策ヲ、十分ニ新聞ヲ通シテ——新聞ヲ讀マナイ爲ニ、又其新聞ニ出ル所ガ本當ノコトヲ書イテナイ爲ニ、十分ニ滿洲國ノ政策ガ民衆ノ中ニ徹底シテ居ラナカッタノデアリマス、更ニ又内地カラ參リマシタ各新聞社ノ特派員ニ於キマシテモ、同様ニ此滿洲ニ於ケル言論ノ統制ガ非常ニ強化サレテ居ル爲ニ、思フ通りニ自分ノ雄大ノ筆ヲ揮ッテ書クコトガ出來ナイ、斯ウ云フ譯デ内地ノ新聞ニモ滿洲國ノコトガ餘リ出ナイノデアリマス、我國ハ滿洲事變以來、日滿

一體ノ關係ヲ強化スルコトガ、我國ノ國策ニナツテ居ル、然ルニ斯様ナエ合ニ、滿洲ニ於ケル所ノ事情ガ、内地ノ國民ニ通ズルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ爲ニ結局内地人ガ滿洲ノ問題、滿洲ノ經濟ノ問題、或ハ滿洲ノ移民ノ問題、或ハ滿洲ニ於ケル國防ノ問題、或ハ滿洲ノ産業ノ問題ト云フヤウナ各般ニ互ル問題ニ付キマシテ十分ニ吾々ガ滿洲ヲ知ルコトガ出來ナイ、私ハ實ハ昨年皇軍慰問デ滿洲ニ參リマシテ、初メテ滿洲ト云フモノガ素晴シイ發展ヲシツ、アルト云フコトヲ眼ノ前ニ見、且又滿洲移民ノ如キモ私共初メテ行ッテ見テ、是ナラバ滿洲移民ニ自分ノ郷里ノ人間ヲヤッデモ宜イト云フ自信ヲ得タ位デ、初メテ其實體ニ觸レテ滿洲ノ素晴シサト云フコトヲ知ルコトガ出來タノデアリマスガ、遺憾ナガラ今日ノ統制サレタ新聞ニ於テハ、滿洲ノ實情ガ十分ニ内地ニ反映シナイ實情ニアルノデアリマス、斯ノ如ク滿洲ニ於テ、亦日本ノ内地ニ於テ十分ニ滿洲ノ事情ガ、滿洲ノ政策ガ民衆ノ中ニ、國民ノ中ニ徹底シナイト云フコトハ、要スルニ滿洲國ニ於ケル所ノ言論ノ統制ガ餘リニ強クテ、新聞記者ガ何モ書ケナイト云フ所ニ歸シテ居ルノデアリマス、而モ書キマシテモ滿洲ニ於テハ極ク無味乾

燥ノモノデ、隨テ讀ム者ハナイ、斯ウ云フヤウナ實情ニアルノデアリマス、此當局ノ言論ニ對スル官製統制ト云フモノガ、如何ニ愚策デアルカラ此事ガ物語ッテ居ルノデアリマス、ソコデ此弊害ニ鑑ミマシテ、實ハ此三月早々デアリマシタカ、二月デアリマシタカ、關東軍ノ幹部ノ方々ガ新京ニ於ケル新聞社ノ人達ト共同會見ノ席上、今迄ノ言論統制ハ間違ッテ居ル、吾々ガ餘リニ拘束シテ濟マナカッタ、ドウカーツ是カラハ遠慮ナク書イテ呉レ給へ、國防ノ軍機上ノ機密ハ勿論困ル、ソレカラ滿洲國ノ國策ノ線ニ副ハナイコトハ困ルケレドモ、其線ニ副ヒ、又軍機ノ機密ニ觸レナイ限りニ於テハ遠慮ナク書イテ貰ヒタイ、惡イコトハ惡イト書イテ貰ヒタイ、良イコトハ良イト書イテ貰ヒタイ、斯ウシテ活潑ニ言論ノ上ニ於テ滿洲國ノ事態ガ反映シテ、初メテ滿洲國ト云フモノガ繁榮スルコトガ出來ルノダ、ドウカ言論陣ト共ニ手ヲ取ッテ滿洲ノ繁榮ヲ圖ラウヂヤナイカ、斯ウ云フコトヲ申サレマシテ、此爲ニ今マデ萎縮シ、重壓ノ下ニアッタ所ノ内地竝ニ滿洲ニ於ケル新聞社ノ人達ハ、漸クニシテ生氣潑刺トシテ最近非常ニ言論界ガ明朗化サレテ居ルヤウナ事實ガアルノデアリマス、私ハ只今モ申スヤウニ、官製

ノ言論統制ト云フモノハ、洵ニ愚策デアルト云フコトガ、明瞭ニ之ニ依ッテ證明出來ルト考ヘテ居リマス、私ハ言論ト云フモノハ官ノ統制ヲ廢シマシテ、自發的ナ各人ノ愛國心ニ憑エテ、サウシテ各人ノ判斷ニ任シテアルト云フコトガ、最モ言論統制ノコツデアルト思ヒマス、又ソレガ國家ノ爲ニ最善ノ方策ダト考ヘテ居ル次第デアリマス、此點ニ付キマシテ、私ハ關東軍ノ當局ガ、言論ノ指導性ト又報道性ノ兩面ヲ、十分ニ認識致シマシテ、此勇斷ニ出ラレテ、昭和六年カラ八年間陰鬱ナル空氣ノ中カラ、初メテ明ケ行ク滿洲ト云フヤウナ、明朗ナル言論ノ開放ヲ致シタト云フコトニ對シテハ、深く敬意ヲ表スル次第デアリマスガ、此滿洲國ノ言論開放ニ對シテ、陸軍大臣ノ對滿事務局總裁トシテ、且ツ又關東軍ノ人事統督權ヲ持ッテ居ル陸軍大臣トシテノ御所見ヲ先ヅ私ハ承リタイト思ヒマス

○杉山國務大臣 只今羽田君カラ滿洲ニ於ケル新聞紙ノ取締ニ付テノ御尋ガアッタノデアリマスルガ、滿洲國ガ成立ヲ致シマシテ今日ニ至リマスル迄ノ歴史ヲ考ヘテ見マスルト、滿洲國ノ成立ヲ致シマシタ其當時ニ於ケル國內ノ情勢ハ、洵ニ混沌タル狀態デアッタノデアリマス、此際ニ於キマシテ滿

洲國トシテ國民ヲ指導シテ行キマスル爲ニ、或ル一ツノ統制ヲシテ適正ナル指導言論ニ依ッテ致サナケレバナラス必要ガアリ、又外ニ對シマシテモ、是等ノ點ヲ適當ニ指導スルニアラザレバ、滿洲國ノ認識ヲ十分ニスルコトガ出來ヌト云フヤウナ點ガアッタノデアリマスルノデ、滿洲國ノ成立以來、相當言論ニ對シテ注意ヲ拂ッテ貫ッテ居ッタノデアリマスルガ、併ナガラ御承知ノ如ク、其後滿洲國ハ著々ト發達ヲ致シ、國礎モ堅固ニナッテ參リマシタノデ、順次各方面ニ互ッテ、廣ク内外ニ紹介ヲシテ貫ッタ方ガ宜シイト云フ見地ノ下ニ、今日段々ト言論ニ付テノ自由ノ範圍ガ、擴張セラレタ次第デアリマシテ、是ハ滿洲國ノ發達上喜ブベキ現象デアルト存ジテ居リマス

○羽田委員 陸軍大臣カラ率直ニ滿洲國ノ言論ノ解放ノ時機ガ來テ、洵ニ喜ブベキコトデアルト云フ御話ヲ承ッテ、私ハ満足ヲ致シマス、ト同時ニ私ハ今ノ陸軍大臣ノ御話ハ、滿洲國ト日本ハ自ラ違フテ居リマシテ、既ニ日本ト云フ國ハ三千年ノ歴史ヲ持チ、國礎モ世界無比ノ強固ナルモノデアル、而モ月日ニ於キマシテモ七年ヤ八年ノ滿洲國トハ自ラ違ッテ、三千年ノ月日ガ經ッテ居ル、洵ニ秩序整然タル日本ノ國デアリマスカラ、

隨ヒマシテ秩序ガ整然ト致シテ來ルナラバ、言論ハ開放スベキデアルト云フ此陸軍大臣ノ根本ノ御趣旨ハ、我國ニ於テハ言論ノ官ノ統制ハ、出來ルダケヤライヤウニシナケレバナラスト云フ結論ニナルト思フノデアリマスルガ、陸軍大臣ノ御所見如何デアリマスカ

○杉山國務大臣 御尋ノ點ニ於キマシテハ、私モ同感デアリマス

○羽田委員 陸軍大臣ノ御答辯ニ満足致シマス、所ガ只今陸軍大臣ハ、此日本ニ於テハ言論ヲ開放シテ行カナケレバナラス、斯ウ言ハレルニモ拘ラズ、本法ノ言論統制ノ第二十條ノ條項ノアリマスコトニ付キマシテハ、陸軍大臣ハドウ云フ御考ヲ御持チデゴザイマスカ

○杉山國務大臣 言論ニ付キマシテ、殊ニ此度ノ事變ガ勃發致シマシタ此後ニ於キマシテ、言論界各方面ニ於テ熱心ナル協力ニ依ッテ、能ク國民ヲ指導スル上ニ於テ力ヲ加ヘラレテ居ルコトハ、洵ニ感謝致ス次第デアリマスルガ、併ナガラ戰時ニ當リマシテ今日ノ新聞紙法ニ於キマシテハ、軍事、外交ニ互ッテ記事ノ制裁ガシテアルノデアリマスルガ、併ナガラ戰時ニ於テ最モ緊要デアリマス所ノ財政經濟ハ、是ハ軍備ヲ整頓

ヲシ、外交ヲ遂行ヲ致シマスル爲ノ非常ニ力強イモノデアリマシテ、是等ニ對シテ適正ナル言論ガ行ハレマセヌ場合ニ於キマシテハ、之ニ相當ノ制裁ヲ加ヘナケレバ、之ニ依ッテ思ハザル市場ノ攪亂ヲ來シ、或ハ又爲替ノ變動ヲ來スト云フヤウナ事柄ガアリマシテ、此市場ノ攪亂、爲替ノ變動ト云フ事柄ガ大デアレバ大デアルダケ、外國ニ對シマシテモ、國民ニ對シマシテモ、非常ナ不安ヲ與ヘル次第デアリマスルノデ、此度新シク此條項ヲ加ヘルコトガ必要ト考ヘタノデアリマス

○羽田委員 私ハ此國家總動員法案ノ此戰時規定ガ結局ハ平時——平時ト言ハウカ戰争又ハ事變ガ、今後ハ長期ニ亙ル譯デアルカラ、隨テ長イ間結局此法案全體ガ、日本ヲ縛ッテ行クモノデアルト云フヤウニ考ヘテ居リマシテ、先程此點ニ付キマシテハ、大體私ハ質問ヲ終ッタノデアリマスガ、先ヅ其點ヲ陸軍大臣ニ御考願ヒタイノデアリマス、是ハ重複ヲ避ケマスカラ、敢テ私ハ諄々シク申上ゲマセヌガ、本法案ハ平時ニ於テ——平時ト言ハウカ、戰争ガ起ッタナラバ、或ハ事變ガ起ッタナラバ、此結末ハ十年、二十年、百年——百年ト云フヤウナコトハ少シク大キクテモ、十年、二十年ハ吾々ハ結局

一種ノ戰時氣構ヘデ其戰局ノ收拾、戰後ノ經營ニ當ラナケレバナラス、隨テ此法案ト云フモノハ所謂戰鬪ノアツタ後ニ、十年モ二十年モ此法案ガ其儘ニ適用サレルト云フコトヲ先程申シテ居ルノデアリマス、此點ニ付キマシテ、一寸陸軍大臣ノ御考ヲ承リタイ

○杉山國務大臣 戰爭ノ續キマス間ハ、此法ハ是非トモ必要デアルト考ヘテ居ルノデアリマス

○羽田委員 只今陸軍大臣カラ明確ナル御答辯ガゴサイマシタヤウニ、戰爭ノ續ク限リト云フ此戰爭ガ、所謂國力戰デアル限リニ於テハ、長期戰ニナラザルヲ得ナイ、所謂兵力戰ハ或程度デ結局致シテモ、結局國力戰トシテ經濟的、外交的方面ニ於ケル戰後ノ經營ニ關シテハ、隨分長ク掛ルト云フ意味ニ於テ、ソレハ所謂本法ノ適用ノ期間ノ中ニ入ルト思ヒマスガ、サウ云フ風ニ解釋シテ、陸軍大臣ハ差支ナイノデスカ

○杉山國務大臣 年數ヲ限定シテ何年間ト云フコト申上ゲ兼ネマス

○羽田委員 私ハ年數ヲ限定スルト云フコトハ、私ノ言ハントスル根本ノ氣持デハナイノデアリマス、唯長期戰ニナルダラウガ、其長期戰ト云フノハ一年ヤ二年デハナクシ

テ、先づ數年、或ハ十年、二十年、三十年、斯ウ云フ意味ヲ長期戦ト云フ趣旨デ言ッタルデアリマス

○杉山國務大臣 戦ノ續キマス間ハ長クテモ是デ行カナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○羽田委員 然ラバ私ハ結局此法案ハ平常時ニ於テモ——平常時ト言フカ、戦鬪ノ結末ガ付イタ後ノ、所謂是カラノ近代ナ意味ニ於ケル戦争ノ續ク限リニ於キマシテハ、本法案ハ此儘適用サレルト解釋致スノデアリマス、ソコデ私ハ先程ノ陸軍大臣ニ對スル最初ノ事ニ戻リマシテ質問ヲ致スノデアリマスルガ、只今陸軍大臣ノ御答辯ニ依リマス

ト云フト、軍事外交ニ關シテハ、既ニ法規ガアル、然ルニ此財政經濟、所謂市場ノ問題トカ、金融ノ問題斯ウ云フ點ニ付テハ法規ガ無い、ダカラ戦争ノ時ニ攪亂ヲシテハナラヌカラ、此二十條ヲ挿入シタノデアルト云フ御趣旨デゴザイマシタガ、然ラバ今現在ニ於テ市場ヲ攪亂シタリ、或ハ財政經濟ニ關スル攪亂ノナ行爲ニ出ヅル者ニ對シテ、當局ハ取締ッテ居ラナイノデアリマスカ、其點ニ付テ陸軍大臣ニ御尋シマス

○杉山國務大臣 其點ニ付テハ主務大臣カラ御聽キ願ヒタウゴザイマス

○羽田委員 當然是ハ内務大臣ニ御尋シナケレバナラストニ付キマシテ、丁度陸軍大臣ガ御話ニナリマシタノデ、一寸御尋申シタノデアリマスカラ、後日此點ニ付テハ末次内相カラ詳細ニ承リタイト考ヘテ居リマス、次ニ私ハ此事變ニ於キマシテ、只今陸軍大臣ノ御答辯ニ依リマス、言論方面ニ各方面カラ非常ナル支持ヲ得テ居タト云フ御話デアリマスガ、然ラバ此支持ハ今回ノ事變ニ於ケル一時的現象デアッテ、將來モット大キナ戦争、或ハ又此戦争ニ第三者ガ介入致シマシテ更ニ擴大サレタ場合ニ於テ、言論機關ハ之ニ協力シナイト云フ斷定デ此條文ヲ御挿入ニナツタドウカ、其點ニ付テ御尋致シマス

○杉山國務大臣 言論界ノ各位ガ殆ド全部今日ノヤウナ協力ヲ以テ、熱心ニ進ンデ行カレコトト信ジテ居リマスガ、萬ガ一ニモ財政經濟ニ關シマシテ、國家ノ國策ヲ遂行スルコトヲ攪亂スルヤウナ者ガアリマシタナラバ、一部ノ者デモ非常ナル害毒ヲ貽スノデアリマスカラ、ソレ等ニ對スル制限ハ、是非トモシテ置カナケレバナラスト考ヘルノデアリマス

○羽田委員 陸軍大臣ハ何カ誤解ヲサレテ居ルノデアリマスカラ、隨テ何カ財政經濟ニ

關シテ、現在ノ内務當局ガ取締ッテ居ラナイヤウナ御話デアリマスガ、私ハソレハ末次サンガ御出ニナリマシテカラ十分ニ御聽キ致シマスケレドモ、現在取締ッテ居ルコトヲ、私ハ一言陸軍大臣ニ御注意申上ゲマス私ハ先達ノ此法案ヲ議會ニ提案スルニ當リマシテノ閣議ニ於キマシテ、集會結社ノ自由ノ條項ヤラ、或ハ又言論ノ取締ニ關シテ、新聞紙ノ發行停止ノ條項等極端ナ條項ガアッタノデアリマスガ、之ヲ削除スルニ付テハ、陸軍大臣ハアッサリ御同意ナスッタサウデアリマスガ、然ルニ此二十條ノ削除ニハ遂ニ御同意サレナカッタ爲ニ、議會ニ此儘言論統制ノ條項ガ出テ來タト云フコトヲ聞イテ居リマス、即チ何カ閣議ノ途中デ陸軍大臣ガ中坐サレル時ニ、紙片ニ二十條ダケハ殘シテ置イテ吳レト云フコトヲ御書キニナッテ行ッた爲ニ、遂ニ閣議ハ此法案ヲ其儘出スコトニナツタト云フ御話デアリマスガ、其點ニ付テハ如何デアリマスカ

○杉山國務大臣 閣議ノ内容ニ付テハ、申上ゲルコトヲ差控ヘタイト思ヒマス

○羽田委員 閣議ハ秘密會議デアアル、國家ノ重要ナ問題ニ付テ、機密事項ニ付テ十分ニ國務大臣トシテヤラレテ居ルコトデアリマスカラ、私ハ閣議ノ内容ヲ聽カウト云フ

野暮ヲ續ケルコトハ致シマセヌ、要ハ陸軍大臣ガ、私モ先刻一寸申上ゲマシタヤウニ、此金融ノ問題、財政經濟ノ問題ヲ現行法ガ取締ッテ居ラナイト云フヤウナ觀點カラ、サウ云フヤウナ結論デ、結局此條項ヲ此儘活カシテ置クコトヲ御主張ニナツタト私ハ思フノデアリマス、其點ハアトデ末次サンニ能ク御尋致シマシテ、成程サウ云フモノガアッタノカト云フコトヲ陸軍大臣ガ御了解願ヒマスレバ、アッサリ此條項ハ取ッテ戴イテ、先程陸軍大臣ガ、滿洲國ノ言論解放ニ對シテ滿腔ノ支持ヲ與ヘラレタト同様ニ、此二十條ハアッサリ取ッテ戴クコトヲ私ハ確信致シテ居リマス

先程陸軍大臣ハ、最近ノ新聞記者ノ人達ガ教育モアリ、立派ニナッテ居ルカラ、此儘續ケバ宜イト言ハレテ居リマスガ、唯萬ガ一ニ不屈者ガアッタナラバ、之ヲ放ッテ置ク譯ニハ行カヌ、ダカラ此法案ヲ戰時ノヤウナ重大ナル時ニ當ッテハ出シタノダ、斯ウ云フ御說デアリマス、私ハ先程一寸申シタノデアリマスガ、一人ノ不徳漢ノ爲ニ、所謂九百九十九人ノ取締ヲスル、而モ九百九十九人ニ非常ナル不愉快ナ、今日ノ御天氣ノヤウナ陰氣ナ重壓ヲ上カラ被セルト云フコトハ、結局健全ナル言論ガ國內ニナイト云

フ結論ニナルト思ヒマスガ、此點ニ付テ御尋致シマス

○杉山國務大臣 今日マデ言論界ニ於キマシテ、現行ノ新聞紙法ニ依ッテ、熱心ニ其本分ニ精勵ヲサレテ居ルト云フ事柄ハ、十分ニ私モ認メテ居ルコトハ申上ゲタ通りデアリマス、而シテ現在ニ於テハ、軍事、外交ニ關スルコトヲ法ニ於テ制限ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、財政經濟ニ於テハ、即チ言論界ノ熱誠ナル協力ニ依ッテ成立ッテ居ルノデアリマシテ、之ヲ法的ニ致シテ置キマセスト確實ヲ缺クノデアリマス、今日ハ言論界ノ各位ガ非常ニ熱心ニ進ンデ居ラレマス、所謂精神的ノ協力デ、之ヲ法的ニ致シマシテ、明確ニシテ置キタイト云フ希望ヲ持ッテ居ルノデアリマス

○羽田委員 先程ノ問題ニ戻リマスカラ敢テ陸軍大臣ニ申上ゲマセスガ、日本ノ官僚ト云フモノハ、法ノ根據ニ基カズシテ、サウ云ツタ重要問題ヲ取締ルト云フコトハ絶對ニヤツテ居ラナイノデアリマス、チャント法ノ根據ガアツテ現在十分ニ取締ッテ居ッテ、サウ云フ問題ノ事態ガ發生シタ場合ハモウ繩ヲ用意シテ居ル、決シテ其點ハ日本ノ官僚ト云フモノハソレ程怠ケ者デハナイト云フコトハ、陸軍大臣御承知願ヒタイト思フ、

ソレハ新聞紙法ノ第二十三條ニ、安寧秩序竝ニ風俗壞亂ト云フヤウナコトノ條項ガアリマス、詰リ安寧秩序ヲ案スト云フ條項ガアリマスガ、此法ノ解釋ニ依リマシテ、チャント官僚ハ財政經濟ノ問題——財政經濟ガ攪亂サレルト、國民生活ハ非常ニ脅カサレルシ、又國內ガ大騷ギニナリマシテ、安寧秩序ヲ案スコトハ明瞭デアリマス、隨ヒマシテチャント安寧秩序ノ條項デ取締ッテ居リマスカラ、其點ハ御心配ナサラナイデ結構ダト思ヒマス、然ラバ私ハ御尋致シマスガ、我國ノ此國運ヲ賭シタ所ノ戰爭デア

ル日清戰爭、或ハ日露戰爭、或ハ今回ノ戰爭ニ於キマシテ、果シテ金融財政ニ關シマシテ、我國ニ對シテ不爲ニナルヤウナ新聞記事ガ、一回デモ現ハレタコトガアリマスカドウカ、此點ヲ御尋致シマス

○杉山國務大臣 私ハ其點ニ付テハ研究致シテ居リマセス

○羽田委員 我が國民ノ愛國心ニ左様ナコトガナカツタコトハ、洵ニ慶賀ニ堪ヘナイ次第デアリマス、次ニ私ハ陸軍大臣ニヤハリ言論ノ問題ニ付テ御尋致シマスガ、今回ノ事變ニ於キマシテ、當局ハ第一線ニ出テ居ル新聞記者ニ對シテ、斯ウ云フ記事ヲ書イテ呉レ、ア、云フ記事ヲ書イテ呉レト云フ

御命令デモ御出シニナツタコトガアリマスカ

○杉山國務大臣 中央ヨリサウ云フ命令ヲ出シタコトハアリマセス

○羽田委員 實際ソレハナイノデアリマシテ、第一線ニ居ラレル方モ、モウ戰爭ノ方ニ忙シイ爲ニ、サウ言ツタ方面ニ力ヲ致シテ居ラナイノデアリマスガ、幸ニシテ我ガ日本ノ新聞記者モ、ヤハリ日本人デアアルノデアリマス、日本ヲ愛スルト云フ愛國ノ至情ニ於テハ、陸軍ノ御當局トモ、又誰トモ變リハナイ、ヤハリ日本人ノ脈々タル所ノ忠誠心ヲ持ッテ居ルコトハ明瞭デアリマス、此爲ニ當局ノ命令モナク、又新聞社等ニ於テモ直接命令ハ致シハシマセスガ、第一線ニ出テ居ル所ノ記者ガ或ハ彈雨ノ中ヲ潜リ抜ケ、兵士ト寢食ヲ共ニ致シテ、兵隊ノ惡戰苦闘ノ狀況ヲ具サニ筆ニ載セマシテ、之ヲ銃後ノ國民ニ送ルガ、内閣ノ週報ナンカ殆ド問題ニナラス、斯ウ云フモノヲ見タ所デ國民ハ無味乾燥テ涙モ流サズ、又興奮モセズ、愛國心モ湧カナイト云フ譯デアリマスガ、此命ヲ賭ケテ第一線ニ居ラレル所ノ新聞記者ガ、感激ニ燃エナガラ書イタ所ノ記事ハ惻々トシテ人ノ心ヲ打チ、銃後ノ國民ニ於テモ第一線ノ御苦勞ガ能ク分ルノデア

リマス、此新聞記事ニ依リマシテ、初メテ自分ノ倅ヤ、或ハ自分ノ親戚ノ者ノ奮闘振リガ分ッテ、其父兄達ハ非常ニ安心モスル、又其部隊、其地方ノ人々モ此新聞ノ記事ニ依ッテ、初メテ自分達ガ送ッテ居ル所ノ第一線ノ人達ノ活動振ガ分ル、之ニ依ッテ初メテ銃後ノ國民モ眞劍ニ第一線ノコトガ分リ、眞劍ニ銃後ノ護リヲ固メル、斯ウ云フ結論ニナルト思ヒマス、其意味ニ於キマシテ、私ハ今回ノ事變ニ於ケル第一線ノ記者ノ御苦勞ニ對シテ、深ク敬意ヲ表スル次第デアリマス、同時ニ此爲ニハ澤山ノ犧牲者モ出テ居ルヤウナ次第デアリマス、左様ナ工合ニ言論人ト云フモノガ、ヤハリ日本人デアアルト云フコトカラ考ヘマシテ、オ上ノ命令ガナクテモ是ダケノコトハヤルノデアリマス、所ガ今回ノ國家總動員法案ニハ、只今申スヤウニ第二十條ガ陸軍大臣ノ誤解カラ、尙ホマダ取消サズニ殘ッテ居ル、此爲ニ言論人ハ、自分達ヲ取締ル所ノ官憲ノ首腦部ハ、戰爭デモ終リマスレバ臆テハ胸間ニ燦然ト勳章ヲ戴キマセウ、所ガ此命ヲ投出シタ所ノ新聞記者ニ對シテハ、戰後ニ何ヲ與ヘラレルカト言ヘバ、此言論統制ノ法案ガ牙ヲ剝イテ待ッテ居ル、斯ウ云フ彈壓ガ待ッテ居ルト云フヤウナ結論

ニナルノデアリマス、私ハ此新聞人ノ忠誠心、日本人トシテノ此誠心ニ對シテ之ヲ十分ニ認メテヤル、勳章ハヤラナクテモ宜シイガ、セメテ第二十條ノ言論統制ノ條項ハ、少クトモ是カラ取去ルト云フコトガ、私ハ言論人ニ對スル所ノ當局ノ敬意デナケレバナラヌト思ッテ居ルノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○杉山國務大臣 羽田君ノ御意見トシテ承ッテ置キマス

○羽田委員 私ノ意見デハアリマスガ、是ハ私ハ事實ヲ述ベテ居ルニ過ギナイノデアリマス、此嚴然タル事實ノ前ニハ、陸軍大臣モ總テハ頭ヲ下ゲテ戴キタイト思ヒマス、今後ノ戰爭ガ長期戰ニナリマスレバ、ドウシテモ銃後ニ於テハ健全ナル言論ガ行ハレ、又健全ナル所ノ思想ガナケレバナラヌト思ヒマス、新聞人ハ決シテ日本ノ不爲ニナルヤウナコトハ書カナイ、然ルニ斯ウ云フヤウナ彈壓ヲ以テ酬ユルト云フコトニナリマスレバ、新聞人ハ今迄ノ自分ノ感激ト云フモノハスツカリ失ッテシマヒマス、隨ヒマシテ今後戰爭ガ起ツタ場合ニ第一線ニ特派サレテモ、兵士ト共ニ彈雨ノ中ニ飛込シデ、其實情ヲ銃後ノ國民ニ傳ヘルト云フヤウナ感激ヲモ失ッテシマウノデアリマス、新聞記

者カラ此感激ヲ去勢スルト云フコトハ、決シテ日本ノ爲ニナルモノデハナイト私ハ思フノデアリマス、サウ云フ事態ガ参リマスト云フト、結局去勢サレタル所ノ新聞記者ハ後方ニ在ッテ、安全地帯ニ居ッテ、若干ノ情報ヲ集メテ、美文麗句ヲ以テ或ハ後方ニ送ルカモ知レマセヌガ、此美文麗句ダケデ、現實ニ戰爭ヲ見、現實ニ體驗ヲシタ所ノ此

モノガナカッタナラバ、其美文麗句ノ中ニハ魂ガ入ッテ居ラスノデアリマス、隨ヒマシテ私ハ今後ノ戰爭ニ於ケル銃後ヲ固メルト云フ意味ニ於キマシテ、國民ノ精神ヲ總動員スル意味ニ於キマシテ、私ハ言論ニ對スル壓迫ハ、日本ノ爲ニナラナイ、斯ウ云フ風ニ斷定ヲ下サザルヲ得ナイノデアリマスカ、之ニ對シテハ如何ニ御考デアリマスカ

○杉山國務大臣 御答致シマス、此事變ノ間ニ於キマシテ、出征ノ現地ヨリ内地ニ参リマス新聞ノ記事ニ付テ、出先ヨリ斯ノ如キコトハ記載ヲ取止メテ貫ハナイト、軍ノ指導上ニモ困ル、或ハ現地ニ居リマスル新聞人ヨリ参リマス記事ニ依ッテ、新政權等ニ關スル記事ガ往々ニシテ適正ヲ缺イテ居ルモノ等ガアリマシテ、斯様ナモノハ困ルト云フヤウナコトガ相當アルノデアリマス、斯様ナコトハ國策ヲ遂行スル上カラ申シマ

スト、成ベク差控ヘテ貫ハナケレバナラヌノデアリマスガ、更ニ其影響スル所ガ大キクナッテ参リマスト、全般ノ國策ノ遂行ニ重大ナル影響ヲ及ボスコトニナルノデアリマスカラ、此點ハドウカスノ如キ事柄モアルト云フコトヲ承知シテ戴キタイノデアリマスカ

○羽田委員 サウ云フ事柄ノアルコトハ事實デアリマセウ、隨ヒマシテチャント新聞紙法ニ軍事、外交ニ關スル取締ノ條項ガアリマス、隨テ斯ウ云フ點ハ困ルト云フコトハ、陸軍大臣ガ内務大臣ヲ通シテ、命令ヲ發スルコトガ出來ルヤウナ仕組ミニナッテ居リマス、惡意ガナクヤッタ場合ニ於キマシテモ、ソレガ或ハ軍事ノ機密ヲ漏洩スルト云フ結論ニナルカモ知レナイ、サウ云ツタ善意無過失ナルモノハ、普通ノ軍人デハナク、素人デアリマスカラ、サウ云フコトハ往々アルコトハ事實デアリマス、事實ガアルカラト云ツテ、茲ニ言論統制ヲヤツテ、感

激ヲ失ハシメルト云フコトハ、絶對ニソレトハ問題ガ違フコトダラウト思ヒマス、ソレハ專門ノ立場カラ止メサセルコトデアリマシテ、言論統制ヲ此條項ニ加ヘナケレバナラヌコトハ、マルデ話ガ違ッテ居リマスシ、殊ニ大臣ノ御話ノヤウニ、現行法

デハ軍事、外交ニ關スル取締ガアル、併シ金融ノ方面ニハナイカラ、是ハヤルノダ、斯ウ言ハレルノデアリマスカラ、其御話トモ相背反スルト思ヒマスガ、其點ハ如何デゴザイマスカ

○杉山國務大臣 私ハ反スルトハ存ジマセヌ

○羽田委員 反スルトハ存ジナイト云フ御話デアリマスガ、私ハ明瞭ニ反シテ居ルコトダケハ、此法案ノ立法ノ目的ガ、金融ノ方面ニ付テナイカラヤルノダト云フ御話デアリ、片方ニ只今例ヲ擧ゲラレタ點ハ、軍事上ノ機密ヲ知ラズニ送ルカラ之ヲ押ヘルノダ、斯ウ云フ軍機ノ機密ニ觸レルコトハヤルコトモアルト云フ御話ト、今ノ立法ノ目的トハ全然違フ、是ハ少クトモ小學校ニ行ク生徒ニハ分ルコトデアリマス、陸軍大臣ハ御當局ノ立場ト致シマシテ、サウ云ツタ政治的ノ答辯ヲサレルノデアリマスカラ、私ハ敢テ此點ニ付テソレ以上ハ追究致シマセヌ、兎ニ角反シテ居ルカ反シテ居ナイカハ、是ハ自ラ明瞭ナコトデアルト私ハ思ヒマス、尙ホ私ハ長期作戰ニナリマスト、ドウシテモ言論界ヲ明朗ニ致シマセヌト、流言蜚語ガ兎角飛ビ易イト思フノデアリマス、之ニハドウシテモ言論界ヲ

開放致シテ、言論人ノ日本國民トシテノ忠

誠心ヲ信賴致シテ、サウシテ滿洲國ノ關東

軍ノ如ク、ア、言ッテ大膽ナ開放ヲ致シテ、

日本國民トシテノ國策ノ線ニ沿フヤウニ、

彼等自ラノ統制ニ任シテ置クコトガ必要デ

アッテ、斯様ナ重壓ヲ以テ陰氣ニサセルコト

ハ不可デアルト考ヘル者デアリマスガ、長

期作戦ニ於ケル流言蜚語ト言論ノ問題ニ付

テ、陸軍大臣ノ御所感ヲ承リタイト思ヒマス

○杉山國務大臣 私ハ大膽ニ自由ニ致シマ

シタナラバ、大膽ニ流言蜚語ガ出ルト存ジ

マス

○羽田委員 大膽ニ自由ニ致セバ流言蜚語

ガ却テ大キナモノガ出ルト云フ御話ハ、一

見理窟ノヤウデアアルカモ知レマセヌガ、結

局日本人ハ日本人デアアル、愛國心ヲ持ッテ

居ル、斯ウ云フ立場カラ致シマシテ、サウ

國ノ爲ニナラヌヤウナ、日本ノ國ヲ賣ルヤ

ウナ流言蜚語ハ絶對出ナイト思ヒマスガ、

如何デゴザイマスカ

○杉山國務大臣 間ニハサウ云フ者ガ無イ

トモ限ラヌト思ヒマス

○羽田委員 ドウモサウ言ハレルト、如何

ニモ日本ノ新聞人、或ハ言論ノ方面ニ非愛

國者ガ若干居ルヤウナ印象ヲ私ハ受ケルノ

デアリマスガ、サウ云フ風ニ印象致シテ宜

イノデスカ

○杉山國務大臣 私ハサウ云フヤウナ者ノ

無イコトヲ希望スルノデアリマス

○羽田委員 私ハ少クトモ斯ウ云フ日本ガ

興亡ヲ賭シテヤルト云フ時ニ於テ——少ク

トモ普段カラ國民ノ指導トカ、自分ノ書イ

タ記事ガドウ云フ影響ヲ持ツカ、國際上惡

クハナイカ、又國內ノ上ニ惡クハナイカト

云フ反省ノ氣持ヲ現在ノ新聞記者ハ持ッテ

居ルノデアリマスガ、今後ノ日本ノ興亡ノ

岐レルト云フ時ニ於テハ、愈、サウ云フ風ニ

新聞記者自ラガ「コントロール」ラスルト思

フノデアリマス、普通ノ所謂泥棒トカ何トカ

云フモノハ或ハ絶エナイカモ知レマセヌガ、

併ナガラ言論ノ如ク常ニ反省ヲ致シ、常ニ

指導ヲシ、常ニ眞實ヲ報道シヨウト云フヤ

ウナ良心ヲ持ッテ居ル者ハ、恐ラク陸軍大臣

ノ御心配ニナルヤウナコトハナク、隨テサ

ウ云フ者ノ出ナイコトヲ希望シナクテモ、

チャント御期待ニ副ヒ得ルコトト私ハ思ッ

テ居リマス、隨ヒマシテ此問題ニ付キマシ

テハ、陸軍大臣トハ其點私ハ見ル所ヲ異ニ

致シテ居ル次第デアリマス、結局此言論ヲ

抑壓スルコトハ、ドウシテモ私ハ流言蜚語

ヲ簇出セシムル、言論ヲ抑壓スレバ、落書

政治ヲヤル、諷刺政治ヲヤルト云フヤウニ

ナッテ、人心ニ動搖ヲ來シマシテ、ソレハ長

期作戦ニハ最モイカヌコトデアアル、殊ニ言

論界ガ明朗化サレテ居リマスレバ、假令「デ

マ」ガ飛ンデモ直グ是ハ「デマ」ダト云フコ

トデ、タ刊ニ出タラ朝刊デ打消ス、或ハ號外

デ打消スト云フコトニナッテ、サウ云ッテ工

合ニ新聞ハ決シテ出鱈目ヲ書イテ居ラス、

眞實ヲ書イテ居ルト云フ風ニ、言論界ガ統

制サレズニ、自由ニ開放サレテ居ルト云フ

コトニナリマスレバ、新聞ノ記事ニ對シテ

ハ國民ハ少クトモ信用致スノデアリマス、

所ガ現在ハ當局ノ言論ニ對スル壓迫ガ非常

ニ激シイ爲ニ、現在ニ於テノ言論ト云フモ

ノハ、動モスレバ只今言ッテヤウニ流言蜚語

ガ出ルト云フト、本當ニサウ云フコトガアッ

タノデハナイカト思フ位ニ、當局ガ非常ニ

取締ヲサレテ居ル事實ガアルノデアリマス、

現狀ニ於ケル取締ニ對シテ、更ニ二十條ヲ

以テ強化致スト云フコトニナリマス、愈、流

言蜚語ヲ横行セシメ、人心ヲ不安ニ陥レル

ト云フ結論ニナリハシナイカト思フノデア

リマス、例ヘバ先達テノ臺灣ニ飛行機ガ來

タト云フ問題ハ、直グニ言論ヲ解放致シマ

シテ、是ガ直グニ新聞記事ニ出タノデアリ

マスルガ、サウ云フ場合ニ於テ、軍當局ハ圖

モスレバサウ云フ事ヲ知ラセルト云フト、

却ッテ國民ガ動搖シハセヌカ、明日ニモ

東京ニモ、下關ニモ飛行機ガ來ハセヌカ、

支那ノ飛行機モ中々アルワイト云フ印象ヲ

國民ニ與ヘハセヌカト云フノデ、早速サウ

云フモノハ取締ッテシマフノデアリマス、ソ

レデ結局國民ハ知ラナイデ居ル、外國ノ新

聞ニ出タリ何カスルケレドモ、知ラスハ亭

主バカリナリ、肝腎ノ國民ガ知ラナイデ居

ルト云フヤウナコトガ往々ニシテアルノデ

アリマス、サウ云フヤウナ意味ニ於キマシ

テ、先達テ臺灣ニ來タ時ニ、直グソレヲ解

放シテ事實ヲ吾々ニ知ラシタト云フコトハ、

洵ニ機宜ノ處置デアリマシテ、是ガアノ儘

彈壓シテ置イタナラバ、恐ラク今後ハ出鱈

目ヲ飛バス者ガアッテ、ホラ下關ニ來タ、ソ

ラ門司ニ來タ、大阪ニ來タ、東京ニ來タト

云フヤウナコトヲ言フ、サウナルト直グニ

本當カモ知レナイト云フヤウナ印象ヲ國民

ガ持ツニ至ルデアラウ、其場合ニ於テ言論

ガ解放サレテ居リマスレバ、アル事ハアッ

トチャント新聞ニ書イテ呉レル、新聞ニ出

テ居ナイカラ「デマ」デアアル、流言デアルト云

フコトヲ國民ガ承知スルト云フ譯デ、結局

眞實ヲドン／＼書カセルト云フコトガ——

何モ國策ノ線ニ副ハヌコトヲ書ケト云フノ

デハナイ、軍事、外交ノ機密デナイ限りハ、

ドン／＼書カセルト云フコトガ、結局國民ノ思想ヲシテ健全ナラシメ、長期作戰ニ堪ヘ得ルコトデハナイカト私ハ觀念致シマス、陸軍大臣如何デアリマスカ

○杉山國務大臣 軍事ニ關スル記事ニ於キマシテモ、直チニ之ヲ記載ヲ許ス場合モアリマスシ、又之ヲ差止メナケレバナラス場合モアリマス、先般臺灣ヲ空襲サレタ場合ニ於テハ、是ハ直チニ發表シタ方ガ宜イト思フタノデアリマス、場合ニ依ッテハ發表セヌ方ガ宜イト思フコトモアリマス

○羽田委員 私ハ機密ニスベキ事ヲ——軍事、外交ノ機密ニ對シテ、何モカモ明ケ曝シニシナケレバナラス、ソレガ言論界ノ解放デアルト云フコト迄言ッテ居ルノデハナイ、國家ノ不爲ニナル事ヲ解放シロト云フノデハナイ、唯第三者カラ考ヘルトドウデモ宜イヤウナ事ヲ、徒ニヒタ隠シニ隱サスト云フノガ最近ノ——敢テ陸軍トハ言ヒマセヌ、各方面ニ於ケル所ノ言論ニ對スル當局ノ立場デハナイカト思フデアリマスガ、陸軍ニ於テハ、左様ナ事實ガナイカト聞イテモ、事實ハナイト仰シヤルノデアリマスカラ、敢テ私ハ申シマセヌ、少クトモ最近ノ此數年間ノ言論界ニ對スル當局ノ彈壓ト云フモノハ劇シイノデアリマス、隨テ私ハ

健全ナル言論ト云フモノガ今日行ハレテナイト云フ事ダケハ、斷定シテ憚ラナイノデアリマス、更ニ此上ニ此二十條ヲ以テ言論界ヲ彈壓スルト云フヤウナ空氣ヲ、少クトモ感ゼシメルト云フコトハ、甚ダ遺憾デアリマス、長期作戰ノ上ニモ、亦國家總動員ノ國民ノ精神的ナ融和ヲ求メル上ニ於キマシテモ、少クトモ言論界ヲ解放シテ置カナケレバナラナイト云フコトヲ深ク感ズル者デアリマス、尙ホ私ハ先程モ申シマシタヤウニ、此國家總動員法案ニ於テハ、澤山ノ委任ノ命令ガアル、彼等ガ此委任命令ニ何ヲ書込ムカ知レナイト云フ危惧ノ念ガ、結局此委員會ヲ支配シテ居ル所ノ空氣デアリマス、此嚴然タル事實ニ對シマシテハ、陸軍大臣モ眼ヲ蔽フコトハ出來マイト思ヒマス、隨ヒマシテ此官僚ガ何ヲスルカモ知レヌト云フヤウナ印象ノアル法案ニ對シマシテハ、少クトモ言論ノ條項ダケハ、斯ウ云フ所カラ去ッテ、十分ニ國民ノ批判ヲ許サセル、言論ヲ十分ニヤラセルト云フコトガ、此法案ヲシテ活カシテ來ル所以デハナイカト私ハ思フノデアリマルスガ、陸軍大臣如何デゴザイマスカ

○杉山國務大臣 本案ノ二十條ヲ提出致シマシタ所以ヲ考ヘマシタナラバ、私ハ繰返シテ申ス迄モナイト思ヒマス

○羽田委員 私モ繰返シテ申シマスマイ、併ナガラ結局此法案ガ企畫院ニ於キマシテ、各省ノ關係ノ委員會ガ開カレマシタ時ニ、初ノ企畫院ノ案ニハ、言論統制ノ條項ガナカッタノデアリマス、所ガ今厚生省ノ次官ヲヤラレテ居ル廣瀨次官ガ、當時ノ內務次官トシテ此委員會ニ出ラレテ、警保局ノ意見ダト云フノデ、此言論ノ取締條項、既ニ此法案カラ削除サレテ居リマスル新聞發行ノ停止ニ關スル彈壓ノ條項、更ニ又此言論ノ延長トモ云フベキ集會、結社ノ條項ヲ、強硬ニ主張サレマシテ、遂ニ此法案中ニ言論ノ條項ガ入ッタト云フコトデアリマス、其際モドウモ此國家總動員法案ノ中ニ、斯ウ云フ言論ノ條項ヲ入レルコトハ、結局スルニ木ニ竹ヲ接イダヤウナモノデアッテ、言論ヲ徒ニ法ヲ以テ取締ルト云フコトハ、非常ニ面白クナイコトデアアル、殊ニ又必要ガアレバ斯ウ云フモノハ新聞紙法ナリ、或ハ出版法ナリノ改正ニ依ッテヤッタ宜イデヤナイカト云フヤウナ論ガ出タサウデアリマス、其時ニ廣瀨サンガ頑張ッタノデ、其額ヲ潰サナイヤウニ此條項ヲ入レヤウカト云フノデ入レタト云フ話デアリマス、十七年間十分ニ研究サレ、資源局ガ企畫院ニナル迄ノ間、

此言論ノ統制條項ト云フモノハ、一ツモ考ヘテ居ラナカッタ、ソレヲ急ニ廣瀨サンノ主張ニ依ッテ、此條項ガ入ッタト云フコトデアリマス、十數年間少クトモ不要デアルト云フ見地ニ立タレテ居ッタ當局デアリマスカラ、私ハ此條項ヲ入レタコトガ、元來間違ッテ居ルト云フヤウニ思フノデアリマス、左様ナ譯デ言論ノ統制ノ條項ハ、兎ニ角速ニ之ヲ撤回スル意思ヲ、政府ガ御言明アラントヲ私ハ衷心ヨリ希望致ス者デアリマス、今直チニ撤回シロト云フヤウナコトハ、一人デ御決メニナルコトハ出來マスマイ、閣議ニモ諮ラナケレバナラスコトデアラウト思ヒマスガ、此點ダケヲ直グニ除イデ貰ヒタイト云フ結論ダケヲ申上ゲテ置ク次第デアリマス

尙ホ先達テノ此委員會ニ於キマシテ、是ハ言論トハ離レマスケレドモ、本法ノ運用ニ關スル機構ニ付テ、陸軍大臣ハ何カ軍需省ト云フヤウナ一省ヲ設ケテ、之ニ依ッテ本法ヲ運用サレルト云フヤウナ御話デアリマス、其後近衛總理ガ御出席ニナリマシテ、總理ニ聞イテ見マスト、左様ナコトハ考ヘテ居ラナイ、總理大臣ガ運用ノ中心トナッテ、各省ヲ指揮致シテ、此法案ヲ運用スルノダト云フヤウナ御話ガアリマシタ、ドウ

モ同ジ閣内デ總理ノ言ハレルコトト、又最モ法案ニ直接關係ノアル陸軍大臣ノ言ハレルコトトノ間ニ、非常ナル喰違ヒガアル、一ツノ省ガ出來ルカ出來ナイカト云フヤウナ、劃期的ナコトニ喰違ヒガアルト云フコトヲ非常ニ怪訝ニ思ヒマスノデ、陸軍大臣ノ之ニ對スル御答辯ヲ重ネテ願ヒタイト思ヒマス

○杉山國務大臣 只今羽田君ノ御尋ニ付テハ、昨日モ述ベマシタヤウニ、總理大臣カラ述ベタ所ト私ノ考ヘテ居ル所ト差ハナイノデアリマス

○羽田委員 私昨日一寸用事ガアリマシテ缺席致シマシタガ、今同僚カラ御聽キシマス、昨日ハ陸軍大臣ノ御答辯ガハッキリシナカッタサウデアリマスカラ、更ニ重ネテ御尋致シマス、總理大臣ノ言ハル、コトト、陸軍大臣ノ言ハル、コトト同ジダト、斯ウ仰シヤラレマスケレドモ、一方總理大臣ハ俺ガヤルノダ、一方新シク省ヲ作ッテ大臣ヲ置イテ其人ガヤルノダ、是ハ同ジトハ言ヘナイヤウニ思フノデアリマスガ、此點ニ付テハッキリ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○杉山國務大臣 國家總動員ノ調整統一ヲ圖ルノハ、是ハ内閣總理大臣ガ當ラレルノデアリマス、之ヲ實行スルノハ、各省ニ

於テ致シマス場合、之ヲ一層強化スル場合、而シテ是デモ尙ホ不十分デアル場合ニ於テハ、或ル統合シタ大キナ機關ヲ作ラナケレバナラスト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○羽田委員 ソレデハマダ内閣ノ意見ガ、明瞭ニナツテ居ラスト云フコトガ分リマシタ、私ハ陸軍大臣ノ言ハレルヤウニ、是ダケノ大キナ法案ヲ動カシテ行クニハ、而モ各般ニ互ル所ノ國民生活ノ全體ニ互ル問題デアリ、戰爭ト云フコトト直グ結び付ク問題デアリマスカラ、一ツノ省ノ責任アル大臣ガ軍需、民需ニ關スル統制ヲ圖ルト云フコトハ、當然ノコトダト思ヒマス、陸軍大臣ノ言ハレルコトガ當然ナコトダト思ヒマ

スガ、併ナガラ十數年來研究シタコトガ、此重大ナル運用ノ機構ニ付テモ、マダ根本的ナル態度ガ決ツテ居ラスト云フコトハ、如何ニモ怠慢ノヤウニ思フノデアリマス、今マデサウ云フコトヲ總理トノ間ニ話合ニナラナカッタノデアラウカ、今マデ企畫院ハ十數年ノ間ニ考ヘナカッタノデアルカ、之ヲ陸軍大臣ニモウ一遍伺ヒタイト思ヒマス

○杉山國務大臣 只今御述ベニナリマシタヤウニ、既ニ此問題ニ付テハ十數年間研究ヲ致シタノデアリマシテ、此機關ヲ如何ニ

スルカト云フ事柄モ、研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、其細部ノ事柄ニ付キマシテハ、昨日モ植原君カラ御要求ガアリマシタノデ、近ク適當ナ時期ニ於テ申上ゲタイト思ヒマス

○羽田委員 ソレデハ廳デ近ク此運用機構ノ全貌ガ明瞭ニナルコトヲ期待致シマシテ、私ハ此運用上ノ問題ニ付テノ質問ヲ終ルノデアリマス

實ハ此點ハ總理ニ御尋ヲ申上ゲタイト考ヘテ居ッタノデアリマスガ、丁度午前デ總理モ御歸リデゴザイマスカラ、私ハ陸軍大臣ニ一寸御尋致シタイノデアリマス、是ハ實ハ總理ガ御居デニナラナケレバ、内務大臣ニ御尋スベキコトデアリマシテ、一寸的外レデアリマスガ、今マデノ續キデ居ラレマスカラ、國務大臣トシテ陸軍大臣ニ御尋致シマス、先達テ私ハ内務省ノ警保局ニ參ッタノデアリマスガ、其時ニ若イ事務官ガ私ニ對シマシテ、帝大ノ教授ハ半分以テ上首ノスガ換ヘラシナケレバナラス、帝大ノ教授ハアレハ全クダラシナイ、所謂人民戰線のナ人間シカ居ラナイト云フヤウナコトヲ、私ニ公言シテ居リマシタ、數日經ツト果セルカナ、半數ト云フ譯ニハ行カナイノデアリマスガ、帝大ノ教授ノ若干ニ手ガ入ッタト云フコトガアリマス、私ハソレ

ニ付テ非常ニ深い感慨ヲ覺エタノデアリマス、此若イ人、サウシテ或ハ實際ノ法ノ運用ノ第一線ニ居ラレル人ニ違ヒナイノデアリマスガ、サウ云フ人ガ自分ノ習ツタ所ノ教授ニ對シテ——斯ウ云フ人ハ恐ラク帝大ノ法科ヲ出タ人デアラウト思ヒマスガ、自分ノ習ツタ先生ニ對シテ恩義モ人情モ忘レテ、其半分ハ首ノスガ換ヘラシナケレバナラスト云フヤウナコトヲ、部内ノ打合セナラナルベキデアリマスルガ、部外ノ私ニ向ッテ公言ラスルト云フコトハ、洵ニ今ノ官吏ガ如何ニモ人情モ義理モナイモノデアルコトヲ思ハセル、斯ウ云フ先生ニ習ツタレバこそ、初メテ彼ガ今日其取締ノ地位ニ居ラル、ノデアッテ、彼ガ若シ習ハナカッタナラバ其地位ニ居ラレナイ筈デアアル、サウ云フヤウナ工合デ、ドウモ恩ヲ仇デ返スヤウナコトデアルト考ヘルノデアリマス、勿論私ハ人民戰線派ノ教授ガアッタナラバ、之ヲ斷乎トシテ彈壓スルノニ吝カデハナイノデアリマス、當然サウ云フ人ハ彈壓シナケレバナラスノデアリマスガ、帝大ノ教授ノ半分ト云フト、恐ラク人民戰線デナイ人ガ其大部分ヲ占メルト思ヒマス、私ハ帝大教授ノ半分ガ人民戰線デアルト云フコトハ、私ニハ絕對ニ信ゼラレナイノデアリマス、サウ云フ人民戰

線デナイ者ニ對シテ、半分ハ縛ッテシマハナケレバイカヌト云フヤウナコトヲ公言セラレルノガ、現在ノ少壯新進官僚ト申シマスガ、官僚ノ考ヘ方デアリマス、私ハ之ニ對シテ非常ニ遺憾ノ氣持ヲ持ッテ居ルノデアリマスルガ、殊ニ帝大ノ教授ナドハ一朝一夕ニシテ出來ルモノデハナイノデス、十年モ十五年モ經ッテ初メテ一人前ノ學者ニナレルノデアリマス、サウ云フ學者ヲサウ云フタ工合ニ唯漠然ト、半分モ縛ラナケレバナラヌト云フヤウナ物ノ考ヘ方ヲシテ、斯ウ云フ者ニ對シテ彈壓ヲ加ヘルト云フコトハ、人的ニ物的ニ國家ヲ擧ゲテ總動員ヲシナケレバナラヌ今日ノ時節ニ於テ、洵ニ相應シカラザル所ノ言動ダト私ハ思フノデアリマス、昭和二三年カラ四五年ノ所謂左翼思想ノ盛シナ頃ニハ、ソレハ帝大ノ教授ノ殊ニ經濟トカ法科ノ方面ノ人々ハ、圖モスレバ「マルクス」ト云フヤウナコトヲロニシテ、寧ロ新シサヲ誇ッタヤウナ狀況ニアッタコトハ事實デアリマス、是ハ眞實カドウカハ知ラヌガ、聞ク所ニ依ルト陸軍大學ノ教授ノ中ニ於テモ、サウ云フ人が居ッタト云フヤウナ話ヲスラ聞イテ居ルヤウナ譯デアリマス、併ナガラ日本ガ此未曾有ノ時局ニ直面致シマシテカラハ、斯ウ云フヤウナ人々モスッカリ、日本人トシテノ

本來ノ姿ニ立返ッテ、十分日本人トシテノ立場ヲ考ヘルヤウニ皆ガナッテ來ツ、アルノデアリマス、サウ云フ場合ニ於キマシテ、斯ノ如ク取締ノ官憲ニ於テ彈壓ノ氣持ヲ以テ、帝大ノ教授ヲ見ルト云フコトハ、私ハ洵ニ遺憾千萬ダト思ヒマス、古イ證文ヲ持出シテ來テ、是ハ赤化教授ダトカ、人民戰線ノ溫床ダト云フヤウナ工合ニヤルコトハ、洵ニ以テ人ノ遷善改過ト云フコト、或ハ人ノ進歩發達ト云フコト、又歳ヲ取レバ歳ヲ取ツタ考ガアリ、若イ時ニハ若イ考ガアル、斯ウ云フ人間ノ進歩發達性ニ對シテ、之ヲ認識シナイト云フコトニナルノデアリマシテ、私ハ洵ニ今日斯ウ云フヤウナ官吏ガ居ルコトヲ遺憾千萬ニ思ッテ居ルノデアリマス、願クバ有力ナル閣僚ノ一人デアル陸軍大臣モ、國政ヲ運用スルニ當リ、且ツ又斯ウ云ツタ國家總動員法案ヲ運用スルニ當リマシテハ、斯カル偏見ノ考ヲ以テ大言壯語スルヤウナコト、而モソレヲ實行スルヤウナコトヲサセズニ、人ノ遷善改過ノ情ヲ十分ニ見テ、サウシテ國家有用ノ知識ヲ出來ルダケ利用致シ、研究モサセテ此法案ノ運用ニ寄與セシメルト云フヤウニ致シマシテ、日本ノ人的、物的ノ資源ヲ十分ニ發揮致スヤウニ致サレタイト思フノデア

リマス、此點ニ付テノ陸軍大臣ノ御所見ヲ承レバ洵ニ有難ク、且又文部大臣モ御出デニナリマスルカラ、文部大臣ノ御所見ヲ此際承ッテ置キタイト思ヒマス

○杉山國務大臣 只今羽田君カラ御尋ニナリマシタコトハ、私ハ其事情ヲ明ニシテ居リマセヌノデ、私ノ意見ヲ述ベルコトハ差控ヘタイト思ヒマス

○木戸國務大臣 只今御話ノ點ハ、羽田サントノ間ノ極ク私的ノ會話ガ基礎ニナッテ居リマシテ、私モ勿論ドウ云フ實情デアッタカ知リマセヌガ、若シサウ云フヤウナ師ノ恩ヲ忘レル、或ハ故ヲニ古イモノヲ指摘シテ、ソレヲ以テ人ヲ責メルト云フヤウナ者ガ官吏ノ中ニアリマスレバ、ソレハ甚ダ遺憾ナコトデアリマス、十分ニサウ云フ點ハ戒飭シテ行キタイト思ヒマス

○羽田委員 此際私ハ一ツ「エピソード」ヲ申上ゲタイト思ヒマス、私ノ友人ノ子供サンニ曾木ト云フ人が居リマス、是ハ二高カラ帝大ヲ出テ、例ノ四・一六事件ニ關與致シタ人デアリマス、此曾木ト云フ人ハ刑期ヲ終ヘマシテ、其後スッカリ轉向致シマシタノデ、司法部ノ御庇護ノ下ニ滿洲國ノ官吏ニ就任致シタノデアリマス、所ガ今回ノ戰爭ニ於キマシテ、此曾木君ハ例ノ靖安隊ニ

加ハリマシテ、櫻井中佐ノ指揮下ニ於キマシテ大イニ奮闘致シマシタガ、櫻井中佐ノ言ヲ以テスレバ、正ニ日露戰爭ニ於ケル沖貞介デアリ、横川ノ如キモノデアルト言ウテ、非常ナル感嘆ヲ致シ、其勳ニ對シマシテ深ク敬意ヲ表シテ居リマス、此曾木君ガ實ハ戰爭ノ際ニ戰死ヲ致シタノデアリマスガ、其最後ノ言葉ハ、微カナガラモ息切レムノ中ニ 天皇陛下萬歲ト云フ言葉ヲ叫ンデ息ヲ引取ッテ行ッタサウデアリマス、私ハ此轉向者ノ曾木君ガ最後ハハッキリト轉向者デアリ、日本ノ愛國精神ヲヤハリ發揮致シタト云フコトヲ聞キマシテ、私モ曾木君ニ一回會ッテ知ッテ居リマスノデ、ア、サウデアツタカ、ヤハリ彼モ日本人デアリ、眞ニ轉向シテ居ッテ呉レタカト云フコトヲ、涙ヲ以テ非常ニ感激ノ情ニ打タレタノデアリマス、私ハ只今ノヤウナ帝大教授ニ對スル其謂ハレモナキ彈壓、過去ノコトヲ見テ現在ノ轉向セル狀況ヲ見ザル所ノ彈壓ト云フモノハ、結局彼等ヲシテ、彼等ノ祖國デアアル日本ヲ、彼等ノ最後ニ叫ブベキ所ノ此嚴肅ナル言葉ノ出シヤウヲナクスルト云フコトニナリハシナイカト思フノデアリマシテ、洵ニ其意味ニ於キマシテモ、此取締官憲ト云フモノハ、餘程其現狀ニ即シテ能ク内偵査察ヲシテ、

言動ヲ苟モシナイト云フヤウニ致シテ貫ヒ
タイト云フコトヲ、此會本君ノ最後ノ言葉
ヲ聞キマシタニ付ケテモ、痛切ニ感ジテ居
ルヤウナ次第デアリマス、丁度取締關係ニ
アラル、所ノ司法大臣ガ居ラレマスカラ、
司法警察官ニ對スル御立場トシテ御所見ヲ
承リタイト思ヒマス

○鹽野國務大臣 司法警察官ニ對シテハ、御
說ノヤウニ十分ニ注意ヲシテ、檢察ノ事務
ニ當ラセタイト存ジマス

○羽田委員 ソレデ私ハ内務大臣ノ御出デ
ヲ待ツバカリニナツタノデアリマスガ、内務
大臣ハマダ御見エニナリマセヌカ

○小川委員長 今貴族院ニ御出デニナツテ
居ルサウデアリマス、總テ御出デニナルト
云フコトデアリマス——ソレデハ暫時西尾
君ノ發言ヲ許スコトニ致シテハ如何カと思
ヒマス

○羽田委員 宜シウゴザイマス、ソレデハ
内務大臣ガ來ラレマシタラ、洵ニ恐縮デア
リマスガ、順番ト致シマシテ、私個人デナ
ク、政黨トシテノ立場モアリマスノデ、私ニ
直グ御譲リ願ヒタイト思ヒマス

○小川委員長 西尾君

○西尾委員 私モ内務大臣ニ御伺シタイト
考ヘマスガ、厚生大臣ガオ見エニナリマス

カラ、其方ノコトヲ御尋致シタイト思フノ
デアリマス、此國家總動員ノ問題ニ關シマ
シテ、其内容トスル所ニ勞働員ガ極メテ
重要ナ地位ヲ占メテ居ルノデアリマス、ソ
コデ亞米利加ニ於テ歐州戰爭ニ參加致シマ
シタ其實際ノ經驗ニ基キマシテ、當時大統
領調停委員會ガ創設サレタノデアリマシタ
ガ、ソレガ其經驗ニ基イテ大統領ニ報告書
ヲ出シテ居ルノデアリマス、其報告書ノ中
ニ、産業上ノ「トラブル」ノ原因ヲ最モ能ク
除去シ得ル方法トシテ、次ノ如キ結論ヲ下
シテ居ルノデアリマス、其第一ハ「一般的
ニ言フト、亞米利加産業ハ勞資間ニ健全ナ
ル基礎ガナイノデアル、是ハ僱主ガ勞働團
體ニ反對シテ居リ、其他ノ場合ニ於テモ共
同交渉ヲ行ハズ、個人交渉ヲ主張スルカラ
デアル、又産業爭議ノ調停ニ當リ、勞資ヲ
對等ニシ得ザルコトガ調停困難ノ主要原因
デアル、全國ニ互リ、此種ノ害惡ヲ矯正セ
ントスル賞讃スベキ精神ガ漲ツテ居ル、産業
ノ指導者ハ更ニ一步ヲ進メテ、勞働者ノ心
理狀態ヲ改メル力トナリ、企業ニ於ケル協
力者トシテノ地位ヲ勞働者ニ與フルコトニ
依リ、其在來ノ感情ヨリ解放セシメネバナ
ラス、約言セバ、産業界ニ新精神ヲ發生セ
シメル爲ニ意識的試ミヲ企テナケレバナラ

ス」、斯様ニ言ツテ居ルノデアリマス、之ヲ
思ヒマスト丁度我國ノ現状ニ彷彿タルモノ
ガアルノデアリマス、即チ我國ニ於キマシ
テハ、時ニ政府ガ此勞働ニ組織ヲ與ヘ、勞
働ヲ指導スル爲ニ、勞働組合法ノ必要ガア
ルト致シマシテ、曾テハ民政黨内閣ノ時分
ニ、政府案トシテ勞働組合法ガ提出サレ、
サウシテ衆議院ヲ通過致シタコトガアツタ
ノデアリマス、而シテソレ以前カラ資本案
團體ノ方ニ於テ、全國産業團體聯合會ト云
フモノヲ組織致シマシテ、所謂資本案の利
害ノ立場ニ立ツテ、此勞働組合法ヲ阻止シヨ
ウトスル運動ガ猛烈ニ起ツテ、遂ニ貴族院デ
審議未了ニ終ツテシマッタノデアリマスガ、
ソレニ腰ヲ打チマシテ、爾來勞働國策、勞
働者ヲ如何ニ組織スベキカト云フコトニ付
テハ、等閑ニ附セラレテ居ッタノデアリマ
ス、搗テテ加ヘテ何トハナク近來「ファシ
」的ナ傾向ガ濃厚ニナツテ來ルニ從ヒマシ
テ、勞働組合ノ問題ニ付テハ兎角遠慮シテ、
相當ニ其點ヲ考ヘテ居ル人ガ政府ノ中ニモ
アルノデアリマスルケレドモ、サウ云フ
「ファシ」的ナ傾向ニ氣兼ねテ致シマシテ、
此問題ガ下積ニナツテ居ッタノデアリマス、
併シ今ヤ國家總動員法ヲ吾々ガ審議スルニ
當リマシテハ、是ハヤハリ下積ニナツタ此

勞働ノ組織ノ問題ヲ、表面ニ出シテ來ナケ
レバナラスト思フノデアリマス、即チ我國
ニ於キマシテモ、此報告書ト同様ニ、勞資
間ニ健全ナル基礎ガナイノデアリマス、サ
ウシテ又多クノ資本案ニ於テハ、勞働問題
ニ付テ勞働者ト語ルコトヲ避ケルシ、爭議
ガ起ツタ場合ニハ、又其場合ニ於テ之ヲ對
等ニ所謂商議スルト云フ態度ヲ執ツテ居ナ
イノデアリマス、併ナガラ日本ニ取ツテ喜
バシイコトハ、亞米利加ニ於テ戰時ノ必要
ニ迫ラレテ、勞資ノ間ニ先程申シマシタヤ
ウナ勞資關係ノ害惡ヲ除去シヨウ、矯正シ
ヨウトスル所ノ賞讃スベキ精神ガ漲ツテ來
タト言ツテ居ルノデアリマスガ、我國ハ今日
日支事變中デハアリマスルケレドモ、其以前
ヨリ早く私共ノ主宰シテ居リマスル日本勞
働總同盟ガ、寧ロ政府ニ働キ掛ケハ資本
家ニ働キ掛ケマシテ、此報告書ニアリマス
ル所ノ賞讃スベキ精神ヲ助成スル爲ニ、爾
來長ク努力シテ參ツテ來テ居ルノデアリマ
ス、其點ニ付キマシテハ詳シク申上ゲタイ
ノデアリマスガ、出來ルダケ簡單ニ一言ダ
ケ申上ゲテ、後デ敷衍致シタイト思フノデ
アリマス、例ヘバ吾々ハ既ニ早ク、今ヨ
リ數年前カラ勞資ノ關係ハ對立抗爭スベキ
デハナイ、寧ロ是ハ相協力スベキデアルト云

フ、所謂産業協力ノ精神ヲ主張シテ來タノデアリマス、サウシテソレヲ實行シテ、寧ロ吾々が頑冥ナル資本家ヲ教育スルト云フヤウナ心組ヲ以テ、屢、勞資懇談會ヲ吾々カラ要求シ、何トカ其間ノ凶ハレタル資本家ノ心理ヲ解ク爲ニ努力シテ參ッタノデアリマス、ソレデ段々吾々ノ組織シテ居リマス工場支部ト其工場主トノ間ノ關係ガ、非常ニ旨ク行クヤウニナッテ參リマシテ、其經驗ニ基キマシテ今度ノ事變ガ起リマスルヤ、吾々ハ即チ事變中爭議ハ絶對ニナイヨウニシヨウ、即チ吾々ノ組織ノアル所ノミナラズ、更ニ全般ニ互ッテ勞働爭議ヲ絶滅シナケレバナラスト云フコトヲ、吾々ノ大會ニ於テ決定サレタノデアリマス、此決定ハ直チニ實行ニ移サレタノデアリマス、即チ私ハ是ガ決メラレマスルヤ、是ハ十一月十八日ニ決メラレタノデアリマスガ、私ハ大阪ニ歸リマシテ、直チニ大阪府知事ヲ訪ネ、警察部長ヲ訪ネ、或ハ大阪市長ヲ訪ネマシテ、斯様ナコトヲ建議致シタノデアリマス、吾々ノ力ノ及ブ範圍、吾々ノ組織ノアル所ハ爭議ヲ絶對ニナイヤウニスルコトハ、吾々確信ガアル、併シ吾々ノ手ノ及バナイ、吾々ノ組織ノナイ所ニ對シテハ、吾々ノ力ハ及バナインデアアルカラ、先ヅ知事ガ主宰者トナッテ、此國民精神總動員運動ノ一翼トシ

テ、銃後産業協力大會ト云フヤウナモノヲオヤリニナッテハドウカ、私共ガ言ウト、徒ニ資本家ノ神經ヲ刺戟シマスカラ、知事自ラノ主宰トシテ、例ヘバ大阪ノ中央公會堂ニ大阪府下ノ主ナル工場主ヲ集メ、其工場ニ働イテ居ル勞働者ヲ集メ、ソレカラ商業會議所ノ幹部ヤ勞働組合ノ幹部等モ加ハッテ、事變中ハ絶對ニ爭議ハヤラナイヤウニシヨウデヤナイカト云フコトヲ、精神的ニ神前誓フト云フヤウナコトヲヤッタドウカト言ッテ、色々勸メタノデアリマスガ、知事、警察部長、市長等ハ心カラ賛成ヲ表サレタノデアリマスガ、如何ナル理由カ、或ハ資本家團體ノ方ノ躊躇ニ依ッテカ、是ハ行ハレズニ終ッタノデアリマス、又吾々ノ會長松岡駒吉氏ハ、同ジ頃ニ協調會ノ副會長デアリマスル水野鍊太郎氏、或ハ協調會理事デアリマスル松本君平氏、河原田稼吉氏、或ハ協調會ノ常務理事タル町田辰次郎氏等ニ之ヲ説キマシテ、サウ云フコトヲ色々勸メタノデアリマスガ、是又成功シナカッタノデアリマス、其後更ニ吾々ハ、一般的會合ガ出來ナイトスルナラバ、吾々ノヤレルダケノコトヲヤラウト云フノデ、吾々ノ關係ノアリマスル工場主總テニ案内狀ヲ出シマシテ、二月十一日ノ紀元ノ佳節ヲ期シテ、銃後産

業協力大會ヲヤラウト云フ計畫ヲ立テマシタ所ガ、幸ニ致シマシテ工場主ノ方ニモ概ネ御出席下サルシ、政府ニ於キマシテモ、陸海軍ノソレ／＼ノ局ノ方、或ハ厚生大臣、商工大臣、農林大臣等更ニ知事、市長ノ祝辭ヲ戴キマシテ、極メテ有意義ニ盛大ニ行ハレタノデアリマス、此結果ト致シマシテ、來ル十二月ニハ今度ハ百數十ノ工場主ガ、其總同盟ノ行ヒニ敬意ヲ表シ、之ニ感謝ヲ表スル意味ニ於テ此十二月ニ銃後産業協力大會ノ總同盟委員慰勞會ト云フモノヲ催スコトニナッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ空氣ハ即チ尙ホ總動員法ヲ必要トスルニ至ラナイ程度ノ現狀ニ於テ、自然ニ民間ニ於テ起リツ、アルノデアリマス、此點ハ從來圖モスレバ、此勞働組合運動ト云フモノヲ白眼視シ、若クハ例ヘバ右翼ノ連中ガ之ニ對シテ非國家的デアアル、非愛國的デアルト云フ言辭ヲ弄シマスルト、ソレニ氣兼ねシテ寧ロ斯様ニ喜バシイ、我國ニ取リマシテ洵ニ歡迎スベキモノニ對シテ、先ニモ言ヒマシタヤウニ、吾々ガ奔走致シマスルニ拘ラズ知事モ之ニ協力シナイ、何トナク右翼的ノ傾向ニ遠慮シテ居ルト云フ嫌ガアルノハ、甚ダ遺憾ニ堪ヘヌノデアリマス、私ハ先程總理大臣ニモ言ヒマシタガ、此際本當ニ政

府ノ信ズル所ヲ大膽ニヤル必要ガアルト思フノデアリマス、吾々ガヤッテ居ルモノハ洵ニ國家ノ目的ニ副フモノデアアル、又日本精神ニ相一致スルモノデアルト云フ確信ヲ以テ吾々ハヤッテ居ルノデアリマスケレドモ、若シ假ニ此吾々ノ確信ガ間違ッテ居ルト云フナラ、西尾才前ハ間違ッテ居ルト言フナラバ、吾々ハ之ニ聽從スルダケノ雅量ヲ持ッテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、政府ニ於キマシテハ此喜ブベキ、賞讃スベキ傾向ヲ助長スルト云フコトノ爲ニ努力ヲシテ貫ヒタイ、之ニ對シテ厚生大臣ハ如何ナル信念ヲ持ッテ居ルカ、本當ノ心カラ何トカシナケレバナラスト云フ立前デ、御所見ヲ御漏シテ願ヒタイト思フノデアリマス

○木戸國務大臣 只今御話ノ今回ノ事變ニ至リマシテカラノ勞働者側ノ御態度ニ付キマシテハ、先般モ豫算委員會ノ席ニ於キマシテモ、私ハ非常ニ賞讃スベキコトデアルトシテ敬意ヲ表シテ居ッタ次第デアリマス、其後二月ノ十一日ノコトモ、十分私モ承知致シテ居リマス、今日此事變ニ於キマシテ、勞働方面カラ此運動ガ出テ、寧ロ資本家ノ方ヲ引摺ッテ居ルト云フコトハ、洵ニ私トシテハ敬意ヲ表シテ居ル譯デアリマス、而シテ只今御話ノヤウナ勞働組合ノ問題等ニ付

テハ、從來御話ノ通り、政府トシテ一度提案致シタコトモアルノデアリマスガ、從來ノ立法ニ付キマシテハ、若干所謂外國ノ翻譯の點モアリマスノデ、今日ノ我國ノ精神ニ照シマシテ、更ニ再檢討スベキ點モアルト思ヒマス、ソレ等ヲ十分研究ヲ致シマシテ成案ヲ得マスルナラバ、之ヲ提案スルコトニ付テ十分考慮シタイト考ヘテ居リマス

○西尾委員

厚生大臣ノ率直ナル御答辯ヲ戴キマシテ、私ノミナラズ日本ノ多クノ労働者ハ、感激ニ堪ヘナイモノデアラウト思フノデアリマス、併ナガラ更ニ進ンデ御願致シタイノハ、政府ハ折角新シイ觀點ニ立ッテ、労働ノ組織化ノ問題ニ付テ、御研究爲サツテ居ルト云フコトデアリマスガ、之ニハ

先程總理ニモ御伺致シマシタガ、具體的ナ御答辯ヲ得ルコトガ出來ナカッタ、實ハ押返シテ御尋シタカッタノデアリマスガ、厚生大臣ニ御伺出來ルト思ッテ、御尋致サナカッタノデアリマス、ソコデ此際御尋致シタイノハ、政府ニ於テ研究スルト云ハレルガ、サウ悠長ニヤツテ居ラレス時デハナイカ、若シ來月或ハ再來月第三國トノ戦争ガ起ツタラドウスルカ、斯ウ云フコトモ考ヘ、又此總動員法案ガ緊急必要デアルト云フ今日ノ現状

カラ考ヘマスレバ、労働國策ノ樹立、労働ヲ組織化スルト云フコトハ、一日モ忽セニ出來ナイモノダラウト思フノデアリマス、

政府ニ於テ飽ク迄モ此法案ヲ通過セシメ、國民ノ犠牲ヲ要求シテ、サウシテ國防ノ任ヲ全ウシナケレバナラスト云フ決意ガアリマスルナラバ、是ハ直チニ労働國策樹立ノ爲ノ審議會ト云フヤウナモノヲ作り、ソレゾレ民間ノ「エキスパート」ヲ御集メニナツテ、厚生大臣ガ委員長ニナラレテ、政府ノ責任ニ於テ十分ナル、而モ迅速ナル協議ヲナサルベキデアルト思ヒマスガ、其點如何デゴザイマセウカ

○木戸國務大臣

只今御話ノ労働國策審議會設置ニ付テノ御考ヘ、御尤モデアリマスルガ、政府ト致シマシテハ労働國策ニ付テ、只今急遽御話ノヤウナ委員會ヲ組織スルト云フコトマデハ考ヘテ居ラスノデアリマス、而シテ此法律ガ通リマスレバ、有ユル方面ニ於テ、此運用等ニ付テ研究シナケレバナリマセヌカラ、御考ノ點ニ付テハ慎重ニ考慮致シタイト思ヒマス

○西尾委員

ソレデハ少シ方面ヲ變ヘテ總動員ト熟練工ノ關係ニ付キマシテ、御尋致シタイノデアリマス、國防計畫ニ熟練労働者ガ必要デアリ、而シテ現在ノ狀態ニ於テ

モソレガ不足ヲ告ゲテ居ルト云フコトハ明ナ事實デアリマス、ソコデ何故熟練工ガ不足ヲ告ゲテ居ルカ、是ハ日本ノ國ノミナラズ、主ナル國々ニ共通セル今日ノ惱ミデアリマス、私ハ先ヅ其共通ノ惱ミデアル熟練工不足ノ原因ニ付テ言及致シテ見タイト思フノデアリマス、ソレハ英吉利、亞米利加、佛蘭西、獨逸、「ソ」聯等ニ於テ大體共通セル原因ガアルノデアリマス、更ニ又日本獨特ノモノガアルノデアリマス、其歐米ノ共通スル點ヲ言ヒマスナラバ、第一ハ一般的ニ出生率ガ非常ニ減退致シテ居ルノデアリマス、歐洲戦争ノ結果ト致シマシテ、壯年

者ガ少クナツタ爲ニ、出生率ガ減ツテ居ルノデアリマス、戦争ガ始ツタ千九百十三年ノ翌年ニ子供ガ生レテ居リマスルト、其年齡ヲ算ヘテ見マスト、今年ハ日本流ニ言ヒマシテ二十三歳ニナリマス、サウ云ウ意味ニ於テ、歐洲戦争ノ打撃ニ依ツテ青年ガ非常ニ少イト云フコトガ、歐米ニ於ケル共通セル一ツノ原因デアル、ソレカラモウ一ツノ原因ハ、近來國際關係ガ緊迫スルニ從ヒマシテ産業、工業ニ付テ自給政策ヲ執ルヤウニナツテ來タ、即チ國家主義的ニ國ノ範圍内ニ於テ之ヲ充足スルト云フ傾向ガ強クナツテ來タ結果トシテ、熟練工ガ足ラスト云フ

ヤウニナツテ來テ居ルノデアリマス、斯ウ云フモノヲ考ヘテ、偕テ日本ノコトヲ振返ッテ見マスト、日本ハ歐洲戦争ニハ參加致シマシタケレドモ、大シタ犠牲ハ拂ハナカッタノデアリマスカラ、此第一ノ原因ノ出生率ガ減ツタト云フコトハナイ、第二ノ自給自足ノ經濟ノ爲ニ熟練工ガ減ルト云フ原因ハ、是ハ日本モ共通ナノデアリマス、更ニ日本特有ノモノハ何デアアルカト云フト、私ハ失業保險ガナイカラダト思フノデアリマス、吾々ハ多年失業保險制度ノ實施ヲ要求シテ來タノデアリマスガ、從來サウ云フコトハ多ク願ラレナカッタノデアリマス、サウシテ政府部内ニ於テモ、殊ニ社會局ナドニ於テハ、失業保險ノ必要ヲ考ヘテ居ル人ガアッタノデアリマスルガ、前ニモ言及致シマシタヤウナ資本家團體ノ壓迫ニ依リマシテ、是ガ出來ナカッタ、ソレノ代リトシテ出來マシタ

ノガ例ノ退職積立金法デアリマス、所ガ此法律ハドウ云フ作用ヲスルカト云フト、第一ニ労働者ガ失業シタ時ニハ、自分ノ仕事ニ對シテ非觀的ニナツテ居ル、再ビ失業ノ憂目ヲ見タクナイト云フ心理狀態ニナツテ居ル、ソコヘ持ツテ來テ一時ニ纏マツタ金ヲ呉レルト云フノガ、退職積立金法ノ性質ナノデアリマス、自己ノ職業ニ對シテ不安ヲ持ッテ

居ル時ニ金ガ入ル、マダ三十歳位ノモノナ
ラバ、又仕事ヲ探シ得マセウケレドモ、若
シ四十歳過ギテ居レバ、何トカ豆腐屋カハ
百屋デモヤツテ、斯ナ憂目ヲ見マイト云フ
心理ニナツテ、詰リ熟練工カラ他ノ商賣其他
ノ事ヲヤル場合ガ多イノデアリマス、即チ
退職積立金法ハ轉業獎勵資金ト云フヤウナ
作用ヲ爲シテ居ルノデアリマス、之ニ若シ
失業保險ガ實施サレマス、其熟練工ガ失
業ヲスレバ、他ノ仕事ガ見付カル迄ハ失業
保險手當ヲ貰ツテ、仕事ヲ待ツテ居ル、即チ
失業保險ハ熟練労働者ノ「プール」デアリマ
ス、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、熟練労働
者ガ今モ足ラヌシ、一旦戦争ニナリマスナ
レバ、目ヲ廻サレルホド足ラヌヤウニナル
コトハ、餘リニ見エ透イテ明カナノデアリ
マス、殊ニ又此失業保險ヲ實施スル爲ニハ、
職業紹介所法ト云フモノガ重要デアル、即
チ職業紹介ノ國營ト云フコトガ先行シナ
ケレバナラヌノデアリマスガ、幸ニ本議
會ニ於キマシテハ、職業紹介所ヲ國營ニス
ベシト云フ法案ガ提案サレテ居ルノデアリ
マシテ、多分是ハ成立スルト考ヘルノデア
リマスガ、サウナリマスナラバ失業保險ヲ
實施スル爲メノ條件ガ、具ハツテ來ルノデア
リマス、更ニ失業保險ノ問題ハ、戦時ニ於

ケル熟練労働者ヲ散逸セシメナイト云フ意
味ニ於テ、遽ニ熟練職工ヲ拵ヘヨウト思ッテ
モ出來ナイノデアリマスカラ、出來ルダケ
熟練労働者ヲ保護スル意味ニ於キマシテ、
失業保險ノ問題ヲ新シク考直サネバナラス
ノデハナイカ、斯様ニ思フノデアリマスガ、
厚生大臣ノ御所見ヲ承リタイト思フノデア
リマス
○木戸國務大臣 只今御話ノ熟練工ガ失職
致シマシタ時、是ガ關係ノナイ他ノ業務ニ
就ク爲ニ熟練工ヲ逃ガス、又其技能ガ低下
シテ、一旦有事ノ際ニ役ニ立タナクナルト
云フ意味ノ御話デアリマスガ、其點ガサウ
云フ結果ニ現ハレテ來マスコトハ、洵ニ遺
憾デアリマシテ、ヤハリサウ云フ技能ヲ持ッ
タモノハ、其技能デ立ッテ行クヤウニ致サナ
ケレバナラスト考ヘテ居リマス、ソコデ政
府ト致シマシテハ、只今御話ノヤウナ職業
紹介所ヲ國營ニ致シマシテ、熟練工ヲシテ
其技能ヲ發揮サセ、成ベク同種ノ仕事ニ就職
サセルコトニ努力スル積リデゴザイマス、
而シテ失業保險ノ問題ニ付キマシテハ、良
イ方面ノ點トシテ、只今御話ノヤウニ、之
ニ依リマシテ待機ノ姿勢ヲ取ラセ、失業保
險ヲ受ケツ、待ツテ居ルト云フコトデアリ
マスガ、又其半面ニハ可ナリ色々ノ弊害モ

アリマシテ、是ハ各國ノ例カラ見マシテモ、
相當考慮シナケレバナラスト點ガアリマス、
又我國ノ國情等ニ顧ミマシテモ、其點相當
考慮シナケレバナラスト點ガアルノデアリマ
ス、其點ハマダ十分ノ成案ト決意トラ得
テ居ラナイヤウナ狀況デアリマスルガ、御
話ノ點ハ十分考慮シタイト思ヒマス
○西尾委員 勿論是ハ非常ニ重大ナ問題デ
アリマシテ、簡單ニ此議場デドウスルト云
フモノデハアリマセヌガ、私ノ申上ゲマス
ヤウニ、是ハ新シイ情勢ニ應ズル新シイ問
題トシテ、政府ガ御取上ゲヲ願ヒタイト思
フノデアリマス、次ハ國家總動員ノ労働時
間制限ノ問題ニ付テ御伺ヲ致シタイト思フ
ノデアリマス、前ニモ言及致シマシタヤウ
ニ、國防上熟練労働者ヲ保有スルト云フコ
トハ、非常ニ重要デアルノデアリマスガ、
ソレニ關聯シテ労働時間ヲ制限スルコトガ、
必要デナイカト私ガ考ヘマスノハ、斯ウ云
フ理由ガアルノデアリマス、労働時間制限
ノ問題ハ、洵ニ古イ問題デアル、嘗テハ勞
働時間ノ問題ハ、人道上ノ問題トシテ是ハ
取上ゲラレタノデアリマス、労働者モ人間
デハナイカ、牛ヤ馬ノヤウニ何時間モ働カセ
ルコトハイカヌデヤナイカ、斯ウ云フ人道
上ノ問題カラ、労働時間ノ問題ハ取上ゲラ

レタノデアリマス、次ニハ能率ノ問題トシ
テ此労働時間ノ問題ハ取上ゲラレタノデア
リマス、即チ労働者ハ十二時間、十三時間
働カセバ、ソレダケ得ダト云フノデナクシ
テ、却テ適當ニ労働時間ヲ制限スルコトガ
能率的デアリ、經濟的デアルト云フ所ノ、
所謂算盤勘定カラ労働時間ヲ制限シタ方ガ
宜イト云フ議論モアツタノデアリマス、更ニ
次ニハ國防上ノ問題カラ、即チ廣義國防ノ
問題カラ國民體位ノ向上、或ハ在郷軍人ガ
多ク工場デ不具者ニナツテ、再ビ戦線ニ就ケ
ナイヤウニナルト云フヤウナ、所謂廣義國
防ノ見地カラ、國民體位ノ向上ト云フヤウ
ナ立前カラ、労働時間ノ問題ガ、再ビ問題
ニナツタノデアリマス、既ニ軍ノ方ニ於テモ
サウ云フ要求ガアリ、又厚生省關係ニ於テ
モ法律ニハ出マセヌガ、或ル程度ノ労働時
間ノ制限ヲスルト云フヤウナコトニナツテ居
ルコトヲ、私ハ承知致シテ居ルノデアリマ
スガ、ソレデハ不十分デアリマシテ、茲デ
ハ國家總動員ト云フ立前カラ、モウ一遍新
シイ問題トシテ労働時間ノ制限問題ヲ考ヘ
ナケレバナラヌノデハナイカト思フノデア
リマス、即チ一旦戦時ニナリマスルナラバ、
モウ何處ノ國モ經驗致シマシタヤウニ、サ
ウシテ今日日本ニ於キマシテモ、例ヘバ二年

ケル熟練労働者ヲ散逸セシメナイト云フ意
味ニ於テ、遽ニ熟練職工ヲ拵ヘヨウト思ッテ
モ出來ナイノデアリマスカラ、出來ルダケ
熟練労働者ヲ保護スル意味ニ於キマシテ、
失業保險ノ問題ヲ新シク考直サネバナラス
ノデハナイカ、斯様ニ思フノデアリマスガ、
厚生大臣ノ御所見ヲ承リタイト思フノデア
リマス
○木戸國務大臣 只今御話ノ熟練工ガ失職
致シマシタ時、是ガ關係ノナイ他ノ業務ニ
就ク爲ニ熟練工ヲ逃ガス、又其技能ガ低下
シテ、一旦有事ノ際ニ役ニ立タナクナルト
云フ意味ノ御話デアリマスガ、其點ガサウ
云フ結果ニ現ハレテ來マスコトハ、洵ニ遺
憾デアリマシテ、ヤハリサウ云フ技能ヲ持ッ
タモノハ、其技能デ立ッテ行クヤウニ致サナ
ケレバナラスト考ヘテ居リマス、ソコデ政
府ト致シマシテハ、只今御話ノヤウナ職業
紹介所ヲ國營ニ致シマシテ、熟練工ヲシテ
其技能ヲ發揮サセ、成ベク同種ノ仕事ニ就職
サセルコトニ努力スル積リデゴザイマス、
而シテ失業保險ノ問題ニ付キマシテハ、良
イ方面ノ點トシテ、只今御話ノヤウニ、之
ニ依リマシテ待機ノ姿勢ヲ取ラセ、失業保
險ヲ受ケツ、待ツテ居ルト云フコトデアリ
マスガ、又其半面ニハ可ナリ色々ノ弊害モ

アリマシテ、是ハ各國ノ例カラ見マシテモ、
相當考慮シナケレバナラスト點ガアリマス、
又我國ノ國情等ニ顧ミマシテモ、其點相當
考慮シナケレバナラスト點ガアルノデアリマ
ス、其點ハマダ十分ノ成案ト決意トラ得
テ居ラナイヤウナ狀況デアリマスルガ、御
話ノ點ハ十分考慮シタイト思ヒマス
○西尾委員 勿論是ハ非常ニ重大ナ問題デ
アリマシテ、簡單ニ此議場デドウスルト云
フモノデハアリマセヌガ、私ノ申上ゲマス
ヤウニ、是ハ新シイ情勢ニ應ズル新シイ問
題トシテ、政府ガ御取上ゲヲ願ヒタイト思
フノデアリマス、次ハ國家總動員ノ労働時
間制限ノ問題ニ付テ御伺ヲ致シタイト思フ
ノデアリマス、前ニモ言及致シマシタヤウ
ニ、國防上熟練労働者ヲ保有スルト云フコ
トハ、非常ニ重要デアルノデアリマスガ、
ソレニ關聯シテ労働時間ヲ制限スルコトガ、
必要デナイカト私ガ考ヘマスノハ、斯ウ云
フ理由ガアルノデアリマス、労働時間制限
ノ問題ハ、洵ニ古イ問題デアル、嘗テハ勞
働時間ノ問題ハ、人道上ノ問題トシテ是ハ
取上ゲラレタノデアリマス、労働者モ人間
デハナイカ、牛ヤ馬ノヤウニ何時間モ働カセ
ルコトハイカヌデヤナイカ、斯ウ云フ人道
上ノ問題カラ、労働時間ノ問題ハ取上ゲラ

先キ、三年先キニ事變が起ツタト致シマシ
テモ、果シテソレニ對スル熟練労働者が間
ニ合フカ、ドウカト云フコトニ付テ、一寸
見込が立たヌノデアリマス、ソコデ今カラ
考ヘテ置カナケレバナラスコトハ、戦争ニ
ナリマスルト、所謂労働者ノ稀釋ト云フコ
トガ行ハレルノデアリマス、労働ヲ薄メル
ト云フコトが必要ニナツテ來ルノデアリマ
ス、熟練労働者十人居ル所ヘ、二十人ノ不
熟練労働者ヲ混ゼテ兎ニ角仕事ヲスルトカ、
或ハ今マデ男工ガシテ居ツタ仕事ヲ女工ガ
スルトカ、或ハ非常ナ場合ニ於テハ十三歳、
十四歳ノ子供モヤハリ仕事ニ使ハナケレバ
ナラスト云フヤウナ、労働ノ稀釋ト云フコ
トガ事變ニ於テハ行ハレルノデアリマスガ、
其場合ニ何ト云ヒマシテモ、熟練職工ト云
フモノガ中心ニナラナケレバナラス、殊ニ
近代兵器ノ進歩ハ、ドウシテモ熟練職工ガ、
或ル程度マデナクテハナラスト云フコトハ
明カナノデス、英吉利ニ於キマシテハ僅ニ
數十人ノ熟練職工ガ得ラレナカッタ爲ニ、大
事ナ兵器ガ作レナイデ困ツタト云フヤウナ
コトハ餘リニモ有名ナ事實ナノデアリマス、
ソコデドウシタラ戦時ニ於テ不足スル熟練
労働者ヲ補フコトガ出來ルカト申シマスレ
バ、是ハ、他ノ商品ノヤウニ、或ハ「ガソリ

ン」ノヤウニ、或ハ鑛石ノヤウニ、之ヲ「ス
トック」シテ置ク譯ニハ行カナイノデアリ
マス、労働ハ労働者ノ身體ニ付イテ居ルノ
デアリマスカラ、結局労働時間ヲ制限スルコ
トニ依ツテ、労働者ガ個々ニ労働力ヲ「ストッ
ク」シテ置クト云フコトが必要デハナイカト
思ヒマス、例ヘバ平時ニ於テ十時間假ニ働
ク労働者ガアルト致シマスナラバ、戦時ニ
於テ十二時間働カセルコトニ依ツテ二割ノ増
加ナノデス、而モ英吉利等ノ經驗ニ依リマ
スレバ、戦時ニ於テ労働時間ヲ延長シタ爲
ニ、却テ生産品ニ支障が起ツタト云フ事實ヲ
吾々ハ聞イテ居ル、又現ニ是ハ申上ゲル譯
ニ行キマセヌケレドモ、或ル軍ノ兵器ヲ拵
ヘテ居ル工廠ニ於テハ、労働ノ稀釋ヲ行ツタ
爲ニ、不熟練労働者ヲ混ヘタ爲ニ、出來ル品
物ガ次カラ次ニベケニナツテ、サモナクササ
ヘ不足デ困ツテ居ル材料ガ徒ニ空費サレル
ト云フ事實モ吾々ハ聞イテ居ルノデアリマ
シテ、此點カラ考ヘマスナラバ、例ヘバ平
時八時間制度ニシテ置クト、戦時ニ十二時
間働カナケレバナラスト云フナラバ、五割
ノ労働増加ガ出來ル、平生カラ五割熟練勞
働ヲ「ストック」シテ置イタト云フコトニナ
ル、斯ウ云フ意味ニ於テ、労働時間制ノ問
題ハ、國家總動員ノ問題ニ關聯シテ、是亦

新シイ見地ニ立ツテ取上ゲテ、眞劍ニ考ヘナ
ケレバナラス問題デハナイカ、殊ニ能率上
ノ問題カラ労働時間ノ問題ヲ決定シヨウト
致シマスルト、八時間ガ果シテ宜イノカ、
十二時間ガ宜イノカ、サウ云フコトノ科學
的ナ研究ガ先行シナケレバナラスノデアリ
マスルケレドモ、労働力ヲ「ストック」シテ置
クト云フ考ヘ方カラスルナラバ、サウ云フ
研究モ不必要デハナイケレドモ、尙ホ研究
ガ不十分デアリマシテモ、或ル程度ノ労働
時間ヲ決メルト云フコトハ出來ルノデハナ
イカ、私ハ尙ホ誤解ノナイヤウニ申シテ置
キマスガ、労働時間ヲ制限スル爲ニ、茲ニ
一律一體ニ八時間労働ヲシロト云フコトヲ
主張スルノデハナイノデアリマス、或ル産
業ニ於テハ八時間デモ長過ルデセウ、或ル
産業ニ於テハ十時間ヤツテモ構ハナイモノモ
アルデセウ、ソコデ私ノ希望致シマスルノ
ハ、或ハ工場法、或ハ健康保險法ガ、先ヅ
可能ナモノカラ漸次廣メテ行ツタヤウニ、先
ヅ労働時間ヲ制限スルト云フコトガ、實際
ニ可能ナモノカラ、一ツデモ宜シイカラ可
能ナモノカラヤツテ行ク、ソレガ段々トヤツ
テ行ク中ニ經驗ヲ積ンデ、全體ニ之ヲ及ボ
シテ行クト云フコトが必要デハナイカト思
フノデアリマス、斯様ナ意見ヲ持ツテ居ルノ

デアリマスルガ、厚生大臣ハ如何ナル御所
見ガアリマスルカ、伺ヒタイト思フノデア
リマス

○木戸國務大臣 只今御話ノ平時ヨリ労働
力ヲ維持増進致シテ置キマシテ、一旦有事
ノ際ニ生産力擴充ニ資スルト云フコトノ御
話ニ付テハ全然同感デアリマス、唯之ヲ如
何ニシテ實際ノ問題ニスルカト云フコトニ
付テハ、總動員法ノ實施ニ付キマシテ、御
話ノヤウニ或ル部分ニ於テハ、新シイ觀點
カラ之ヲ考ヘテ行カナケレバナラスト考ヘ
マス、只今直チニ何時間制ドウスルト云
フコトニ付テハ、尙ホ慎重ニ研究致シマシ
テ、又其適用スル範圍等ニ付テモ、十分研
究シテ見タイト考ヘテ居リマス

○西尾委員 ソレカラ私ノ屬シテ居リマス
ル全日本労働總同盟ハ、産業協力方針ヲ樹
立致シマシテ、實際ニ吾々ノ力ノ及ブ限リ
ニ於テ工場主トノ間ニ隔意ナキ、言葉ノ上
ノ諒解デハナク長イ間ノ吾々ノ行動ニ依ッ
テ、成程總同盟ノ産業協力精神ト云フモノ
ハ、斯ウ云フモノカト云フ實體ヲ示スコト
ニ依ツテ諒解ヲ得マシテ、先ニ申シマシタヤ
ウニ洵ニ美ハシイ情景ガ今日醸シ出サレテ
居ルノデアリマスルガ、吾々ハ是デ満足ス
ベキモノデハナイ、吾々ノ精神ハ政治ヲ通

ジテ全國ニ推弘メナケレバナラス、斯様ニ考ヘマシテ、吾々ハ産業及ビ勞働統制ニ關スル建議ヲ從來屢、政府ニ致シテ居ルノデアリマス、即チ昭和八年ノ九月日本勞働組合會議ノ第二回大會ニ於テ吾々ハ之ヲ提案シ、是ガ可決サレタノデアリマス、同ジク其年ノ暮ノ十二月十八日東京會館ニ於テ政府及ビ各資本家側ノ者、或ハ學者等ヲ約九十名程御招キヲ致シマシテ、此産業勞働統制ニ關スル吾々ノ考ヲ披露致シマシテ、色々御批判ヲ受ケタノデアリマス、爾來吾々ハ政府ニモ之ヲ建議致シマスト共ニ、今日マデ續ケテ參ツノデアリマシタガ、昨年ノ十月ノ第六回大會ニ於テモ、是ハ時局ニ鑑ミ一層必要ダト云フコトヲ痛感致シマシテ、幾分ノ字句ヲ修正シテ政府ニ提出シテ居ルノデアリマス、不幸ニシテ未ダ其回答ニ接シテ居ナイノデアリマスガ、是ハ單ニ政府ト吾々トノ關係ト云フバカリデナク、此國家總動員ノ爲ニ、勞働統制ノ爲ニ、非常ニ重要ナ内容ヲ含ンデ居ルと思ヒマスノデ、私ハ其要綱ノミ茲ニ申上ゲテ、政府ノ所見ヲ質シタイト思フノデアリマス、其要綱ハ一ハ勞働行政デアリマシテ、其中ニハ各省ニ分散セル勞働行政ハ厚生省ニ統一シ、官業勞働者ニ對スル勞働行政モ此管轄下ニ移シ、參

與制ヲ設置シテ企業及ビ勞働兩代表ヲ參加セシメテ、産業及ビ勞働ノ統制ニ基調ヲ置ク學國的協力ヲ實現スベシト云フコト、第二ニハ産業統制ニ付キマシテハ、是ハ要點ノミ申上ゲマスルガ、其中ニハ一般中小産業ハ、各産業別ニ事業主ノ組合ヲ組織セシメ、之ニ強制力ヲ付與シ、國家ハ同組合ヲ通ジテ指導監督ヲ行フベシ、斯ウ云フノガ産業統制ノ中ニアルノデアリマスルガ、是ハヤハリ政府ノ方針ト一致致シマシテ、今度商業組合法ノ改正案ガ本會議ニ提出サレテ居ルノデアリマス、即チ個々ノ小サイ工業及ビ商業ト云フモノハ、是ハ政府直接ニ指導統制シニクイカラ、是等ニ組合ヲ作ラセル、斯ウ云フノデアリマス、ソレカラ勞働統制ニ關シマシテハ、ヤハリ本案ノ中ニアリマシヤウニ、吾々ハ過去ノ自由主義的ナ勞働爭議ト云フモノヲ吾々自ラ否定シテ居ルノデアリマス、今マデノ勞働爭議ニ關スル一般ノ考、殊ニ政府ノ考モ、勞働條件ノ決定ハ勞働者ト資本家トノ關係デアルカラ、政府ハ知ラス、オ五ニ自由勝手ニヤルベシ、唯其自由ニヤルコトガ偶、治安ヲ紊スト云フヤウナコトニナツタ時ニ、初メテ政府ハ之ニ干涉スルンダ、是ハ明ニ自由主義ノ法律デアリマス、吾々ハ是ハイカスト思フ、是ハ

何モ事變中ニ付テ言フノデハナク、吾々ハ前ニ申シマシタヤウニ、昭和八年カラ之ヲ主張シテ居ル、吾々ハ單ニソレガ爭議調停法ノ内容ニ含マレテ居ル官業デアルトカ、一般公共機關ト云フダケデハナク、出來ルダケ勞資ノ關係ヲ政府ガ介入シテ合理化スルト云フコトガ必要デハナイカ、其爲ニハ勞働者ヲ抑ヘルモ宜シイ、資本家ヲ抑ヘルモ宜シイ、斯ウ云フ立前ニ立チマシテ勞働爭議調停法ヲ改正スベシト云ウテ居ルノデアリマス、サウシテ一方ニハ組合法ヲ作ッテ、ソレニ依ッテ勞働者側ノ團結ヲ認メル、日本ノ法律ハ資本家側ニハ一ツノ團結ヲ認メテ、其團體ノ意見トシテ政府ニ、社會ニ向ッテ其意見ヲ發表スルコトガ法制上認メラレテ居ルノデアリマスガ、勞働者ニ對シテハ何等法制上認メラレテ居ナイノデアリマス、ダカラ法制上ニ於テ勞働者ノ團結ヲ認メ、サウシテソレガ基礎トナツテ、先ニモ申シマシタヤウニ、勞資關係ノ間ニ合理性ヲ持タセル、勞働者ノ意思ノ綜合シタモノト、資本家側ノ意思トガ、ソコニ常ニ合理的ニ、オ五ガ相談出來ルヤウナ、ソレニ又規律ヲ與ヘルヤウナ團體協約ヲ作ルベキデアル、斯ウ云フヤウナコトガ其内容ニナツテ居ルノデアリマス、更ニ産業協力ノ間

題ニ付テハ吾々民間デアルバカリデナク、政府自身地方ニ産業協力委員會ノ如キモノヲ設ケシメ、政府ガ働キ掛ケテ、勞資間ヲ斡旋シテ、此産業協力ノ實ガ舉ルヤウニスベキデアルト云フコトヲ吾々ハ主張シテ居ルノデアリマス、以上ノ要綱ヲ内容トスル所ノ産業及ビ勞働ノ統制ニ關スル國策ヲ樹立シ、之ヲ實現セシメル目的ヲ以テ總理大臣直轄ノ下ニ産業及ビ勞働ニ關係アル團體ノ代表者並ニ學識經驗アル人士ニ依ッテ産業勞働統制審議會ヲ設置シ、速ニ其準備ヲ進メラレンコトヲ望ムト云フノガ、此産業勞働統制ニ關スル建議ノ内容デアリマス、此本案ヲ吾々ガ國家總動員法ト「リンク」致シマシテ見マス時ニ、洵ニ是ハ重要ナ内容ヲ含ンデ居ルト思フノデアリマス、吾々ハ此内容ニ付キマシテ、此處ハイカス、彼處ハイカスト云フヤウナ點ハアリマセウケレドモ、此點ニ付テモ政府ハ十分ニ之ヲ取上ゲテ御研究ヲ願ハナケレバナラスト思フノデアリマスガ、既ニ是ハ屢、吾々ガ政府ニ建議致シテ居ルノデアリマスカラ、之ニ對シ政府ニ於テモ如何ナル御取扱ヲナサツテ居リマスカ、此機會ニ於テ之ニ對スル御返事ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○木戸國務大臣 只今御話ノ建議ニ付キマ

シテハ、非常ニ廣範ナル範圍ニ互ツタ問題デアリマシテ、殊ニ厚生省ニ各勞働關係ノ監督ヲ統一スル、各省ニ關係スルコトモアリマス、又只今御話ノ勞働組合ト云フヤウナモノニ付テハ、先程モ御答致シマシタヤウニ、研究シテ居ルヤウナ狀態デアリマシテ、只今御話ノ點ヲ全部御回答ハ申上ゲ兼ネマスガ、十分當局ニ於テ研究致シテ居ル次第デアリマス、左様御諒承願ヒマス

○羽田委員 末次内相ガ才出デニナリマシタノデ、先程ノ言論取締ノ問題ニ付テ重ネテ質問ヲ御許願ヒタイト思ヒマスガ、尙ホ若干陸軍大臣ヘノ先程ノ質問ト重複致シマシテ、委員ノ皆様ニ御聞苦シイ點ガアルカモ知レマセヌガ、其點先程ノヤウナ事情デアリマスカラ、御許ヲ願ヒタイト思ヒマス、

末次内相ニ御尋致スニ先ダツテ、先ヅ法律問題ト致シマシテ、司法大臣ニ一寸御尋致シマス、此總動員法案ノ第二條ノ總動員物資、第三條ノ總動員業務、何レモ第九號ニ於テ、前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外勅令ヲ以テ指定スル國家總動員上必要ナル物資、或ハ業務ト云フ文字ガアリマスガ、此點ニ付テハ先達テ既ニ植原先輩ヨリ一應御質問ニナラレタ點デアリマスガ、マダ私ニハ十分ニ當局ノ御意向ガ分リマセヌノデ、重

ネテ御質問申上ゲル譯デアリマスガ、此法案ノ文句ヲ見マスルト、斯クシテズット第一號カラ第八號マデ何レモゾラ／＼ト物資ナリ、業務ナリガ列舉サレテ居ルノデアリマスルガ、此九號ヲ見マスルト、何カシラ今マデ列舉致シマシタハツ以外ニ、何カ別ニ隠シテアリハセヌカ、何カ後カラ又出テ來ヤシナイカト云フヤウナ印象ヲ持ツモノデアリマスルガ、果シテマダ何カアルノカドウカ、此點ニ付キマシテハ、所謂千變萬化ノ事情ニ應ズルニハ、是レ以上殖ヤス積リハナイガ、若シ足りナイモノガアルト困ルカラ、之ヲ入レテ置クノダト云フヤウナ御答辯ガ恐ラクアルカモ知レマセヌガ、此點ニ付キマシテモウ一回司法大臣ニ御尋致シテ置キタイト思ヒマス

○鹽野國務大臣 二條三條ニ各、第九號シテ掲ゲテアリマス所ハ、大體一號カラ八號ニ於テ總動員上必要ナル物資若クハ業務ハ是デ足りヤウト思ヒマスルケレドモ、戰時ノ體制ニ於キマシテ、或ハ此以外ニモ必要ラ感ズルモノガ出來ルカモ知レナイト云フ豫備ノ爲ニ九號ヲ設ケタモノデアリマシテ、只今ノ所九號ノ中ニドウ云フモノガアルカト云フ程ノモノヲ、具體的ニ申上ゲル譯ニハ行カヌヤウナ次第デアリマス、詰リ豫備

的ノ規定デアリマシテ、斯様ナ規定ハ現行ノ軍需工業動員法ニ於キマシテモ、同様ナ規定ガアルノデゴザイマス

○羽田委員 只今ノ司法大臣ノ御答辯ノ要旨ヲ私ガ判斷致シマスルニ、結局大體八號以外ニハ今ノ所ハ想像モ出來ヌガ、若シモノ場合ニ困ルカラ九號ヲ入レテ置クト云フ、全クノ豫備デアツテ、別ニ今何モ用意シテ居ラス、殆ド今ノ所ハ想像モシテ居ラスト云フヤウニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○鹽野國務大臣 其通りデゴザイマス

○羽田委員 サウ致シマスルト云フト、結局九號ハマア謂ハ人問ノ盲腸ノヤウナモノデアツテ、アツテモナクテモ宜イモノダト云フヤウニ私ハ解釋致シマスノデ、隨テ例ヘバ此八號マデノ間ニ列舉サレテ居ル所ノ事項ヲ削除致シタヤウナ場合ニ於キマシテハ、ソレヲ再び九號ノ中ニ積極的ニ盛込ムト云フコトガナイト了解シテ宜シウゴザイマスカ

○鹽野國務大臣 只今ノ御尋ハ、一號カラ八號ノ中ヲ削ッテシマッタバ、其削ッテモノハ九號ノ中ニ入ラスノデアアルカト云フ御尋デアリマスヤウニ拜承シマシタガ、一號カラ八號マデハ必要ナリト認メマシテ掲ゲ

タノデアリマスルカラ、其中カラ削ラレルト云フコトニナリマスルト、甚ダ困ルノデアリマス、マア假ニ削ッタナリマスルト、當然九號ノ中ニソレハ入ッテ來ナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○羽田委員 サウ致シマス、八號ノ間マデハ削ッテモ、結局九號ノ中ニ生キテ來ルト云フヤウニナリマスノデ、私ノ申スノハ積極的ニ九號ノ中ニ入レルカ入レナイカ、勿論ソレハ削ルコトニ合理性ガアツテ、已ムヲ得ズシテ政府ハ削ッタノニ同意致シタガ、其後ニナツテ、又ドウモ此點ハ必要ダト云フノデ已ムヲ得ズシテ消極的ニ復活スルコトハ結構デアリマスガ、積極的ニ九號ノ中ニソレハ當然入ルノデアアルト云フコトデアッタナラバ、例ヘバ八號ノモノヲ九號ニ移ス、ソレダケニナツテシマツテ、ソレダハ意味ヲナサスト思フノデアリマスガ、若シ一號カラ八號マデノ間ニ、合理的ニ、出來ルモノナラ削ッテ宜シイト云フコトニナッタナラバ、ソレハ九號ニハ積極的ニハ生キテ來ナイト云フヤウニ諒解シタイノデアリマスガ、司法大臣如何デアリマス、合理性ガアツタ場合デス、削ル方ガ無理ノ場合ニハ入ッテ來マセウケレドモ、合理性ノアツタ場合デス

○鹽野國務大臣 一號カラ八號ヲ見マス

何レモ必要ナル項目デアリマシテ、之ヲドウモ削ルト云フヤウナ考ハ私共ニハ出ナイノデアリマス

○羽田委員 立案サレ且ツ同意サレタ所ノ司法大臣デアリマスカラ、隨テ今即座ニ私が指摘シナイ前ニ此中ニ削ッテ宜イモノガアルカドウカト云フコトハ、勿論提出サレタ信念ノ上カラ、ナイ積リデ御出シニナッタデアリマセウカラ、其通りデアリマセウガ、私ノ質問ノ展開ニ依ッテソレナラ考ヘテモ宜イト云フコトガ出来テ來タナラバ、ソレニ對シテ御同意ニナリマスカ

○鹽野國務大臣 ソレハ伺ツタ上デ御返事致シマス

○羽田委員 ソレデハ申上ゲマスカ、私ハ唯法ノ解釋トシテ今司法大臣ニ御尋致シタノデアリマスカ、實ハ所謂言論ノ問題デ、此ハ號マデノ間ニ言論ノ統制ニ關シテ若干削ッテモ宜イ事項ガアリハシナイカト云フコトヲ考ヘル爲ニ、前提のニ只今質問ヲ致シタ譯デアリマス、此第三條ノ總動員業務ノ第七號ニ「國家總動員上必要ナル情報又ハ啓發宣傳ニ關スル業務」トアリマシテ、此情報又ハ啓發宣傳ニ關スル業務ノ中ニハ新聞紙ト云フヤウナモノハ入ッテ居リマセウカドウカ、ソレヲ御尋致シマス

○末次國務大臣 入ッテ居リマス

○羽田委員 入ッテ居ルト云フコトニナリマス、結局新聞ニ對シテ、此總動員法ガ直接其新聞社ノ業務ノ上ニ官ノ力ガ及ンデ行ク、統制ノ力ガ及ンデ行クト云フコトニナリマスカドウデアリマスカ

○末次國務大臣 御尋ノ通り及ンデ來ルノデアリマス、ソレハ第五條ヲ御覽ニナレバ能ク分リマス

○羽田委員 第五條ニモ御話ノヤウニ法人團體ト云フヤウナモノガ協力スルト云フコトガゴザイマスカ、此第三條ノ第七號竝ニ第五條ノ所謂法人ノ點デアリマスカ、新聞社ハ株式會社ガ多イノデアリマス、或ハ個人的ナモノモアリマスカ、株式ガ多イノデアリマス、此中ニ新聞社ガ含マレテ居ルト云フコトニナリマス、結局此モノニ對スル所ノ官ノ統制ト云フモノハ、其實ヲ變ヘルノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、例ヘバ電氣ヲ國家ガ管理致シマシテモ、ヤハリ其實ニ於テハ、電氣ノ效用ハ電氣ノ效用デアルト思フノデアリマス、所ガ此言論ニ對スル官ノ統制ガ加ハルト云フコトハ、結局其言論ノ質ヲ變ヘテ行クト私ハ考ヘルノデアリマス、即チ民間ノ新聞紙ヲ官報化スルト云フ結論ニナッテ參ルト思ヒマスカ、

其點ニ付テ内務大臣ノ御答辯ヲ煩ハシタイノデアリマス

○末次國務大臣 言論ハ戰時ニ於キマシテ、戰爭ノ目的達成ニ害ガアルヤウナ場合ニハ、無論ハ取締ラナケレバナラス、國家ノ目的ヲ助ケテ行クト云フ言論ナラバ、大イニ歡迎スルノデアリマス、新聞ノ過去ノ功績ハ大イニ認メテ居ルノデアリマス、將來モ斯クアルベキコトヲ期待シテ居リマスルガ、今回ノ事變ニ於キマシテモ、國家ノ目的ニ違反スルヤウナ記事ガ往々ニシテ載ルノデアリマシテ、ソレハドウシテモ取締ラナイ譯ニハ行カナイ、此五條ニアリマスコトハ、情報、啓發宣傳等ニ付キマシテ、新聞ノ本務ノ傍ラニ必要ナ協力ヲ求メル場合ヲ言ッテ居ルノデアリマス、新聞ノ本來ノ任務ヲ全然阻止スルト云フヤウナコトハ考慮ニ置イテ居ラスノデアリマス

○羽田委員 只今ノ御話ニ依リマス、今回ノ事變下ニ於ケル所ノ新聞ノ中ニハ、國家ノ目的遂行ニ背反スルヤウナ記事モ往々アッタト云フヤウナ御話デゴザイマスカ、願クハ其實例ヲ舉ゲテ戴キタイト思フノデアリマス

○末次國務大臣 一寸速記ヲ差止メテ戴キタイト思ヒマス

○小川委員長 速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○小川委員長 デハ速記ヲ始メテ……

○羽田委員 内容ニ立至リマスルガ、左様ナ記事ヲ書キマシタ新聞ノ名前ヲ願クバ御舉ゲ願ヒタイト思フノデアリマス

○末次國務大臣 新聞紙ノ名前ハ今調査書類ヲ持ッテ居リマセウカラ、必要トアレバ調べマシテ御知ラセ致シマス

○羽田委員 我國ガ實際前古未會有ノ重大ナル事變ニ直面致シマシテ、斯様ナ記事ヲ書ク新聞ガアリト致シマスルナラバ、私共ハ斯ルモノニ對シテハ斷乎懲罰ヲ致シテ行ク必要モアリマスカ、同時ニ私ハ斯様ナ新聞ノ名前ヲ明瞭ニ致シテ、斯様ナ新聞ハ國民ニ購讀致サセヌヤウニシタイト思フノデアリマス、其意味ニ於テ私ハ敢テ名前ヲ要求シタノデアリマスカラ、内務事務當局ヲシテ左様ナ名前ヲ御調べ願ッテ、此處ニ御發表ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、要シマスルニ私共ハ斯ウ云フ新聞ガ果シテ惡意デ左様ナコトヲシタカ、或ハ全ク善意無過失ニ、唯所謂サウ云フ記事ガアルカラ、新聞ノ上デ書イタカドウカ、斯ウ云フ點ハ又一々詳細ニ檢討致サナケレバナラスノデアリマスカ、是等ノ澤山ノ或ハ反戰思想ヲ植付ケ、

或ハ外國ニ惡影響ヲ及ボスヤウナ記事、又ハ我國ノ財界ヲ混亂セシムルヤウナ記事、斯ウ云フヤウナモノニ對シマシテ、當局ハ如何ナル取締ヲ具體的ニサレタノデアリマスカ、ソレヲ御尋致シマス

○富田政府委員 私カラ御答シマス、ソレニ對シマシテハ御承知ノ新聞紙法、又普通ノ出版物ニ對シマシテハ出版法ニ依リマシテ、發賣、頒布ノ禁止乃至ハ差押ノ處分、ソレカラ今一ツハ只今大臣カラモ御話ニナッタノデアリマスガ、豫メ斯ウ云フ記事ガ出マスナラバ、發禁處分ニナルゾト云フコトヲ好意的ニ御警告致ス、斯ウ云フヤリ方ヲヤッテ居ルノデアリマス、成ベク善意デ以テ發禁處分、又ハ差押處分ヲ受ケル者ヲ少ク致シタイ、斯様ニ思ッテ居ル次第デアリマス

○羽田委員 御話ノヤウニ現在取締ノ記事制限、或ハ差止ノモノハ四十五アリ、其中三十五マデハ大體軍事外交ニ關スル事項デアリマスルガ、其殘リ、是モ漠然トドッチニモ入ルヤウナ——軍事ノ方ニ入ルノモアリマスガ、此四十五ノ禁止事項ノ中ノ十バカリガ財政經濟ノ條項デアリマシテ、只今ノ御話ノヤウニ現在ノ新聞ノ取締ト云フモノハ、單リ法律ニ依ルノミナラズ、行政權ノ事實上ノ發動ニ於テ相當言論ニ對スル壓迫

ト云フカ、取締、統制ガ行ハレテ居ルノデアリマス、即チ其取締ノ方法ト致シマシテハ、當局ガ新聞社ニ對シテ、或ハ出先ノ新聞記者ニ對シマシテ、要求ヲ致シテヤルト云フ場合ガアリマス、只今ノ四十五ノモノハチヤント法律ニ基イテヤルノデアリマシテ、其法律ニ基キマスルニ付キマシテハ、懇談ト、警告ト、示達ノ三ツガアリマシテ、懇談ハ文字ノ如ク話合、警告ハ只今御引用ノ警告デアル、ソレカラ示達ト云フモノニナルト、是ハ儼然タル命令デゴザイマシテ、之ニ背キマシタ場合ニハ直チニ法ガ發動スル、斯ウ云フヤウニナッテ居リマスガ、經濟上ノ問題ニ付キマシテハ、此四十五ノ中ノ十八何レモ經濟金融上ノ問題ニ付キマシテハ、最モ嚴格ナル示達ノ内務省ノ禁止ガ來テ居ルノデアリマス、更ニ只今言フヤウニ言論ノ統制、或ハ事實上ノ取締ガアッテ、當局ノ要求ニ依ッテ懇談ヨリ一寸手前ノ輕イモノ、更ニ又當局ト新聞記者、或ハ新聞社ナシカ、懇談シテ協力スルモノ、ソレカラ更ニ出先ノ新聞記者ガオ互同志デ、是ハ國家ノ爲ニナラスカラ、書クマイヂヤナイカ云フヤウニ申合セラシテ、記事ヲ書カナイ、斯ウ云フヤウニ幾段カノ取締ト言ハウカ、新聞記事ノ紙面ノ上ニ出ナイヤウナ方

策ガ廻ラサレテ居ルノデアリマス、只今警保局長カラモ言ハレ、内務大臣カラモ言ハレマシタ通りニ、是等ノモノニ對シテハ、ソレノ發賣、頒布ヲ禁止スルヤウナチヤント取締ガ付イテ居リマシテ、既ニ現行法デ十分ニ是等ノモノヲ見逃シテ置カナイ、チヤント現行法ガ追駈ケテ行ッテ取締ルト云フヤウニナッテ居ルト思フノデスガ、尙ホ現行法ニ於テ不足ノ點ガアルノデアリマスカ

○末次國務大臣 只今御述ニナリマシタヤウニ、新聞紙法ノ二十七條、是ハ軍事外交ニ關スル事項ノ取締デアリマス、ソレカラ新聞紙法ノ二十三條ニ依リマシテ、安寧秩序ニ害アリト認メルモノヲ取締ッテ居リマス、軍事外交ノコトハモウ新聞紙法ノ二十七條ニ依リマスカラ、先ヅ宜シイノデアリマスガ、總動員上必要ナル事項ト云ヒマスト、ソレ以外ノモノガ相當ニ澤山アルノデアリマス、現在ヤッテ居リマス財政經濟ニ關スルコトハ明白ナル規定ハアリマセヌノデ、二十三條ヲ適用シテヤッテ居ルノデアリマス、其ヤリ方ハ先程申シマシタヤウニ、行政上ノ便宜手段トシテ、先ヅ警告ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、今回ハ之ヲ法規ノ上ニ明白ニ現ハシマシテ、便宜主義デナシニ、

明白ニ取締ガ出來ルト云フコトヲ明ニシタイ、要スルニ斯ウシタ方ガ一般ニ對シテ親切ナ規定デアル、斯ウ云フ風ニ當局ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○羽田委員 只今ノ御話ニ依リマスト、軍事外交ハ二十七條、財政經濟ノ問題ニ付テハ二十三條ノ安寧秩序デ取締ルト云フヤウニナッテ居リマスルガ、尙ホ外ニモマダ取締ルベキ點ガ殘サレテ居ルト申サレマスガ、外ニモト云フ、外ニ付テノ内容ヲ御聽カセ願ヒタイト思ヒマス

○富田政府委員 私ヨリ御答致シマス、軍事外交以外ニ於キマシテハ、一般治安關係ノモノ、是ガアルト思ヒマス、ソレカラ先程大臣カラモ御述ニナリマシタガ、最近ノ情勢カラ考ヘマシテ、財政金融關係ノモノ、是ガ又相當重要ナ點ナノデアリマス、左様ニ御諒承願ヒマス

○羽田委員 一般治安關係ト、財政金融ニ關スル點ガ法ニ明文ガ無イ、斯ウ云フ御話デアリマスルガ、先程ノ内務大臣ノ御話デハ、財政上ニ付テハ新聞紙法ノ二十三條ノ安寧秩序デ取締ルト云フ御話デアリマシタノデ、是ハ既ニ安寧秩序ト云フ實ニ廣大ナ、解釋スレバドウデモ解釋スルコトノ出來ル、官僚ニ取ッテハ非常ニ便利ノ宜イ規定ガチ

ヤントアルノデアリマス、安寧秩序ナント云フコトニナリマス、先般來此委員會デ盛ニ引用サレマシタ所謂千變萬化ニ應ズル所ノ實ニ廣大無邊ノ文句ダト思フノデアリマスガ、一般治安關係ハ、此廣大無邊ノ安寧秩序デハ取締ルコトガ出來ヌノデアリマス

○富田政府委員 御答致シマス、實ハ是ハ

項目ト云フ以外ニ、先程申シマシタヤウニ、今日行政上ノ便宜手段トシテヤッテ居リマスル示達或ハ警告、先程御話ノ懇談ト云フ形式デハ實ハ違反ノモノモチヨイ／＼出テ來ルノデアリマス、ソレガ更ニ戰時ト云フヤウナ特別ノ場合ニナリマスと云フト、是ハ出サレルト云フコトガドウシテモ宜クナイ、相當強ク豫メ制限ト云フコトヲ考ヘナクチヤナラヌデヤナイカ、斯ウ云フノガ根本的ナ考ヘ方デアリマス、其外ニ只今御話

ノ安寧秩序ヲ害スルト云フ規定デ大部分賄ッテ行ケルデヤナイカト云フヤウナ御話デナカッタカト思フノデアリマスガ、大體今度ノ條文ノ國家總動員ノ爲メ必要ナル場合ト云フノハ安寧秩序ヲ害スルト云フ場合ト、結果ニ於テハ大體同ジコトニナルカト思フノデアリマスガ、唯今マデノ吾々ノ取扱デ申シマス、安寧秩序ヲ害スルト云フヨリハ、

モウ少シ廣イ部分ガアルノデハナイカ、ソレガ國家總動員ノ爲メ必要ナル場合——モウ少シ安寧秩序ヲ害スルト云フヨリハ廣イ場合ガアルノデヤナカラウカ、斯様ニ思ッテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテヤハリ國家總動員ノ爲メ必要ナル場合ト餘程違フ所ガアリハセヌカ、斯様ニ解釋致シテ居リマス

○羽田委員 法ハ成ベク運用ニ依ッテ、殊ニ

斯ウチヤント儼タル安寧秩序ト云フ法ガアルノデアリマスカラ、是レ以上ニ、ドウモ賄ヘナイカモ知レナイカラ總動員法ノ方ニ旨ク嵌込シテ置ク方ガ便利デアルカモ知レヌト云フヤウナ、餘リ官廳ノ便宜のナ立場カラ立法サレルト云フコトハ、國民ニ取ッテ甚ダ迷惑千萬ダト思ヒマスガ、其點ニ付テ警保局長カラモウ一回御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○富田政府委員 只今餘リニ官廳ダケノ便

宜カラ考ヘテ居ルノデヤナイカト云フヤウナ御話ガアッタノデアリマス、吾々ノ考ヘ方ト致シマシテハ寧ロ逆デアリマシテ、安寧秩序ヲ紊スト云フヤウナ標準デ、ソレヨリモ標準ヲ廣ク取ッテ置クト云フノハドウデアラウカ、寧ロ明確ニ國家總動員ノ爲メ必要ナル場合ト云フ條文ニ誰ガ見テモ當嵌マ

ルモノ、斯ウ云フ風ニ見タ方ガ適當デヤナイカ、之ヲ法文化シタ方ガ適當デヤナイカ、斯ウ云フ考ヘ方ナンデアリマス、御諒承ヲ願ヒマス

○羽田委員 只今國家總動員上必要ナト云

フコトガ非常ニ——是コソハモウ此間カラ森羅萬象ト云フカ、所謂總動員上必要デアルト云フコトデアルト、モウ全ク何デモ取締レルコトニナッテシマッテ、非常ニ漠然トシテシマフノデアリマス、今却テ明確ニナルト言ハレルケレドモ、私ニ取ッテハ安寧秩序ノ方ガヨリ狹義デアッテ、國家總動員上必要ト云フコトハ更ニ廣義ナモノデアアル、斯ウ解釋シマスガ、其範圍ノ點ニ付テ御尋致シマス

○富田政府委員 只今サウ云フ御意見ガアッ

タノデアリマスガ、吾々ト致シマシテハ、安寧秩序ト云フ問題ニ付キマシテハ、是ハ羽田サンモ能ク御承知デアラウト思ヒマスガ、今日マデノ所檢閱上ハ一定ノ標準ガアルノデアリマス、其標準カラ申シマスと云フト、財政上、金融上色々戰時狀態ノ場合ニ於キマシテハ、モウ少シ廣ク考ヘナクテハナラヌ場合ガアルノデヤナカラウカ、斯様ニ思フノデアリマス、隨テ今日ノ吾々檢閱當局者ノ安寧秩序紊ルト云フ標準ヨリハ、

國家總動員ノ爲メ必要ナル場合ト云フノハ稍、廣イ場合モアリハシナイカ、其最モ適例ハ財政金融ナドニ付キマシテノ問題デアリマス、是ハドウモ今迄ノ吾々ノ標準デハ一寸安寧秩序紊ルト云フモノニハ行カナイ、併ナガラ總動員ノ爲ニハ非常ニ必要デアアル、其制限ノ必要ナル規定、斯ウ云フ風ニ吾々ハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○羽田委員 然ラバ今ノ安寧秩序デハ取締

レナクテ、總動員デヤツカ宜イト云フノヲ具體的ニ、斯ウ云フ場合ニハ安寧秩序デハ出來ナイデ、國家總動員デヤラナケレバйкаスト云フ具體的ノ事例ヲ擧ゲテ戴キタイト思フ

○富田政府委員 御答致シマス、其實例ハ

色々アルノデゴザイマスケレドモ、公開ノ席上デ申上ゲルコトガドウカト思ヒマスノデ、一寸此席デ申上ゲルコトハ控ヘサシテ戴キタイ、斯様ニ思ヒマス

○羽田委員 ドウモ一番専門ノ方々が顔ヲ

突合ハセテ御相談ニナッテ、答辯ガ出來ナイ、結局此席デハ出來ナイト言ハレマスガ、私ハ一體ソナナ鶴ミタイナモノガ世ノ中ニアルノカドウカト云フコトヲ疑フノデスガ、實際アルノデスカ、其點ヲ御聽キ致シマス

○富田政府委員 實例ハアルノデアリマス、唯其實例ヲ申上ゲルコト自體ガ公開ノ席上デ如何カ、斯ウ云フ譯デアリマシテ、ソレヲ今相談シテ居ッタノデアリマス、分ラナクテ相談致シテ居ッタノヂヤアリマセヌ

○羽田委員 今ノ實例ハ安寧秩序デハイカヌノデスカ

○富田政府委員 一寸困難デアルト思ヒマス

○羽田委員 一寸困難デアルト言フガ、一寸トハドウ云フ程度デスカ

○富田政府委員 或ハ言葉ガ不完全デアッタカモ知レマセヌガ、總動員ノ爲メ必要アル場合ト云フ條文ヲ私ハ頭ニ描イテ居タモノデスカラ、ソレデヤルナラバ非常ニ好都合ダ、斯ウ云フ場合デアリマス、安寧秩序ノ紊亂ト云フ今ノ標準デ行キマスナラバ、聊カ困難ト言ヒマスガ、是ハ吾々ノ頭ノ標準デアリマスガ、無理デハナカラウカ、斯ウ云フ意味ナノデアリマス

○羽田委員 サウ云フモノガ實例ガアルトスルナラバ、今迄ハ何ノ條文ニ依ッテ御取締ニナッテ居ッタノデスカ

○富田政府委員 今實例トシテ考ヘテ居リマスモノハ、此席デ申上ゲラレマセヌト申上ゲマシタケデ、今迄ソレハ差止ハ致シ

テ居ラスノデアリマス、安寧秩序紊亂ト云フ廉デ差止ヲ致シテ居リマセヌ

○羽田委員 サウスルト其事ハ書イテモ宜イノデスカ、新聞ガ善意デ、ソナコトトモ知ラズニ書イテ、サウ云フ時ニ從來差止モセズニ置イテ、ソレヲ今直グ變ヘテ行クト云フコトハ、寔ニ法ノ運用者トシテ不親切ナモノダト思ヒマス、サウ云フコトヲ書イタ場合ニハ安寧秩序デ取締リマスカドウデスカ

○末次國務大臣 色々疑ノ眼ヲ以テ御覽ニナルヤウデアリマスガ、軍事外交ナリ、其他財政經濟金融等ニ關シマシテ、國家ノ交戦ノ目的ヲ阻礙スルヤウナ、又戰爭上不利益デアルヤウナモノヲ取締リタイノデアリマシテ、今迄ノ法規ノ上ニハッキリ致シテ居リマセヌ事項、サウシテ國家總動員上國家ノ目的ヲ達スル上ニ斯ウ云フコトハ取締ラナケレバナラス、斯ウ云フ事項ヲ法文ニ明ニシテ、取締ノ根據ヲ確タル法文ノ上ニ現ハシタイ、斯ウ云フ趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、今マデヤッテ居リマスヤウナ安寧秩序デ何デモカシテモ網羅スルヨリモ、國家總動員上必要ト認ムルト言ヘバ常識デ分ルコトデアリマスカラ、ドウ云フ點ニ不安ヲ懷イテ居ルカ存ジマセヌガ、ソレヲ擧ゲタガ

爲ニ新聞紙ノ言論ニ對シテ不當ノ取締ラスルトカ云フヤウナ考ハ毛頭ナイノデアリマス、之ヲ今具體的ニ明示シロト仰シヤラルトハ是ハ難カシイダラウト思ヒマス、惡意ニ御解釋ニナラズニ、當局トシテモ少シモ惡意ヲ持ッテ居ル譯デアリマセヌカラ、新聞社ノ方ニ於テモ、亦新聞關係ノ方ニ於テモ、コチヲ考ヘテ居ル點ガソコニアルコトヲ御諒承アラシコトヲ希望致シマス

○羽田委員 私ハ全然惡意ニ解釋シテ居リマセヌ、惡意ニ解釋シナイケレドモ、法ヲ審議スル以上ハ、吾々ハ大體ドウ云フコトヲ取締ルカ、輪廓ガ分ラナイデハ此法案ニ同意モ出來ナイシ、又惡意ニモ解釋シ、善意ニモ解釋シ、有ユル視野カラ物ヲ見テ、總テニ適用サルベキ所ノ有ユル萬般ノ場合ヲ考慮シテ行カナケレバナラスト思フ、其意味ニ於テ私ハ惡意ニ解釋シテ居リマセヌガ、或ハ惡意ニ解釋シテ、此場合ニハドウカト云フコトモ、法ヲ立法スル場合ニ於テハ必要ト思ヒマス、此點ニ付テ末次閣下ノ答辯ヲ煩ハシマス

○末次國務大臣 左様ニ不安ヲ懷カレマスナラバ、細カイ實例ヲ數項擧ゲテ見マセウ、軍事外交ノ機密ト云フ譯デモナシ、又財政金融ト云フ譯デモナイ、ソレ以外ニ國家ノ戰爭目的ヲ遂行スル上ニ害ノアル事項ハ多々豫想出來ルノデアリマス、今マデ起リマシタ中カラ數個ノ例ヲ擧ゲテ見マス、是ハ禁止處分ノアッタ實例デアリマス

○小川委員長 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○小川委員長 速記ヲ始メテ下サイ

○羽田委員 只今ノ内相ノ御答辯ニ依リマスト、所謂現在ノ法デ取締レナイ何トモ言ヘナイモノハ、即チ我國ノ對外方針……

○小川委員長 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○小川委員長 速記ヲ始メテ……

○羽田委員 是等ハ何レモ外交ニ屬スルコトデヤナイカト思ヒマス、新聞紙法ノ第二十七條ニ於テ、外務大臣ガ之ヲ差止メルコトガ出來ルト云フ明文ガアルノデアリマス、是等ノ事項ハ何レモ外交上ノ問題デアリマスルカラ、外務大臣ガ斯ウ云フノハ外交上面白クナイト云フ考デアルナラバ、是ハ當然外務大臣ガ内務大臣ニ移牒シテ、取締ルコトガ出來ルト考ヘマスガドウデスカ

○末次國務大臣 新聞紙法ノ二十七條ニ依ッテ軍事、外交ニ關シテ取締リマスコトハ、何々ニ關スル點ト、キチント明白ニ示シテアルノデアリマシテ、其範圍ハ極メテ局限

サレタ、誰が見テモ解釋ニ依ッテ左右出來ルヤウナ曖昧ナコトハ示シテナイノデアリマス、ソコデソレ以外ニ互ッテ色々ナコトガラウト思フ、サウ云フノ取締ル明文ガ今マデハッキリシテ居リマセヌカラ、ソレヲ擧ゲタニ過ギナイノデアリマス

○植原委員 一寸關聯質問デ御伺シマス

ガ、只今羽田君ト政府トノ質疑應答ヲ聽イデ居リマシテ、私共ニ解スルコトノ出來ナイ是ダケノコトガ殘リマス、外交トカ軍事トカ、金融財政等ノコトニ付テハ、私法文ヲ見テ居リマセヌカラ、其點若シ間違ガアツタラ御許シ願ヒマスガ、現行ノ新聞紙法ノ第二十七條デ禁止出來ルトカ、安寧秩序ニ關スルコトハ二十三條デ取締ルコトガ出來ル、今迄ソレヲヤッテ居タ、ソレダケデハマダ足リナイコトガアル、斯ウ云フ御話デスガ、ソレダケデハ足リナイコトガアルノデ、玆ニ國家總動員上必要ナルコトヲ勅令デ定メテソレヲ取締ル、斯ウ云フ風ニ今ノ御話ノ筋合ヲ了解シマシタ、ソレナラバソレハ實例ヲ擧ゲテドウ云フコトカト言ヘバ、今内務大臣ノ御話ニナツタコト、ソレハ明ニ現行法デ取締レルシ、取締ッテ居ッタコトデア

ル、玆ニ一ツ伺ヒタイノハ、現在ノ日支事變ハ、私共ハ事變デアルト言ウテ居リマシ

ガ、百万ノ軍隊ヲ動カシ、一年以上全國民ヲ擧ゲテ交戰狀態ニ居リマスコトハ、是ハ唯宣戰布告スルカセヌカト云フ問題ダガ、現在ノ政府ハ之ヲ事變ダト解釋ナサルカモ知ナレイガ、是ダケノ事變ハ戰時ニ準ズルモノダト解釋シテ、チットモ差支ナイモノダト思フ、ソレハ詰リ解釋ニナルカラ、私ハ變ッタ政府ガ出來テ、現在ノ事變ハ戰時ニ準ズルト解釋スレバ、サウデナイト之ヲ否定スル者ハ一人モナイ、其解釋ハ何レデモ宜シウゴザイマスガ、百万以上ノ軍隊ヲ海ヲ渡ッテ派遣シテ居ル、交戰狀態ハ一年モ續イテ居ル、マダ何時マデ續カ分ラナイ、是ダケノ事變ニ對シテ、ソレデハ今ノ現行法デ取締レナクテ其儘拾デ置イタ、現行法ノ二十三條デ取締ルコトガ出來ナイ、二十七條デ取締ルコトガ出來ナイ、ソレデ殘ッテ七條デ取締ルコトガ出來ナイ、ヤウナ實例居ッタ爲ニ支障ヲ生ジタト云フヤウナ實例ガアリマスカ、ソレトモ現行ノ二十三條ト二十七條デモ、ソレ等ノモノヲ皆取締ッテ居ッタノダ、斯ウ云フ風ニ諒解シテ宜シイノデスカ、ドウカ其處ヲハッキリシテ戴キタイ、モウ一ツハ内務大臣ハ二十七條ト二十三條ハ、名目ガ餘リハッキリシテ居ル、ハッキリシテ居ッテ困ルカラ、漠タル方ガ取締ル都合ガ好イ、ソコデ國家總動員上必要アル

トキト云フ勅令デ、モウ少シ廣イ範圍ニ取締ヲ擴大シテ、新聞社デモ一般民間デモ分ラナイ範圍マデ、此二十條ノ法文ニ依ッテ取締ラスル御意思ト解釋シテ宜シイカ、此二點ヲハッキリシテ戴キタイ

○末次國務大臣 今迄取締ハヤッテ居リマシタ、二十七條ト二十三條ノ適用ニ依ッテヤッテ居ッタガ、二十三條ノ安寧秩序ト云フコトヲ、如何ナル場合ニモ適用スルト云フコトハ、是ハ餘リ應用ガ廣過ぎマスカラ、

國家總動員法ト云フヤウナ重要ナ法案ノ立案ニ當リマシテ、此四條乃至十九條ニ互ル大キナ總動員法ヲ行フニ當リマシテハ、其内容ナドハ最も機密ヲ要スルコトガ多い、ソレト先程來申述べマシヤウニ、戰爭ノ目的遂行ノ上ニハ、新聞紙上ニ發表サレテハ困ルコトガ多々アリマス、サウ云フコトヲ取締リマスノニ、法文上ニ明白ナ根據ヲ持ッテ居ルコトガ必要ダ、又ソレガ親切ナヤリ方ダ、斯ウ云フ考ヘカラデアリマス

○植原委員 今ノ御答辯ニ依ルト、ドウシテモ斯ウ云フ結論ニナル、若シサウ云フ事項ガアリマシタナラバ、現行法ヲ改正シテ、其必要ノ事項ヲ其處ニ入レテ、具體的ニ行クコトガ一番親切ナ方法デヤナイカ、ナゼ現行法デサウ云フコトガ出來ナイノカ、現

在ノ如キ支那事變ト云フヤウナ事件ニ際會シテ、其事ガ明記シテ居ラナイニモ拘ラズ、二十三條ノ規定デ取締ガ出來テ居ルデヤナイカ、ソレヨリ範圍ヲ擴ゲテ取締リタイト云フコトガアツタナラバ、現行法ヲ改正シテモ宜イデヤナイカト云フ、斯ウ云フ一ツノ疑問ガ起ル、モウ一ツ、只今ノ内務大臣ノ御説明ナラバ、ソレデハイケナイノダ、成タケ廣イ範圍ニ役人ノ考デ言論ヲ自由自在ニ取締ッタ方ガ宜シイノダ、ソレニハドウモ現行ノ新聞紙法デハイケナイカラ、此總動員ト云フ大キナ總掛リノモノニ便乗シタノダト、羽田君ノ先刻來言ツタ所ニ結論ガ到達シテモ、是ニ對スル御辯明ノ言葉ハ、私ハドウ言葉ヲ用ヒテモナイト解釋スルヨリ仕方ガナイト思ヒマス、私ハソレニ御答ガアルナラバ伺ッテ置クシ、私共ノ立場カラスレバ、サウ解釋スルヨリ、解釋ノ途ガナイヤウニ思ハレマス

○青木政府委員 第二十條ノ「國家總動員上必要アルトキ」ト云フ意味ト、新聞紙法第二十三條ノ治安上ノ必要トガ、範圍ニ於テドウ違フカ、新聞紙法第二十三條ノ治安上必要ナルトキト云フ意味デハ取締リ得ナイ「ケース」ガアル、斯ウ云フ先程カラノ御質問デアリマスガ、其事ハ今後本法ガ發動シ

テ行キマスル上ニ、多々生ジテ來ルト思フ
ノデアリマス、其一ツノ例ヲ申上ゲマスレ
バ、國家總動員法ニ依リマシテ、政府各省
ガ民間ヨリ必要ナル施設、物資其他ノモノ
ヲ使用、收用或ハ管理スルコトガアリ得ル
ノデアリマスガ、是等ノ數字等ヲ示スコト
ハ、治安上ハ必シモ差支アルトハ申上ゲ

兼ネマスガ、國家總動員上支障アルコトニ
ナリ得ルノデアリマシテ、サウ云フ場合ハ
最モ適例デアラウト考ヘマス、又現行法ヲ
變ヘテハ如何カト云フ只今ノ御話デアリマ

スガ、現行法、例ヘバ新聞紙法ト云フモノ
ハ、戰時平時ヲ通ジテノ法律デアリマスシ、
第二十條ハ戰時ダケニ發動スレバ宜シイ法
規デアリ、且ツ總動員ト不可分ノ事項デア

リマスカラ、本法ニ入レルノガ適當ト考ヘ
テ居ルノデアリマス

○川崎委員 極ク簡單デスガ羽田君ノ質問
ニ關聯シテ内務大臣ニ御同致シマス、先程
羽田君ノ御質問ニ對シテ内務大臣ガ速記ヲ

止メテ、一二ノ事例ヲ例示サレテ御舉ゲニ
ナリマシタ其事ニ付テ、是等ノ事項ハ禁止
ヲシタガト云フヤウナ御言葉ガゴザイマシ

タガ、其點ヲ一寸御同致シタイノデアリマ
ス、内務大臣ハ御氣ノ毒デスカラ、事務當
局ノ政府委員ニ其點ニ付テ伺ヒタイト思ヒ

マス、内務大臣ハ事實サウ云フ御言葉ガアッ
タヤウニ思ヒマスガ、若シナケレバナイデ
宜シイノデスガ、禁止ト申サレテ居リマシ

タガ、所謂差押ヘラレタノカドウカ、ソレ
ヲ一ツ……

○富田政府委員 禁止サレタモノデアリマ
ス

○川崎委員 差押ヘラレタノデスネ

○富田政府委員 差押ヘラレタノデアリマ
ス

○川崎委員 差押ヘラレタラ、ソレハドウ
云フ條文ニ依ッテ差押ヘラレタノデアリマ
スカ

○富田政府委員 新聞紙法第二十三條ニ
依ッテ……

○川崎委員 二十三條ト云ヘバ、要スルニ
一言デ言ヘバ安寧秩序ヲ害スル場合カ、或ハ

風俗ヲ害スル場合デアリマスガ、何レノ條
項ニ依ッテ御ヤリニナッタノデアリマセウカ

○富田政府委員 安寧秩序ヲ害スルモノト
シテヤッタノデアリマス

○川崎委員 私ハ關聯デアリマスカラ是レ
以上申上ゲマセスガ、然ラバソレハ現行法

ニ於テモ安寧秩序ヲ害スモノト御認定ニ
ナッタノデ、是ガ果シテ適當ナリヤ否ヤト云

フコトハ、裁判其他ノ方法ニ俟タナケレバ
ナラナイガ、現ニ當局ハ立派ニ二十三條ノ

運用ニ依ッテ、御取締ニナッテ居ルデヤアリ
マセスカ、其事ダケヲ申上ゲテ置キマス

○富田政府委員 今川崎サンノ御尋ガアリ
マシタノデ御答致シマスガ、今度ノ法規ノ二

十條ノ出來マシタノハ、差止ノ根據ヲ與ヘル
ト云フコトニ一番重點ガアルノデアリマス、

今マデハ注意的ニ、好意的ニ差止メル、斯
ウ云フコトヲヤッテ居ルノデアリマス、行政

上ノ便宜處分トシテデアリマス、サウデナ
クシテ直グ安寧秩序ヲ害スルト云フノデ處

分スル、或ハ差押ラスルト云フコトハ不便
ナリ、非常ニ不都合ヲ生ズルト云フノデ、

書カレル虞ノアルモノ、ソレガ若シ掲載サ
レ、バ發禁處分ニナルゾ、又差押處分ニナ

ルゾ、斯ウ云フコトヲ今マデヤッテ居リマス、
ソレニ對シマシテ今度ハ差止ノ根據ヲ法規

ニ依ッテ、與ヘル、而モ今度戰爭狀態ガ段々
進展致シマストカ云フコトニナリマス、

サウ云フ制裁ノ方カラモ、差止ト云フモノ
ニ對シテ、制限ニ付テ、相當強力ニ書カレ

ナイヤウニスルト云フコトガ必要デハナイ
カ、ソレハ先程大臣モ御説明ニナリマシタ

通りニ、今マデノ實例カラ申シマス、行
政上ノ差止ヲヤリマシタ示達ヲヤッタニモ

拘ラズ書カレテ、發禁處分ニナッタモノモ
隨分アルノデアリマス、斯ウ云フ例カラ考

ヘマスト、豫メ法規ヲ設ケマシテ、サウシ
テ差止ト云フ法律上ノ根據ニ基イテヤルト

云フコトガ必要デハナイカ、斯ウ云フ點ガ
一ツデアリマス

ソレカラ先程植原サンカラ御尋デゴザイ
マシタガ、ソレハ大體ニ於キマシテ安寧秩

序紊亂ト、總動員ノ爲ニ必要ナルモノト云
フノハ、大キナ違ガナイト思ヒマス、之ヲ

先程大臣ガ御話ニナッタト思ヒマス、只今
ヤッテ居リマス標準ヲ御話ニナリマシテ、總

動員ノ場合必要アルト云フノハ、大體ア、
云フコトデアル、唯今ノ吾々ノヤッテ居ル

安寧秩序紊亂ト云フ標準デハ一寸難シイ、
總動員ノ爲ニ必要ナルモノト云フ場合ハ、モ

ウ少シ廣イ場合ガアルノデアリマス、大體
安寧秩序紊亂ト總動員ノ爲ニ必要ナルモノト

云フノハ、斯ウ云フ解釋デアリマス、今差
止ハ行政上ノ便宜手段ヤッテ居リマスガ、

之ニ對シテ法的ノ根據ヲ與ヘルト云フコト、
是ガ今度ノ立法ノ趣旨デアル、斯様ニ吾々

ハ確信致シテ居ル次第デアリマス

○羽田委員 只今行政上ノ便宜手段デ取
締ッテ居ッテ、法ノ根據ハ今ナイト云フヤウニ

言ハレタノデアリマスガ、ソレデ宜シウゴ
ザイマスカ

○富田政府委員 法ノ根據ハナイト云フノ

ハドウカト思ヒマスガ、兎ニ角新聞紙法二十三條ト云フノデ、安寧秩序ヲ紊シタ場合ニハ發賣禁止處分ガ出來ル、又差押處分ガ出來ルト云フコトニナツテ居ル、同ジコトヲ申上ゲルノハ恐縮デアリマスガ、斯ウ云フ或ル狀態ガアツテ、斯ウ云フ記事ガ掲載サレル處ガアル、サウ云フ場合ニ直グ二十三條ニ依ツテ發賣處分ニナル、差押ヘ處分ニナルト云フノハ御氣ノ毒デアリマスカラ、ソコデ豫メ是ハ若シ載セラレ、バ禁止ニナルゾ、又ハ差押ヘニナルゾト云フコトヲ申上ゲルノデアリマス、法ノ

根據ハナイト云フコトハドウカト思フノデアリマス、若シ便宜上ノ手段デヤルノガ宜クナイト云フコトデアリマスナラバ、此警告ナリ、示達ヲナクシマシテ直グ發賣處分ヲ片端カラヤラレルト云フコトニナリマスノデ、是ハ恐ラク今日ノドノ言論機關モ、ソレヲ厲行スルト云フコトニナリマスルト、非常ニ御不満、御不都合ガ出來ルノデハナイカト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○羽田委員 今ノ御話ダト、法ノ根據ハナイ譯デハナイト云フヤウナ、二十三條ノ安寧秩序デ賄フノダト云フヤウニ解釋シテ宜イノデスカ

○富田政府委員 大體サウ云フコトニ解釋シテ宜イト思ヒマス

○羽田委員 先程ハ行政上ノ便宜手段デアルト言ヒ、今度ハ法ノ根據ガアルト言フ、ドツチガ本當カ

○富田政府委員 行政上ノ便宜デアルコトモ事實デアリマスガ、ソレト同時ニ法ノ根據ハ全然ナイカドウカト云フ御話ニナリマシタカラ、法ノ根據ハ全然ナイノデハナイ、二十三條ト云フ方カラ發シテ、斯ウ云フ行政上ノ便宜處分ヲ致シテ居ルノダト、斯様ニ申シテ居ルノデアリマス

○羽田委員 行政上ノ便宜手段ト云フヨリモ、私共ハ結局内務省トシテモ、二十三條デ取締ツテ居ルト言ハレタ方ガ宜イノデハナイデセウカ、ドウデスカ

○末次國務大臣 羽田サンノ仰シヤル通り、今マデハ二十三條デヤツテ居リマシタ、唯ソレダケデハドウモハッキリシナイ、ハッキリシタ方ガ宜カラウ、其方ガ親切ナ行キ方ダ、斯ウ云フ考デアリマス

○羽田委員 ソレデハ現行法ノ改正ニ依ツテヤレバ宜イコトニナルノデアリマスガ、其點ハドウデスカ、敢テ此二十條ノ中ニ入レナケレバナラヌト云フ理窟ガ、何處カニ法的ナ根據、又事實上ノ根據ガアルノデアリ

マスカ

○末次國務大臣 新聞紙法ノ改正ニ付テハ研究致シテ居リマス、是ハ平戰時ヲ通ジテ必要ナ所ハ改正シナケレバナリマセス、今度ノ二十條ハ是ハ戰時ノ規定デアリマスカラ、是ハ自ラ別ニ考ヘナケレバナラス

○羽田委員 私ハ國交上、外交上ノ問題或ハ軍事上ノ問題ト云フモノハ、獨リ戰時ヲ問ハナイノデアリマス、平時カラシテ十分ニ我國ハ用意ヲ致シテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、其意味ニ於テ私ハ平時ノ規定コソ、寧ロ嚴格ニ致シテ、其儘戰時ニ於テモ適用ガ出來ルト云フ方ガ、理想ト考ヘテ居ルノデアリマスガ、ドウデアリマスカ

○末次國務大臣 是ハ意見ノ相違ニナリマスガ、平時カラ餘リヤカマシイ取締ニナリマス、ソレコソ何ト申シマスガ、新聞ノ方モ却テ御困リデアラウト思ヒマス

○羽田委員 同ジヤウナコトニ行キツ戻リツ致シマスガ、大體現行法ノ安寧秩序ト、ソレカラ國家總動員上必要ト云フコトニ關シマシテハ、具體的ナ問題ニナリマス、紙一重モナイ、殆ド同ジモノデアルノデアリマシテ、ソレハ私ハ少クトモ現行法ノ安寧秩序デ取締レルト思フノデアリマス、若

シ安寧秩序デ取締ルコトガ出來ナカッタナラバ、此新聞紙法ノ中ニ、改正ヲ致シマシテ此一項ヲ入レタナラバ宜イト思フノデアリマス、新聞紙法ヲ改正シテ、本案カラ之ヲ除ク御意思アリヤ否ヤ、ソレヲ御尋致シマス

○末次國務大臣 只今紙一重ノ差ト云フヤウナ御意見デアリマシタガ、是ハ先程私モ申上ゲ、又青木次長カラモ申述ベマシタヤウニ、此廣大ナ總動員法ガ發動シマス時ニハ、例ヘバ軍需ノ數量ノ如キモノヲ考ヘマシテモ、隨分大キナ記事ヲ禁止シナケレバナラス事項ガ多々アリ得ルト思フノデアリマス、私共ハ紙一重ノ差トハ考ヘテ居リマセス、新聞紙法ノ改正ハ改正デ別ニ考ヘテ居リマス、此二十條ハ總動員法ニ付テ必要ナ法文ト考ヘテ居ルノデアリマス

○羽田委員 只今内務大臣ノ御話ニ依リマス、軍需ノ數量ト云フモノハ、是ハ取締ルコトガ、現在此法案デハ出來ナイト云フヤウニ御話デアリマスガ、私ハ此軍需ノ數量ト云フモノハ、一國ト一國ノ戰ヒニ於テノ、所謂兵糧デアリ、或ハ兵器彈藥デアリマスルカラ、非常ニ軍ノ行動ト密接不可分ノモノデアルト考ヘルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、此軍需ノ數量ヲ禁止致シマスノニ、新聞紙法ノ第二十七條ニ依ツテ、即チ

「陸軍大臣、海軍大臣及外務大臣ハ新聞紙ニ對シ命令ヲ以テ軍事若ハ外交ニ關スル事項ノ掲載ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得」此條文ニ依リマシテモ、軍需ノ數量ハ書イテハイカスゾト云フ命令ヲ、陸海軍大臣ハ出セルト考ヘマスガ、如何デアリマスカ

○末次國務大臣 戰時必要ナル物資ハ軍需バカリト限ラナイノデアリマス、是ハ申上ゲル迄モナク國家ヲ舉ゲテ、興亡ノ戰ヒヲシマス時ニハ、國力總動員、國家總動員ノ趣旨モ其處ニアルノデアリマス、獨リ陸海軍ノ軍需バカリデナク、各省關係ノモノガアリマス、民需モアリマス、ソレ等ノモノガ總動員サレテ、國家全體ノ力ヲ發揮スルコトニナルノデアリマス、只今ノ御話ノヤウニ、サウ云ツタヤウナモノバカリヲ言ツテ居ル譯デハアリマセヌ

○牧野委員 關聯事項ニ付テ發言ヲ求メマス

○小川委員長 牧野君

○牧野委員 事ハ相當重要ナル事項ニ入ッテ參リマシタノデ、此場合内務大臣ノ所見ヲ明瞭ニ致シテ置キタイト存ジマス、只今内務大臣ノ答辯ヲ補足スル爲ニ、青木次長ハ適切ナル例ヲ擧ゲラレマシタ、内務大臣又答辯ニ依ッテ之ヲ支持シテ居ラレマス、私

解スル所ニ依リマスレバ、青木次長述べラレタルガ如キ事例ハ、現行法上軍ノ機密ヲ保護スル法規ニ依ッテ嚴禁サレルベキモノト思ヒマス、今ノ軍部當局ハ左様ナ杜撰ナ狀態ニ國家ヲ置イテ居ナイト思ヒマス、現在既ニ總動員法ナシト雖モ、現在ニ於テ若シ其軍ノ爲ニ必要ナル時ニハ、禁止ガ出來ルト解シマスルガ、只今手許ニ法規ガゴザイマセヌ、先ヅ此點ハ軍ノ當局ニ伺ヒタイト存ジマス、現在物資、人員其他ニ付テ軍ノ機密ニ關スル事項ハ、之ヲ保護スベキ法律ガナイヤウナ御答辯デアリマシタガ、左様な狀況ニ置カレテ居ルカドウカ、ソレヲ先ヅ承リタイト存ジマス

○杉山國務大臣 第二十七條ニ依ッテ保護サレテ居リマス

○牧野委員 第二十七條ニ依ッテ遺憾ガアルカドウカラ、御答辯ヲ戴キタイト存ジマス

○杉山國務大臣 遺憾アリト考ヘマス

○牧野委員 私ハ陸軍大臣ト同感デアリマス、而シテ陸軍省ガ斯ル重大ナコトニ對シテ、杜撰怠慢デアルベキ筈ハナイト思ヒマス、然ルニ此法律ヲ制定スルニアラザレバ、軍ノ其目的ヲ達スル能ハズト云フコトヲ、重大ナル事例トサレルニ對シテ遺憾ヲ

感ジマス、是レ一ツデアリマス、第二ハ内務當局竝ニ内務大臣ハ此法律ヲ制定スルコトニ依ッテ、國家非常ノ場合ニ於ケル差止ノ明瞭ナル法の根據ヲ定メタイ、定ムルコトニ依ッテ國民ノ準據スルコトヲ明ニスルコトハ、聽テ國民ノ利益デアルト、斯様ニ御答辯ニナリマス共ニ、現在爲シ來レル所ハ、便宜處分若クハ法的根據ノ問題ニ付テ、委員トノ間ニ二三ノ重要ナル質問應答ガアリマシタ、倉卒ノ際言葉ノ不用意ナ點ガアツタカモ知レマセヌカラ、私ハ言葉答メハ致シマセヌガ、大切な點ガアリマシタ、ソレハ此法律ヲ定メタルコトガ必要デアル、而モ現在ノ法律デハ定メテナイ、此法律ハ戰時若クハ事變ノ時ノミニ使用スル法律ト、私ハ解釋致シマス、戰時事變ノミニ適用スル法律ニ、明確ナル法ノ根據ヲ示サナケレバナライノニ拘ラズ、何ガ故ニ平和ナル常時ノ生活ノ際ニ、明確ナル法的根據ヲ示サナイカ、若シ示スノ必要アラバ先ヅ之ヲ平時ヨリシ、而シテ之ヲ戰時ニ流用スルコトガ順當デアリマスルノミナラズ、是ガ正ニ行政當局ノ國民ニ對スル職責デアルト思ヒマス、隨テ平時カラ是レノ法的根據アリト雖モ、尙ホ是レ足ラズ、故ニ戰時ニ於テ之ヲ深クシナケレバナライナイト云フナラバ分リマスガ、

サウデナクシテ、戰時ニハ之ヲ明ニスル、平時ニハ便宜處分其他ニ依ッテヤッテ居ルノデアル、而シテソレハ畢竟意見ノ相異デアルト答辯サレルニ至ッテハ、其内務大臣ノ御意見ノ眞意何レニアルカラ解スルコトガ出來マセヌ、惟フニ國家總動員法ハ戰時若クハ事變ニ際シ、物心兩面ニ互リ、全智全能ヲ集メナケレバナライナイト、平時ヨリモモット拘束ヲ受ケル法律ヲ拵ヘルト云ハレル、内務大臣ノ答辯ハ一時ヲ糊塗セントスル、欺ク御心持ノ一事ガ現レタノデハナйкаト私ハ考ヘマス、戰時ニ於テハモウ少シ裕リノアル法律ヲ制定サセテ呉レト云フコトガ、總理大臣ノ本委員會ニ於ケル答辯ニシテ、國民ニ求メラレル所デアル、然ルニ本日ハ明確ナル追究ヲ受ケルニ至ルヤ、特ニ明瞭ナル法的根據ヲ與ヘンガ爲ニ、此總動員法ヲ要求スルノデアルト言ハレマス、其間ニハ私ハ思想的矛盾ガアルノミナラズ、法律制定ノ根據ニ對シテ、重大ナ疑惑ヲ懷カナケレバナライナイト思ヒマス、是レ聽テ用意ナキニ拘ラズ、強ヒテ表面ヲ纏メントセラル、答辯ニアラザレバ、即チ必要ナキニ拘ラズ、之ヲ制定セントスルノ意ヲ、故ラ必要アルガ如ク辯解サレントスルモノニシテ、本案制定ノ理由ナキモノノ重大ナル

一ツトナルト信ジマス、敢テ此點ニ對シテ
内務大臣ノ御所見ヲ承リマス

○末次國務大臣 只今ノ御質問ノ冒頭ニ、
陸軍大臣ノ答辯ヲ求メラレマシタ、ソレニ對
スル陸軍大臣ノ答辯ヲ何カ誤解サレテハ居
ラスカト思ヒマスガ、陸軍大臣ニ如何ナル
コトヲ御尋ニナリマシタカ、ソレニ對シテ
陸軍大臣ガ何ト答ヘラレマシタカ、甚ダ恐
縮デアリマスガ、モウ一度繰返シテ戴キマ
シテ、然ル後答辯致シタイト思ヒマス

○牧野委員 内務大臣ノ眞意ガ分リマセス、
私ハ此處デ關聯質問ヲ中止致シマシテ、速
記録ヲ見タ上ニ改メテ御所見ヲ質シマセウ

○羽田委員 要スルニ私ガ了解致シマスノ
ハ、本法案ニハ非常ニ委任勅令ガ多ク、而
モ其内容ニ至ッテハ、官僚ガ今後議會ノ協賛
ナクシテ何ヲ書クカ分ラス、而モ樞密院ト
カ其他ノ憲法上ノ機關ニモ掛ケナイデ、唯
行政府ニ於テ何デモ書クト云フヤウナ、此
委任ヲ寄越セト云フ所ニ、今マデ此委員會
ニ不安ナ空氣ガアツタ、所ガ只今此問題ニ付
キマシテ質問應答ヲ重ネマスト云フト、殆
ド現行法デ取締レルコトヲ敢テ茲ニ二十條
ノ中ニ入レテ、二十條ニ於テ何デモヤレル
ゾト云フヤウナ威嚇的ナ態度ニ出テ、其内
容ハ是カラ行政當局ガ何デモ書クノダト云

フヤウナ風ニ、吾々ハ印象セザルヲ得ナイ
ノデアリマス、現在ニ於テ新聞紙法、其他
出版法、サウ云フモノデ全然只今申サレル
ヤウナ事態ニ對シテ十分取締リ得ルニ拘ラ
ズ、敢テ二十條ヲ殘シテ置イテ、サウシテ
新聞紙、言論ニ對シテ、此方ハ何デモヤラ
ウト思ヘバヤレルゾト云フ無言ノ條項ヲ殘
スト云フコトハ、私ガ最初ニ申シマシタ通
リ、此國家總動員法ノ運用者、即チ官吏ニ
對スル監査役ト致シテ、健全ナ新聞ガ斷乎
トシテ存在シナケレバナラナイ、唯健全ナ
ル言論ガアツテ、初メテ國民ハ流言蜚語其
他ニ迷ハサレズニ、此長期作戰ニ堪ヘルモ
ノデアアル、其意味ニ於テ此言論ノ統制ノ
條項ヲ、本法ノ中ニ挿入シタコトソレ自身
ガ一種ノ矛盾デアツテ、斯様ナモノヲ入レ
ルコトハ、結局此總動員法ノ一番中心デア
ル所ノ、國民ノ精神的ナ協力ト云フモノヲ
ナクサセル原因デハナイカト思フノデアリ
マシテ、私ハ其意味ニ於テ二十條ハアッサリ
御削除ニナツテ、若シ現行法ニ於テ不十分デ
アルナラバ、新聞紙法ノ改正ヲ此議會ニ提
案サレテ、サウシテ十分ニ平時カラ斯様ナ
軍事、外交上ノ問題、或ハ例ヘバ青木サン
ノ所謂軍需品ノ數量ノ問題其他ニ付キマシ
テ、平素カラ十分ニ取締レルコトノ出來ルヤ

ウニ致サレタイト思フノデアリマス、此法
案カラ此二十條ハ少クトモ削除スルコトニ
付キマシテ、内務大臣ノ御答辯ヲ煩ハシタ
イノデアリマス、尙ホ内務大臣自身ハ二十
條ナドハ、削除シテモ宜イト云フ御氣持ガ
アルト云フ話モ聞イテ居ルノデアリマス、
是ハ世間ノ噂デアリマスカラ、此公ノ席上
デ以テ私ハ何トモ申上ゲマセヌガ、内務大
臣ノ御考如何デアリマスカ

○末次國務大臣 是ハ政府ノ提案デアリマ
シテ、内務大臣ガ二十條ヲ削除スルト云フ
ヤウナコトハ出來ナイノデアリマス、新聞
紙法ノ改正ハ是ハ兼テカラ考ヘテ居ルノデ
アリマシテ、二十三條ヲドウスルトカ云フ
ヤウナ問題バカリデナク、其内容ニ付テ改
正ヲ要スル點ヲ澤山認メテ居ルノデアリマ
ス、是ハ先程來申シマシタ通り、新聞紙法
ノ改正ニ付テハ別ニ考ヘテ居ルト御承知置
ヲ願ヒマス

○杉山國務大臣 私ハ羽田君ノ御尋ニ對シ
マシテ、尙ホ第二十二條ニ付テ私ノ考ヘテ
居ル所ヲ述べタイト思ヒマス、新聞紙法ニ
於キマシテ第二十三條ニ安寧秩序ヲ紊リ或
ハ風紀ヲ害スルモノニ付キ制限ヲスルコト
ニナツテ居ルノデアリマスガ、此度ノ總動員
法ニ於キマシテハ、單ニ軍需ダケデナク、

民需ヲモ同時ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、
此民需ノ移動數量、數額等ニ付キマシテハ、
極メテ秘密ヲ保タナケレバナラヌノデアリ
マシテ、一例ヲ申シテ見マスレバ、石炭ガ
民需ノ爲ニ如何ナル方向ニ向イテ動イテ居
ルカ、或ハ又東京ヲ養フ爲ニ米ガドウ云フ
風ニ何處カラ動イテ居ルカト云フヤウナコ
トハ、極メテ重大ナ問題デアリマシテ、之
ニ對シマシテ東京ヲシテ困厄セシムル爲ニ、
如何ナル交通線路ヲ破壊スベキカト云フヤ
ウナコトハ非常ニ重大ナ問題デアリマス、
斯ウ云フヤウナ民需ニ對スル數量ヲ勝手ニ
記載ヲサレルト云フヤウナ事柄ハ、民需ノ
上カラ考ヘマシテモ、戰勝ノ目的ヲ達スル
爲ニ非常ニ困難デアルト思フノデアリマス、
斯ノ如キ見地ヨリ二十條ヲ設ケルコトガ必
要デアルト考ヘテ居ルノデアリマス

○牧野委員 關聯質問ヲ御許願ヒタイト思
ヒマス

○小川委員長 羽田君ノ承諾ヲ得テ居リマ
スカ

○羽田委員 ドウゾ……

○牧野委員 只今陸軍大臣ガ御答辯ヲ下サ
イマシタ平素ナラバ御懸念ガアリマセヌ
ガ、國家總動員法ヲ發動シナケレバナラナ
イヤウナ戰時竝ニ戰時ニ準ズル事變ノ場合

民需ヲモ同時ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、
此民需ノ移動數量、數額等ニ付キマシテハ、
極メテ秘密ヲ保タナケレバナラヌノデアリ
マシテ、一例ヲ申シテ見マスレバ、石炭ガ
民需ノ爲ニ如何ナル方向ニ向イテ動イテ居
ルカ、或ハ又東京ヲ養フ爲ニ米ガドウ云フ
風ニ何處カラ動イテ居ルカト云フヤウナコ
トハ、極メテ重大ナ問題デアリマシテ、之
ニ對シマシテ東京ヲシテ困厄セシムル爲ニ、
如何ナル交通線路ヲ破壊スベキカト云フヤ
ウナコトハ非常ニ重大ナ問題デアリマス、
斯ウ云フヤウナ民需ニ對スル數量ヲ勝手ニ
記載ヲサレルト云フヤウナ事柄ハ、民需ノ
上カラ考ヘマシテモ、戰勝ノ目的ヲ達スル
爲ニ非常ニ困難デアルト思フノデアリマス、
斯ノ如キ見地ヨリ二十條ヲ設ケルコトガ必
要デアルト考ヘテ居ルノデアリマス

ニハ、其時ニハモウ軍需モ民需モナイノデスネ、隨テソレヲ區別シテ今カラナサルト云フコトハ、此立案ノ根本ニ法制的ナ頭ガ缺ケテ居ルト私ハ思フガ、ソレハモウ第一條ニハア、云フ風ニ規定シテアルケレドモ、第一條ノ規定ハ行過ギテ居ルノダ、サウデハナイノダ、戰爭ニナツテモ立派ニ民需ト軍需ニ分レルノダ、斯ウ云フノナラバ又審議ノ方法ガアル、又本案ニ對スル取扱ノ餘地モアルト思フノデス、是ハ私ハ陸軍大臣ノ考ガ宜イト思フ、アナタノ考ヲ決シテ非難ハセヌ、私ハ其時ハモウアナタノ御考ト、私トハ一致スルト思フ、ダカラ其時ノ規定ハコンナモノデハ足ラスト思フ、コンナモノデアッテハナラナイト思フ立場ナノデアリマス、所ガ外ノ大臣ハアナタノ考ハ知ッテ居ナイ、私ハ實際此法律ヲ適用シナクチャナラヌ時ハ、ドウ云フ場合カト云ヘバ、言ハナクテモ宜イ、第一條ニ規定シテアル、其規定シテアル時ニハ、今青木君ガ言ッチャウナ事例ヤ、大臣ガ言ハレタヤウナ事例ハ、モウ包括サレテアナタノ支配下ニナル、大本營ノ支配下ニナル、ソレデ其點ノ區別ヲ今カラ立テ置ク必要ハ私ハナイト思フガ、假ニ立テ置ク必要ガアルトシマセウ、アレバ現行法デ宜イデヤナイカ、サウシテ現

行法ガ足ラナイナラバ、此法律ヨリ前ニ現行法ヲ改メルカ、少クトモ同時ニ改メナケレバナラナイ、現在ハ戰時ニ關スルモノハ陸軍大臣初メ陸軍當局ハ、此總動員ニアラザル限リハ、現行法デ相當役立ッテ居ル、ケレドモ是以上ノ場合ニ是デ行クノデス、現在ハ現在デ宜イデセウ、其處ヲハッキリシテ下サイ、現在ノ狀態ナラバ現在ノ法制デ宜シイ、是以上ニナル處ガアル時ニ、之ヲ用ヒタイノデセウ、而シテ現在ノ狀態ニ於テハ遺憾ナイデセウ、然ルニ其間ガ内務大臣以下ノ人ニハ明瞭デナイ、陸軍大臣ニハ明瞭ナンデス、陸軍當局ハ明瞭ナンデス、ソレデ答辯ガ曖昧トナル、ソコデ私ハ只今ノ陸軍大臣ノ御答辯ガアリマシタカラ、改メテ内務大臣ニ同時ニ御問致シタイ、即チ此法律ハ現在ハ必要ハナイケレドモ、必要ガアルヤウニナルカモ知レマセヌ、ケレドモ現在ハ必要ハナイ、現在必要ナイト云フコトハ、現行ノ法制ガ政府當局ノ希望スル所ニピタリト合ッテ居ルト云フコトナンドス、合ハズト雖モ便宜方法ヲ設ケテ行ケバ解決ガ付クト云フモノダ、而シテ相當内務省ハ無理ヲシテ居ル、警保局長ガ無理ヲシテ居ルト云フコトハ、警保局長ガ今御話ニナツタ、餘リ明確ナ法的根據ハ

ナイケレドモ、警察上ノ行政處分ハシテ居ルト言フケレドモ、是ハ已ムヲ得ナイ場合ガアル、警保局長ハ場合ニ依ッテハ非難ヲシマスガ、概括的ニハ非難ハ出來マセヌ、ドウモ其處ニ關スル頭ガ關係ニハッキリシテ居ナイ、立案者ニハハッキリシテ居ルラシイケレドモ、例ヲ擧ゲ出スト、立案者ニハッキリシナクナッテ來ル、ダカラ私ハ此法律ハ現在ハ要ラナイノカ、現在既ニ要ルノカ、其事ヲ明ニスルト同時ニ、現在既ニ新聞紙法其他ノ現行法ニ於テ目的ヲ達シテ居ル、ソレ以上ノ目的ヲ達スルニ、モット精密ナル規定ヲ要スルト云フノナラバ、先ヅ少クトモ現行法ヲ同時ニ改メテ行カナケレバナラナイノデハナイカ、サウシテ國民トシテ處分ヲ受クル時ニハ、是ガ法的根據ヲ明瞭ニスル必要ガアルノデハナイカト云フコトヲ、第二ニ内務大臣ニ御問致シタイト思ヒマス

○末次國務大臣 時局ガ如何ニ變化シマスカ、是ハ豫測ガ出來ナイノデアリマス、只今ノ情況デハ必要ガナイトシマシテモ何時必要ニナルカ分ラヌ、是ハモウ前々カラ繰返シ當局ノ言ッテ居ル所デアリマス、新聞紙法ヲ改正セヨ、斯ウ申サレタ點ニハ異存ハナイノデアリマシテ、是ハ只今研究致シテ居ルノデアリマス、先程來申述べタ通り、新聞紙法ニハ改正ヲ要スル點ガ澤山アリマスカラ、チビリ／＼ヤラナイデ、十分ニ研究ヲシテ、ヤルナラバ根本的ニ改正ヲヤリタイ、ソレヲ今研究致シテ居ルノデアリマス

○青木政府委員 只今牧野サンノ御質問ノ中ニ重大ナル事項ガアリマスノデ、私ノ先程申述べマシタ言葉ヲ補足スル意味ニ於テ御答ヲサセテ戴キマス、牧野サンハ本法ガ全面的ニ發動スルヤウナ大戰爭ニナレバ、軍需、民需ノ調達其他本法ノ運用ハ、擧ゲテ軍ノ系統ニ行クノデハナイカト云フ意味ノ前提デ御質問ガアリマシタガ、決シテ左様デハナイノデアリマス、先般來御説明申上ゲテアリマスル如ク、國家總動員法ノ施行ハ、内閣ノ全責任ニ於テ行ヒマス、私ノ先程申シマシタノモ其意味ニ於キマシテ、陸海軍以外ノ各省ニ於テ、民需充足其他經濟上ノ目的ノ爲ニ、本法ヲ運用スル場合ガアルノデアリマシテ、是ハ如何ニシテモ軍事上トハ申シ兼ねマス、隨テ新聞紙法第二十七條ノ軍事上ノ必要ニ依ッテ記事ノ掲載ヲ禁止制限スルト云フコトデハ間ニ合ヒマセヌソレカラ次ニ本法ハ今發動スル必要ハナイデハナイカ、隨テ第二十條ニ付キマシテモ、今斯ウ云フコトヲ規定シテ置ク必

要ハナイデハナイカト云フ意味ノ御質問モ
アツタノデアリマスガ、本法施行ノ時期大要
ニ付キマシテモ、先般來屢、政府ヨリ御説
明申上ゲマシタ如ク、本法ガ成立致シマス

レバ、軍需工業動員法ヲ廢止致シマシテ、
現ニ實行致シテ居リマス陸海軍ノ軍需工
場ノ管理ハ、本法ニ依ッテ繼續致シマス、昨

年臨時議會ニ於テ成立致シマシタ臨時諸立
法ノ運用ハ、其儘繼續致シマスガ、今日ハ
本法ノ所謂戰時若クハ之ニ準ズル事變ノ時

デアリマスカラ、此本法第二十條ノ發動ハ
本法施行後ニ於テハ直チニ發動サレルノデ
アリマス、將來事變ガ重大化シタ場合ニ初

メテ發動スルノデハナイノデアリマス、左
様御承知ヲ願ヒマス
○牧野委員 大切ナル陸軍大臣ノ御答辯ハ

極メテ明晰デアリマスガ、内務大臣竝ニ政
府委員ノ御答辯ハ明瞭ヲ缺キマス、仍テ私

ハ陸軍大臣ノ御答辯ヲ更ニ明確ニ致シテカ
ラ、他ノ閣僚竝ニ政府委員ノ御所見ヲ承リ

タイト思ヒマス、陸軍大臣ニ御伺致シマス
ル、本法ハ間モナク制定セラレマシタナラ
バ、直チニ發動シナケレバナライヤウナ

事態ニ立至ルカモ知レナイト思ヒマスル、
併ナガラ現在ニ於テハ斯様ナ法律ハ要ラナ
イト存ジマス、斯様ナ法律ガ要ラナイト云

フコトハ、即チ現在ノ法制ハ陸軍當局ノ企
圖シテ居ラレル所ニ、大體ニ不足ナク整ッテ
居ルモノト解シタイト思ヒマスル、此點ニ

關スル御所見ヲ承リタイ
○杉山國務大臣 只今牧野君ノ御尋ニナリ
マシタ趣旨ガ何處ニアリマスルカ、能ク分

リマセヌカラ、モウ一度ハッキリ……
○牧野委員 大變御手数煩シマシテ恐縮
デアリマス、此法律ハ只今ハ必要ガナイ、

將來必要アルコトアルベキガ爲ニ制定サレ
ルモノト存ジマス、如何デアリマスカ
○杉山國務大臣 御述ニナツタ通りデアリ

マス
○牧野委員 隨テ現在ハ國ヲ賭シテノ重大
ナル事變ニ吾々ハ最大ノ覺悟ヲ持ッテ居リ

マスルケレドモ、現在ノ程度ナラバ現在ノ法
制ヲ以テ足ルト軍部當局ハ解シテ居ラレル
モノト存ジマスルガ、御所見如何デアリマ

スカ
○杉山國務大臣 牧野君ノ御述ニナツタ通
リデアリマス、併ナガラ今後事變ガ如何ニ

變化スルカト云フコトヲ豫期スルコトガ出
來マセヌノデ、之ニ對スル準備ハシテ置カ
ナケレバナラスト存ジマス
○牧野委員 陸軍大臣ノ御答辯ハ極メテ吾

吾ノ満足スル所デ、明確デアリマス、然ル

ニ此點ニ關スル政府委員竝ニ内務大臣ノ考
ハ不明確ダト思ヒマス、少クトモ私が尋ネ
マシタル所ニ關シテハ、正確ナル御答辯ヲ

得ルコトガ出來ナカッタと思フノデアリマ
ス、コ、デ内務大臣ニ御伺シマス、陸軍當
局ハ今日ノヤウナ非常時ニ際シマシテハ、

新聞紙法ヲアノ程度デ宜シイト言ハレル、
内務大臣ハアノ程度デハ惡ウゴザイマス
カ、ソレヲ承リタイ
○杉山國務大臣 私ノ述ベマシタ點ガ或ハ

言葉ガ足ラナカッタノカ知レマセヌ、此準
備ヲ致シマス爲ニ今日ヨリ此法案ヲ作ッテ
置クコトガ必要デアルト感じテ居ルノデア

リマス
○牧野委員 陸軍大臣ノ御意思ハ極メテ明
瞭デ安心致シテ居リマス、此陸軍大臣ノ御

答辯ノ下ニ於テ内務大臣ヨリ御答辯ヲ戴キ
タイト存ジマス
○末次國務大臣 内務大臣トシテモ陸軍大

臣ト何等違ッタ所ハアリマセヌ
○牧野委員 先程私が問ヒマシタル所ガソ
レデゴザイマス、是レ以上ノ事端ヲ發生シテ、

現在ノ法制デ足ラナイトセラレル點ガ假ニ
新聞紙法ニアリマスルナラバ、而シテ現在
警保局ノ取扱ガ明確ナル法の根據ナシト政

府委員ガ言明スルアタノ行政治下ニ於テ、

新聞紙法ノ改正ト云フコトノ方ガ、本案ヨ
リモ少クトモ先行シナケレバナラスノデハ
ナイカ、少クトモ同時ニ行ハレテ居ナケレ

バナラスノデハナイカ、而シテ内務大臣御
答ニナリマスル所ニ依リマスルト、新聞紙
法ハ幾多改正シナケレバナライカラ、ソ

レヲ研究シテ居ルト言ハレテ居ルノデアリ
マス、隨テ其研究ヲ急イデ當議會ニ御出シ
ニナルコトガ先決問題デナイカ、今ハ重大

ナル事變デアリマスゾ、平時デヤアリマセ
ヌゾ、其際ニ於テ此新シイ議論ノアル法制
ヨリモ、既ニ發布サレテ行ハレテ居ル法律

ニ缺陷ガアルナラバ、急イデソレヲ爲サレル
コトガ、内務當局トシテノ急務デヤアリマ
セヌカ、而モ既ニ現在ノ下ニ陸軍當局ハ之

ヲ以テ満足シテ居ラレルガ、十分ナ満足デ
ヤナイト思ヒマス、マダ欲シテ居ラレルト
思フ、而モ警保局長ノ答辯ニ依レバ、明確

ナル法の根據ナクシテ種々ナル處分ヲ爲シ
テ居ラレルト言フ、此明確ナル法の根據ナ
シト云フコトハ、即チ行政上ノ處分デアル、

行政上ノ處分ニハ自由裁量ヲ許サレテ居ル
カラ爲シテ居ラレルト云フノデアリマスガ、
此點ニ於テ處分ガ果シテ行政上ノ自由裁量

ノ範圍ナリヤ否ヤト云フコトハ、私共ガ處
分ノ個々ニ付テ之ヲ究メナケレバナリマセ

ヌケレドモ、少クトモ第二十條ノ質問應答ニ於テ明ニナツタ所ニ依リマスルト、現在ノ取締ヲ爲スニ法的根據ガ要ルト云フコトヲ明ニシテ居ラレルノデアリマス、私ハ内務大臣ヲ困ラセル爲ニ質問ヲ致シマセヌカラ、率直ニ成程サウダト云ッテ戴ケバ非常ニ満足デアリマス、私ハサウダト云ッテ戴カナケレバナラス結論ニナツテ居ルト思フノデアリマス、ダカラサウデナイト云フコトデアリマスナラバ、無論牧野及ビ殆ド多數ノ委員ノ蒙ラ啓イテ戴キタイ、ケレドモ本當ニ述ベル所ヲ聞イテ見ルト、アナタノ言フコトガ正シイサウダト云フノナラバ、其一言ヲ置イテ下サイマズレバ、又ヤハリ虚心坦懷ナル政府ノ態度ヲ信賴シテ、本案ノ審議ニ對シテ相當積極的ナ態度ヲ執ッテモ宜イト思ヒマス、ドウゾ此點ニ對シマスル内務大臣ノ御所見ヲ承リタイ

○末次國務大臣 法的根據ガナイト云フ風ニオ取リニナツテ居ルヤウデアリマスルガ、現在法的根據ナクシテヤツテ居ルコトハアリマセヌ、先程來警保局長ガ申シマシタ、警告ヲ與ヘルト云フコトハ、何モ法律ニハナイ、併シ間違ヒラ少クシ、又事前ニサウ云フコトヲ防グコトガオ互ノ爲デアリ、國家ノ爲デアリマスカラ、警告ト云フコ

トヲ行政上ノ便宜手段トシテ執ッテ居ル、斯ウ言フノニ過ギナイ、此總動員法ガ何時發動スルカ分ラナイモノデアレバ、先ヅ平時法タル新聞紙法ノ改正ヲヤレ、是ハ私モ同意デアリマス、ヤラナケレバナリマセヌノデ、今折角努力中デアリマス

○牧野委員 内務大臣ニ警保局長ノ名譽ノ爲ニ私ノ言葉ヲ明確ニ致シマス、警保局長ハ法的根據ナクシテヤツタト云フ、明確ナル法的根據ナシト云フ言葉ヲ使ッテ居リマス、流石ニ用意周到デアリマス、行政法ニハ「フライエ・エルメッセ」ト云フコトガ中心ニナツテ居リマスカラ、明確ナル法的根據ナシト雖モ、警察ニ於テ必要ナリト信ズル時ニハ適當ノ處分ヲ爲スコトガ出來ル、所ガ末次内務大臣答ヘル所ニ依リマスレバ、本案二十條ハ明確ナル法的根據ヲ與ヘルコトガ、聽テ國民ヲ安心セシムルコトデ、國民ノ利益ダト仰セラレテ、此規定ヲ爲スコトガ國民ノ利益ダト仰セラレルカラ、私共不利益ト解スル者ガ敢テ其御所見ヲ質シマス、ソコデ今現ニ新聞紙法ハ改正ノ爲ニ、調査ヲシテ居ルト云フコトヲ以テ御答ニナツテ居リマスガ、ソレデハ答ニナラナイ、調査ニナツテ居ルコトハ私が知ッテ居ルガ、ソレヲ提案シテ吾々ノ承認ヲ受ケルコトノ方ガ先

行問題デアル、斯ウ私ガ言フノデアリマス、少クトモ同時ニ之ヲ御出シニナラナケレバナラス、又出スコトガ内務大臣ノ御答辯ノ趣旨カラ言ヘバ、現在ノ時局ニ對シテ必要デアッテ、陸海軍大臣ニ對スル誠意ダト思ヒマス、日本ノ國ヲコンナ狀態ニ置イテ、陸海軍大臣ガ是程苦勞シテ居ラレルノニ、アナタハ怠慢ダトハ思ヒマセヌカ、私ハ怠慢ダト思フ、ソコダ、ソコデアナタノ責任ヲ責メタイノダ、ソコデアナタノ所見ヲ質シタインノダ、ソコデ警察行政ノ内容ヲ明ニシテ置キタイノダ、デアリマスカラ此點ハ誤解ガアッテハナラナイ、成程コンナ法律ヲ、二十條ヲ決定シテ貰フ前ニ、俺等ハ新聞紙法ノ改正ヲシナケレバナラス、少クトモ俺達ハ出サナケレバナラス、今期議會ニハ間ニ合ハナイケレドモ出スゾ、是ダケノ誠意ノアル御答辯ガアレバ篤ト私モ考ヘ直シマス

○末次國務大臣 格別意見ニ違ッテ居リマセヌ、出ス積リデ今研究シテ居リマス

○牧野委員 此問題ハ是レ以上申シマセヌ、陸海軍當局ハ今日ノ重大時局ニ非常ナ努力ヲサレテ、而シテ今ハマダ此法律ハ要ラナイケレドモ、何時要ルカモ知レナイト云フコトヲ心配シテ居ラレル時ニ、各閣僚ガ各省事務ニ對シテ、調査シテ居ル途中デアッ

テ、マダ間ニ合ッテ居ナイヤウデハ、洵ニ私共ハ心細ク思ッテ居リマスルカラ、十分戒心シテ戴キタイト存ジマス、次ニ青木次長ニ質シテ置キタイト思ヒマス、青木次長ハ第一條ハ所管ハ内閣デアッテ、全部軍事行政ニナルノデハナイト言ハレマシタ、成程アノ場合私ノ言葉ハ惡ウゴザイマシタ、ダカラ私ノ言葉ノ足りナカッタコトヲ此處デ釋明致シテ意見ヲ明瞭ニシテ置キマス、第一條ハ「國防目的達成ノ爲國ノ全力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル様人的及物的資源ヲ統制運用スルヲ謂フ」トアル、目的ハ何ゾヤ、國防ヲ達成スルノデアリマス、時期ハ何ゾヤ、戰時デアリマス、而シテ國民生活ニ必要ナル日用品ノ數量等ガ敵ニ分ッテハ困ル、當リ前デセウ、ソレガ軍ノ目的デ禁止ガ出來マセヌカ、私ハ特別ノ法律ナンカ作ラナクテ、今モウ既にソレガ出來テ居ルコトデ——ソ

ンナコトガ出來テ居ナイデ陸軍當局ハ默ッテ居ル筈ハナイシ、私等モソンナコトハ許シマセヌ、ダカラ今デモ出來テ居ルカ、此法律ガ行ハレル時ニハ餘計私ハソンナモノハ必要ナイト思フノデアリマス、如何デスカ

○青木政府委員 現在ノ軍需工業動員法ハ軍需ノ充足ダケヲ目的ト致シテ居リマスノデ、是ノ執行ニ付キマシテハ、主トシテ陸

海軍等が當ルコトニナルダラウ、斯ウ云フ場合ニ軍事上ト云フ事柄が該當スル場合ガアラウカト思ヒマスガ、本法ハ其立案ノ一ツノ骨子ガ、現在ノ軍需工業動員法デハ第一條ノ目的ヲ達スルノニ狹イカラ、之ヲ擴張致シマシテ、軍需充足ノ外ニ國民生活ノ確保、經濟ノ圓滑ナル運行ト云フコトヲ庶幾致ス爲ニ、全面的ニ人的物的資源ノ統制運用ヲ豫期シテ居リマシテ、是ガ執行官廳ハ官制ノ示ス所ニ依ッテ各省ガ當リマス、隨テ陸海軍自ラヤル場合以外ニ於キマシテ、是ハ軍事上ノ行動デアルトシテ、現行法ニ依ッテ取締ル場合ガアルノデアリマス

要デアルト思フ、其意味ニ於テ二十條ハ是カラ當然削除セラルベキデアルト思フノデアリマス、只今ノ陸軍大臣ノ御話ニ依リマスト、米ノ數量トカ石炭ノ數量ノ問題ト云フモノハ、軍事上非常ニ重要デアル、ソレハ確ニサウデアリマセウ、今日ノ時局ニ於テハ確ニサウデアリマセウケレドモ、是等ノモノノ取締ガ國ノ安危ニ關スルナラバ、今カラデモ私ハ遅クナイト思ヒマス、内務大臣ガ第二十七條ノ中ニ陸軍大臣、海軍大臣、外務大臣及ビ商工大臣トカ大藏大臣ト云フ此僅ナ文字サヘ入レ、バ、直グニ只今言ハレル米ノ數量トカ、石炭ノ數量ノ問題モ忽チニシテ解決致スノデアリマス、尙ホ外ニモ新聞紙法ニハ幾多ノ缺陷ガアッテ、ソレヲ今調査シテ居ラレト仰シヤイマスガ、何ヨリモ國ノ安危ノ問題ニナルノデアリマスカラ、先ヅ米ノ數量、石炭ノ數量ヲ取締ル上ニ、二十七條ニ唯大臣ノ名前サヘ入レバ直グニ出來ル譯デアリマスカラ、今カラデモ御出シ願ッテ、二十條ハ少クトモ即座ニ撤回スベキ條項デハナイカト私ハ考ヘテ居リマス、内務大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス

サウ各省大臣皆何デモカンデモ禁止スル、斯ウ云フヤウナ規定ハヤリタクナイノデアリマス、二十條ハ二十條トシテ其必要ヲ認メテ居ルノデアリマシテ、是ハ自ラ別ニシタ方ガ宜イト考ヘテ居リマス

○羽田委員 此第二十條ハ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト言ッテアルガ、此勅令ハ此議會ニ出テ來ナイノデアリマス、是ハ内務省ノ警保局ナリ、或ハ法制局ナリ、或ハ内閣ノ閣議ヲ經テ、上奏御裁可ヲ經テ公布サレルノデアリマスカラ、勅令ハ此議會ニ出テ參リマセヌノデ、此二十條ニハ書カウト思ヘバ只今申ス以外ニ、官僚ノ惡口ヲ言ッテ者ハ罰スルト云フコトモ書ケバ書ケル譯デアリマス、サウ云フヤウナ工合ニ何デモ官僚ニ對シテ御委セラスル所ノ重大ナル條項デアリマス、所ガ新聞紙法ハ法律デアリマスカラ、隨テ此議會ノ議ヲ經ナケレバ之ヲ改廢スルコトガ出來ナイ、隨テ此中ニ陸軍大臣、海軍大臣、外務大臣、大藏大臣、商工大臣ト云フ文字ガ入ッテモ實際ニ言論界ノ人ハ何等ノ脅威ヲ感ジナイノデアリマス、其大臣ガ入ッタカラト云ッテ有ユル軍事上ニ關係ノナイ所ノ經濟上、産業上、金融上ノ問題ヲ、何カラ何マデ命令ヲ出シテ取締ルト云フ譯デハナクテ、唯要スル

○羽田委員 只今牧野サント内務大臣ノ質問應答ニ於キマシテ、牧野サンハ此二十條ヲ出スト同時ニ新聞紙法ヲ出セバ宜イデハナイカト云フヤウナ御話デアリマシタガ、私ハソレト一寸違フノデアリマス、新聞紙法ヲ出セバ宜シイ、新聞紙法ハ平時ノ規定デアル、此二十條ハ戰時又ハ事變ニ際シテノ規定デアリマスカラ、結局平時ノ規定ハ戰時ニモ適用サレルノガ當然デアリマスカラ、私ハ此法律ノ中ノ言論ノ規定ヲ削除シテ新聞紙法ヲ出スコトガ、——隨テ戰爭ノ時モ新聞紙法サヘ出テ居レバ間ニ合フノデアリマスカラ、新聞紙法ヲ出スコトガ私ハ必

○末次國務大臣 此新聞紙法ハ平戰時ヲ通ズル規定デゴザイマスカラ、平時ノ規定ニ

○末次國務大臣 幾度繰返シテモ同ジデアリマスガ、此二十七條ニ御意見ノヤウナコトヲ入レルトシマス、各省大臣ハ軍事、外交、財政、經濟其他——ドウ云フ言葉ヲ使ヒマスガ、廣イ範圍ノコトヲ其處ヘ入レナケレバナラスノデアリマスカラ、今ノ總動員法案ノ二十條ガ御不安ヲ感ゼラレルト同ジヤウナ不安ヲハリ新聞紙法デ感ジナケレバナラス、而モ平時ニ於テモソレヲ御感ジニナラナケレバナラスコトニナリマス、是レ以上ハ意見ノ相違ニナリマスガ、私ハ此

方が宜イト確信シテ居リマス

○羽田委員 大體意見ノ相違デアリ、ドウモ御當局ニ於テ確信ノナイト云フコトガ明瞭ニナリマシタカラ、私ハ是レ以上質問ヲ致シマセス、唯話ガ少シ妙ナ風ニナリマシタ爲ニ、二十條ノ方ニ中心ガ行ツタノデス、私ノ質問ハ實ハ第三條ノ第七號ノ情報又ハ啓發宣傳ニ關スル業務ト第五條ノ所謂帝國法人ノ此問題ヲ質問致シテ居ツタ所ガ、ソレガ段々逸レマシテ二十條ノ方ニスッ飛ンデシマツタデアリマス、ソコデ私ハ初メノ第七號ト第五條ニ付テ此中ニ新聞ガ入ッテ居ルト云フコトニナレバ、民間ノ新聞ガ官報化シテ來ルト云フコトラ先程大分前ニ申上ゲタ譯デアリマス、新聞ト云フモノハ非常ニ政府ノ機關ノヤウナモノニナツテ來ル、官報化スルト政府ノ息ガ掛ッテ來ルト云フヤウナコトニナリマスノデ、隨テ此對外的ナ信用ト云フモノハ、是ハ政府ノ御用的ナ新聞ガ言ッテ居ルンダト云フヤウニナツテ來ルノデアリマス、所ガ民間ノ新聞デアリマス、結局民間ノ新聞ノ意見、即チ國民ノ輿論デアル、斯ウ云フヤウニ外國ノ方デモ考ヘマシテ、殊ニ重大ナル外交上ノ問題ヤ、其他ノ問題ニ付テ日本ノ輿論ガドウデアアルカト云フコトラ外國ノ新聞ガ知ラウトスル場合

ニハ、外國ノ特派員ハ長イ歴史ト信用トラ持ツタ所ノ民間ノ新聞ノ論調ヲ見マシテ、日本ノ輿論ハ茲ニアルト云フコトラ外國ニ打電シマス、所ガソレニ依ッテ日本ノ所謂輿論ト云フモノガ明瞭ニナツテ、外國ハ之ニ依ッテ日本ノ動向ト云フモノガ分ルノデアリマス、所ガ此民間ノ新聞ニ對シテ官ノ統制ガ加ハルト云フコトニナリマス、是ハ結局官ガ斯ウ書カシテ居ルノダト云フコトニナリマシテ、所謂權威アル對外的ノ宣傳機關ヲ吾々ハ失ッテシマフノデアリマス、ソレハ非常ニ此戰時ニ於テハ國家ノ損失莫大ナリト斷定セザルヲ得ナイノデアリマス、政府ハドウ御考ニナリマスカ

○末次國務大臣 御心配ノ點ハ別段政府ノ指圖ニ依リ左ノ記事ヲ掲グト書ク譯デモナイノデアリマスケレドモ、國家ノ目的ニ協力サレルヤウニ、新聞ハ新聞トシテノ本來ノ業務ヲヤラレル、ソレト並行シテ啓發宣傳ノコトラ必要ニ應ジテヤツテ貰フ、斯ウ云フノデアリマス、別段新聞本來ノ使命ヲ傷ツケタリ、又官製ノ社説ヲ、内容ヲマデ指圖シテ掲ゲテ貰フ、サウ云フ風ナ考デハナイノデアリマス

○羽田委員 內務大臣ノ御話デハ單ニ協力ヲ求メルノデ、新聞社ノ本質ニマデ「タッチ」シ

ナイノダ、容喙シナイノダ、官製ノ社説ハ載セナイノダ、斯ウ云フ御話デアリマスケレドモ、是ハ結局實際ノ問題ト致シマシテハ、國家總動員業務ニ協力セシメルトカ、色々ナ問題ニナツテ參リマシテ、或ハ役所カラ出張ノ人ガ新聞社ヘ現レルトカ、色々致サナケレバ所謂圓滿ニ協力セシメルコトガ出來ナイノデアリマス、サウナレバ結論ト致シマシテ、日本ノ新聞ハモウ駄目ダ、結局アレハ官報ダカラ、政府ノ代辯者ダト云フヤウニ外國デハ印象スルノデアリマス、當然ソレハ新聞ニ對スル強制ガ加ハリ、官ノ統制ガ加ハレバ、之ヲ以テ今內務大臣ハ外部的ノ問題ダト言ハレルガ、本質的ノ問題ニ直グ觸レテ來ルコトハ論ヲ俟タナイノデアリマス、之ニ付テハ論ヲ更ニ致シマシテモ恐ラク意見ノ相違ト云フコトニ結局ナリマスガ、私ハ私ノ意見ガ正シイト云フコトラ確信致シマス

大分時間モ過ギマシタシ、私ハ實ハ二十條ノ方ヲヤリタイノデアリマスケレドモ、モウ大體二十條ノ問題モ先程片ガ付イテ居リマスノデ、是レ以上二十條ノ問題ヲ餘リ繰返スコトラ致シマセスガ、唯最後ニ申上ゲタイコトハ、言論ノ取締ノ條項ヲ此法案ノ中ニ入レルト云フコトハ、只今ノ業務ノ

問題モ、第五條ノ問題モ、更ニ二十條ノ問題モサウデアリマスガ、少クトモ非常ニ官ノ統制ガ強化サレタ、彈壓ガ加ツタト云フ印象ガ新聞社ニ對シテモ、又其新聞ヲ讀ム所ノ一般ノ國民ニ對シテモ深メラレルノデアリマス、只今諄々シク色々申上ゲタガ、行政處分デアルトカ、自由裁量デアルトカ、色々御話デアリマスガ、現在ノ新聞ニ對シテノ此法ノ根據以外ニ、實際上當局ノ事實行爲トシテ加ッテ居ル所ノ差止トカ、サウ云フコトガ非常ニ多イノデアリマス、隨テ今日ノ新聞ト云フモノハ非常ニ何トナク陰鬱デアル、今日ノオ天氣ノヤウニ陰鬱デアルト云フコトガ一般ニ言ハレテ居リマス、今デスラ陰鬱デアル所ニ、此業務ノ上ニ於テ、或ハ法人トシテ第五條ニ依リ、更ニ二十條ニ依ッテ斯様ナ彈壓ガ加ッテ來ハセヌカト云フ印象ヲ少クトモ持ツダケデモ更ニ言論界ハ不明朗ニナル、午前中ニ私ハ陸軍大臣ト滿洲國ノ言論ノ解放ニ付キマシテ、質疑應答致シタノデアリマスルガ、陸軍大臣ノ御話デモ、滿洲國ニ於テハ建國マダ日淺ク、人心ノ安定モマダ十分デナイ、秩序モマダ十分立ッテ居ラヌ、ダカラ今マデハ言論ニ對シテ當然統制ヲシテ居ツタガ、最近ハモウ言論ノ統制ヲ止メテ、サウシテ言論ノ解放ヲ致シ

タト云フコトヲ言ハレタノデアリマス、我國ハ三千年ノ長イ間ノ歴史、而モ精華アル國體ヲ持チ、此中ニ住ム國民ト云フモノハ、眞ニ盡忠ノ精神ヲ持ッテ居ル、此盡忠ノ精神ヲ持ッテ居ル、秩序ノアル所ノ此日本國ニ於テ更ニ斯様ニ言論ノ統制ヲスルト云フコトハ、先程陸軍大臣ノ御答辯ノ滿洲國ノソレト對蹠的ニナル譯デアリマシテ、其意味ニ於キマシテモ、私ハモウ既ニ日本ハ秩序モ十分立ッテ居ルノダカラ、言論ノ統制ハ法律ヲ以テシ、勅令ナンカニ委任スルヤウナ本立法ニ據ルベカラズト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス、左様ナ譯デアリマシテ、

私ハ是等ノ條項ニ付キマシテハ、何レ當然削除致シ、或ハ新聞ハ此中ニ含マナイト云フ點ヲ明確ニ後ニナッテ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ大體私ノ言論ニ對スル質問ハ終ッタノデアリマスルガ、尙ホ今日ハ當局ノ此法案提出ニ對シテ、唯便乘ヲシテ此法案ニ入レタ其爲ニ、答辯ニ確信ガナカッタカラ非常ニ時間ガ掛ッタノデアリマス、私ハマダ質問スベキコトガ殘ッテ居ルノデアリマスガ、實ハモウ餘リ時間ヲ費シタノデ——ソレハ要スルニ私ノ故デハナイト思フノデアリマスガ、——時間ヲ費シテ居ルノデアリマスカラ、此點ハマダ二三十

分ヤリタイ點ガアルノデアリマスガ、委員長ノ御計ヒデ他ノ機會ナリ、何ナリニシタイト思ヒマスガ、如何デセウ委員長ニ御尋シタイト思ヒマス

○小川委員長 質問ハ此際御打切ナサッテ、一番最後ニ時間ガアリマシタラ御質問願ヒタイト思ヒマス

○西岡委員 議事進行ニ付テ——ソレハ一番最後ニナント云フコトヲ仰シヤラズニアトドレ位アルカ知レマセヌガ、成ベク簡略ニ願ッテ質問ヲ終了セラレンコトヲ望ミマス

○小川委員長 質問ハ成ベク簡略ニスルコトニシテ續ケテ戴ケマセヌカ

○羽田委員 私ハ尙ホ運用ノ問題ニ付テ申上ゲタイト思フノデアリマス、隨テ少クトモ二三十分戴カナケレバナリマセヌ、ソレデ出來ルナラバ總理大臣ガ出デニナッテカラ伺ヒタイト考ヘテ居リマスガ……

○小川委員長 總理大臣ニ對スルアナタノ質問ハ既ニ終了セラレタ管デアリマスガ……

○羽田委員 新シク御聞キシタイトコトガ出來タノデアリマス

○小川委員長 兎ニ角要點ヲ纏メラレテ御續ケテ願ヒマス

○羽田委員 ソレデハ私ハ皆様モ御迷惑デアリマセウカラ、出來ルダケ簡略ニ質問致

シマス、國務大臣ノドナタデモ宜シウゴザイマスカラ御答辯願ヒタイト思ヒマス、結局此法案ハ非常ナ劇藥デアリマシテ、匙加減ノ如何ニ依リマシテハ、國ヲ救フ所ノ良藥トモナリ、又舉國一致ヲ破ル所ノ毒藥トモナル譯デアリマシテ、結局此藥ノ匙加減ヲスルオ醫者ノ問題ガ本法ノ一番中心問題ダト思ヒマス、結局此法ヲ運用ナサル所ノ官吏ノ問題ガ中心トナルト思ッテ居ルノデアリマス、惡法デモ之ヲ運用スル人ガ善ケレバ良イ結果ヲ生ム譯デアリマスカラ、私ハ問題ハ官吏ニ在ルト思ヒマス、ソコデ私ハ現在ノ官吏ノ問題ニ付テ若干質問致シタイノデアリマスガ、今日ノ時局ニ當リマシテ——皆サンモ大分御飽キニナッタヤウデアリマスカラ、私ハ具體的ノ問題ヲ極ク僅カ申上ゲマスガ、此重大ナル時局ニ當リマシテ、實ハ少壯ノ官吏ガ出勤時間ガ非常ニ遅レテ居ルコトガ多イ、大體十一時位ニナラナケレバ出テ來ナイ、局長位ニナレバ宜イガ、ドウモ事務官級ノ人ガ十一時ニモナラナケレバ出テ來ナイト云フヤウナコトデ、事務ガ非常ニ滯滞ヲ致シテ居ルノデアリマス、私ハ今日ノ此重大時局ニ當リマシテハ、是非官吏諸君ハモウ少シ時局ノ認識ヲ改メラレテ、早目ニ出勤サレタイト思フノデア

リマス——是ハ答辯ハ要リマセヌ

第二ハ暑休ノ問題デアリマスガ、今ハ大體毎年七月ノ二十日カラ八月ノ末日マデハ所謂暑休ト言ヒマスガ、午前中ダケデ午後ハ休ムト云フコトニナッテ居リマス、其爲ニ人民ハ隨分迷惑ヲスルノデアリマス、縣廳ナンカヘ行ッテモ、一晚泊ラナケレバ役所ノ者ニ會ヘナイト云フヤウナ譯デアリマスカラ、是非共一ツ是ハ止メルヤウニシテ戴キタイ、サウシテ國家總動員ノ此重大ナル時局デアリマスカラ、今年カラハ少クトモ暑休ヲ中止シテ戴イテ、終日制ヲ實行シ、人民ノ利便ヲ圖ツテ戴キタイト思フノデアリマス

第三ハ官廳ノ許可認可事項ニ對シテ期限ノ制度ヲ確立シテ貰ヒタイトデアリマス、ノンベンダラリト半年モ一年モ待ッテ居ッテモ、許可ガ出テ來ナイト云フヤウナコトデアッテハ、洵ニ人民ノ迷惑ハ甚シイノデアリマス、若シ此國家總動員法案ガ實行サレルト云フコトニナルト、許可認可事項ガ澤山勅令ヲ以テ發布サレルデアリマセウガ、其場合ニ於キマシテモ、豫メ先ヅ此期限制度ニ付テノ原則ヲ定メテ貰ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ電力法案ノ中デ問題ニナリマシタガ、官吏ノ民間會社ノ重役就任ニ對

シマス、國務大臣ノドナタデモ宜シウゴザイマスカラ御答辯願ヒタイト思ヒマス、結局此法案ハ非常ナ劇藥デアリマシテ、匙加減ノ如何ニ依リマシテハ、國ヲ救フ所ノ良藥トモナリ、又舉國一致ヲ破ル所ノ毒藥トモナル譯デアリマシテ、結局此藥ノ匙加減ヲスルオ醫者ノ問題ガ本法ノ一番中心問題ダト思ヒマス、結局此法ヲ運用ナサル所ノ官吏ノ問題ガ中心トナルト思ッテ居ルノデアリマス、惡法デモ之ヲ運用スル人ガ善ケレバ良イ結果ヲ生ム譯デアリマスカラ、私ハ問題ハ官吏ニ在ルト思ヒマス、ソコデ私ハ現在ノ官吏ノ問題ニ付テ若干質問致シタイノデアリマスガ、今日ノ時局ニ當リマシテ——皆サンモ大分御飽キニナッタヤウデアリマスカラ、私ハ具體的ノ問題ヲ極ク僅カ申上ゲマスガ、此重大ナル時局ニ當リマシテ、實ハ少壯ノ官吏ガ出勤時間ガ非常ニ遅レテ居ルコトガ多イ、大體十一時位ニナラナケレバ出テ來ナイ、局長位ニナレバ宜イガ、ドウモ事務官級ノ人ガ十一時ニモナラナケレバ出テ來ナイト云フヤウナコトデ、事務ガ非常ニ滯滞ヲ致シテ居ルノデアリマス、私ハ今日ノ此重大時局ニ當リマシテハ、是非官吏諸君ハモウ少シ時局ノ認識ヲ改メラレテ、早目ニ出勤サレタイト思フノデア

シテ、一定ノ制限ヲシテ貰ヒタイノデアリマス、是ハ一種ノ潰職デアルト思ヒマス
更ニ第四點ト致シマシテハ、民間ノ人材登用ノ途、是ハ昨日船田サンカラモマア出来ルダケ登用ショウト云フ御話デアリマシタガ、是ハ出来ルダケ實際ニヤッテ戴キタイ

尙ホ第五ニハ、官吏ノ再教育ノ問題デアリマス、現在ノ官吏ハ大學ヲ出テカラ直グ官吏ニナリ、事務官、課長、局長、次官、大臣ト云フヤウナ工合ニ、洵ニトシノト立身出世ヲサレテ居リマスガ、大學ヲ出テ直グ官吏ニナルノデ世ノ中ト云フモノヲ知ラナイノデアリマス、人民ノ汗ト膏ヲ出シテ物ヲ作ルト云フヤウナ苦ミヤ、又人情風俗ト云フコトニ付キマシテモ、非常ニ其認識ガ缺ケテ居ルノデアリマス、左様デアリマスカラ、中ニハ先達テノ新聞ニ依リマス、官吏ノ再教育ヲ大學ニ於テヤルト云フコトガアリマシタガ、大學ニ於テヤルトデナクテ、斯ウ云フ官吏ノ人々ハ、先ヅ田舎ノ百姓ノ所ニ行ッテ百姓ヲ半年位ヤッテ貰ヒタイ、又工場ヘ行ッテ汗ト膏ヲ流シテ働イテ、現實ニ工場ノ苦ミヲ知ッテ戴キタイ、サウシテ民間ノ實生活ヲ體驗シテ、暫ク民間ニ在ッテ官僚ガ如何ニ横暴デアルカ、之ヲ能

ク體驗シテ貰ヒタイ、是ガ私ノ官吏ノ再教育ノ上ニ於ケルコツデハナイカト思ヒマス、私ハ良イ意味ヲ以テ六法全書——富田サンハマダ餘リ十分ニ判斷能力モナイ所ノ警察官ニ對シテハ、六法全書ヲ捨テロト言ハレマシタガ、是ハ非常ニ困リマス、併ナガラ少クトモ相當ナル知識ト、ソレカラ相當ナル地位ニ在ル人ニ對シテハ、私ハ六法全書ヲ捨テテ、法律デ何デモカデモ人ヲ縛ラウト云フ考デハナク、實際ニ人民ガ如何ニスレバ、便利ニナルカ、又此國民ノ精神的協力ヲ得テ、國家總動員ニ寄與スルコトガ如何ニ大キイカト云フヤウナコトヲ十分ニ體驗シテ貰フ爲ニ、先ヅ田舎ノ野良ノ聲ヲ聽ク、又巷ノ聲ヲ聽イテ、六法全書ハカナグリ捨テ貰ヒタイ、斯ウ云フコトヲ私ハ御願スル次第デアリマス、其意味ニ於キマシテ、私ハ少クトモ尙ホ官吏ノ執務のナ——今ノハ條項的デアリマスガ、私ハ根本ノ態度ト致シマシテハ、水戸光圀公ガ「朝ナタナ箸トル度ニ思フ哉惠マス民ニ惠マル、身ハ」ト云フ歌ヲ詠ハレテ居ルノデアリマスガ、私ハセメテ月ニ一回月給袋ヲ貰フ時位ハ、此「朝ナタナ箸トル度ニ思フ哉惠マス民ニ惠マル、身ハ」ト云フ此感謝ノ念ト謙虛ナ氣持ヲ、役人諸君ニ持ッテ貰ヒタイ、此運

用者ガ十分ニ左様ナ態度デ、己ヲ空ウシテ、獨善的ナ立場ヲ捨テテヤッテ行クナラバ、必ズ民間モ之ニ大イニ敬意ヲ表シテ、眞ニ官民融合ノ下ニ、此非常重大ナル日本ヲ切抜ケテ行クコトガ出来ルト思フ、此意味ニ於テ私ハ國家總動員法案ヲ出スヨリモ、先ヅ此運用者デアル所ノ官吏ノ再教育ガ、官吏ノ心ノ矯正シガ先行シナケレバナラヌト云フ考ヲ持ッ者デアリマス、此點ニ付キマシテハ、希クハ先程申上ゲマシタ條項ニ付キマシテハ、然ルベキ機會ニ速記ヲ御覽下サイマシテ、近衛總理カラシテ官吏ノ執務態度竝ニ只今申上ゲマシタヤウナ瑣末ナコトデハアルガ、是ハ一般人民ニ對スル直接關係ノアル問題デアリマスカラ、只今申シマシタ五ツノ條項ニ付テ、他ノ機會ニ於テ、此席上ニ於テ總理ノ御考ヲ御述ベ下サイマシヤウニ御願ヲ致シマシテ、私ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス(拍手)

○西岡委員 議事進行ニ付テ……モウ既ニ六時ニモナルコトデアリマスカラ、食事ヲ攝リマス爲ニ暫時休憩セラレマシテ、西尾君ノ質疑ガマダ殘ッテ居リマスカラ、引續キ適當ノ時間ニ開會セラマシテ、西尾君ノ質疑ヲ繼續セラレンコトヲ望ミマス

○小川委員長 ソレデハ是ヨリ暫時休憩致シマシテ、午後七時ヨリ更ニ會議ヲ開クコトト致シマス

午後五時五十三分休憩
午後七時十分開議

○小川委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、西尾君ノ質疑ノ繼續ヲ許シマス

○西尾委員 私ハ内務大臣ニ御致政スノデアリマス、内務大臣ハ貴族院ニ於キマシテ、一月十五日ニハ二荒伯爵、同二十四日ニハ小坂氏ヘ、ソレノ御答辯ニナッテ居リマス中ニ、自由主義ハ共產主義ノ温床ナリト云ツヤウナ意味ノコトヲ御答ニナッテ居ルノデアリマスルガ、自由主義ト云フモノト最モ鋭ク對立スルモノハ獨裁主義、專制主義、強權主義ト云フヤウナモノデアリマシテ、今日日本ニ於テ獨裁主義デアリマス所ノ「ファシズム」ガ相當問題ニナッテ居リマス時ニ、内務大臣ガ御答ニナツタヤウナ不十分ナ言葉デハ、色々誤解ガ起ルノデハナイカ、内務大臣ハ何トナク、内心「ファシズム」ニ對シテ好意ヲ持ッテ居ルノデハナイカト云フ誤解モ起ッテ來ルシ、或ハ此不十分ナ言葉ヲ幸ト致シマシテ、「ファシ」團體ノ人々ハ之ヲ利用スルト云フ虞ナシトセナイノデアリマス、サウ云フ點ヲ考ヘマシテ、私ハ内務大臣ノ言ハレマシタ自由主義トハ何デア

ルカト云フコトヲ明ニ致シタイト思フノデアリマス、是ハ政府ノ爲ニ明ニシテ置クコトガ必要ダト思フノデアリマス、内務大臣ニ自由主義トハ何デアルカト云フコトヲ御説明ヲ願フ前ニ、私ノ考ヲ申上ゲタ方ガ議事ノ進行ニ簡便カト思ヒマスノデ、申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、此自由主義ノ問題ヲ考ヘル迄ニ、先ヅ二ツノモノヲ先ニ除ケテ話シタ方ガ整理ガ付クト思ヒマス、一ツハ權力否認ノ思想デアリマス、是ハ決シテ自由主義ト云フモノデハナクシテ、是ハ「アナキズム」ニ屬スベキモノデアルト思ヒマス、モウ一ツハ全體主義ト云フ言葉ガアリマスガ、全體主義ト云フモノハ決シテ自由主義ト對立スル主義デハナクシテ、個人主義ト對立スルモノデアルト吾々ハ考ヘルノデアリマシテ、此意味ニ於テ、此自由主義トハ何デアルカト云フコトヲ論ズルニ於テハ、是等ノモノハ勿論除イテ考ヘテ宜イト思フノデアリマス、ソレデス様ニ範圍ヲ狹メテ來マシテ、次ニ自由主義ト言ハレルモノニハドウ云フモノガアルカ、是ハ學問的ニ言ヒマスト甚ダ面倒デアリマシテ、私又其方ノ専門デハナイノデアリマスルガ、常識的ニ判斷致シマスルナラバ、自由主義トハ三ツアルト思フノデアリマス、

其一ツハ哲學上ノ自由主義ト云ヒマスカ、或ハ人生觀ノ上ニ於ケル自由主義ト云ヒマスカ、其最モ代表的ナモノハ英國ノ「ゼントルマン」ノ態度デアリマシテ、自分モ人ノ自由ニ干涉シナイ、其代リ自分ノコトニ對シテ人ノ干涉ヲ餘リ喜バナイト云フ所ノモノデアアルガ、是ハ又個人主義ト言ッテモ宜イモノデアルト思フノデアリマス、是ガ共產主義ノ溫床デアルト云フ對象ニナラスノハ勿論ダト私ハ思フノデアリマス、先ヅ是ハ除ケテ考ヘタイ、其次ハ經濟上ノ自由主義ト云フノガアリマス、經濟上ノ自由主義トハ即チ資本主義デアリマス、是ハ問題ニナリ得ルノデアリマス、モウ一ツハ政治上ノ自由主義デアリマス、外國ノ言葉デ言ヒマスナラバ、之ヲ「デモクラシー」ト言フノデアリマセウガ、此言葉ハ又專制政治、獨裁政治ト云フヤウナ「イデオロギー」ニ對立スル言葉デアリマス、ソコデ「デモクラシー」ノ内容デアリマスガ、之ヲ民主主義ト譯シタモノモアルヤウデアリマスガ、内務大臣ガ貴族院デ御述ニナッテ居リマスルヤウニ、主權在民ノ主義ト云フモノモ此「デモクラシー」ノ中ニ學問ノ上デハ入ルノデアリマスケレドモ、我國ニ於キマシテハ、何人カ主權在民ト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ル者ガ

アラウトハ考ヘラレナイノデアリマス、デアリマスカラ、學問ノ上ノ議論トシテハ別ト致シマシテ、政治上ニ於テ使フ言葉ト致シマシテハ、主權在民ノ主義ト云フモノハ、吾々ノ議論ノ外ニ置イテ宜イト私ハ思フノデアリマス、左様ニ考ヘテ、然ラバ政治上ノ自由主義トハ何デアアルカト言ヘバ、是ハ一言ニシテ言ヒマスナラバ、「萬機公論ニ決スヘシ」ト云フ御誓文ニ依ル所ノ立憲主義デアアル、日本ニ於テノ自由主義ノ實體ハ立憲主義デアアル、斯様ニ考ヘルノデアリマス、サウ致シマスナラバ、此立憲主義ニ當攸マルモノハ、色々ナ點ニ於テ差異ハアリマスケレドモ、包括的ニ見マスナラバ、政友會モ、民政黨モ、社會大衆黨モ此自由主義ノ中ニ包括サレルモノデハナイカト思フノデアリマス、此私ノ分類ガ誤リナイト致シマスルナラバ、政友會ヤ、民政黨ヤ、社會大衆黨ガ共產主義ノ溫床デアラウ譯ハナイノデアリマシテ、サウ云フ風ニ分類シテ來マス、結局自由主義ハ共產主義ノ溫床ナリト云フコトハ、經濟上ノ自由主義、即チ資本主義ガ共產主義ノ溫床デアルト云フコトニ歸著スルト私ハ考ヘルノデアリマスガ、此點ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○末次國務大臣 私ノ議會ニ於ケル答辯ヲ引用サレマシテ、自由主義ハ共產主義ノ溫床ナリ、斯ウ云フ風ニ御聽ニナツタカノヤウニ思ハル、ノデアリマスガ、私ガ申シマシタノハ、私ノ利益ヲ先ニシテ國家ノ利害休戚ヲ第二ニスルガ如キ自由主義、斯ウ云フ形容詞附デ申シタノデアリマス、其點誤解下サラスヤウニ願ヒタイ、ソレカラ經濟上ノ自由主義ハ結局共產主義トナリ、政治上ノ自由主義ハ所謂「デモクラシー」——併シ主權在民ト云フガ如キ主義ハ日本ニ於テ容サルベキデナク、又各政黨ニシテモサウ云フ考ハ毛頭ナイ、是ハ全ク御説ノ通りデアリマス、唯日本ノ自由主義ハ直チニ立憲主義ナリト、斯ウ言ヒ得ルカドウカ、色々ト條件ヲ竝ベマシテ、結局茲ニナルト云フ説明ナラバ納得出來マスガ、日本ノ自由主義ハ是レ即チ立憲主義ナリ、是ハ少シ言葉ガ足ラスノデハナイカ、唯民政黨、政友會、社會大衆黨、何レモ經濟上ノ自由主義デナク、又主權在民ノ自由主義デモナイ、要スルニ帝國憲法ノ章條ニ依ル立憲主義デアアル、斯ウ云フ御意見ニハモウ全然同感デアリマス、資本主義ガ直チニ共產主義ナリト、斯ウ言ヒ得ルカ、是モ唯ソレダケノ言ヒ現ハシ方デハ、何トナク不十分ナリト思ヒマ

ス、ヤハリ幾多ノ説明ヲ要スルノデアリマシテ、條件付デナケレバ直チニ首肯ハ出来ナイト、斯様ニ考ヘルノデアリマス

○西尾委員

是ハ内務大臣デナクテモ結構デアリマスカラ、一ツ政府ニ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマスガ、私ノ言ヒマスノハ、今日「フアジ」的ナ傾向ヲ持ッタ人々ガ、事毎ニ之ヲ自由主義デアルト言ッテ、サウシテ非愛國的ナ許スベカラザル思想ノ如ク言ウテ居ルノデアリマス、例ヘバ或ル時ニハ尾崎先生ヲ國賊ニシタコトモアツタ、其尾崎先生ハ我國ノ政治上ニ於ケル功勞者トシテ、近ク銅像ヲ立テヨウト云フ議ガ起ッテ居ルヤウナ立派ナ人デアアル、又維新以後ニ於キマシテハ、板垣サンハ自由民權ヲ主張サレマシテ、所謂非常ニ自由ヲ主張サレタノデアリマスガ、サウ云フヤウナ、何トナク議會ヲ通ジテ日本ノ政治ノ運用ヲシタイト云フヤウナ、所謂立憲主義ト言ヒマスカ、日本ノ憲法ノ條章ニ從ッテ、言論ニ依ッテ國民ノ意思ヲ代表シテ政治ヲスルト云フコトヲモ自由主義ナリト非難スル言葉ガ、巷ニ滿チノテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ時ニ於キマシテ、不用意ナ、縦シソレガ内務大臣ノ條件付ノ言葉デアアルニ致シマシテモ、サウ云フヤウナコトヲ自由主義ト云フ言葉デ説明

サレルコトハ、幾多ノ疑惑ヲ起スノデハナイカ、隨テ此點ヲ明ニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フノガ私ノ御質問申上グル第一點デアリマス

第二點ハ所謂國家ノ利益ヨリモ私利ヲ先ニスルト云フ考、是ハ私共ガ常ニ口ヲ極メテ特ニ非難攻撃スル所ノ資本家ニ於キマシテモ、全然國家ノコトヲ考ヘナイ者ハ、日本ノ國民ニハ居ナイト思ヒマス、唯併シ資本主義ノ發展ノ過程ニ於キマシテハ、兎角政府ハ法律ノ番人ニナッテ居レバ宜イノダ、先ヅ國民ニ自由放任ニ色々ナ仕事ヲやらセレバ宜イノダ、斯ウ云フ考ヘ方ハ是レ世界各國ヲ通ジテ資本主義ノ發生發展ノ途上ニ於ケル「イデオロギー」デアリマス、自分勝手ニ仕事ヲスル、其爲ニハ先程私ガ總理大臣ニ質問致シマシタ中ニ國家總動員、國民精神總動員運動ノ爲ニ、其目的ノ爲ニ埼玉縣カラ發表爲サレマシタ「パンフレット」ノ中ニ於テモ、資本主義ハ最初ハ宜カッタノダガ、此頃ハソレガ我儘勝手主義ニナッテ居ルト云フ風ニ、明ニ資本主義ト云フモノニ對スル定義ヲ與ヘテ居ル、ソレヲ大體總理ハ御承認ニナッタノデアリマスカラ私ノ第二ノ質問ハ、資本主義ハ、資本主義ノ在ル所ニ於テソレノ直接ノ犠牲ニナルモノハ勞

働者デアアル、其勞働者ノ不滿、而モ其境遇ガ他ノ方法ニ依ッテ改正サレル見込ノナイ所ニ共產主義ノ附ケ込ム隙ガアル、此隙ヲ除クコトガ、即チ共產主義ヲ防グコトニ重要ナ役目ガアルノデハナイカ、即チ此意味ニ於テ、資本主義ヲ此儘ニシテ置クト、共產主義ガ生レル危險ガアル、資本主義コソ共產主義ノ溫床タリ得ルモノデアルケレドモ、共產主義ノ溫床タリ得ルト斷定シ得ルモノハ、其他ノ自由主義ヲ特ニ取上ゲテ言フベキ性質ノモノデハナイト云フノガ、私ノ伺ハントスル第二點デアリマス、ドナタデモ結構デアリマス

○末次國務大臣

第一點ノ萬機公論ニ決スルト云フ御意見ハ、モウ異存ノアリヤウハアリマセス、憲法ノ章條ニ依リ、議會ノ言論ヲ尊重スルコトモ全く同意見デアリマス、資本主義ガ跋扈シテ其極端ナ所マデ行クト、其餘弊トシテ茲ニ勞働者ノ搾取トナリ、結局勞資ノ間ノ争ガ、結果カラ見テ資本主義ガ共產主義ノ溫床ニナリ得ル場合ガアル、斯ウ云フコトハ有得ルト思ヒマス、何レノ主義デモ是ガ極端ニナルト幾多ノ弊害ヲ伴フト思フノデアリマシテ、資本主義ガ極端ニ趨リマス、共產主義ヲ激發スルト云フコトハ有得ルト思ヒマス

○西尾委員

尙ホ速記ヲ讀ンデ見マシテモ、恐ラク不十分デアラウト思ヒマスガ、併シ大體ノ輪郭ハ内務大臣ノ御答辯ニ依リマシテ明ニナツタカト思フノデアリマシテ、言葉ノ末ニ因ハレテ、更ニ進ンデ之ヲ質問スルコトハ差控ヘタイト思フノデアリマス
ソコデモウ一點伺ヒタイノデアリマスガ、内閣情報部編纂ノ週報ノ六十六號ノ中ニ「人民戰線運動ノ本體」ト云フコトヲ内務省カラ出シテ居ルノデアリマスガ、其中ニ「以上ノ如キ人民戰線運動ニヨル共產主義運動ニ對抗スル爲ニハ、惟フニ二ツノ方法ガ考ヘラレル、一ツハ國體明徴ノ徹底、國體觀念ノ宣揚デアリ、今一ツハ防共協定ノ強化擴充、國內防共ノ實踐強行デアリ」斯ウ云フコトガ言ハレテ居ルノデアリマス、即チ二ツノ方法トシテ、一ツハ國體明徴ノ徹底デアアル、一ツハ防共協定ノ強化擴充、國內防共ノ實踐強行デアアル、斯ウ云フヤウニアリマシテ、甚ダ字義明瞭ヲ缺クノデアリマスガ、私ノ信ズル所ニ依リマスカラバ、其他ノ機會ニ於テ、此「パンフレット」ガ言ッテ居リマスヤウニ、人民戰線ト云フモノハ、共產主義者ガ人民戰線ト云フ面ヲ被ッテ大衆ニ近付キ、之ヲ誘導シヨウトスルノデアリマシテ、此本ニモソレヲ書イテ居ルノデアリ

マス、之ヲ防衛スル爲ニハ

(委員長退席、西岡委員長代理著席)

國內防共ノ實踐躬行デアルト云フコトヨリモ、労働者ヲバラ／＼ニシテ置クト云フヨリハ組織化スル、組織ヲ通ジテ日本精神ヲ徹底セシメ、或ハ今後幾多ノ事態ガ起ツテ來ル場合ニ、ソレ／＼ノ方針ヲ、其組織ヲ通ジテ國民ニ徹底セシメルト云フコトガ重要デアラウト思フノデアリマス、即チ抽象的ニ國內防共ノ實踐躬行ト云フヨリモ、労働ヲ組織スルト云フコトガ重要デハナイカト思フノデアリマス、如何デアリマセウカ

○末次國務大臣 共產主義ニ對シマシテ、之ヲ防グガ爲ニ、詰リ現在行ハレントスルガ如キ人民戦線派ニ對抗スル爲ニ、國體明徴、國內防共ノ強化ト云フコトヨリモ、寧ロ労働組織ヲ強化シテ、此組織ヲ通ジテ國民ヲ強化スル、此方ガ必要デハナイカ、斯ウ云フ御所見ダト思ヒマス、労働組織ヲ強化シテ、防共ニ備ヘルト云フコトハ結構ダト思ヒマス、併シ是アルガ爲ニ、國體明徴モ、國內防共強化ノ思想的努力モ必要トハ考ヘマセヌ、寧ロ兩者並行シテ行クノガ一番宜イト思ヒマス

○西尾委員 勿論國體明徴非常ニ重要デアリマシテ、人民戦線運動或ハ共產主義運動

ニ對抗スル爲ニハ、ソレガ重要デアルト云フコトヲ私ハ前提ニ置キマシテ、唯ソレノ實踐ハ抽象的ナ言葉デナク、實際ドウシタラ宜イカ、即チ國內防共ノ實踐強化ト云フ具體的ナ方法ハ、ヤハリ労働者ヲ組織スルト云フコトガ重要デハナイカト云フ意味ノコトヲ申上ゲタノデアリマス、是モマア大體諒承致シマシタ

ソレカラ先程速記ヲ御止メニナッテ羽田君ニ對シテ御答ニナリマシタ中ニ、國民ガ政府ヲ支持シテ居ナイト云フヤウナ文章ハ此際穩當デナイト云フノデ、是ハ差止メタ、更ニ徒ニ開戦ヲ主張スルガ如キ文章ハ差止メタイト云フ御答ガアツタノデアリマスガ、此程度デハ甚ダ手緩イノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、吾々ハ此點ニ付テハ、屢、政府ニモ警告ヲ發シテ居ルノデアリマス、ト言フノハ、所謂愛國團體、日本主義團體、斯ウ云フ人々ノ多クハ吾々ノ社會大衆黨ヤ、其黨ヲ支持シテ居リマス黨ノ基礎ニナッテ居リマス組合會議ニ對シ、是ハ擬裝セル共產主義者デアル彼等ハ今日舉國一致ニ參加シテ居ルケレドモ、是ハ擬裝セル姿デアアル、何カ事ガ起ツタラバ引ッ繰リ返ルデアラウト云フヤウナコトノ文書ヲ多ク發行シテ居ルノデアリマス、又サウ云フ「ビラ」ヲ

街頭ニ撒イテ居ルノデス、サウ云フモノニ對シマシテ、吾々平時デアリマスナラバ、直チニ言論デモ、或ハ暴力ニ依ツテデモ、是等ニ對抗スルダケノ氣魄ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併ナガラ吾々ガ演說會等ニ於キマシテ、サウ云フ點ニ於テ事ヲ明ニシヨウトスルト、警察當局ハ、マア君等ガサウ言フト、國內相剋ヲ激化スルカラ、君等ハ黙ツテ居テ呉レ、斯ウ云フ注意ヲ屢、受ケテ居ルノデアリマス、又撒イタ「ビラ」ヲ見セテ、斯ウ云フ「ビラ」ガ蔣介石ノ手ニ入ッタラドウスルカ、是ガ「スターリン」ノ手ニ入ッタラドウスルノカ、日本デハ、現ニ舉國一致ト言ハレテ居ルケレドモ、百万票ヲ贏チ得タ所ノ社會大衆黨モ、本當ハ擬裝セルモノト國內デ言ツテ居ルデハナイカ、日本ニ於ケル唯一

ノ——唯一トハ申上ゲマセヌガ、一番有力ナ、一番大キナ、シッカリシタ團體デアル組合會議ニ對シテ、實ハアレハ擬裝シテ居ルノダト云フコトヲ日本ノ國內デ言ツテ居ルデハナイカ、斯ウ云フコトニナルナラバ、相手國若クハ「ソビエト」露西亞ノ士氣ヲ鼓舞シ、是ガ逆宣傳ノ具ニ供サレル憂ガアルデハナイカ、斯ウ云フコトヲ何故取締ラヌカト云フコトヲ屢、忠告ヲ發シテ居ルノデアリマスケレドモ、ソレガ依然トシテ行ハ

レテ居ル、具體的ナ事實ヲ捉ヘテ何月何日ニ斯ウ／＼ト云フ資料ヲ私ハ今持ツテ居リマセヌケレドモ、此點遺憾ノ點ガ多イト思フノデアリマス、此點ニ付キマシテ政府ノ所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○末次國務大臣 御言葉ノ通りサウ云フコトガ屢、アルノデ困ツテ居ルノデアリマス、社會大衆黨ニ對スル攻撃ノミナラズ、民政黨、政友會ニ對シテモ、類似ノヤウナ攻撃モ屢、出ルノデアリマス、又一方右翼ニ對スル攻撃モ出ルノデスガ、此取締ハ中々難カシイノデアリマシテ、之ヲ一々氣ニ懸ケテ居ラ、モウ一日モ居ラレナイノデアリマス、マア適當ニ治安ヲ害シナイ範圍デ——前ヨリモ今日ノ取締ハ非常ニ嚴重ニナッテ居ルト云フコトヲ諒トセラレタイト思ヒマス

○西尾委員 私ハ此機會ニモウ一言之ヲ突込ンデ御伺致シタイノデアリマスガ、先ヅ前提ヲ申上ゲマスナラバ、内務大臣始メ内務省ノ考ヘ方ハ自由主義デハナイカ、取締方針ガ自由主義ノ殘滓ヲマダ清算シ切レナイモノガアルノデハナイカ、即チ資本主義ノ發生當時ニ於キマシテハ、過去ノ封建的ナ色々ナ制限ヲ押退ケルコトガ、其時ノ社會國家ノ發展ニ都合ガ好カッタノデス、ソコデ一切ノ羈絆ヲ脱シテ、自由ニ思フ所デ金

儲ヲスルト云フコトガ、其時ハ寧ロ國家的ニモ必要デアッタ、何處ニデモ工場ヲ造リ、何處ニデモ資本ヲ下シテ仕事ヲスレバ金ガ儲カル、金ノ儲カルコトハ又國力ノ増進ニナル時代デアッタノデアリマスカラ、隨テ行政當局ニ致シマシテモ、大體ニ於テマア干涉シナイ、自由ニヤラセル、唯ソレガ治安ヲ案ルト云フ結果ニ立至ツタ時ニ於テノミ、政府ガ之ニ對シテ干涉スルト云フ考ヘ方ヲ、今マデ持ッテ居ッタノデアリマス、或ハ今マデハソレデ宜カッタカモ知レヌノデアリマスガ、今日デハソレデハ行カヌノデアリマス、此點ヲ私ハ内務大臣ノ言葉、一段々判斷致シマスルト、内務大臣ハソレデ一貫シテ居ルノデアリマス、例ヘバ立看板ノ問題ガ本委員會ノ最初ニ問題ニナツタ時ニ、國民ノ中デ總動員法案ヲ、是非トモ通過サセタイト云フ考ヲ持ッテ居ル者ガ熱心ニヤルナラ、ソレハ止メルベキデハナイデハナイカ、斯ウ云フ考ヘ方デス、私ハ其時感シタノデアリマスガ、アノ立看板ヲ撤去サセル爲ニハ、アレニ數倍スル所ノ立看板ヲ立テテ、コナラガデヤンノ騷々立テタナラバ、是ハ治安ヲ案ルト云フ結果ニナルトシテ、初メテ内務當局ハ發動スルノデハナイカ、一方ガ勝手ニヤッテ居ルケレドモ、一方ガ我慢

シテ居ル間ハ、治安ヲ案ルト云フコトニハナラヌカラト云フノデ、暫ク放ッテ置クノデハナイカト云フコトヲ感シタ、斯ウ云フコトハ吾々ハ屢アル、例ヘバ是ハ先ニモ一寸言及致シタノデアリマスガ、私ガ昨年ノ十一月頃、事變中勞働爭議ヲ絕對無イヤウニシヨウト云フコトニ付キマシテ、大阪府知事、警察部長等ヲ訪ネテ知事ノ「イニシヤチーブル」ニ依ッテ、爭議ヲヤラヌヤウニシヨウト云フコトヲ、勞資兩方ガ神ノ前ニ宣誓スルトヲ、國民精神總動員ノ一翼トシテ、オヤリニナツテハドウカト勸メマシタ時ニモ、大體知事、警察部長ハ諒承シテ居ッタヤウデアリマスルガ、結局ドウモ特高課ノ方ガ、之ニ對シテ消極的ノ態度ヲ執ッタト云フコトヲ、私ハ其當時感シテ居ッタノデアリマス、ソレガ後ニ明ニナツタ、私ハ事實ヲ申上ゲマス、ソレハ此間ノ紀元節ノ日ニ、銃後産業協力大會ヲ、吾々ガヤウウト致シマシテ、東京ニ於テモ、神戸ニ於テモ、知事モ市長モ御出席ヲ戴キマシテ、非常ニ盛大ニ行ハレテ、吾々組合員一同非常ニ感激致シテ居ルノデアリマスルガ、大阪ダケハ、遂ニ知事ハ來ナカッタ、前ノ日マデ數回吾々ノ同僚ガ、是非知事ニ來テ呉レルヤウト頼ミニ行ッタノデアリマスガ、知事ハ自分ハ其日ハ紀元節ノ式ガアッテ

行ケナイケレドモ、誰カ代リヲヤラウト云フヤウナコトヲ言ハレテ居ッタノデアリマスガ、結局特高課長ノ所ヘ行キマス、斯ウ言フノデアリマス、ソレハ銃後産業協力大會ト云フコトハ結構ナコトデアルカラ、アナタ方ガ御自由ニオヤリニナッタラドウカ、ソナナ事ニ知事ガ利用サレテ、知事ヲ引張出スト云フヤウナコトハ困ルソナナ事ニ知事ガ一々出テ居ルト、又右翼團體カラモ來イト云フコトニナツテ困ルカラ斷ル、斯ウ云フコトヲ言ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ考ヘ方ハ即チ物ヲ機械的ニ平面的ニ考ヘテ、何ガ大事デアルカト云フコトニ對スル認識ヲ缺イテ居ルノデハナイカト思フ、例ヘバ立看板ノ問題ニ致シマシテモ、アノ場合ニ於テハ立看板ハ撤回サセルト云フコトガ必要ナンデス、警察當局ハ勞働爭議ヲ取締ル時分ニ、此頃ハ餘リアリマセヌケレドモ、時ニハ唯道ヲ歩イテ居ッテモ、交通妨害ダト云ッテ之ヲ檢束スルト云フ手段ヲ屢、御執リニナツテ居ル、ダカラアレヲ撤去サセルコトガ必要ダト云フコトヲ認識ナサイマスナラバ、アレヲ撤去サス方法ハアッタノデアル、遂ニサウ云フコトニ對シテ手緩イ方法ヲ御執リニナツテ居ルカラ、遂ニ當局ガ撤去ヲ命ジナケレバナラヌヤウナコトガ起ッテ來タ

ノデアルト思フノデアリマス、私ハ斯様ニ考ヘテ、先程ノ内務大臣ノ御答辯ヲ思ヒ較ベマスナラバ、ドウモ内務大臣ノ考ヘ方ハ、機械的ノ平等主義ト云フカ自由主義ト云フカ、サウ云フ風ニ考ヘルノデス、是ハ吾々モ長イ間不滿ヲ持ッテ來タ、例ヘバ共產黨ノ運動ガ盛ニナツテ、吾々ハ此一派ヲ除名シテ、會長松岡駒吉氏ノ如キハ、サウ云フ一派ノ十數名ノ暴漢ニ襲ハレテ頭ヲ擲ラレ、全身血ミドロニナツテ、僅ニ身ヲ以テ逃レルト云フヤウナ、血ヲ以テ吾々ハ共產主義者ト闘ッテ來タ、其時分ニ吾々ハ警察署ニ行ッテ、國體ニ合ハナイ者ハ、モット取締ラナケレバ、イカヌデハナイカト言ヒマシテモ、ソレハヤラナイ、吾々ガ一ツ示威運動ヲヤリタイ、屋外集會ヲヤリタイト言フト、君達ハマア信用出來ルシ、間違ハナイト思フケレドモ、君達ニ許スト又左翼ノ方ニモ許サナケレバナラヌヤウニナルカラ、君達ハ止メテ呉レ、斯ウ云フヤウナ機械的ノ平等的取締ト云フモノガ、一貫シテ内務當局ノ末々ニ至ル迄アルノデアリマス、是ハヤハリ物ノ輕重ヲ御判斷下サイマシテ、適當ニソレハ御處置ナサラナケレバ、是カラハイカヌノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデス、先ヅ御所見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○末次國務大臣 取締方手緩イト云フコト

デアリマス、御述ニナツタヤウナコトヲ、一カラ十マデ總テ官憲ノ取締ニ依ラナケレバナラスト云フコトニナリマス、是ハモウ到底ヤリ切レナイノデアリマス、出來ル譯ノモノデナイノデアリマス、私ノ方針ト致シマシテハ、國民ノ此重大ナル時局認識カラ、國民ノ忠誠奉公ノ至誠ヨリ發スル自發的ノ自制ニ俟タナケレバナラス、又サウ云フ指導デ行カナケレバ、如何ニ警察ノ手ヲ廻シテモ、ソレハ出來ルコトデハナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、但シ荷モ治安ヲ紊ルニ於キマシテハ、是ハ一步モ假藉致シマセヌ、自ラ限界ガアリマシテ、其限界ニ踏込ムニ於テハ、少シモ假藉ハ致シマセヌ、又サウ云フ風ニヤツテ居ルコトト確信致シテ居リマス、非常ニ機械的ニ又平等ニ見エル、斯ウ云フ御感ジデアリマスガ、サウ云フ風ニ見ラレマシテハ甚ダ遺憾デアリマス、私ハ重大ナル職責ヲ擔ヒマシテ、苟モ不公平ナコトガアツテハナラス、何レニ對シテモ公平ニヤルノダ、斯ウ云フ確信ヲ持ツテヤツテ居ルノデアリマス

○淺沼委員 關聯事項デ内務大臣ニ御伺ス

ルノデスガ、成程法ヲ運用シテ、殊ニ治安ノ維持ニ當ツテ居ラレル内務當局トシテ、當

然ト考ヘルノデスガ、今ノ時局ノコトヲ考

ヘレバ治安ト云フモノヲ決定スル意思ハ、總テ舉國一致ト云フコトヲ主眼トシテ考ヘナケレバナラスト思フノデス、假令ソレガ治安上害ノ無イモノデアツテモ、舉國一致ヲ破ルヤウナ傾向ニ對シテハ、内務省トシテハ當然之ヲ取締ルベキデアル、私共斯ウ云フヤウナ考ヲ持ツノデアリマス、少クトモ取締ノ大方針ト云フモノハ、今ノ時局下ニ於テハ、舉國一致體制ヲ強化スルト云フ方向ニ、言論モ或ハ治安ノ方向モ、ソコニ置カナケレバナラスト思フノデスガ、ソレニ對スル内務大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○末次國務大臣 趣意ニ於キマシテハ、只

今ノ御所見ニ私ハ全然同感デアリマス、唯自ラ程度ガアリマシテ、ソレヲ強行ショウトシマス、ソコニ思ハザル不祥事ガ起ツテ來ルノデアリマス、ソコデ其程度ヲ考ヘテ、寬嚴宜シキヲ得ルト云フコトガ非常ニ難カシイノデアリマス

○淺沼委員 ソレヲ強行スルト思ハザル不

祥事ガ起ルト云フヤウナ御答辯デスガ、私ハ今ノ時局ヲ認識シテ居ル者ハ、誰シモサウ云フヤウナ舉國一致ノ體制ヲ整ヘルコトニ付テ、不心得ヲ持ツヤウナハ少クトモナ

カラウト考ヘテ居ル譯デアリマス、少クト

モ日本人デアル限り、此舉國一致ノ體制ヲ強化スルト云フコトニ付テハ、内務大臣ノ心配スルヤウナコトハ何等ナイト思フノデアリマス、サウ云フヤウナコトデアルカラ、舉國一致ヲ破ル傾向ヲ助長スルヤウナ結果ニナリハセヌカ、要スルニ何カ内務大臣ガ遠慮サレテ居ルコトガ、舉國一致ヲ破ルヤウナ傾向ニ對シテ、一ツノ隙ヲ與ヘハシナイカ、斯ウ云フ點ヲ私共心配スル譯デアリマス、少クトモ内務大臣ハ、取締ノ大方針ト云フモノハ、治安上ニ於テモ、言論ノ上ニ於テモ、或ハ行動ノ上ニ於テモ、舉國一致ヲ強化スルト云フ立前ニ於テヤラレルベキデアツテ、ソレヲヤツタ何カ起ルト云フヤウナ心配ナク、ヤハリソレヲヤリ切ル位ノ覺悟デ行カナケレバ、舉國一致ノ強化ト云フモノハ出來ナイト思フノデス、此舉國一致ヲ破ル傾向ニ對シテハ、少クトモ確固タル信念ヲ以テヤツテ戴キタイト云フコトヲ希望シテ置キマス

○西尾委員 私ハ形式的ナ機械的ナ平等論

ハ、此際イカスト云フノデアリマス、不公平ハシナイト言ヒマスルガ、私ハ、機械的ナ公平ハイカスケレドモ、物ノ輕重ヲ考ヘレバ、結果ニ於テハ公平ニナルコトガ此際

宜イノデハナイカト云フコトヲ言フノデア

リマス、例ヘバ同僚淺沼君ガ本會議デ、建設的言論ハ尊重スベキデハナイカ、斯ウ云フ質問ニ對シテ、内務大臣ハ「建設的デアラウト、破壊的デアラウト、公安ヲ害スルモノハ一樣ニ取締ルノデアリマス」ト斯ウ言ツテ居ルノデアリマス、是ガイカスト言フノデアリマス、建設的ナ言論ニ對シテハ、時ニ幾分逸脫スルモノガアラウトモ、ソレハ善意ニ出テ居ルノデアアルカラ、サウ云フヤウナコトニ對シテハ或ル程度ニ緩カニスルコトニ依ツテ國民ノ氣魄ヲ増シ、國民ノ建設的ナ意圖ヲ寧ロ誘導シ、助長スルト云フ意味ニ於テ、其方面ニ於テハ餘リニ言論ヲ取締リ過ギテハイカヌノデハナイカ、半面ニ於テ破壊的ナ言論ヲ弄スル者ニ付テハ、寧ロ嚴ニ過ギル程取締ラナケレバイカヌノデハナイカト云フノデアリマス、今日ノ現狀カラ顧ミマスルナラバ、兎ニ角五・一五事件、或ハ二・二六事件、其後ズツト情力デアリマスカ、或ハソレノ發展ト申シマスルカ、兎角「フツ」的ナ傾向ガ濃厚ニナツテ來テ居ル、是ハ政府ノ御出シニナツタ書類ノ中ニモ、明ニ書イテアルノデアリマスガ、斯ウ云フ時ニ於テ、而モ此國家總動員法案ト云フヤウナ、非常ニ行政當局ニ強イ廣イ範圍ノ行政

ヲ委任スルヤウナ立法ヲ必要トスル場合ニ、最モ警戒シナケレバナラヌハ「フアッシュ」的ナ傾向デハナイカ、斯ウ云フ時デアリマスルカラ、特ニ「フアッシュ」的ナ傾向ニ對シテハ、嚴重ナ取締ガ必要デハナイカ、世間多ク——是ハ親ノ心子知ラズデアリマシテ、兎角、末次サンハ軍ニ居ラレタ時分ニモ、中々心臓ノ強イ人デアッタカラ相當強硬ニ、左翼ヲヤッ付ケルノデハナイカ、或ハ右翼ニ對シテハ好意的ナ立場ヲ取ラレルノデハナイカト云フヤウナコトヲ、手前勝手ニ臆測シテ、末次サンガ内務大臣ニナラレタカラハ、右翼ノ人々ハ増長シテ甘ヘテ居ルノデハナイカト吾々ハ思フ位デアリマス、サウ云フヤウナ内務大臣ノ立場ヲモ考ヘテ見マスナラバ、寧ロ吾々ハ破壊的ナ言論、「フアッシュ」的ナ言論ニ對シテハ、モット嚴格ニ取締ルベキデハナイカト云フノガ、私ノ聽カントスル所デアリシ、又政府ニ希望スル點デアリマス

○西尾委員 取締ノ點ニ付テハ二三ニスル譯ニ行カヌト言ヒマスルガ、併シ、私ハ、例ヘバ共產主義運動デアルトカ、人民戰線ノ運動デアルトカ云フヤウナコトハ、法規ノ許セル範圍ニ於テ、出來ルダケハ嚴重ニ取締ルベキデアルト思フ、法規々々ト言ヒマスクレドモ、法規ハ運用ニ依リマシテ幅ガ廣イノデアリマス、デアリマスカラ、吾々ハ、建設的ナ方面ニ付テハ緩カニシ、破壊的ナ、又今日我が日本ノ國情カラ見テ嚴ニ取締ラナケレバナラヌ「フアッシュ」的ナ傾向ニ對シテハ、法律ノ範圍ヲ出來ルダケ擴大シテ、之ヲ取締ルベキデアルト思フ、法律ニ根據ヲ置カナケレバナラヌコトハ當然デアリマスクレドモ、運用ノ上ニ於テハ、ソコニ或ル程度ノ政治的ナ考慮ヲ拂フベキ必要ガアルノデハナイカ、其政治的ナ考慮ガ拂ハレテ居ナイコトガ、即チ機械的ナ平等主義デアル、自由主義的ナ取締方針デアル、斯様ニ私ハ申上ゲテ居ルノデアリマス、重ネテ御答辯ヲ御願シタイ

○西尾委員 ソレデ結構デアリマス、ソレカラモウ一ツ伺ッテ置キタイノデスガ、是ハ國體明徴ノ爲ニ、日本精神昂揚ノ爲ニ御願致シテ置キタイノデアリマスガ、日本精神トハ言フ迄モナク道義ニ出發スルノデアリマス、然ルニ其日本主義トカ愛國主義ト云フヤウナコトヲ、兎角看板ニ振廻シテ居ル人々ノ實際ノ其生活振リヲ見マスルト、多クハ非道德的ナ人多イノデアリマス、洵ニ中ニハ立派ナ人モ居ルシ、純眞ニソレヲ眞劍ニ考ヘテ居ル人モ多イノデアリマスガ、唯實際ニ日本主義、或ハ愛國主義ト云フモノヲ實踐ニ移ス其活動的分子ノ中ニハ、多ク所謂羽織ゴロノヤウナ、曾テ政黨華カナリシ頃ニハ、院外團ヲヤッテ居ッタヤウナ人ヤ、或ハ社會運動ヲヤッテ居ッテ、色々ナ事情ノ爲ニソレカラ没落シタヤウナ者等ガ、時ノ花ヲ簪ニスルト云フヤウナ意味ニ於テ、共產主義華カナリシ頃ニハ、共產主義陣營ニ投ジ、今度何カ軍ガ政治上ニ於テ力ガ強クナッテ來タト云フト、何ダカ其喉元ニ入リ込ンデ、甘イ汁デモ吸ハウト云フヤウナ卑屈ナ考ヲ持ッテ居ル者ガ、而モ日本主義ダ、日本精神ダト云フ旗ヲ翳シテ居リマスルト、ソレハ何ヨリモ最モ日本精神ヲ冒瀆スルコトニナルノデアリマス、斯ウ云フコト

ニ付テハ、繰返シテ申シマスガ、非常ニ嚴重ニ取締ルト云フコトデナケレバイカヌノデハナイカ、此取締ガ兎角手續イ爲ニ、益サウ云フモノガ跳梁スルト云フ現狀ヲ來シテ居ルノデアリマス、吾々ハ先程ノ總理大臣ニ對スル質問ノ中ニモ申シマシタヤウニ、人民戰線運動ト云フモノハ、共產主義運動ト同様デアル、是ハ嚴ニ取締ラナケレバナラスト云フ立場ヲ執ッテ居ルノデアリマスガ、而モ此前加藤勘十君等ノコトニ關係シマシテ、非常ニ多クノ者ヲ檢舉ナサッタノデアリマスガ、アレナド少シヤリ過ギデハナイカト思フノデアリマスルガ、併シ是モ當局ハ見ル所ガアッテ、時局柄大事ダ、少シヤリ過ギル位ナコトハヤラナケレバナラヌノダト云フ積リデヤッテ居ルノダラウト、吾々ハ思ッテ黙ッテ居ルノデアリマスガ、アレ位ナ意氣込デヤハリ此際「フアッシュ」的ナ傾向ヲ抑ヘルコトガ必要デハナイカト、斯様ニ考ヘルノデアリマス（ヒヤ／＼）篤ト内務大臣ノ御考慮ヲ煩シテ置キマス、敢テ答辯ヲ求メルコトハナイト思フノデス、大體内務大臣ニ對スル質問ハ濟ミマシタガ……

○中村委員 關聯シテ——今特ニ右翼團體ノヤウナモノニ對スル取締ノコトデ、質問應答ガアリマシタガ、此際内務大臣ニ御

導致シタイノハ、治安ヲ紊ル境界ナドト云フ標準デ、法律的ニ取締ラル、以上ニ、今日ノ時局ニ鑑ミラレテ、國家總動員ヲ要求シテ居ル時デハアルシ、左様ナ刺戟、摩擦ヲ起スヤウナ事柄ニ付テ、法律ヤ規則以外ニ取締ラレル、更ニ一步ヲ進メテ、進ンデ之ヲ善導シ、指導スルト云フ御氣持ヲ、私共ハ十分ニ發揮シテ戴キタイト思フ、例ヘバ立看板ナンカノ問題ニ致シマシテモ、議會デ安全辨ダト仰シヤツ所ガ、翌日ハ立看板ノ代リニ同ジ文句ノ「ピラ」ヲ拵ヘテパット貼ッテシマツタ、アノ當時ノ狀態トシテ、中々之ヲ取締ルコトノ難カシイコトハ勿論デアリマセウ、複雑シテ居リマスカラ、私共ニモソレハ能ク分リマス、分リマスガ、ア、云フヤウナモノガ盛ニ街頭ニ貼ラレルト云フコトハ、決シテ日本ノ戰時風景デハアリマセヌ、社會ノ中ニ摩擦相剋ノアルコトヲ露呈スルノミナラズ、更ニ場合ニ依ッテハ之ヲ激化スル所ノ一ツノ刺戟ヲ與フルコトニナル、私ハ長崎ニ居リマシテ能ク支那ノ狀態ヲ見テ居リマスガ、支那ノ内亂ノ時、革命ノ時ニア、云フ「ピラ」ガ到ル處ニ貼ラレル、排撃ダ、打倒ダト云フヤウナ「ピラ」ガ、今日到ル處ニ貼ラレテ居リマスガ、其初メハ何處カラ來タカト云フト、

支那ノ内亂抗爭ノ時ノ「ピラ」ノ其儘ノ文句ヲ持ッテ來ル、是非常ニ私ハ醜態ダト思フ、私ハア、云フモノハ國民ノ精神ヲ一ツニ纏メテ行カナケレバナラス今日ノ際ニハ、單ナル取締以外ニ、更ニ進ンデ成ベク街頭ニア、云フモノヲ現ハサヌヤウニ努力ラシテ、私ハ政府當局トシテハ指導的ニ行ッテ戴キタイ、ア、云フ看板ヤ、或ハ「ポスター」ガ貼ラレタリ、私共ノ所ニ色々可ナリ矯激ナ文句ヲ並ベタ宣傳文ナンカ配ラレルニ於テハ、法律的ナ境界カラ云ッテハ、取締ル範圍マデハマダ行カナイデセウガ、ソレヲ何トカ更ニ一步進メテ、左様ナ面白クナイモノ、今日ノ社會ニ絕對ニ解消シナケレバナラスモノガ現ハレマシタ以上ハ、取締以上ニ、更ニ進ンデソレ等ヲ解消セシムル爲ニ、特ニ指導的立場ニ立ッテ戴カナケレバナラス、其點ニ付テ、少クモ近來マデハ不用意ナ點ガアツタノデハナイカ、アノ事件ガ起リマシタ後ニハ、立看板ヤサウ云フ種類ノ「ポスター」ト云フモノハ撤去ヲ命ゼラレタ、貴族院ニ於テモ、私ハアノ時ニ内務大臣ガ他ノ人ト一寸話ラシテ居ル最中デアリマシタガ、非公式的ニ申上ゲタノデスガ、自由主義ノ相剋ドコロデハナイ、マルデ血ヲ垂ラシタヤウナ「ポスター」ガ貼ラレテ居ル、其文句ハ

ハッキリ覺エテ居リマセヌガ、國家總動員ト結付ケテ、ソレニ反對スル者ハ反戰論者ダ、ソレヲ討テ、ココニナレバ私ハ取締ノ範圍ダト存ジマスガ、假ニ取締ノ範圍デナイト御考ニナッテモ、總テ取締ノ範圍ニ入ラナケレバナラス、是ハ内務大臣直接デハナイカモ知レヌケレドモ、之ヲ直接オヤリニナル方ニハ、其御用意ガアル筈ダ、サウ云フコトニ付テ相當ニ不用意ノコトガアツテ、或ハ防止シ得ベキ事態モ、防止出來ナカッタト云フコトガ現ハレテ居ヘナイカ、此處デ色々私ハサウ云フコトニ對シテ、色々論議ヲ申上ゲ、過去ノコトヲ彼此レ申スノデハアリマセヌ、願クハ東京ノミナラズ、全國ノ街頭カラ、ア、云フ摩擦相剋ヲ現ハスヤウナ「ピラ」ヤ、立看板ト云フモノヲ、私ハ一掃願ヒタイ、此重大ナル時局ニ、本當ノ指導的精神ヲ以テ臨マル、ナラバ、私ハ是等ハ一掃出來ルト信ズル、ドウカサウ云フ御氣持デ進ンデ戴キタイと思フノデアリマスガ、之ニ對スル内務大臣ノ御用意ヲ、此際承ッテ置キタイと思フ

○末次國務大臣 御意見ハ御尤ト思ヒマス、今後取締ルコトニ付テハ、既ニヤッテ居ルノデアリマス、唯斯ウ云フコトダケハ考ヘテ戴カナケレバナラス、是ハ世間ノ底ニ色々ナ思想ガ流レテ居ル、其反映ナノデアリマスカラ、之ヲ直ホサウト云フコトハ中々難カシイ、是アル限リハ中々力ヲ以テ萬全ニ取締ラウトシテモ、形ノ上デハ出來マシテモ、底ニ流レテ居ル思想ヲ叩キ直スト云フコトハ非常ニ難カシイノデアリマス、ソコデ官民共ニ指導的地位ニ在ル者ガ自肅自戒シテ、斯ウ云フヤウナ思想ガ底流ヲ爲サナイヤウニ努メナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ私ハ感じテ居ルノデアリマス

○中村委員 御趣旨ハ分リマシタ、サウ云フ底流ヲ私共ハ洵ニ國家ノ爲ニ遺憾ニ思フノデアリマス、其點ニ付テハ無論官民一致シナケレバナリマセヌガ、官ニ於テ、殊ニ治安維持ノ責任ノ地位ニ居ラレマスル内務大臣、殊ニ動モスレバ右翼的ノ人カラ——誤ッテ居ルカモ知レマセヌガ、頗ル信望ノ厚イト申シマセウカ、尊敬サレテ居ル内務大臣、此内務大臣ノ力ヲ以テシテ、斯様ナ底流ヲ排除シ、其底流カラ現ハレテ來ル所ノ色々ノモノヲ解消サセル、茲ニ強イ指導的精神ヲ以テ——平時ノ場合ト違ヒマスカラ、異常ナル決心ヲ以テ、國家ノ爲ニ身ヲ挺シテ盡スト云フ御氣持ヲ現ハシテ戴キマスルナラバ、内務大臣ノ麾下ニ屬スル人達ニ、其氣持ヲ以テ働カシテ戴キマスナラバ、私ハ今

日ノ日本ニ、少クトモ無用ナ摩擦相剋ノ解
消セラルベキモノガ澤山アルト信スル、是ハ
マア私ノ唯内務大臣ニ對スル希望デゴザイ
マスカラ、ドウカサウ云フ意味ニ依ツテ、特
ニ御努力ノ程ヲ切望致シテ置キマス

○中山委員 一寸西尾君ノ質問ニ關聯シ
テ——只今西尾君ノ發言中、日本無產黨ノ問
題ガ含マレテ居リマシタノデ、一寸御尋シ
タイノデアリマスガ、凡ソ國家ト云フモノ
ハ、時々刻々進展ノ過程ヲ辿ルト云フコト
ハ、當然生命ヲ保ツ上ニ於テ、スクアラネ
バナラスコトデアリマス、此點ニ付テ國家
ガ總テノ教育制度ヲシテ、有ユル文化ノ進
展ヲ圖ツテ居ル、斯ルガ故ニ茲ニ新シイ思
想ガ生レルノデアリマス、此新シイ思想、
少クトモ國家ノ行クベキ道ヲ創建シテ、
新シイ思想ニ生キル人ガ犠牲的ノ立場ヲ
取ツテ、國家ノ爲ニ有ユル努力ヲ拂フ、例
ヘバ明治維新ノ當時ニ於ケル所ノ所謂國
家ノ志士ト云フモノハ、或ル場合ニ於テ
ハ國法ヲ侵シテマデモ、身ヲ挺シテ國事
ニ奔走致シテ居リマス、併シ今日ノヤウナ
思想混亂ノ場合ニ於キマシテハ、國家ノ爲
ニナル所ノ思想、或ハ國家ノ進運ヲ阻ム思
想ト云フコトガ、中々區別ガ付キ惡イ、此
點ニ付テ左翼及ビ右翼或ハ其中間ニ位スル

モノ、先般或ル亞米利加ノ大學教授ガ來マ
シテ、斯ウ云フ話ヲシテ居リマシタ、福岡
ノ博覽會ヲ見ニ行ツタ所ガ、七十五六歳ノ丁
髷ヲ結ツタ爺サンガ、五六歳ノ洋服ヲ着タ孫
ノ手ヲ引イテ見物ニ來テ居ツタ、今日世界ノ
苦シンデ居ルコトハ、此丁髷ト洋服ノ中間
ヲ滿ス所ノ思想ガ缺ケテ居ルコトデアルト
言ツテ居ツタ、是ガ非常ニ大事ナ所デアリマ
ス、今日日本ノ思想界ニ於テハ、内務省、
文部省、司法省ニ於カレテハ、此空間ヲ滿
スト云フコトヲ研究シテ居ラナケレバナラ
ヌ、然ラズンバ政治家トシテノ資格ハナイ
ト私ハ考ヘテ居ル、ソコデ御尋シタイノハ、
只今西尾君ガ尋ネラレタ所ノ日本無產黨ノ
ヤツテ居ル所ノ思想トカ、或ハ大學ニ於テ退
學ヲ命ゼラレタ所ノ思想トカ、或ハ共產主
義或ハ右翼主義ト云フヤウナ此總テノ錯雜
シタ所ノ思想ガ、何レガ國家ノ進運ノ爲ニ
ナルカナラスカト云フ、其標準ニ對スル基
準ハ、ドウ云フ方ガ内務省或ハ司法省ニ於
テ御決メニナツテ居リマスカ、此點ハ大事ナ
所デスカラ、一ツ内務大臣ト文部大臣カラ、
其學生ノ御取扱、犯人ノ御取扱、或ハサウ
云フ疑惑ヲ持合セル人ニ對スル御取扱ノ狀
態ヲ一應聽イテ置キタイト思ヒマス

○末次國務大臣 指導精神ハ日本精神ノ昂

揚ニアルト存ジマス、是ハ畏クモ 明治天
皇ノ發セラレマシタ教育勅語ニ最モ明白ニ
御示シニナツテ居ルト思フノデアリマス、内
務省ト雖モ、文部省又司法省ト雖モ此方針
ニ變リハアリマセヌ、別段新ナル國民教
育指導ノ精神ガアルトハ私ハ存ジマセヌ

○中山委員 内務大臣ハ私ノ質問ノ趣旨ヲ
御取違ヘニナツテ居ルヤウデアリマス、國家
ノ爲ニナル思想、ナラナイ思想ト云フ標準
ヲ御決メニナルノハ、ドウ云フ機關ノ方々
ガ御決メニナルカ、御尋シテ居ルノデアリ
マス

○西尾委員 私ハ只今中村委員カラ内務大
臣ニ御質問ニナリ、又希望ヲ申述ベラレタ
コトハ、是ハ營ニ私及ビ中村委員ノ希望デ
ナクシテ、全國民ガ希望シテ居ルコトデア
リマス、何トナク近來「ファッショ」的ナ重
壓ガ加ツテ居ルヤウナ陰鬱ナ空氣ガアルノ
デアリマス、此空氣、此雲ヲ打拂ツテ、國民ガ
潑刺トシテ國家ノ爲ニ盡スト云フ積極的ナ
氣持ヲ喚起スル爲ニハ、曩ニ言ヒマシタヤ
ウナコトガ必要デハナイカ、斯様ナ意味カ
ラ御尋致シテ居ルノデアリマス、私ハ私ノ
知人デアリマスル黒田禮二ト云フ「ペン
ネーム」ヲ持ツテ居リマス岡上氏ノ書イタ
「廢帝前後」ト云フ本ノ中ノ一節ヲ、今思出

シテ居ルノデアリマス、ソレハ歐洲戰爭ノ
時分ニ、大變長引クニ從ヒマシテ國內ニ不
安ガ起ツテ來タ、其時ニ英佛ノ爲政者ハ此
狀況ヲ察知致シマシテ、大衆のナ指導者ヲ
政府ノソレノ要路ニ就ケマシテ、或ル
處デハ軍需大臣ニスルト云フヤウナ、今マ
デ社會主義者トシテ排斥シテ居ツタ者ヲ軍
需大臣ニ採用スルト云フヤウナコトヲ致シ
マシタ、ソレニ對シテ大衆ハ此政府ノ信頼ニ
感激致シマシテ、身ヲ以テ祖國ヲ護ルノ忠
誠ヲ致シタノデアリマス、其時ノコトヲ岡
上氏ハ語ツテ、次ニ斯ウ云フコトヲ言ツテ居
ルノデアリマス、英佛ノ爲政者ハ「勞働階
級ハ單ナル政治上ノ目的物デハナクテ政治
上ノ主體デアルト云フ方面ニ彼等ノ自覺ヲ
誘導シ、勞働階級ノ代表者ヲ中央地方ノ政
治行政機關ニ參加セシメタ」斯ウ云フコト
ヲ言ツテ居ルノデアリマス、即チ是カラノ日
本ノ國ハ、國民大衆ヲシテ、吾々ガ國ヲ護
テ居ルノダ、政府ハ吾々ニ協力ヲ求メテ居
ルノダ、吾々ハ政府ノ信頼ニ對ヘナクチャ
ナラスト云フ、此氣持ヲ起サセルコトガ非
常ニ大事ダト思フノデアリマス、彼ノ、モ
ウ既ニ過去ノモノニナツタ死屍ニ鞭ツノハ
甚ダ心苦シイノデアリマスケレドモ、近衛
内閣ノ以前ニアッタ内閣ノ總理大臣ハ、兎角

皆世間ノ奴等ハ時局ニ對スル認識ガ不足デアル、自分ノ正シク時局ヲ認識シテ居ルト云フヤウニ、獨善的ナ考ヲ以テ國民ニ臨ンダガ爲ニ、益々國內ノ對立ガ激化シタ、ソレガ近衛公ガ總理大臣ニナラレマシテカラハ、斯ノ如キ昨日マデノコトヲ忘レタガ如ク、舉國一致ノ實現ガ出來マシタノハ、近衛總理ノ勿論人格ノ然ラシムル所デアリマセウガ、彼ノ七月七日ニ蘆溝橋事件ガ起リマスルヤ、直チニ九日ニハ國內ノ政界財界ノ主ナル人々ヲ御招キニナツテ、サウシテサウ云フ人々ノ膝ヲ抱イテ、國家ノ一大事ニナツテ來タ、政府ヲ助ケテ呉レ、斯ウ云フ態度ガ何ト云ツテモ今日ノ舉國一致ノ實ヲ結バシメタモノデアルト思フノデアリマス、其近衛公ノ信頼ニ對ヘヨウト云フ氣持ガ、國民ノ全體ニ湧上ツテ居ルノデアリマス、然ルニ近頃ハ何ントハナク國民ノ自由ガ不當ニ壓迫サレテ居ルノデハナイカト云フ感じガ與ヘラレテ居ルノハ事實デアリマス、之ヲ幾ラカ明ルクシテ、政府ハ國民ヲ信頼シ、國民ノ協力ヲ求メテ此時局ヲ切抜ケルノダト云フ、斯ウ云フ積極的氣持ヲ國民ノ間カラ湧上ラセル爲ニ、一段ト——唯機械的ニ治安ノ維持ヲ圖ルト云フコトダケデナク、モット積極的ニ國民ヲ指導スルト云フ立前

ニ於テ、今後ノ内務ノ行政ヲヤツテ戴キタイト云フノガ、先程カラ吾々ノ質問或ハ御希望ヲ申上ゲタ眞意デアリマス、此點ヲ重ネテ國家ノ爲ニ、殊ニ此國家總動員法ヲ必要トスル現下ノ事情ニ鑑ミマシテ、特ニ内務大臣ニ御願シ、且ツ内務大臣ニ敬意ヲ表シマシテ、内務大臣ニ對スル質問ハ是デ打切リタイト思フノデアリマス

○末次國務大臣 國民ノ協力ヲ得、國民ノ信頼ニ依ツテ此時艱ヲ克服シナケレバナナイ、斯ウ云フ趣意ニ於キマシテ、只今御述ベニナツタコトハ私モ全然同感デアリマス

○中山委員 私ハ只今質問シタノデアリマシタケレドモ、明確ナ答辯ヲ得ルコトガ出來マセナンダカラ、私ノ番ガ來ルマデ留保シテ置キマスガ、内務大臣ハ能ク一ツ御研究ニナツテ戴キタイ、即チ文化ノ進展トハ絕對的眞理ニ對スル相對的眞理ガ階段的ニ合流シテ行ク姿ヲ言フノデアル、ソコノ道理ヲ能ク考ヘテ、十分研究シテ御考ヲ承リタイ、然ラズンバ是カラ國ガドン／＼進ンデ行カウトスル時、ドレガ一體國體ノ本質ニ合フカ、ドレガ國運ノ進展ニ寄與スルカト云フコトノ標準ガ定マラナイ爲ニ、動モスルト最モ國ノ爲ニナル人ヲ牢獄ニブチ込シダ實例サヘアル、物體落下ノ原則ヲ立テタ

「アリストートル」ノ發見ニ對シテ反對シタ「ガリレオ」ハ牢屋ノ中ニマデ入ツテ苦シンダ、サウ云フ人間ガ國ノ爲ニナルコトガアルカラ、ソレコソ能ク御考願ヒタイ、斯ウ云フ時ニハ警察ノ取締ハ大變惡影響ガアルト思フ、ダカラ一ツ十分御研究ニナツテ御答下サラシコトヲ私ハ冀ツテ置キマス

○西岡委員長代理 御答ガアリマスカ

○末次國務大臣 先程ノ御質問ハ、思想的指導ハ何處ガ擔當スルカト云フ御質問デアツタヤウニ……

○中山委員 サウデアリマセヌ、アトデユツクリ……

○末次國務大臣 非常ニ重要ナ御質問ト思ヒマスカラ、能ク研究致シマス

○西尾委員 陸軍大臣ガ御見エニナツテ居リマセヌカラ政府委員ニ御答ヲ願ヒタイト

思ヒマス、陸軍大臣ハ本會議ニ於キマシテ、獨逸ガ歐洲戰爭デ敗戰致シマシタ理由ニ付キマシテ、ソレハ國家總動員ノ準備ガ不十分デアツタカラデアアル、サウ云フ意味ニ取ラレルヤウナコトヲ述ベラレタノデアリマス、之ニ對シマシテ植原委員カラモ質疑ガアリマシテ、私モソレヲ承ツテ居ツタノデアリマスガ、尙ホ十分デナイ、ハッキリ致シマセヌノデ、而モ此コトハ國家總動員法ヲ審議

スル上ニ於キマシテ可ナリ重要デアルト考ヘマスカラ、重ネテ御尋致シタイト思ヒマス、私ノ信ズル所ニ依リマスナラバ、獨逸ガ歐洲大戰ニ敗レマシタノハ、國家總動員ノ準備ガ不十分デアツタ、少クモソレガ重要ナル敗戰ノ理由デアルトハ考ヘラレナイノデアリマス、總動員ノ準備ガ十分デアツタカナイカト云フコトハ、ソレハ絕對的ニ考フベキデハナクシテ、相對的ニ考ヘナケレバナラス、獨逸ト相手國デアル英吉利、佛蘭西或ハ亞米利加ト比較シテ、獨逸ガ國家總動員ノ準備ニ於テ不十分デアツタト云フナラバ、是ハ分リマスルケレドモ、私共ノ知ル所デハ、寧ロ英吉利、佛蘭西ニ比ベマシテ、獨逸ノ戰爭準備ト云フモノハ勝レテ居ツタ、斯ウ考ヘルノデアリマスルカラ、此說明ハ間違ッテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、此事ヲ申上ゲマシテ、決シテ私ハ其コトヲ責メルノデハナイノデアリマスルガ、獨逸ノ敗戰ノ理由ヲ明ニスルト云フコトハ、今後ノ國家總動員ノ上ニ於テ重要デアルト思ヒマスノデ、私ノ見解ヲ申上ゲマシテ、當局ノ御答ヲ得タイト思フノデアリマス、獨逸ガ敗戰シマシタ一ツノ重要ナル原因ハ、外交ノ失敗デアリマス、獨逸ヲアソコマデ育て上ゲタ「ビスマーク」ハ、内ニ

鐵血宰相ト言ハレル程ノ強硬ナル政治ヲヤ
リマシタケレドモ、外ニ對シテハ外交ヲ極
メテ巧ニヤツテ、外ト平和ヲ維持シナガラ内
ノ改革ヲヤルト云フコトニ重點ヲ置カレテ、
獨逸ノ内ノ充實ヲ圖ツタト私ハ考ヘルノデ
アリマス、然ルニオ坊ツチヤン育チノ「カ
イゼル」ハ、少シ言葉ガ穩當ヲ缺クカモ知
レマセヌガ、思ヒ上ツテ、所謂一旦「カイゼ
ル」起テバト云フ所ノ餘リニ自信ニ溢レタ結
果ト致シマシテ、外交ニ關シテ幾ラカ疎カ
ニサレタノデハナイカ、恐ラク獨逸ハ佛蘭
西ト最初ニ事ヲ構ヘタ時分ニ英吉利ガ立ツ
デアラウト云フコトモ餘リ考ヘテ居ナカッタ
ノデハナイカ、殊ニ亞米利加ガ聯合軍側ニ
加擔スルト云フコトハ考ヘテ居ナカッタノ
デハナイカ、獨逸ノ敗戦ノ主ナル點ハ、亞
米利加ガ聯合軍側ニ加擔シタト云フコトガ
決定的ナ大キナ原因ダト思フ、ソレハ何カ
ラ來テ居ルカト言ヘバ、外交ノ失敗デア
ル、私ハ斯様ニ重要ナル敗戦ノ理由トシテ外交
ノ失敗ヲ舉ゲルノデアリマス、モウ一ツハ、
事變ガ起リマスルト、他ノ英、米、佛或ハ
白耳義等ニ於キマシテハ或ハ財界、勞働運
動界、或ハ社會運動界ト云フヤウナ方面カ
ラ人材ヲ網羅致シマシテ、ソレ等ノ協力ヲ
得テヤッタノデアリマス、獨逸ハ其點ニ對

シテ、軍需ノ取扱、所謂戰時ノ銃後關係ノ
取扱ハ殆ド軍隊デヤラレタノデアリマス、
即チ國民ノ協力ヲ多ク贏チ得タ方ガ最後ノ
勝利ヲ得タノデ、國民ヲ從ハセハシタケレ
ドモ、國民ノ心カラナル協力ヲ贏チ得ルコ
トニ不十分デアッタコトガ獨逸ノ敗戦ノ第
二ノ重要ナル點デア
ル、ソレカラモウ一ツハ、
其事ニ關聯シテ、即チ生活ガ窮迫スルト云
フ經濟的ナ貧困ノ爲ニ戰爭ガ持續出來ナク
ナツタト云フノガ、若シ言ヘバ第三ノ原因ト
モ言フベキモノデハナイカト思フノデアリ
マス、斯ウ云フコトヲ私ハ考ヘテ居リマス
ガ、此點ニ付テ陸軍當局ノ御見解ヲ承リタ
イト思フノデアリマス

○山脇政府委員 只今ノ御尋ハ、獨逸ノ敗
戦ノ原因ノ主ナルモノニ付テト承リマシタ
ガ、陸軍大臣ガ二回ニ互リマシテ答辯セラ
レマシタ總動員ノ準備ニ付テ缺ケル所ガ
アツタノガ、敗戦ノ主ナル原因ノ一ツデア
ルト云フコトハ、ヤハリサウ云フ工合ニ考ヘ
テ居リマス、只今御述ニナリマシタ大キナ
點三箇條、此御考モ私ハ洵ニ適切ナル御觀
察デハナイカト考ヘルノデゴザイマスガ、獨
逸ノ敗戦ノ原因ハ色々ゴザイマシテ、又各
種ノ角度カラ之ヲ見ルコトガ出來ルト思ヒ
マス、今御述ニナリマシタ主ナル原因ト認

メラレマスル中ニモ、陸軍大臣ノ申シマシ
タ總動員ノ準備及ビ其實施ニ於テ、國內ノ
不安ガ募テ團結ガ緩シタト言ヒマシタ、此
總動員ノコトヲ含ムコトモ、觀方ニ依リ
マシテアルト考ヘマス

○西尾委員 私が此點ヲ明ニ致シタイト思
ヒマスル趣旨ハ、昨年末私社會大衆黨カラ
派遣サレマシテ、北支ニ皇軍慰問ニ參ツタノ
デアリマス、到ル處デ軍ノ首腦部ノ方々ト
御話ヲスル機會ヲ得タノデアリマスガ、卒
直ニ申シマス、大體ニ於テ中佐以上ノソ
レゾレ責任ノ衝ニ立ッテ居ル者ハ眞劍デア
リマシテ、隨テ色々註文ヲ付ケラレタ
ノデアリマス、或ハ自動車ガ非常ニ大
事ダカラ、國內ニ於テ國產品ノ自動
車ガ出來ルヤウニシナケレバナラヌト
カ、其自動車ノ部分品ハ規格ヲ統一シ
テ、何處ヘデモ使ヘルヤウニシナケ
レバイカヌトカ、或ハ衛生隊ニ屬スル
飛行機ヲ作ラナケレバイケナイトカ、
色々ノコトヲ吾々ニスラ註文サレル程
熱心デアッタノデアリマスガ、稍、ソレカラ
下ニナリマス、幾ラカ若氣ト云フ點モ
アリマセウガ、兎角慎ミ深イ點ガ足ラヌ
ヤウナ感ジヲ受ケタノデアリマス、私自身
勞働組合ノ幹部ト致シマシテ、色々勞働爭

議ニモ關係シタ經驗カラ考ヘマス、其經
驗カラ押シ擴メテ軍ノコトヲ測ルノハ當ラ
ヌカモ知レマセヌガ、兎角第一線ニ立ッテ戰
フ者ハ非常ニ氣魄ガアル、何クソト云フ氣
持ガアル、又はハ大事デアリマシテ、是ガ
ナケレバナラヌト思ヒマスガ、其コトハ兎
モスレバ問題ノ互讓ニ依ル圓滿解決ト云フ
コトニハ、時ニ相手ノ神經ヲ刺戟シテ障礙
ガ起ルノデアリマス、外交問題ニ付キマシ
テモ、色々軟弱外交或ハ追隨外交ト云フコ
トヲ言ハレテ居リマシテ、吾々多ク其點ニ
ハ左袒スル者デアリマスケレドモ、併シ之
ヲ考ヘテ見マスナラバ、元來日本ノ外交ト
云フモノハ、嘗テハ日本ノ國力ニ對スル國
民ノ自信ガ不十分デアッタ、加フルニ何ト
言ッテモ世界ノ外交界ニ王座ヲ占メテ居リ
マス英國ト親密ナ關係ニアルト云フコト、
ソレガ日本ノ外交交渉、殊ニ會議外交ニ不
馴デアルト云フ關係上、英吉利ニ對シテ追
隨シテ居ツタト云フ風ニ私ハ——是ハ誰ノ
罪ト云フノデハナクシテ、原因ハソコニア
タトス様ニ思フノデアリマス、ソレガ今日我
國民ガ國力ニ對シテ自信ヲ持ッテ來タ、殊ニ
聯盟モ脫退シタ、防共協定モ出來タ、斯ウ
云フ時ニ於テ、自信ガ出來テ來タノデアリ
マスカラ、勿論追隨外交ハ止メナケレバナ

ラス、併シ追隨外交ヲ止メルト云フコトハ直チニ排英外交ニナツテハナラスト思フ、此點ニ付キマシテハ外務大臣初メ總理大臣ハ甚ダ用意周到ナ用語ヲ以チマシテ、他國ノ國民ノ感情ヲ刺激スルコトノナイヤウニ言ハレテ居ルノデアリマスガ、如何ニ總理大臣ガ、或ハ外務大臣ガ外交演說ヲ致シマセウトモ、國ノ内ニ於テソレトハ違ツタ空氣ガ到ル所デ自由ニヤラレテ居ルト云フヤウナコトニナリマスルト、其外務大臣或ハ總理大臣ノ言語ヲ幾分削減スル結果ニナルノデハナイカ、斯様ニ思フノデアリマス、此點ニ付テ兎角強硬外交ト云フヤウナコトヲ、右翼ノ團體ノ人々ト共ニ、時ニ軍ノ中ニモサウ云フ聲ガ起ルノデアリマスカラ、此點ニ付テハ國際關係ガ重大ニナツテ來レバ來ル程、軍當局ニ於テモ十分ナ自省ヲシテ貰ハネバナラス、先程モ申シマスルヤウニ、軍ノ首腦部ノ方々ニ於テハサウ云フコトハナイト思フノデアリマスケレドモ、兎モスレバサウ云フ話ヲ耳ニスルノデアリマシテ、其點ヲ考ヘマスルガ故ニ、前ニ獨逸ノ敗戦ノ理由ニ付テ明ニシタイト思ツタノデアリマス、モウ一ツハ吾々時々憲兵隊ノ人ト話ヲスルノデアリマスガ、兎角——ソレハ職掌柄デモアリマセウガ、先ツ吾々ノ團體ニ

向ツテ疑ノ眼ヲ以テ視ル、吾々ガ誠心誠意言フコトモソレハ「カムフラージュ」シテ居ルノデハナイカト云フヤウナ言辭ガアルノデアリマスガ、斯ウ云フ點ニ付キマシテモ——或ハソレハ吾々自身ノ至ラナイ所ガアツテサウ見ラレルノデアルカモ知レマセヌノデアリマシテ、必ズシモソレハ憲兵隊ノ者ガ怪シカラヌト云フノデハナイノデアリマスケレドモ、併シ先程カラモ別ノ機會ニ申上ゲテ居リマスヤウニ、國民ノ協力ヲ得ルト云フコトハ大事ナンド、其精神ヲ肚ノドン底ニ置イテ、而モソレノ職分ニ携ハルト云フコトデナイト、モノガ行キ過ギルヤウナ結果ニナルノデハナイカ、其コトヲ軍當局ニ於テ、勿論私ガ申上ゲル迄モナク御考デアラウトハ思ヒマスケレドモ、此機會ニ於テ日頃自分ノ考ヘテ居ルコトヲ申上ゲマシテ、當局ノ御考慮ヲ煩シタイ、斯様ニ思フノデアリマス

○山脇政府委員 只今ノ軍ノ中ニ於キマシテモ國民ノ協力ト云フコトヲ先ヅ肚ノ裡ニ置イテ、各、任務ニ進マナケレバナラナイト云フ御意見ニ對シマシテハ私モ全く同感デゴザイマシテ、殊ニ此總動員法ハ其實行ニ於キマシテ、全國民ノ一致協力ヲ基礎ニ致サナケレバ效果ヲ收メルコトガ出來ナイモ

ノト固ク私ハ信ジテ居リマス

○西尾委員 陸軍省ニ對スル質問ハ是デ終リマス、次ハ厚生大臣ニ御尋致シタイノデアリマスガ、外務大臣ガ居リマス、共ニ御伺致シタカッタノデアリマスガ、外務大臣ハ御見エニナリマセヌカラ……

○西岡委員長代理 西尾君、外務省ノ政府委員ノ方ガ居ラレルサウデスガ、如何デスカ

○西尾委員 ソレデハ先ヅ外務省ノ政府委員ニ御尋致シマス、昨年ノ九月頃、私共ノ大先輩デアリマスル鈴木文治氏ガ、北滿ニ皇軍慰問ニ衆議院カラ派遣サレテ參ッテ居ッタノデアリマス、サウ致シマスルト外務省ノ某氏カラ出先ノ官廳ヲ通ジテ、電報ヲ以テ至急鈴木氏ニ歸ルヤウニ要求サレタノデアリマス、鈴木氏ハ取ルモノモ取敢ヘズ飛行機デ九月ノ二十日頃ニ歸京サレタノデアリマス、所ガ其事ガ新聞紙ニ現ハレマスルヤ、當時國民使節トシテ多クノ方々ヲ海外ニ送ルト云フヤウナコトガ載ッテ居ッタ時デアリマシテ、其新聞記事ヲ見タ所謂右翼團體ノ人々ハ、愛國心ノナイ所ノ非國家的ナ「イデオロギー」ヲ持ッテ居ル所ノ社會大眾黨ノ代議士ノ如キモノヲ國民使節ニヤルノハ怪シカラヌデハナイカト云フノデ、聞ク

所ニ依リマス總理大臣ノ所ニマデ行ッテ、反對運動ヲヤッタト云フコトデアリマス、其結果ト致シマシテ出發ガ遅レタノデアリマスルガ、其遅レタ爲ニ大變日本トシテハ損ヲ致シテ居ルノデアリマス、其後色々折衝ガアリマシテ、鈴木氏ハ十月二十七日吾々ノ屬シテ居リマスル日本勞働組合會議カラ派遣サレマシテ平洋丸デ出發致シタノデアリマス、鈴木氏ハ西部地方色々所謂國民外交ノ使命トシテ努力ヲ致サレマシタ後ニ、十二月六日ニ華盛頓ニ行カレテ、亞米利加ノ勞働總同盟ノ會長デアル「グリーン」ニ會ハレタノデアリマス、鈴木氏ハ日本ノ國內事情及ビ日支關係等ヲ述ベテ、亞米利加ガ日本ニ對シテ「ボーコット」ヲスルノハ、認識不足カラ來テ居ルノデハナイカト、段々話ヲ致シマスルト、「グリーン」ハ最初ノ言葉トシテ、君ハナゼ「デンバー」ノ大會ニ來ナカッタノダ、ト云フタノデアリマス、

「デンバー」ニ於テハ亞米利加勞働總同盟ノ大會ハ十月一日カラ十四日マデ開カレタノデアツテ、其處ヘハ支那ノ代表ガ來テ、日本ノ不當デアルコト、日本ノ處置ニ對スル色々ナ「デマ」ヲ其處デ發表致シ、哀訴以テ此大會ノ空氣ヲ動カシタノデアリマス、其時分ニ「グリーン」ハ議長席ニ居ッテ、自分ハ是ハ考

ヘタケレドモ、唯一言モ「ノウ」ト言フ者ガ居ナイノダ、ソレハ間違ッテ居ルト言フ者ハ居ナイノダ、若シ唯一人デモサウ云フコトヲ言ウテ呉レタナラバ何カノ處置ハアッタノダ、君ガ來タノハ遅イヨト云フ話ガアッタト云フコトデアリマス、併シ幸ニ致シマシテマダ其大會ノ「ボイコット」ノ決議ハ執行委員會ニ一任サレテ居リマシテ、ソレハ實行ニナツテ居ナカッタ、其執行委員會ハ一月ノ半頃行ハレルコトニナツテ居リマシタノデ、鈴木氏ハ、其執行委員會デ何トカサウ云フコトヲセヌヤウニシテ貰ヒタイ、色々懇ヘテ參ツタトノコトデアリマス、歸リマシテ鈴木氏モ非常ニ其點ヲ残念ガツテ居ッタノデアリマス、是ハ鈴木氏ガ滿洲カラ戻テ直グ出發スルナラバ「デンバー」ノ大會ニハ間ニ合ツタノデアリマス、其間ニ合フベキモノヲ、態、電報デ呼寄セ、飛行機デ歸ッテ來ナガラ、尙ホ出發ヲ躊躇シテ居ッタト云フコトハ、右翼團體ノ謂ハレナキ反對運動ニ掣肘サレテ外務省ガ腰ガ碎ケテ、サウシテ愚圖々々シテ居ッタノダラウト思フノデアリマス、元來モノニハヤハリ時機ト云フモノガアリマス、時機ヲ失スルナラバ良イコトモ役ニ立タナクナル、其外務省ノ腰ノ碎ケタコトニ對シテ吾々ハ當時甚ダ憤懣ヲシ

テ居ッタノデアリマスガ、斯ウ云フコトニ付テ外務省ト致シマシテハ、其時吾々ノ斯ウ觀察シテ居リマスコトガ間違ヒデアルカドウカ、其點ニ付テ御伺致シタイノデアリマス
○吉田政府委員 只今鈴木文治氏ノ亞米利加ニ行カレマシタコトニ關聯致シマシテ御質問ヲ受ケマシテゴザイマスガ、實ハ私ハ能ク存ジマセヌ事情デゴザイマシテ、外務省ノ情報部デ以テ計ラツタコトト思ヒマスカラ、此點取調ベマシテ御返事致シマス
○西尾委員 ソレカラ次ハ厚生大臣ニ御伺致シタイノデアリマスガ、鈴木氏ガ遲延ナガラモ參リマシタコトガ幾分效果ガアッタト思フノデアリマスガ、其效果アラシムル爲ニハ、多年鈴木氏ト親友ノ關係ニアリマスル元「カリフォルニア」勞働聯合會ノ會長ヲシテ居リマシタ「シャールンベルグ」ト云フ人ガアルノデアリマス、鈴木氏ハ五六回モ亞米利加ニ行ク間ニ此方ト非常ニ親密ニナツテ居ラレタノデアリマシテ、又日本ニモ二度程來ラレマシテ、私共モ存ジ上ゲテ居ルノデアリマスガ、此人ノ引廻シ及ビロ添ヘト云フモノハ、非常ニ效果ガアッタノデアリマス、此點ヲ先ヅ考ヘテ見マシテ、諸テ國際勞働會議ニ對シテ本年我國カラ勞働代表ヲ送ラナカッタト云フコトニ付テ私ハ

言及致シテ見タイト思フノデアリマス、即チ我國ニ於テコソ、勞働團體ハ歐米諸國ニ比ベテ、政治上ニ於ケル、社會上ニ於ケル地位ハ尙ホ低イノデアリマスケレドモ、我國ノ外交ノ相手國トスル所ノ英吉利、亞米利加、佛蘭西、斯ウ云フ所ノ勞働組合ト云フモノハ、其政治上ニ於テ、又社會上ニ於テ重要ナル地位ヲ占メテ居ルノデアリマス、斯ウ云フモノトヤハリ我國ノ勞働團體、ソレノ幹部トガ日頃カラ知合ッテ置ク、親密ニシテ置クト云フコトハ、今後ノ國民外交ノ上ニ於テ相當重要ナ役割ヲ果スト思フノデアリマス、殊ニ此間五日ニ政友會ノ河野委員カラ外務大臣ニ向ッテ、今後モ國民使節ヲ送ルノカト問フト、今後モ送ルノダ、斯ウ云フ風ニ外務大臣ハ御答ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ態、何カ言譯ヲシニ行ク、或ハ説明ヲシニ行クト云フヤウナ形ヲ執ルヨリモ、例ヘバ國際勞働會議ト云フヤウナ正式ノ機關ニ、當然行クベキ處ニ行ッテ、サウシテ色々國民外交ヲヤル、日本ノ國內ノ事情ヲ説明スルト云フコトハ、態、國民使節ヲ派遣スルヨリハ遙ニ多クノ效果ガアルノデハナイカ、斯ウ云フ意味ニ於テハ、國際勞働會議ニハ代表ヲ今年モ萬難ヲ排シテ送ルベキデアッタト、吾々ハ考ヘテ居ルノデ

アリマスルガ、是亦何トハナク國際勞働會議カラ脫退シロト云フ聲ニ押サレテ、遂ニ之ヲ派遣シナイヤウニナツタノデハナイカト思ハレル節ガアルノデアリマス、此點ニ付キマシテ豫算委員會ニ於テ同僚カラ質問ガアッタノデアリマスルケレドモ、之ニ對スル吾々ノ納得ノ行クヤウナ御回答ヲ得テ居ナイノデアリマス、外務大臣ガ今後モ尙ホ國民使節ヲ送ラナケレバナラヌト言フ現狀ニ鑑ミマシテ、此問題ハモウ一遍政府ガ考直シテ然ルベキデヤナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスルガ、厚生大臣ノ御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス
○木戸國務大臣 御話ノ國際勞働會議ニ今年ハ勞資ノ代表ヲ我が内地ヨリハ派遣致シマセヌコトニ決メタノデアリマス、其事ハ先日モ豫算委員會ニ於テ御質問ガアリマシテ、其當時御答致シマシタ、是ハ今次ノ支那事變ト云フ特殊ノ事情ニ依リマシテ、各般ノ情勢ヲ考ヘテ本年ハ内地ヨリ派遣シナイト云フコトニ決定致シタ次第デアリマス、特ニ只今御話ノヤウニ脫退論ニ押サレマシテサウ云フ決定ヲ致シタト云フ譯デハナイノデアリマス、外務省トモ十分ニ打合せ、アチラノ狀況等ヲ調べタ上デ決定致シタ次第デアリマス、而シテ此決定ハ本年限りノ

問題デアッテ、更ニ情勢ヲ判斷致シマシテ來年度ニ付テハ考ヘタイト考ヘテ居リマス

○西尾委員 送ラナイ方宜イト云フコトニナリマシタ事情ヲ御漏シテ願ヘナイデアリマセウカ、折返シテモウ一度御尋致シマス

○木戸國務大臣 只今申上ゲマシタヤウニ、主トシテ支那事變中デアリマシテ、又アチラノ労働會議其モノノ構成等モ考慮致シマシテ、判斷致シタ次第デアリマス

○西尾委員 私共ノ判斷ニ依リマスナラバ、支那事變中デアリマスカラコソ、殊ニ國民使節ヲ派遣シナケレバナラヌヤウナ情勢デアリマスカラ、特ニ送ルベキデアルト云フ考ヲ持ツノデアリマス、ソレヲ支那事變中デアリカラ送ラナイ方宜イト云フ點ガドウモ納得ガ行カヌノデアリマス、是ハ御説明ヲ願ヘヌデセウカ

○木戸國務大臣 只今御話ノヤウナ考ヘ方モ十分アリマシテ、其點モ考ヘタノデアリマス、併ナガラ支那事變中、殊ニアチラノ團體ノ性質、其他モ考ヘマシテ、今年ハ派遣セヌ方宜イ、斯ウ云フ風ニ判斷シタ譯デアリマス

○西尾委員 ソレデハモウソレハ其程度ニ致シテ置キマシテ、次ニハ條文及ビ要綱ニ

付キマシテ御尋致シタイノデアリマスガ、是ハ必シモ厚生大臣デナクトモ結構デアリマス、或ハ企畫院ノ方デ御答ニナツテモ結構デアリマス、總理大臣ニモ御質問申上ゲタノデアリマスガ、龍企畫院總裁ニモウ一度御尋致シタイノデアリマス、本法ハ軍需ニ應ズルト共ニ國民生活ヲ確保スルト云フ趣旨ダト云フコトハ繰返シ御説明ニナリマシタノデ、御趣旨ノアル所ハ了解出來ルノデアリマスケレドモ、此法文ノ上ニ少シモ其點ガ明ニナツテ居ナイノデアリマス、ソコデ私ハ「國防目的達成ノ爲」ノ下ニ「軍需ノ充足ト國民生活ヲ確保ヲ圖リ以テ」ト云フ文字ヲ入レルコトハ、何等法文ノ體裁ノ上カラ言ッテモ、實質ノ上カラ言ッテモ差支ガナイシ、又此法ノ精神ヲ最モ能ク端的ニ現ハスコトガ出來ルト思フノデアリマス、捧讀ミニ讀ンデ見マス、括弧ノ中ハ略シマス「第一條本法ニ於テ國家總動員トハ戰時ニ際シ國防目的達成ノ爲軍需ノ充足ト國民生活ヲ確保ヲ圖リ以テ國ノ全力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル様人的物的資源ヲ統制運用スルヲ謂フ」文字ハ少々違ッテモドウデモ宜イノデアリマスガ、何カ此處ニ國民生活ヲ確保ノ爲ニモ此法ガ重要ナ働キヲスルノダト云フコトヲ謳ッテ置クコトガ適當デハナイカ、斯様ニ思

フノデアリマスガ、勿論是ハ今直チニ可否ヲ御答願フコトハ出來ヌデアリマセウガ、十分考慮スベキ價值ガアルカト考ヘルノデアリマス、如何デアリマセウカ

○瀧政府委員 「國防目的達成ノ爲」ト云フ言葉ノ内ニ含マレテ居ル、斯ウ云フ御答辯デアリマシタガ、ヤハリサウ考ヘテ居リマス、是ガ二ツノ目的ニナルヨリモ、國力戰ノ爲ニト云フコトデアリマスカラ、國力戰ノ爲ニト云フコトハ取モ直サズ其間ニサウ思フ通りニ行カナクトモ國民生活ヲ出來ルダケ確保シテ行クト云フコトガ含マレテ居リマスカラ、二ツ竝ベテ書クヨリモ此方宜シイト考ヘテ居リマス

○西尾委員 私ハ二ツ竝ベテ書クト云フノデナクシテ、此「國防目的達成ノ爲」ヲ幾ラカ敷衍致シマシテ、「軍需ノ充足ト國民生活ヲ確保ヲ圖ル」ト云フコトヲ入レルコトガ體裁ノ上ニ於テモ惡クナクシテ、而モ本法ノ精神ニ合致シ、而シテ之ガ明ニナル、政府ノ言フコトハ其文字ノ解釋ノ上ニ於テ、サウ云フコトガ勿論理解出來ルノデアリマシテ、其點ヲ疑フノデハナイノデアリマスケレドモ、斯ウシタ方宜イノデハナイカト考ヘテ御尋致シタ譯デアリマス、是ハ勿論私ハ直チニ可否ノ御答辯ヲ戴ケルモ

ノトハ思ッテ居ナイノデアリマス、此點ニ付テ政府ノ御考慮ヲ希望致シテ置キマシテ、次ノ質問ニ移リタイト思フノデアリマス

第四條ノ要綱ノ第五ニ「被徵用者ハ相當ノ給與ヲ受クルモノトスルコト」斯ウアルノデアリマスガ、相當ノ給與トハ一體ドウ云フモノヲ御想定ニナラレテアルノデアリマセウカ、尙ホ進ンデ御尋致シマスルナラバ、同種ノ産業ニ從事シテ居ル民間職工ト同様ノ給與ヲ受ケルト云フ風ニ、大體解釋致シテ宜シイノデアリマセウカ

○成田政府委員 只今御述ニナリマシタ通りデゴザイマス

○西尾委員 次ハ第六條ニ付テ御尋致シタイノデアリマスガ、第六條ノ要綱ノ第四ノ「賃銀、就業時間、扶助其ノ他ノ労働條件ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スモノトスルコト」斯ウナツテ居ルノデアリマスガ、其場合ノ労働條件ニ關スル必要ナル命令ト云フノハ、或ル一ツノ工場ニ對シテ個別的ニスルノデアリカ、或ハ又或ル一地方、或ハ一産業ト云フヤウナモノニ付テ、包括的ニ、一般的ニ、或ハ公定的ニ之ヲ命令爲サルノデアリマセウカ、御伺致シタイ

○成田政府委員 只今ノ御質問ノ點ハ大體ニ於テ一般的ナ法規的ナモノヲ定メタイ、

全國の場合モアリマセウシ、或ハ地方の場合モアラウト存ジマスガ、法規命令ヲ大體豫想シテ居ルノデアリマシテ、個々ノ工場ニ一々具體的ナ命令ヲスルト云フコトハ、極メテ例外の場合デアラウト考ヘテ居リマス

○西尾委員 一寸時間モ暇取リマスシ恐縮デアリマスカラ、御許ヲ願ッテ自席カラ御答ヲ願フヤウニ致シタイト思ヒマス

○西岡委員長代理 左様ニ願ヒマス

○西尾委員 要綱ノ第五ノ「從業者ノ使用」雇人若ハ解雇又ハ賃銀其ノ他ノ勞働條件ニ關スル制限ヲ緩和スルコト」此勞働條件ノ制限ト云フ其勞働條件トハ此所デハドウ云フモノヲ御想定ニナッテ居ルノデセウカ

○成田政府委員 只今御尋ノ勞働條件ハ第四ニ書イテアリマサルヤウナ就業時間、扶助其他ノモノガ此勞働條件ノ中ニ入ルノデアリマス

○西尾委員 此場合ニ例ヘバ勞働時間ノ緩和ヲスルトカ云フヤウナ場合、ソレハ先ニ一寸觸レタノデアリマスルガ、サウ云フコトヲ行フ爲ニハ、今後此平時規定ノ意味ニ於テ、戰時デナクシテソレノ準備行爲ト致シマシテ、ヤハリ勞働時間ノ問題トカ、或ハ幼年勞働者ノ制限規定ヲ嚴格ニスルト

カ、色々ナ保護規定ガ今カラ豫想サルベキデハナイカト考ヘルノデアリマス、サウ云フコトニ付テ何カノ御計畫ガアルノデアリマセウカ

○成田政府委員 只今御述ベニナリマシタ點ハ、趣旨トシテハ吾々モ同感ナノデアリマシテ、例ヘバ一例ヲ申上ゲマス、青年男工ノ就業時間、平常ニ於テ如何ナル程度ノ就業時間ガ宜シイカト云フヤウナ點ニ付テハ專ラ研究シテ居リマスガ、マダ法律案トシテ出スト云フ所マデ行ッテ居ラナイノデアリマス

○西尾委員 戰時ニ於ケル勞働政策ノ基調ハ、大體私ノ考ヘテ居ルノハ三ツアルト思フノデスガ、ソレハ軍需産業ニ對シテ十分ナル勞働ヲ供給スル爲ニ、國家ハ國民勞務ノ供給及ビ配置等ニ付テ統制ヲスル、總テノ勞働者ノ待遇ヲ合理的ニシ、其生産能率ヲ維持向上セシムルコト、戰爭ノ爲ニ全國民ノ協力ヲ實現シ得ルヤウ、其精神的、物質的環境ノ改善ヲ圖ル、斯ウ云フノガ戰時勞働政策ニ付テノ基調デナクテハナラヌト私ハ考ヘルノデアリマス、サウ云フ見地カラ此條項ヲ考ヘテ見マスルナラバ、例ヘバ勞働條件ニ付テハ賃金ノ場合モ考ヘテ見ナケレバナラヌト思フノデアリマス、或ル政府

ノ管理工場ニ於テハ、徵用シタ勞働者ニ對シテモ賃金ヲ幾ラ拂フカト云フコトヲ決メナケレバナラヌト思ヒマス、而モ其賃金モ物價、殊ニ生活必需品物價ノ上昇ニ連レマシテ又其賃金ヲ改メテ行クト云フコトガ必要ニナルノデアリマス、サウ云フコトノ處置ヲ誤リマスルト、勞働者ノ間ニ不平ガ起ツテ來ルノデアリマス、物ノ不平ト云フモノハ概ネ絶對的ナモノデナクシテ相對的デアリマシテ、同様ノ他ノ勞働者ニ比ベテ自分ノ待遇ガ惡イト云フ所ニ不平ガ起ルノデアリマスルカラ、此點ニ付テハ賃金ノ決定等ニ付テハ萬遺憾ナキヲ期サナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレニ付テハ豫メ厚生

理解ノナイ所カラ兎角「トラブル」ガ起ルノデアリマスガ、急ニ工場委員會ヲ作ツタカラト云ッテ、直グニ相互理解ガ出來ルト云フノデハナイノデアリマスカラ、豫メソレニ備ヘル爲ニ、平時カラ工場委員會ノ如キモノヲ各工場ニ作ラセルト云フコトガ必要デハナイカト考ヘルノデアリマスガ如何デアリマセウカ

○木戸國務大臣 只今ノ御尋ハ御趣旨ニ於テ同感デアリマス、先日モ慥カ勞働統計局ノヤウナモノヲ厚生省ニ作ッテハドウカト云フ御説ガ出タト思ヒマス、サウシテ賃金等ノ調査ヲヤリ、生活負擔ノ調査ヲ致シマシテ、勞働賃金ノ適正ヲ圖ルト云フコトハ必要ナコトデアリマス、又只今御話ノ點ハ十分考慮シナケレバナラヌト考ヘテ居リマスルガ、平時ニ於テ勞資ノ間ニ工場委員會ヲ作ルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテモ、今回ノ總動員法ニ於テハ戰時ニ於テハ作ルヤウニナッテ居リマスガ、平時ニ尙ホ之ヲ要スルヤ否ヤニ付テハ十分考慮スル方ガ宜カラウト思ヒマス

○西尾委員 次ニ第七條ノ要綱ノ第三點デアリマスガ一定規模以上ノ工場ト云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、此一定ノ規模ト云フノハ大體十名位ニスベキデハナイカ

ト考ヘテ居リマスガ、ドウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居ルノデアリマスカ

○成田政府委員 只今ノ御尋ノ點ハ大體只今ノ所デハ五十人位ノ見當ニ考ヘテ居リマス

○西尾委員 其次ニ勞資協調機關ヲ設ケルト斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマスルガ、其勞資協調ノ機關ハドウ云フ構成ニナルノデアルカ、或ハソレノ職能ハドウ云フ風ニナルノデアリマセウカ、是ハ豫メ御考慮ニナッテ居ルコトト思フノデアリマス、更ニ其協調機關ハ一工場々々ノミデアツテ、所謂縦斷的ノモノデアルカ、或ハ横斷的ニモ是ハ考慮サレテ居ルノデアリマスカ伺ヒタイト思ヒマス

○成田政府委員 勞資協調ノ機關ハ先程御述ベニナリマシタヤウニ、工場委員會ト云ツタヤウナモノヲ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ其職能ハ勞資協調ノ實ヲ舉ゲルト云フ立前デアリマシテ、出來ルダケ斯ウ云フコトハ、事柄ノ性質上餘リ固イモノニセズニ、決議機關ニスレバソレモ宜シイノデアリマスケレドモ、決議機關デナク所謂諮問機關ノ方ガ宜シイト云フ實情デアレバソレモ宜シイ、組織ナリ運用ナリニ付テハ、其工場ナリ事業上ノ希望ニ依ッテ適當ニヤッテ

行クコトガ運用上宜シイノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○西尾委員 モウ時間ガアリマセヌシシマスカラ、私ハ此程度デ厚生省關係ノ質問ヲ終リマスガ、次ニ第十一條ニ關シテ商工省ノ方ニ御尋シタイノデアリマスガ、寧ろ是ハ留保致シマシテ、商工大臣ガ御見エニナツタ時ニ一寸一言サシテ戴キタイト思ヒマス

○西岡委員長代理 此際山崎君ガ西尾君ノ質問ニ關聯シテ質問ヲ要求セラレテ居リマス、極ク簡單ト云フコトデゴザイマスカラ、簡單ニ只今御許シ致シマス

○山崎委員 西尾委員ノ内務大臣ニ對シマスル所ノ質問ニ關聯ヲ致シマシテ簡單ニ御尋シタイト思ヒマス、其前ニ委員長ニ要求シテ置キタイト思ヒマスガ、議事進行デ一應御願シヨウト思ヒマスケレドモ、發言ノ御許ヲ願ヘマスカ

○西岡委員長代理 只今關聯事項デ質疑ヲ許シテ居リマスカラ、ドウゾ質疑ヲ御續ケ下サイ

○山崎委員 西尾委員ハ右翼思想ノ取締、或ハ民主主義思想、共產主義思想、斯様ニ條項ヲ舉ゲラレテ内務大臣ニ相當ニ長イ御質問ヲナサレタノデゴザイマス、私ハソレニ對

シマシテ内務大臣ニ所謂右翼ノ取締——右翼ト言ヒマシテモ、西尾委員モ述ベテ居ラレマスガ如クニ、色々種類ガアルト思ヒマス、其區別ノ點ニ付キマシテ内務大臣ニ一應御尋シタイト思ヒマス、更ニ私ハ御尋ヲ致シマス前ニ、此問題ハ現在我國ノ思想動向ニ付キマシテ重大ナ關係ヲ持ツモノデゴザイマスノデ、私順番ガ來マシテ發言權ヲ得マシタ時ニ十分私共ノ考ヘテ居ル思想ノ動向ヲ申上ゲマシテ、御答ガ願ヒタイ、斯ウ考ヘテ居リマスガ、今日ハ唯簡單ニ御尋致シタイト思ヒマス

西尾委員ノ内務大臣ニ對シマスル質問中ニ、色々現在ノ愛國主義團體ヲ總括致シマシテ、西尾委員ハ右翼團體ト稱シテ居リマス、右翼團體ノ種類ニハ或ハ暴力團モアリマス、併シ眞ニ愛國ノ熱情ニ燃エテ先驅シテ居ル所ノ團體モアリマス、個人モアリマス、更ニ又曾テ間違ッタ思想ヲ持ッテ左翼デ共產主義ノ運動ヲヤッテ居ッテ、其非ヲ悟ッテ眞ニ心カラノ愛國主義ニナッテ居ル所ノ運動者モアリマス、更ニソレハ現在ノ政府ガ色々誘導ノ途ヲ講ジテ、其機關ヲ設ケテ、其實績ヲ舉ゲテ居ルノモアリマス、又ヲ一纏ニ右翼ト稱シテ、「フアッショ」トカ、或ハ暴力團トカ云フベキ性質ノモノデハナイト思ヒ

マス、此點ハ内務大臣モ一應御知リニハナッテ居ラレル、御答辯ノ中ニ其意ガ含マレテ居ルトハ思ヒマスケレドモ、私共考ヘマスノニ、曾テ間違ッタ居ッテ團體破壊ノ共產主義ノ思想、或ハ又社會民主主義ノ思想——此場合私ハ社會大衆黨ノコトハ言ヒタクナイ、社會大衆黨ハ少クトモ國體ノ線ニ沿ッテ、政府ニ協力スル所ノ運動ヲヤッテ居ラレル、是ハ國民トシテ慶ブベキコトダト思ヒマス、私ハ社會大衆黨ノ過去ハ言ハナイ、現在ガ宜シイト思ヒマスノデ過去ハ言ハナイガ、共產主義ノ思想ト致シマシテモ、乃至社會民主主義ノ思想ト致シマシテモ、又惡質ナル自由主義ノ思想ト致シマシテモ、中庸ヲ誤ラナイ所ノ、熱情ニ燃エテ愛國主義ノ運動ガ相當ニ效果ヲ及ボシテ居ルト云フコトヲ考ヘザルヲ得ナイト思ヒマス、是ガ左翼ヲ轉向スル所ノ契機ヲ作り、社會民主主義、或ハ自由主義ヲ轉向サス所ノ契機ヲ作ッテ大キナ働キニナッテ居ルト云フコトハ看逃スコトガ出來ナイト思ヒマス、之ニ對シマシテ末次内務大臣ハ如何ナル御答ヲ持ッテ居ルカト云フコトヲ一應明確ニ御答ガ願ヒタイト思ヒマス

○末次國務大臣 所謂右翼ニモ色々アリマスコトハ御説ノ通りデアリマシテ、右翼ノ

シマシテ内務大臣ニ所謂右翼ノ取締——右翼ト言ヒマシテモ、西尾委員モ述ベテ居ラレマスガ如クニ、色々種類ガアルト思ヒマス、其區別ノ點ニ付キマシテ内務大臣ニ一應御尋シタイト思ヒマス、更ニ私ハ御尋ヲ致シマス前ニ、此問題ハ現在我國ノ思想動向ニ付キマシテ重大ナ關係ヲ持ツモノデゴザイマスノデ、私順番ガ來マシテ發言權ヲ得マシタ時ニ十分私共ノ考ヘテ居ル思想ノ動向ヲ申上ゲマシテ、御答ガ願ヒタイ、斯ウ考ヘテ居リマスガ、今日ハ唯簡單ニ御尋致シタイト思ヒマス

中ニモ良クナイノガアルノデアリマス、唯
國家主義、全體主義、殊ニ日本精神ヲ基調
トシ、此國家ヲ時艱ヨリ救ハナケレバナラ
ヌ、斯ウ云フ激烈ナ正義ニ燃エテ居リマス
右翼ハ、御意見ノ通り一般ノ民心ニ好キ影
響ヲ與ヘテ居ルト思ヒマス、思想ハ互ニ交
流シマシテ、互ニ影響ヲ持ツモノデアリマ
ス、如何ナル主義デアリマシテモ全部ガ悉
ク惡イトハ思ヒマセス、其良イ所ハ所謂採
長補短デ以テ互ニ他ノ糧ニナルト私ハ信ジ
テ居リマス、隨テ右翼ノ純粹ナル國家主義、
皇道主義ノ如キハ大イニ左翼ヲ啓發スル所
ガアツコトハ確信致シテ居リマス、其點ニ
於キマシテ山崎君ト同意見ダト思ヒマス

○山崎委員 明確ナ御答ヲ願ヒマシテ感謝
致シマスガ、モウ一點御聽キシテ置キタイ
ト思ヒマス、今御答ヲ願ヒマシタ點ニ依リ
マシテ大體ハ盡キテ居ルト思ヒマスケレド
モ、是ハ只今申上ゲマシタ如クニ、純真ナ
愛國ノ熱情ニ燃エテヤッテ居ル所ノ運動者
ノ諸君ニ取ッテ大變重要ナコトデアルト思
ヒマスノデ、モウ一點御答ガ願ヒタイト思
ヒマス、ソレハ先程モ申上ゲマシタ如クニ、
我國ノ共產主義ノ思想、或ハ社會民主主義
ノ思想、自由主義ノ思想、此極度ノ惡思想
ニ對シマシテ、今申上ゲマシタ純真ナ熱情

ニ燃エテ居ル所ノ愛國主義者ノ運動ガ相當
ニ效果ガアツテ居ルト云フコトヲ御認メカド
ウカ、私ガ考ヘマスノニ、此思想ニ對シマシ
テハ政黨人、或ハ官僚モ、軍部モ、此惡思
想ヲ一掃スルガ爲ニ御盡力ヲナサツテ居ル
ト思ヒマス、ソレモ認メマス、ダガ併シ、
申上ゲマシタ如クニ、民間ニ在ル所ノ各個
人、各種團體ガ左様ナ運動ヲ起スコトニ依
リマシテ、其惡思想ヲ清淨ニ、正道ニ引戻
シタト云フコトノ力ガアルデハナイカト云
フコトヲ考ヘマスガ、之ニ對シマシテ内務
大臣ノ御意見ハ如何デゴザイマスカ

○末次國務大臣 山崎君ノ御氣持ハ能ク分
ルノデアリマスガ、併シ思想ト云フモノハ
一寸聽イテ直グニソレニ感心スルト云フヤ
ウナ譯ノモノデアリマセスデ、相當ナ根柢
ガアルノデアリマス、其根柢ヲ持チマスガ
故ニ、銘々自分ノ思想ハ一番良イト信ジテ居
ルノデアリマス、之ヲ第三者カラ見マスト
批判ノ餘地ガ多アル場合ガ多イダラウト
思ヒマス、自分ガ宜イト思フカラ無理ヤリ
ニ之ヲ人ニ押付ケヨウ、斯ウ云フ態度ハ時
ニ非常ナ無理ガ起ッテ來ルト思ヒマス、ソレ
等ヲ能ク御考下サレバ私ノ氣持ハ御諒解下
サルト信ズルノデアリマス

○山崎委員 内務大臣ノ意ノアル所ハ能ク

分リマシタ、私ノ御許ヲ願ヒマシタ質問ハ
是デ打切りマス、重ネテ議事進行ニ對シマ
シテ、簡單ニ御許ヲ願ヒマス

○西岡委員長代理 許シマス

○山崎委員 是ハ正式デハゴザイマセスガ、
本日院内ノ各方面デ耳ニシマス所ニ依リマ
スト、明日ハ祕密會ガ行ハレル、サウシテ
其後ハ、一順西尾代議士マデ質問ガ廻ッタノ
デ、ソレカラノ質問ハ切詰メテ一時間ヅ、
ノ質問ニスルノダト云フヤウナコトヲ耳ニ
シマシタガ、左様ナ狀態デヤル積リデゴザ
イマセウカ、且又サウ決ッテ居リマセウカ、
委員長ハ御分リニナツテ居レバ一應ソレヲ
聞キタイト思ヒマス

○西岡委員長代理 御答致シマス、委員長
ト理事トノ集リニ於キマシテハ、サウ云フ
意味ノ話ガアリマシタ、併ナガラ其時間ヲ
ドノ位ノ程度ニスルカト云フコトニ付キマ
シテハ、明日委員長カラ改メテ宣告ガアラ
ウト思ヒマス

○山崎委員 今マデニ私共ハ本案ノ重要性
ニ鑑ミマシテ、成ベク質問ヲ簡略ニ致シマ
シテ、本案ヲ通過サスコトニ努力セナケレ
バイカスト云フ赤誠ハ持ッテ居リマシタ、併ナ
ガラ近衛總理大臣モ仰ツタ如クニ、十分質疑
ヲ致サナケレバナラス、重要法案デアルガ

故ニト云フコトモ、近衛總理大臣カラ聞イ
テ居リマス、委員長ノ方ニ於キマシテモ、
委員各位ニ於キマシテモ成ベク要點ニ觸レ
タ所ノ質問、水掛論デナイ所ノ質問ヲ進行
シテ戴キタイト希望致シマス、尙ホ更ニ時
間ヲ切詰ラレタトスルナラバ、モウ一ツ希
望ガゴザイマス、ソレハ一時間ニナルカ二
時間ニナルカ知レマセヌケレドモ、若シ一
時間、二時間ニ切詰メラレルトスルナラバ、
今迄ニ質問ノ濟ンデ居ラナイ諸君ニ對シテ
ハ、簡單ナ關聯質問ヲ、今モ許シテ居リマ
スケレドモ、許シテ戴キタイ、ソレカラ今
マデ長々ト質問ナサッタ方ニハ關聯質問ヲ許
サナイヤウニ、是ガ公平デアルト思ヒマス、
左様ニ明日ノ理事會ニ於キマシテ御決定ガ
願ヒタイト考ヘマス

○西岡委員長代理 山崎君ノ只今ノ御發言
ニ對シマシテ私カラ御答致シテ置キマス、關
聯質問ハ時間ガ極ク簡單デアルコトガ一ツ
ノ條件、モウ一ツハ正式ノ質疑者ノ承諾ヲ
得ルト云フコトニナツテ居リマス、明日個々
ノ質疑者ノ時間ヲ小川委員長ハドウ云フ風
ニ宣告ナサルカ存ジマセヌケレドモ、私一
個ノ考ト致シマシテハ、假ニ五時間許サレ
ルモノト致シマスナラバ、其質問者ニ對ス
ル關聯事項ノ質問ノ時間ハ、本人ガ許シタ

以上ハ本人ノ御時間ノ中ニ加算スベキモノ
デハナイカト考ヘテ居リマス、西尾委員ノ
質疑ヲ以チマシテ各黨派ノ代表的質問ハ是
デ一順致シタ次第アリマス、此際一言致
シテ置キマス、即チ今日マデノ質問者八十
名ヲ終了致シテ居リマス、尙ホ二十餘名残ッ
テ居ラレルノデアリマス、ソレデ明日カラ
ハ夜間モ質疑ヲ繼續致シタイト思ヒマス、
明日ハ午前十時カラ開會致シマス、政府ノ
要求ニ依リマシテ祕密會ト致シマス、今日
ハ是デ散會致シマス

午後九時二十五分散會